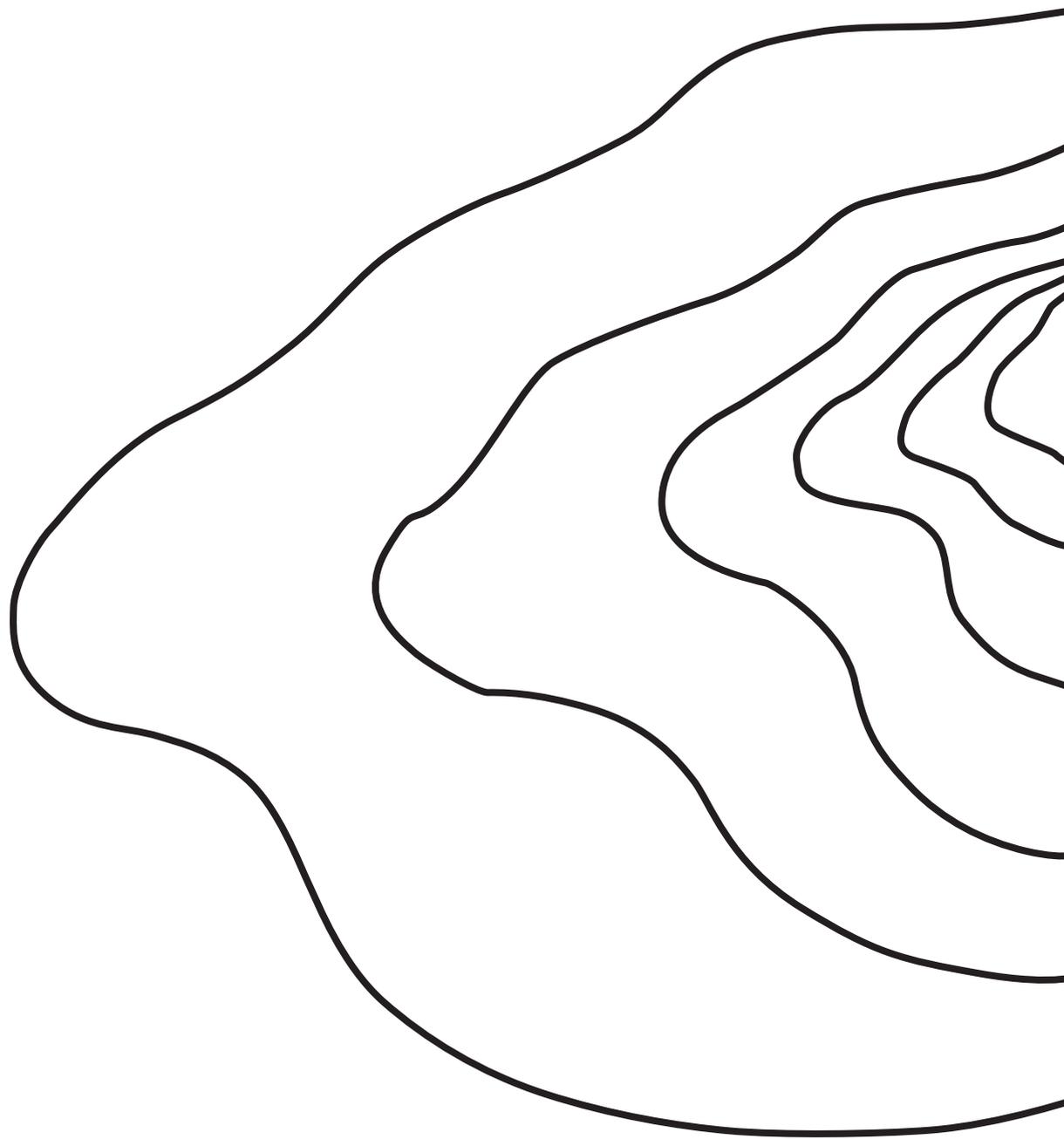


兵庫県立 こども病院 **年報** 2008 VOL.39



HYOGO PREFECTURAL
KOBE CHILDREN'S HOSPITAL ANNUAL REPORT 08 VOL.39



基本理念

周産期医療および小児医療専門施設として、母と子どもへの総合的、高度専門的な医療を通じて、親と地域社会と一体になって子どもたちの健やかな成育を目指します。

基本方針

1. 子どもの権利を重視した医療の実践
2. 安心と信頼の医療の遂行
3. 専門的な高度医療の推進
4. 地域医療・保健・福祉機関との連携
5. 親と子の健康啓発活動への貢献
6. 子どもへの愛とまことに満ちた医療人育成



患者権利宣言

1. あなたは、ひとりの人間として尊重され、おもいやりのある医療を受ける権利があります。
2. あなたとご家族は、理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報を得て、治療計画に参加する権利があります。
3. あなたとご家族は、医療について同意や拒否の権利があります。
4. あなたとご家族のプライバシーは守られます。

みなさまと私たち職員がお互いを尊重しあい良質な医療を実現していけるよう次のことにご協力下さい。

病気について理解し、安心して医療が受けられるよう、今までの経過・病状の変化や問題について詳しく正確にお知らせ下さい。
病院のきまりや約束ごとをお守り下さい。



目 次

病 院 概 要

1 兵庫県立こども病院の設立目的	1
2 沿 革	1
3 業 務 図	4
(1) 機構一覧表	4
(2) 担当医師表	5
(3) 外来診療スケジュール表	6
4 職 員	7
(1) 職種別人員表	7
(2) 看護単位別看護職員等配置状況	8
5 各 種 委 員 会	9

教育研修活動

1 カンファレンス・勉強会	19
2 看 護 研 修	44
3 研修医指導記録	70

学 術 活 動

1 書 籍	77
2 雑 誌 発 表	80
3 口 述 発 表	89

診 療 統 計	125
---------------	-----

ボランティア部門の動き	213
-------------------	-----

一年のあゆみ	215
--------------	-----

は じ め に

兵庫県立こども病院

病院長 丸 尾 猛

平成20年4月より中村 肇前院長の後任として兵庫県立こども病院長に就任し1年余が過ぎました。昭和45年に県政100周年記念事業として開設された当院は、平成6年にハイリスク妊婦と新生児を24時間体制で受け入れる「周産期医療センター」を開設し、平成12年に兵庫県の総合周産期母子医療センターに指定され、さらに平成19年10月には、小児集中治療室（PICU）や感染症病室を備えた「小児救急医療センター」を開設して、周産期・小児医療の高度専門病院としての機能を、一步一步高めて参りました。

近年、少産少子化が進み、一人ひとりのお子さんへの家族の期待が大きくなる一方、核家族化が進行して、両親の育児不安は一層高まっています。その分、「ハイリスク胎児とこども達を守る砦」となる当こども病院が果たす役割は大きさを増しており、職員一体となって、ほほ笑みとこども目線での語りかけを大切に、「安心」と「信頼」のチーム医療の実践に努めています。

平成20年には、都立墨東病院での妊婦事例を契機に、総合周産期母子医療センターのあり方とNICU病床の不足が大きく取り上げられ、国主導で改善に向けての動きが始まっています。一方、9月のリーマン・ブラザーズ破綻を契機とした世界的経済危機によって、我が国経済を牽引してきたトップ企業にも暗雲がたちこめ、操業一時停止と職員解雇が大きな社会問題となって私どもの日常生活に影響を与えています。

このような混沌とした社会状況が影響したのか、9月以降3か月間の病床稼働は、過去5年間で最も低い低迷状態が続きました。そこで、地域医療連携を一層深め、当院の優れた高度専門機能を十分にご活用いただきたいとの思いを込めて、11月に地域医療連携部を中心に刊行した2008年版診療案内冊子と「100%の入院応需を目指して」と題した

げんきカエル号外メッセージを、過去3年間に患者紹介を受けた全国2500の医療施設に向けて発送しました。その際、当院では入院期間の短縮と日帰り手術の増加ならびに外来ブースの増設によって、新規受診や入院に際して、以前のように長期間お待ちいただくことは少なくなったことも添付書面でお伝えしました。これらのメッセージが力となって、当院への新規紹介患者が増えることを期待しているところです。

当院では、職員一人ひとりが、新しい生命の誕生と将来を担う子ども達の命に関わる仕事に従事していることを自覚し、常に次元の高い危機感を持って、医療者・患者間の情報を共有しあい、ハイリスク胎児と子ども達を守る砦として、信頼される高度専門医療を実践していく所存です。特に小児救急では、生命に関わる重症患者でなくても、両親にとってお子さんの変化は心配なものです。当院の小児救急医療センターは三次救急施設ではありますが、専門の医師・看護師によるトリアージ機能・デストリビュート機能を発揮して、救急救命のみならず、「安心できる子育て」支援にも貢献したいと思っています。

また、平成20年に兵庫県と米国ワシントン州が友好100周年を迎えるのを契機に、本院とシアトル小児病院との姉妹提携に基づき、本年度は本院から医師2名、看護師2名をシアトル小児病院へ3～4週間派遣し、世界最先端の海外医療機関から新しい取り組みを学び、持ち帰ってもらいました。若手医療者の海外派遣による国際交流の継続は、若手医療者のモチベーション向上と意識改革につながると信じています。このような活動を通して、周産期・小児の高度専門・特殊医療を受けるために多くの患者さんが集まるのみならず、周産期・小児の高度専門・特殊医療の専門トレーニングを受けるために多くの若手医療者が集まる病院を目指したいと思っています。

本年報を通じて、兵庫県立こども病院の活動についてご理解を深めていただき、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

最後に、本年報の編纂にあたり多大なご尽力を頂いた広報委員会の池尻操子委員長、田中亮二郎副委員長ならびに長尾 洋総務部次長をはじめとしたスタッフの方々に深甚なる謝意を表します。

病 院 概 要

1. 兵庫県立こども病院の設立目的

こども病院は、小児治療が内科疾患を除いては、成人と同じ環境で診療が行われている現状と、ますます進展しつつある専門化、細分化した医学を基礎とした小児特有の検査、診断、治療を行いうる小児専門病院の設置を望む社会的要請に応えて、県政100年の記念事業の一環として、昭和45年に開設されました。これは、小児病院の業務に加え、異常児の出生予防、小児の精神保健、各科医療に伴う訓練部門等の医療行政もあわせて行う、小児メディカルセンターでもあります。

具体的には、

- (1) 近代小児医療の進歩、在り方に則し、小児疾患の診断と治療に関する高度に専門化、細分化した機能を総合的に発揮できること。
- (2) 小児に関する医療相談機関であること。
- (3) 小児の保健衛生に関する行政分野に対して、あらゆる面で協力機関であること。
- (4) 小児医療従事者の育成研修期間であること。

などであります。

平成6年10月には、ハイリスク母子の救命を図ることを目的とし、ハイリスク母子の24時間体制受け入れ、妊産婦、胎児、新生児の管理を連続かつ一体的に行うことのできる周産期医療センターをオープンしました。

また、平成14年10月より県下の第3次小児救急の拠点として救急医療室を開設し、その後、平成19年10月に、機能を一層充実させた小児救急医療センターを新たにオープンしました。

2. 沿革

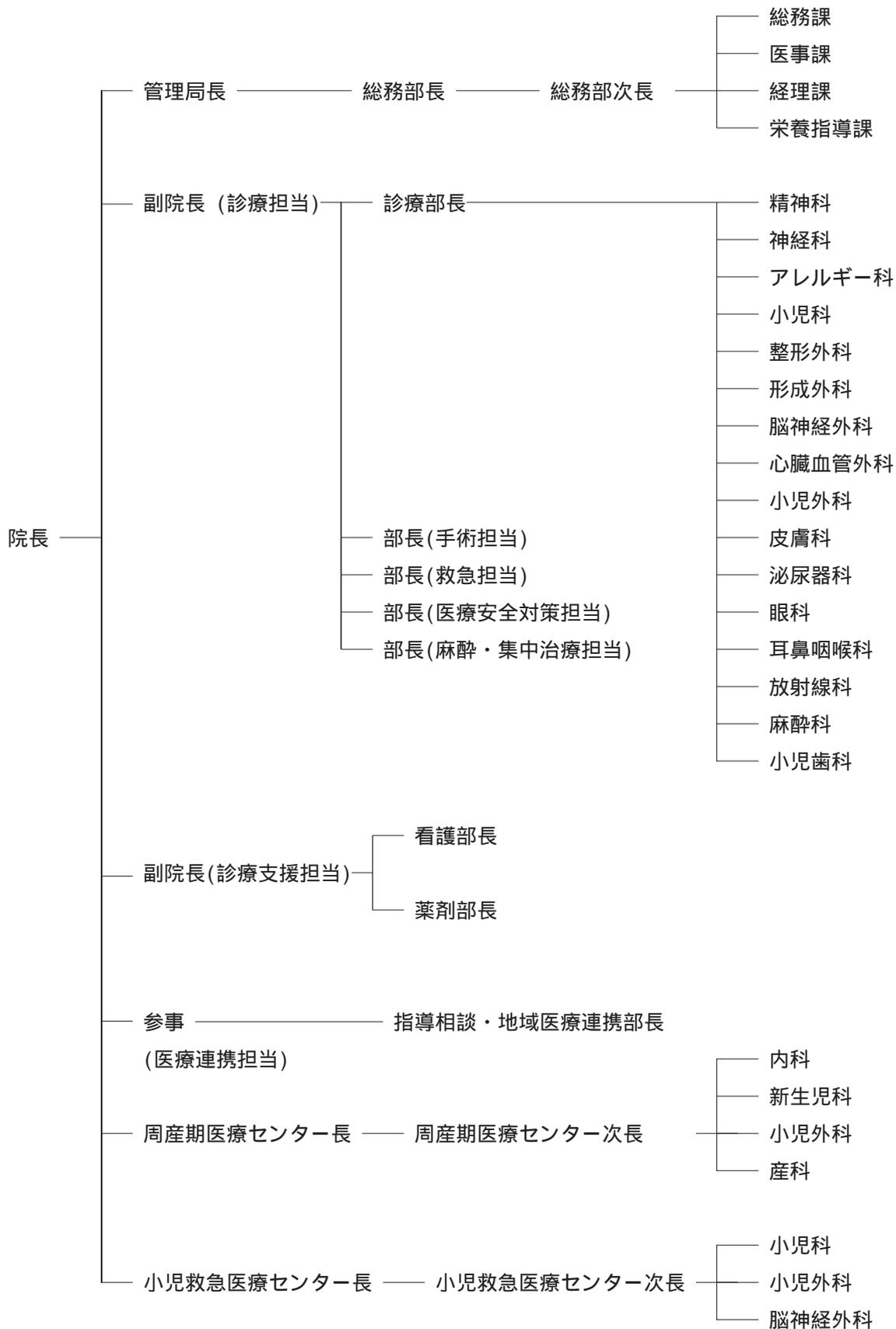
- | | | |
|-------|-------------|---|
| (1) 名 | 称 | 兵庫県立こども病院 |
| (2) 開 | 設 | 昭和45年4月1日(現管理者 丸尾 猛) |
| (3) 所 | 在 | 地 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1 TEL 078-732-6961(代表) |
| (4) 診 | 療 | 科 目 小児科(一般、脳神経、血液・腫瘍、腎臓、循環器、アレルギー、遺伝、代謝内分泌、未熟児・新生児)、精神科、神経科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、小児歯科、産科、内科(母性) |
| (5) 病 | 床 | 数 一般290床(稼働260床) |
| (6) 沿 | 革 | |
| | 昭和45年4月1日 | 病院開設(管理者 平田 美穂) |
| | 昭和45年4月30日 | 病院本館完成 |
| | 昭和45年5月8日 | 診療開始 |
| | 昭和45年7月23日 | 基準寝具実施(寝第295号) |
| | 昭和45年9月17日 | 基準給食実施(食第307号) 基準看護実施(看第130号) |
| | 昭和46年12月28日 | 母と子の指導教室完成 現在は母と子の教室と呼称 |
| | 昭和47年2月1日 | 基準看護一般特類変更承認(険第98号) |
| | 昭和47年12月1日 | 基準看護精神特類変更承認(険第219号) |

昭和49年10月1日	基準看護一般特二類変更承認（険第108号）基準看護精神特一類変更承認（険第108号）
昭和50年4月1日	管理者変更受理（管理者 児嶋 喜八郎）
昭和54年3月31日	全館防災設備工事完成
昭和54年8月2日	日本脳神経外科学会認定医制度による指定訓練場所として認定される
昭和55年4月1日	昭和55年3月26日 兵庫県条例第11号 兵庫県病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例により診療科目改正、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科を追加
昭和56年5月5日	シアトル小児整形外科病院医療センターとの間に姉妹病院提携
昭和56年10月7日	日本外科学会認定医制度による指定訓練場所として認定される
昭和56年10月12日	日本麻酔学会認定医制度による指導病院として認定される
昭和56年12月6日	日本胸部外科学会認定医認定制度による指定訓練場所として認定される
昭和57年4月1日	日本小児外科学会認定医制度による認定医育成施設として認定される
昭和58年4月1日	日本病理学会認定病理医制度による認定病院として認定される
昭和58年4月11日	日本整形外科学会認定医制度研修施設として認定される
昭和58年10月1日	日本眼科学会専門医制度による研修施設として認定される
昭和60年3月18日	プリンセス・マーガレット小児病院との間に姉妹提携
昭和60年3月28日	日帰り手術棟完成
昭和60年4月3日	日本形成外科学会認定医研修施設として認定される
昭和60年4月15日	日帰り手術棟手術開始
昭和61年3月31日	日本小児科学会認定医制度による研修施設として認定される
昭和61年4月1日	管理者変更受理（管理者 玉木 健雄）
昭和61年4月1日	日本泌尿器科学会専門医教育施設として認定される
昭和61年10月1日	日本医学放射線学会専門医制度規定による修練機関として認定される
昭和62年1月22日	自家発電設備改良工事完成
平成元年2月1日	外国医師臨床習練制度による研修施設として認定される
平成3年5月1日	基準看護一般特三類（一部）変更承認（険第220号）
平成4年4月1日	基準看護一般特三類（260床に）変更承認（険第363号）医事会計システムの電算化開始、医療業務・事務当直・警備の全面委託開始
平成4年5月9日	週40時間制試行
平成4年5月18日	病床数260床に変更承認（精神病棟廃止）
平成4年7月6日	病床数290床に変更承認（兵庫県指令医第1 - 67号）
平成4年7月29日	周産期医療センター安全祈願祭
平成4年11月7日	週40時間制本格実施
平成5年4月1日	管理者変更受理（管理者 竹峰 久雄）
平成6年7月20日	周産期医療センター定礎式
平成6年9月1日	管理者変更受理（管理者 小川 恭一）
平成6年9月30日	ドクターズカー購入
平成6年9月30日	周産期医療センター完成
平成6年10月1日	行政組織規則の改正（兵庫県規則第66号）により、周産期医療センターを設置

平成6年10月3日	周産期医療センター開設記念式典
平成6年10月4日	周産期医療センター診療開始
平成7年1月17日	阪神・淡路大震災
平成7年9月1日	本館改修工事に着手
平成8年4月1日	日本産科婦人科学会認定医制度による卒後研修指導施設として指定される
平成10年6月30日	本館改修工事完了
平成11年4月2日	管理者変更受理 (管理者 山本 節)
平成12年3月1日	総合周産期母子総合医療センターとして指定される
平成12年4月24日	慢性疾患児家族宿泊施設 (ファミリーハウス) を開設
平成13年10月10日	駐車場立体化工事に着手
平成14年2月28日	立体駐車場完成
平成14年4月1日	臨床研修病院指定 (厚生労働省発医政第0401006)
平成14年4月1日	地方公営企業法の財務適用から全部適用に移行
平成14年10月15日	第3次小児救急開設 (稼働病床260床)
平成15年4月2日	管理者変更 (管理者 中村 肇)
平成15年10月30日	臨床研修病院指定 (厚生労働省医政発第1030005号-511,519,526,533)
平成15年11月28日	臨床研修病院指定 (厚生労働省医政発第1128007号-330)
平成16年3月22日	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
平成16年4月1日	アレルギー科追加
平成18年4月1日	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設として認定される
平成18年4月1日	日本気管食道科学会専門医研修施設 (咽喉系) として認定される
平成19年10月1日	小児救急医療センターを開設
平成20年4月1日	管理者変更 (管理者 丸尾 猛)

3. 業 務 図

(1) 機構一覽表 (2008.12.31現在)



(2) 担当医師表 (2008.12.31現在)

- | | |
|-------------|---|
| (1) 総合診療科 | 宅見晃子 |
| (2) 新生児科 | 中尾秀人、芳本誠司、溝淵雅巳、吉形真由美、上田雅章、坂井仁美 |
| (3) 脳神経内科 | 永瀬裕朗 |
| (4) 循環器科 | 城戸佐知子、田中克敏、富永健太、藤田秀樹、齋木宏文、佐藤有美 |
| (5) 腎臓内科 | 田中亮二郎 |
| (6) 代謝内分泌科 | 郷司克己 |
| (7) 血液・腫瘍科 | 小阪嘉之、川崎圭一郎、竹田洋樹 |
| (8) 救急集中治療科 | 上谷良行、長谷川大一郎、福原信一、尾崎佳代、丸山あずさ、中岸保夫、細川裕紀、佐治洋介 |
| (9) アレルギー科 | 三好麻里、笠井和子 |
| (10) 小児外科 | 西島栄治、横井暁子、尾藤祐子、中尾真、荒井洋志、岡本竜弥、岡本光正 |
| (11) 心臓血管外科 | 大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、日隈智慧、井上武 |
| (12) 脳神経外科 | 長嶋達也、河村淳史、山元一樹 |
| (13) 形成外科 | 大山知樹、吉村友希、小野田素大 |
| (14) 整形外科 | 薩摩眞一、小林大介 |
| (15) 泌尿器科 | 杉多良文、中川賀清、高木志寿子、久松英治 |
| (16) 耳鼻咽喉科 | 大津雅秀 |
| (17) 眼科 | 山本節 (名誉院長)、野村耕治、辰巳康子、永井隆史 |
| (18) 精神科 | 前田宏章 |
| (19) 小児歯科 | 曾根由美子 |
| (20) 産科 | 丸尾猛、船越徹、佐本崇 (母性内科)、喜吉賢二、田中達也、高松祐幸、笹原淳、牧志綾 |
| (21) 放射線科 | 赤坂好宣、山口善道 |
| (22) 麻酔科 | 村田洋、黒寄明子、香川哲郎、鈴木毅、高辻小枝子、大西広泰、池島典之、鹿原史寿子、野々村智子、東秀和 |
| (23) 病理 | 吉田牧子 |
| (24) 専攻医 | 青木一憲、下岡武史、寺岡由恵、林耕平、小川禎治、岩谷壮太、澤田杏子、下川佑子、沖田空、山口由美、中島絵梨花、田村彰広、浅野貴大、安部信吾、加地倫子、中川拓、田淵和宏 (小児科)
田浦康明 (小児外科)
石井大嗣 (形成外科)
竹内正史 (整形外科)
板橋健太郎 (放射線科)
間嶋望、宮崎弘行 (麻酔科) |

(3) 外来診療スケジュール (平成20年12月1日)

科名	曜日	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	総合診療	福原	澤田	上谷	寺岡	中岸	安部	1週 宅見 2週 山崎 3週 宅見 4週 山崎	細川 尾崎 尾崎 細川	1・2週 尾崎 3・4週 田中(亮)	下岡
	アレルギー			三好					三好		
	予防接種	三好									
	脳神経	永瀬			丸山			永瀬 丸山 児玉 城戸			
	循環器	田中(敏)	城戸	田中(敏)	田中(敏)	城戸	城戸	田中(敏)	城戸	藤田	藤田
	腎臓		3週 田中(亮)	田中(亮)		田中(亮)					田中(亮)
	代謝		1・2・4週 郷司				郷司		郷司		
	新生児				吉形 上田(雅) 坂井		中尾(秀) 溝淵 坂井		中尾(秀) 芳本 上田(雅)		坂井 上田(雅) 芳本
血液		1,3週 川崎 2,4週 長谷川(大) 5週 竹田			小阪					小阪	
外科	一般	1・3週 中尾(真) 2・4週 岡本(竜)	中尾(真) 岡本(竜)	荒井		尾藤	尾藤	西島	西島	横井	
	特殊外来		ストマ		在宅療法						
	心臓		大嶋 島津				大嶋 圓尾 島津				大嶋 島津 日隈
	脳神経	長嶋	山元			長嶋				河村	河村 1・3週 二脊(長嶋) 2・4週 二脊(山元)
	形成			大山 吉村 言語療法				大山 吉村 西本 言語療法			
	整形		薩摩 小林	薩摩 小林	1週 側弯外来	薩摩 小林					
放射線科										副島	
眼科		野村 辰巳 永井			野村 辰巳 永井	野村 辰巳 永井		野村 辰巳 永井			
泌尿器科	久松		杉多 中川 高木 久松	杉多 中川 高木 久松		高木		杉多 中川 高木 久松	杉多 中川 高木 久松	二分脊椎	
耳鼻咽喉科	大津	1,2週 補聴器	阪本	3,4週 補聴器				大津		阪本	
歯科	曾根	曾根	曾根	曾根				曾根	曾根	曾根 曾根	
精神科	長谷川(弘)	前田	2・4週 伊東		前田	前田	白瀧			前田 松川	
卒煙外来						永瀬					
発達行動						永瀬					
産科	船越 佐本	超音波 検査	高松 喜吉	超音波 外来	佐本 田中(達)	超音波 検査	喜吉 笹原	超音波 外来	船越 牧志	超音波 検査	

印は新患受付曜日となります。

4. 職 員

(1) 職種別人員表 (2008.12.31現在)

職 種 別		現 員 [人]
事 務 職		17
技 能 職	医 師 ・ 歯 科 医 師	81(27)
	薬 剤 師	11
	診 療 放 射 線 技 師	12(1)
	臨 床 検 査 技 師	17(1)
	栄 養 士	2
	看 護 師	416(53)
	視 能 訓 練 士	3
	心 理 判 定 員	2
	精 神 保 健 福 祉 相 談 員	1
	保 育 士	8(1)
	保 健 師	1(1)
	電 気 技 師	1
	歯 科 衛 生 士	1
	言 語 聴 覚 士	2
	臨 床 工 学 技 士	3
	理 学 療 法 士	1
小 計	562(84)	
技 能 労 務 職	電 話 交 換 員	2
	機 関 員	5
	調 理 員	12(1)
	小 計	19(1)
合 計		598(85)

注1 「医師・歯科医師」の現員数は、非常勤医師、研修医師を除く。

2 () 外書きは、臨時的任用職員

(2) 看護單位別看護職員等配置狀況

看護單位	產科	NICU	GCU	ICU	HCU	救急	一般外科	循環器 主体A	循環器 主体B	学童 主体	内外科 混合	血液 主体	中央 手術室	外来	看護部	休暇	合計
稼働病床数	32	15	35	8	20	10	24	24	24	24	24	26					266
看護師定数	40	40	32	34	32	40	25	27	27	18	25	27	32	13	3		415
看護師現員数	40	40	32	34	32	40	24	27	27	25	25	27	32	13	3	48	469
内 訊	助産師	1													2		24
	看護師	39	32	34	32	40	24	27	27	25	25	27	32	13	1	48	445
	(男性)			2	2	4		1	2	1		1	4			4	21
合計	40	40	32	34	32	40	24	27	27	25	25	27	32	13	3	48	469
保育士							1	1	1		1	1					5
看護助手														1	1		2
補助業務 (業者委託)	1	1	1	1	1		1		1	1	1						9

5. 各種委員会

(1)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
総括マネージャー	院 長	平日毎日11時	院長室	10	前日のヒヤリハット事例

(2) 感染対策委員会活動記録

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
感染対策委員会 平成19年度 第9回	中尾 秀人	平成20年 1月11日	研修室A B	12	細菌分離状況(定例) 抗MRSA薬使用状況(定例) ICT活動状況報告(定例) 抗MRSA薬使用の届出の徹底について ウイルス疾患のアイソレーションについて
第10回	中尾 秀人	平成20年 2月8日	研修室A B	12	定例報告(、、) 感染対策マニュアル訂正について インフルエンザの発生率について 図書の購入方法の変更について 全自動細菌検査機器について
第11回	中尾 秀人	平成20年 3月7日	研修室A B	15	定例報告(、、) 感染対策マニュアル訂正について 予防接種と全身麻酔の施行時期の変更について
第12回	中尾 秀人	平成20年 4月11日	研修室A B	16	定例報告(、、) 麻疹抗体検査について
平成20年度 第1回	中尾 秀人	平成20年 5月9日	研修室A B	18	定例報告(、、) 感染対策委員会メンバーとICTメンバーの紹介 流行性感染症(特に麻疹)の抗体検査実施について 細菌検査報告書の変更について
第2回	中尾 秀人	平成20年 6月13日	研修室A B	13	定例報告(、、) 麻疹の流行について 予定手術患児の水痘ワクチンの接種について
第3回	中尾 秀人	平成20年 7月11日	研修室A B	15	定例報告(、、) 厚生労働省のサーベイランスについて 病院機能評価を受ける際の感染関連で改善すべき点について
第4回	中尾 秀人	平成20年 8月10日	研修室A B	18	定例報告(、、) 清掃業者、看護助手の感染講習会の開催について 全職員対象の感染講習会の開催について インフルエンザワクチン接種について 抗菌剤の長期使用について
第5回	中尾 秀人	平成20年 9月12日	研修室A B	17	定例報告(、、) 病院機能評価受審準備について 院内感染研修会開催報告

第6回	中尾 秀人	平成20年 10月10日	研修室 A B	15	定例報告 (、 、) 平成20年度上半期の細菌分離状況について 細菌検査報告書変更の説明
第7回	中尾 秀人	平成20年 11月14日	研修室 A B	15	定例報告 (、 、) インフルエンザワクチン接種について プリオン病感染予防ガイドラインについて 院内感染対策研修会について ウイルス感染の流行について
第8回	中尾 秀人	平成20年 12月12日	研修室 A B	12	定例報告 (、 、) H I V感染症チェックについて 咳エチケットポスター掲示について

(3)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
倫 理 委 員 会	中村 肇	2月5日 10:00~	応接室	7	1 小児におけるUGT1A1遺伝子多型 と塩酸イリノカテンの有害事象との関連 に関する研究 2 ダウン症候群に発症した小児急性骨髄 性白血病に対するリスク別多剤併用化学 療法の後期第 相臨床試験 (AML-D05)
倫 理 委 員 会	上谷 良行	6月4日 14:00~	応接室	8	1 剤形変更医薬品の投薬後の安全性・有 効性情報の収集・伝達方法の検討 2 脳性麻痺患児のエネルギー必要量の検討 3 2005年出生超低出生体重児3歳児予後 の全国調査
倫 理 委 員 会	上谷 良行	11月28日 10:00~	応接室	7	日本心臓血管外科手術データベースへの参加

(4)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
機 種 選 定 委 員 会	管理局長	不定期	会議室	9	200万円以上の医療機械の選定

(5)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
診 療 材 料 委 員 会	西島栄治	年4回 (6、9、12、2月)	研修室 A B	12	1. 新規診療材料採用申請の審議 2. JITSシステムデータを基にした診 療材料変更提案の審議

(6) 診療記録管理委員会

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
第 1 回	上谷 良行	平成20年 1月16日	研修室 A B	13人	外来カルテの様式、アレルギーの表示
第 2 回	上谷 良行	平成20年 2月27日	研修室 C	10人	外来カルテの様式、最重要事項連絡カード
第 3 回	上谷 良行	平成20年 5月27日	研修室 A B	12人	診療記録の記載マニュアルなど
第 4 回	上谷 良行	平成20年 9月10日	第一会議室	10人	治験の診療録の扱い、入院診療計画書など
第 5 回	上谷 良行	平成20年 12月 2 日	応接室	11人	医事システム更新に伴う病名表記
第 6 回	上谷 良行	平成20年 12月24日	応接室	12人	医事システム更新に伴う病名表記、 看護記録の変更

(7) 輸血療法委員会活動記録

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
平成20年度 第 1 回	小阪 嘉之	平成20年 7月31日	研修室 C	17	<ol style="list-style-type: none"> 1. 同意書の改訂について 2. 輸血過誤による A B O 不適合輸血時の 対応マニュアル作成について 3. 同種血マニュアル・自己血マニュアル 改訂について 4. 事例報告 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・輸血用血液処方箋の改訂について ・ R h 陰性血液の R h 陽性患者への使用 についての確認
平成20年度 第 2 回	小阪 嘉之	平成19年 11月21日	応接室	15	<ol style="list-style-type: none"> 1. A B O 不適合輸血時の治療指針について 2. 血漿分画製剤に関する説明の改定 3. 継続審議事項について <ul style="list-style-type: none"> ・同意書の差し替え予定について ・輸血用処方箋の改訂について 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ R C C の廃棄率の削減協力依頼 ・新生児病棟分割製剤の取り扱い (試行 案) について ・ I C U での R C C 保管について
緊急時輸血対応 マニュアル 院内周知		平成20年 4月16日 ～ 5月29日	関係部署	計216	<p>4月16日・17日：検査部説明会 (17名)</p> <p>4月17日：看護長会にて説明 (20名)</p> <p>4月18日：P I C U 看護師対象説明会 (40名)</p> <p>5月 1 日：O P 看護師対象説明会 (10名)</p> <p>5月 2 日：産科医師説明会 (15名)</p> <p>5月 7 日：麻酔科医師説明会 (10名)</p> <p>全医師対象お知らせ配布</p>

					5月13日：外科医師説明会（9名） 5月19日：循環器・心臓血管外科医師説明会（15名） 5月21日：医局会説明（60名） 5月27日・29日産科看護師説明会（20名）
--	--	--	--	--	---

(8)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
薬 事 委 員 会 第 1 回	山崎 武美	3月4日	研修室C	13	1. 採用医薬品 2. 採用中止医薬品 3. 薬剤情報提供
第 2 回	上谷 良行	7月31日	研修室C	12	1. 採用医薬品 2. 採用中止医薬品 3. 薬剤情報提供
第 3 回	上谷 良行	11月13日	研修室C	11	1. 採用医薬品 2. 採用中止医薬品 3. 薬剤情報提供

(9)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
治 験 審 査 委 員 会	大橋 正伸	2月8日	応接室	8	1. アトモキセチンの安全性報告及び逸脱報告 2. MRAの安全性報告及び治験実施計画の変更 3. プスルフェクスの安全性報告、重篤な有害事象発生報告及び逸脱報告 4. SM-26000の安全性報告 5. SME-3110の治験実施の可否
治 験 審 査 委 員 会	中尾 秀人	5月7日	応接室	9	1. アダリムマブの治験依頼書 2. アクテムラの安全性報告及び治験に関する変更申請書 3. プスルフェクスの安全性報告及び重篤な有害事象発生報告、治験に関する変更申請書 4. SM-26000の安全性報告及び治験実施計画変更依頼書・申請書 5. SME-3110の治験に関する変更申請書 6. アトモキセチンの安全性報告及び治験に関する変更申請書
治 験 審 査 委 員 会	中尾 秀人	6月26日	応接室	9	1. アダリムマブの安全性報告 2. SM-26000の安全性報告 3. プスルフェクスの治験に関する変更申請書 4. アトモキセチンの安全性報告及び治験に関する変更申請書 5. IDEC-C2B8の治験実施申請書

治験審査委員会	中尾 秀人	7月24日	応接室	9	<ol style="list-style-type: none"> 1. アダリムマブの安全性報告及び治験に関する変更申請書 2. SM-26000の安全性報告及び治験に関する変更申請書 3. SME-3110の治験に関する変更申請書 4. アトモキセチンの安全性報告及び治験に関する変更申請書 5. IDEC-C2B8の治験実施申請書
治験審査委員会	中尾 秀人	10月9日	応接室	7	<ol style="list-style-type: none"> 1. IDEC-C2B8の安全性報告及び治験に関する変更申請書 2. アダリムマブの安全性報告 3. プスルフェクスの有害事象報告、安全性報告及び逸脱報告 4. SM-26000の安全性報告 5. アトモキセチンの安全性報告 6. SME-3110の治験に関する変更申請書
治験審査委員会	中尾 秀人	12月17日	応接室	9	<ol style="list-style-type: none"> 1. JR-401の治験実施の適否 2. IDEC-C2B8の治験に関する変更申請書 3. アダリムマブの安全性報告及び治験に関する変更報告書 4. プスルフェクスの治験に関する変更申請書 5. アトモキセチンの安全性報告及び逸脱報告 6. SM-26000の安全性報告及び治験に関する変更申請書 7. SME-3110の有害事象報告及び治験に関する変更申請書

(10)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
リスクマネジメント部会 平成19年度 第9回	長嶋 達也	1月8日	研修室A B	24名	1. 各部署12月ヒヤリハット報告
第10回	長嶋 達也	2月12日	研修室A B	20名	1. 各部署1月ヒヤリハット報告 2. 医療安全報告会について
第11回	長嶋 達也	3月11日	研修室A B	24名	1. 各部署2月ヒヤリハット報告 2. 平成19年度の医療安全対策の取り組み 結果について 3. 転倒・転落発生時対応マニュアルにつ いて
リスクマネジメント部会 平成20年度 第1回	長嶋 達也	4月15日	研修室A B	24名	1. 各部署3月ヒヤリハット報告
第2回	長嶋 達也	5月13日	研修室A B	23名	1. 各部署4月ヒヤリハット報告 2. 平成20年度の重点取り組み項目について
第3回	長嶋 達也	6月10日	応接室	24名	1. 各部署5月ヒヤリハット報告
第4回	長嶋 達也	7月10日	研修室A B	22名	1. 各部署6月ヒヤリハット報告
第5回	長嶋 達也	8月12日	研修室A B	19名	1. 各部署7月ヒヤリハット報告 2. 医療事故報告
第6回	長嶋 達也	9月9日	研修室A B	20名	1. 各部署8月ヒヤリハット報告
第7回	長嶋 達也	10月14日	研修室A B	19名	1. 各部署9月ヒヤリハット報告
第8回	長嶋 達也	11月11日	研修室A B	21名	1. 各部署10月ヒヤリハット報告 2. 医療安全研修会開催について
第9回	長嶋 達也	12月9日	研修室A B	20名	1. 各部署11月ヒヤリハット報告

(11)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
平成19年度 第3回 栄養給食委員会	西島 栄治	平成20年 3月27日	研修室A B	9名	1. 平成19年度2月末現在の給食材料執行状況について 2. NST実施状況について <報告事項> 1. 平成20年度食品取引契約締結業者について 2. 平成20年度使用する新生児用粉乳及び低出生体重児用粉乳について 3. 産科及び本館病棟における温冷配膳車の導入について 4. その他
平成20年度 第1回 栄養給食委員会	西島 栄治	平成20年 5月7日	研修室C	9名	1. 適温配膳車の導入について 2. 平成20年度栄養指導課における検討事項について 3. 平成19年度ひやりはっと集計結果について
平成20年度 第2回 栄養給食委員会 第8回 NST部会合同会議	西島 栄治	平成20年 11月27日	研修室A B	12名	1. 適時適温の実施について 2. 栄養管理ソフト更新に伴う調整乳個別対応の方法について 3. 食事箋締め切り時間と食札回収時間について 4. 12月イベント食について 5. NST活動について
平成20年度 第3回栄養給食委員会 第9回NST部会 合同会議	西島 栄治	平成20年 12月25日	研修室A B	13名	1. 食事箋の様式変更について 2. 栄養管理ソフト更新に伴う調整乳個別対応の方法について 3. 嗜好調査の結果について 4. NST活動について

(12) NST勉強会

テーマ	担 当	開催日時	場 所	出席者数
経腸栄養～合併症/ チューブ管理のコツ	(株)クリニコ 学術担当	平成20年 8月4日	研修室A B	81名
ミルクのいろはと試飲会	栄養指導課 谷口章子	平成20年 9月16日	研修室A B	43名
胃瘻栄養患者の 栄養サポート	医師2名 薬剤師 看護師 管理栄養士	平成20年 10月28日	研修室A B	97名
栄養評価のツール としての身体計測法 ～実技講習会～	アボット(株) 檜山幸司氏	平成20年 12月2日	研修室A B	20名

(13) 広報委員会

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
広報委員会 平成20年度 第1回	池尻 操子	平成20年 5月27日	コアラの 部屋	11名	平成20年度計画 1. 広報誌「げんきカエル」発行 2. 2008「診療のご案内」発行 3. ホームページ更新 4. 年報発行
第2回	池尻 操子	平成20年 6月23日	研修室C	8名	広報誌「げんきカエル」22号スケジュール と役割分担 原稿依頼先決定
第3回	池尻 操子	平成20年 7月11日	研修室A B	5名	22号原稿確認・レイアウト
第4回	池尻 操子	平成20年 9月9日	研修室A B	7名	広報誌「げんきカエル」23号スケジュール と役割分担 原稿依頼先決定
第5回	池尻 操子	平成20年 9月30日	7F会議室	7名	23号原稿確認・レイアウト
第6回	池尻 操子	平成20年 11月6日	研修室C	9名	広報誌「げんきカエル」24号スケジュール と役割分担 原稿依頼先決定
第7回	池尻 操子	平成20年 11月27日	7F会議室	8名	24号原稿確認・レイアウト

(14) 外来運営委員会

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
第1回	上谷 良行	平成20年 7月29日	研修室C	10人	外来診察枠の拡大、形成外科の問題
第2回	上谷 良行	平成20年 8月5日	研修室C	10人	外来診察枠の拡大、アレ科の負荷試験、 外来待ち時間調査
第3回	上谷 良行	平成20年 9月2日	研修室C	12人	待ち時間調査、中待ち合い廃止、再来受付 機
第4回	上谷 良行	平成20年 11月4日	研修室C	10人	診察枠拡大、待ち時間調査結果
第5回	上谷 良行	平成20年 12月25日	研修室C	11人	診察枠拡大、再来受付機

(15)

名 称	委員長	開催日時	場 所	出席者数	議 題
I T 化 推 進 委 員 会 第 1 回	上谷 良行	平成20年 5月23日	応接室	18	<p>1. 今後のIT化の方針について 放射線オーダーについては病院局よりPACSを含めてFilmless化を進めるよう通達があった。 放射線部では、部内にWGをつくり、当委員会および関係各部署と連携をとりながら進めていく</p>
第 2 回	上谷 良行	平成20年 6月24日	応接室	13	<p>1. 第1回検査オーダーリングWG会議報告 ベンダーによる検査オーダーリングシステムの概要説明</p> <p>2. 放射線オーダーリングについて コベルコとの連携や端末の問題などはWGを作り、画像配信とともに順次進めていく。</p> <p>3. 栄養指導科「給食オーダーリング」について 食事費オーダーの仕組みを根本的にいじらなくてはならず、現時点でのオーダーリングはしない方が賢明である。</p>

教育研修活動

1. カンファレンス・勉強会

主催部署	名称	日時	場所	参加人数	テーマ	担当
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.8 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	2008ルーチン総括	溝淵 雅巳
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.10 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	先天性緑内障, 角膜混濁	秋田 大輔
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.15 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	早産早剥: 研究デザイン	岸本 佳子
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.15 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	副腎不全: プロトコール, 引継ぎ	吉形真由美
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	軽症 CDH, 全麻下帝切, LHR=2.24	吉田 加奈
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	11	CLDの胸部 CT: プロトコール	坂井 仁美
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.18 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	23週, 先天性敗血症, 緑膿菌, 敗血症性ショック	岸本 佳子
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.22 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	重症 CDH, 33週, 二期的開腹, 術後乳糜胸, DD 双胎	井手健太郎
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.24 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	DCHとCLDの関連性	上田 雅章
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.24 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	晚期黄疸: プロトコール	秋田 大輔
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.29 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	TTTS, 心筋肥厚, NT-proBNP	田中 裕也
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.29 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	18トリソミー, PH, ポセタン使用第一例	坂井 仁美
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.31 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	TTTS, 27週, 早期 PDA クリッピング, オルプリン 無効例	岸本 佳子
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.1.31 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	HDC: プロトコール	溝淵 雅巳
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.5 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	Small Lung (DLS), 原因不明	井手健太郎
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.5 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	2007年新生児科統計	芳本 誠司
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.7 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	臍帯ヘルニア, 胸郭低形成, 14番染色体 UPD?	坂井 仁美
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.7 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	新生児痙攣の説明文	上田 雅章
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.8 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	23週, 重症 DLS	井手健太郎
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.12 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	食道閉鎖, 奇形症候群, Opitz BBB/G Syndrome?	田中 裕也
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.14 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	早産 IUGR	吉田 加奈
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.14 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	テガダーム論文	溝淵 雅巳
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.19 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	症例: NTED, 研究: MD 双胎のNTpro BNP	秋田 大輔
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.19 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	PHの管理: プロトコール	芳本 誠司
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.21 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	肝内AVM, PPHN	井手健太郎
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.21 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	近畿新生児研究会: DCHとCLD	上田 雅章
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.26 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	早産早剥	岸本 佳子
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.26 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	空腸閉鎖, 日齢0に手術	吉田 加奈
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.26 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	院内症例検討会: TTTSの出生評価と予後	秋田 大輔
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.28 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	重症仮死, ELBW, 高 Na 血症, 乏尿	田中 裕也
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.28 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	2007年感染対策統計	溝淵 雅巳
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.2.29 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	18トリソミー, 肺低形成症, 臍帯ヘルニア	岸本 佳子
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.3.4 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	TTTSにおける循環管理: まとめ	秋田 大輔
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.3.4 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	周産期新生児学会: 心臓腫瘍の6例	坂井 仁美
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.3.6 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	胎児肝腫大, 胎児水腫, ET 後死亡	岸本 佳子
新生児科	新生児科クリニカルカンファレンス	2008.3.6 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	周産期新生児学会: DCHとCLDの関連性	上田 雅章

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.3.7 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	カンジダ敗血症、腸穿孔、腹腔ドレーナージ時の肝皮膜下出血	田中 裕也
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.3.11 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	周産期新生児学会：IGF-1値とROPの発症の関連性	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.3.11 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	周産期新生児学会：CDHの管理	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.3.13 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	近畿小児科学会：TTTSにおける循環管理	秋田 大輔
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.3.13 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	未熟児貧血の説明文	田中 裕也
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.3.18 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	早産 IUGR の予後：まとめ	吉田 加奈
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.3.18 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	早産早剥：CAMは危険因子か？：まとめ	岸本 佳子
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.3.25 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	先天性喘鳴の説明文	田中 裕也
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.1 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	片側胸水貯留、超早産双胎児、胸水除去後のシヨッフ	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.3 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	未熟児無呼吸発作の説明文	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.3 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	24w1d 264g severe IUGR, PDAの管理	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.8 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	脳腫瘍、奇形腫、早産児、水頭症	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.10 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	小児科：IUGRにおけるLFDとSFD	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.10 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	小児科：HIEにおけるaEEG	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.15 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	地方会	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.15 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	小児科：多胎	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	地方会	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	APS：CLDの胸部CT	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.22 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	重症黄疸、遷延性低血糖、symmetrical SFD, Shilv er Russel Synd?	安部 信吾
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.22 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	APS：INDO 予防投与	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.4.24 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	8	APS：低血圧に対するHC	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.1 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	FLP 後 MD 双胎	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.8 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	28w VLBW, PROM, severe PVL	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.8 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	macrocephaly,脳形成異常,血管内溶血	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.13 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	成熟児,呼吸障害,肺出血, VSD	安部 信吾
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.13 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	APS 報告	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.15 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	13トリソミー, TAPVR, 手術適応	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.15 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	APS 報告	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.20 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	地方会：超早産児の早発型敗血症	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.20 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	地方会：メチルマロン酸血症	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.22 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	原因不明の重症仮死, HIE	中村 舞
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.22 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	ポッター症候群,多発奇形,9トリソミー	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.27 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	9	日齢3の発熱, 先天貧血	安部 信吾
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.5.29 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	研究計画：気管内保菌と予後	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.3 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	双胎, Marked IUGR, 胎便病, 腸穿孔, 腸瘻造設(最小例)	沖田 空

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.3 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	頭蓋内奇形腫、持続脳室内ドレナージ (20G PI カテーテル)	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.5 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	墜落産、重症仮死	安部 信吾
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.5 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文：低血圧に対するHC投与	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.6 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	13トリソミー、TAPVR、PH crisis	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.9 月 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	長期羊水流出、肺低形成症、PPHN	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.10 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	ALTE、無呼吸発作、成熟児	中村 舞
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.10 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文：CLDの胸部CT	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.12 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	胎便性腹膜炎、胎内発症？、短腸症候群	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.12 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文：DCHとCLD	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.17 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	HIEの一例、片側痙攣、Diffusion MRI 第一例、持続性シタリ脳波	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.17 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文：PDAに対するINDO 予防投与	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.19 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児懇話会：胎内発症の頭蓋内奇形腫2例	中村 舞
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.24 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	低血糖の管理	安部 信吾
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.24 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	細菌と肺障害	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.6.26 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	新生児血小板減少症	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.1 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：NOと薬物併用療法	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.1 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	周産期新生児：心臓腫瘍6例	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.3 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：FIRSとIL6	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.3 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	周産期新生児：DCHとCLD	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.8 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：気道細菌と予後	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.8 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	周産期新生児：CDHの管理法	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.10 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：早発型PVLの臨床像	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.10 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	周産期新生児：IGFとROP	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.17 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：超早産児の副腎機能	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.18 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：早発型PVLの臨床像	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.18 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：気道細菌と予後	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.22 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：TTTSとNT-proBNP	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.22 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児新生児：LLSに対するHC投与	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.24 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	超早産児のGER、左側臥位・腰臥位の有効性	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.29 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	重症黄疸、SAH、アルブミン使用	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.31 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	重症FIRS、PPHN、IVH4度	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.7.31 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	CHD、片側MCDK、奇形症候群、SOTOS?	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.5 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	地方会：二児ともPDA結紮術を行ったMD双胎	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.7 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	地方会：透析を要する腎不全を呈した胎児母体間輸血症候群	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.7 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	研究総括	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.12 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	NEC、血栓症、甲状腺機能低下	上田 雅章

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.12 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文：論文総括（1）、低血圧に対するHC投与	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.14 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	TA, AVB, TTN, ベーシングのタイミンク	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.14 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文（1）：CLDのCTスコア	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.19 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	VATER連合, PPHN, 尿道直腸瘻	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.19 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文：INDO予防投与	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.21 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	27w SFD, 腸穿孔, 双胎	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.21 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文：DCHとCLD	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.26 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	羊水過多, 意識障害, 多発性関節拘縮	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.26 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.28 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	先天貧血, AO不適合, FMT?	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.8.28 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	目的・対象・方法	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.2 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	ROP研究：目的・対象・方法	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.4 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	胎便性腹膜炎, Pseudocyst type	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.9 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	地方会：二児ともPDA結紮術を行ったMD双胎	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.9 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	内分泌研究会：低血圧に対するHC投与	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.11 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	21トリソミー, 胎内発症 TMD	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.11 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	地方会：透析を要する腎不全を呈した胎児母体間輸血症候群	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.16 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	未熟児懇話会：気管内吸引液による病態解析	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.18 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	上室性頻拍の診断と治療	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.18 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文総括（2）：結果と図表 低血圧に対するHC	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.19 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	27w SFD, 腸穿孔, 双胎, 開腹術反復	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.25 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	PGI2投与方法	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.25 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	18トリソミー, 腔水症	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.30 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文 考察 INDO予防投与	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.9.30 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	10	論文 方法・結果 DCHとCLD	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.2 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	重症仮死, フロッピーインフアント, 乳び胸, 不整脈	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.2 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	論文 結果と図表 CLDのCTスコア	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.3 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	18トリソミー, 肺高血圧, 肺気腫	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.7 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	胎盤早期剥離, SFD, 循環不全, CLD	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.9 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	PDA反復再開通, 重症 CLD	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.9 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	未熟児新生児：気道内保菌と予後	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.14 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	未熟児新生児：IL-6とCAM	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.14 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	未熟児新生児：早発型 c-PVL	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.15 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	両児PDAclippingを施行したTTTS症例	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.15 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	ROPの発症率低下の要因	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.16 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	12	難治性上室性頻拍	田村 彰広

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.16 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	未熟児新生児：TTTSとNT-proBNP	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.21 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	論文：緒言、症例提示	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.21 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	未熟児新生児：超早産児の副腎機能	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.23 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	急激な分娩進行を呈した早産児	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.23 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	未熟児新生児：LLSに対するHC投与	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.28 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	新生児の不整脈	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.10.28 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	未熟児新生児：NOと薬物併用療法	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.4 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	超早産 TTTS、心筋肥厚	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.6 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	VATER 連合	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.6 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	研究総括	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.11 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	古典的 PVL 症例	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.11 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	論文総括(3)：考察、要約	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.13 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	巨大肝血管内皮腫	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.13 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	論文	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.14 金 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	右 CDH の死亡例	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.18 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	右 CDH の治療例	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.18 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	PAS：IL-6と胎盤病理	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.20 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	先天性サイトメガロウイルス感染症	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.20 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	PAS：TTTSとNT-proBNP	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.25 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	四肢短縮症	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.27 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	論文：考察、要約	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.11.27 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	論文：考察、要約	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.2 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	未熟児懇話会：PHH	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.2 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	TAF	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.4 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	症例報告論文：考察	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.4 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	2009年研究計画	溝淵 雅巳
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.9 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	近畿小児科学会：新生児不整脈	小川 禎治
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.9 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	母体口唇ヘルペス	田淵 和宏
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.11 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	低カルシウム血症	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.11 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	2009年研究計画	上田 雅章
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.16 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	CMDと伝導路障害	岩谷 壮太
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.16 火 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	severe FGR	沖田 空
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.18 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	CHDを合併した severe FGR	山口 由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.18 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	2009年研究計画	坂井 仁美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.24 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	2009年研究計画	吉形真由美
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.24 水 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	2009年研究計画	芳本 誠司
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.25 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	緑膿菌敗血症	田村 彰広
新生児科クリニカルカンファレンス	新生児科	2008.12.25 木 午後4:00～5:30	NICUカンファレンスルーム	新生児科医師	2009年研究計画総括	溝淵 雅巳

検査放射線部勉強会

部内研修会

主催部署	日時	場所	テーマ	担当
検査・放射線部 (検査部門)	6月26日	検査技師室	日本超音波学会第81回学会の報告	上田
検査・放射線部 (検査部門)	7月30日	検査技師室	接遇リーダー養成研修に参加して	石川
検査・放射線部 (検査部門)	10月15日	検査技師室	第48回近畿医学検査学会 予演会 『セルダインにおける有核赤血球測定の検討』	八尾
検査・放射線部 (検査部門)	11月20日	検査技師室	第28回小児臨床検査研究会の報告	幸福

実習生の受け入れ

学校名	期間	人数
常盤短期大学衛生技術科 衛生技術科 3年生	8月25日～10月17日	1名
倉敷芸術科学大学 生命科学部生命科学科 臨床検査技師コース 3年生	9月10日～9月11日	1名
神戸大学医学部 保健学科 検査技術科学専攻 4年生	11月4日～11月21日	2名

名称	日時	場所	参加者
産科モーニングカンファレンス	毎朝 8 : 40 ~ 9 : 00	産科病棟詰め所	産科医師、看護師
周産期カンファレンス	毎月 16 : 30 ~ 17 : 00 (月が休日の場合は火)	産科外来指導室	産科・新生児科・小児外科・病理科医師、 看護師、検査技師、薬剤師
抄読会	毎金 8 : 20 ~ 8 : 35	産科病棟医師控え室	産科医師
ウィークエンドカンファレンス	毎金 16 : 00 ~ 16 : 30 (金が休日の場合は木)	産科病棟詰め所	産科医師、看護師、検査技師、薬剤部
MRIカンファレンス	奇数月最終週木の 17 : 00 ~	放射線科読影室	産科、放射線科医師、放射線技師
症例検討会	偶数月最終週月の 17 : 00 ~	産科外来指導室	産科医師

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	1月16日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科3名、外科4名、病理1名	1) 奇形腫 (0歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	1月23日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科3名、外科6名、病理1名	1) 神経芽腫 (3歳、女) 2) 神経芽腫 (15歳女) 3) 下腿腫瘍 (5歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、病理	2月6日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、脳外科3名、病理1名	1) AT/RT (1歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	2月13日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、外科4名、脳外科4名、病理1名	1) 上衣腫 (4歳男) 2) 視神経膠腫 (9歳女) 3) 神経芽腫 (15歳女) 4) 横紋筋肉腫 (0歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	2月18日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科4名、病理1名	1) 卵巣嚢腫 (12歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理	2月27日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科3名、脳外科3名、病理1名	1) 奇形腫 (0歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	3月5日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科3名、外科5名、病理1名	1) 神経芽腫 (0歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	3月12日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、外科4名、脳外科3名、病理1名	1) 横紋筋肉腫 (0歳女) 2) AT/RT (1歳男) 3) 視神経膠腫 (3歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	3月19日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科4名、脳外科3名、病理1名	1) 神経芽腫 (3歳男) 2) 上衣腫 (4歳男) 3) 視神経膠腫 (9歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、病理	3月26日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科6名、放射線科2名、脳外科3名、病理1名	1) AT/RT (2歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理	4月2日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科4名、外科5名、病理1名	1) 甲状腺腫瘍 (3歳男) 2) 大腿部腫瘍 (0歳男) 3) 胚細胞性腫瘍 (17歳男) 4) 星細胞腫 (1歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	4月30日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科3名、外科4名、病理1名	1) 胚細胞性腫瘍 (7歳女) 2) AT/RT (2歳女) 3) 頸部腫瘍 (0歳女) 4) 胚細胞性腫瘍 (17歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、眼科、病理	5月1日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、脳外科3名、眼科3名、病理1名	1) 奇形腫 (1歳女) 2) 網膜芽腫 (0歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	5月7日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科6名、病理1名	1) 腎芽腫 (0歳男) 2) 腎芽腫 (1歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、病理	5月8日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、脳外科3名、病理1名	1) 上衣腫 (4歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理	5月14日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科3名、外科5名、病理1名	1) 肝芽腫 (6歳男) 2) 胚細胞性腫瘍 (10歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理	6月4日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科45名、放射線科2名、外科3名、外科4名、病理1名	1) 腎腫瘍 (0歳女) 2) AT/RT (1歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理	6月11日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科45名、放射線科2名、外科6名、脳外科3名、病理1名	1) 神経芽腫 (1歳男) 2) AT/RT (2歳女) 3) 胚細胞性腫瘍 (11歳男)

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	6月18日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科5名、脳外科3名、病理1名、耳鼻科2名	1) 頸部腫瘍 (0歳男) 2) 腎芽腫 (1歳女) 3) 胚細胞性腫瘍 (11歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	7月2日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科6名、放射線科2名、外科5名、病理1名、耳鼻科1名	1) 神経芽腫 (1歳男) 2) 神経芽腫 (4歳男) 3) 頸部腫瘍 (0歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理、耳鼻科	7月16日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、脳外科4名、外科4名、病理1名、耳鼻科1名	1) 背部腫瘍 (6歳女) 2) 頸部腫瘍 (0歳女) 3) 上衣腫 (4歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理、泌尿器科	7月23日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科5名、眼科3名、病理1名、脳外科3名、泌尿器科3名	1) 胚細胞性腫瘍 (11歳男) 2) 横紋筋肉腫 (1歳男) 3) 網膜芽腫 (1歳女) 4) 髄芽腫 (3歳男) 5) 上衣腫 (4歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	8月6日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、外科4名、脳外科3名、病理1名	1) 胚細胞性腫瘍 (7歳女) 2) 神経芽腫 (13歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理	8月13日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、脳外科3名、外科5名、病理1名	1) 胚細胞性腫瘍 (10歳男) 2) 精巣腫瘍 (0歳男) 3) 腎芽腫 (1歳女) 4) 甲状腺腫瘍 (15歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、眼科、外科、病理	8月20日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、眼科3名、外科4名、病理1名	1) 甲状腺腫瘍 (12歳女) 2) 網膜芽腫 (1歳女) 3) 網膜芽腫 (1歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	10月1日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科6名、放射線科2名、外科6名、眼科3名、病理1名	1) 網膜芽腫 (0歳男) 2) 神経芽腫 (1歳男) 3) LCH (6歳男) 4) LCH (1歳男) 5) GIST (10歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	10月3日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科6名、放射線科2名、外科5名、病理1名	1) 縦隔腫瘍 (10歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理、耳鼻科	10月8日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科6名、放射線科2名、外科5名、病理1名、耳鼻科1名	1) 頸部腫瘍 (0歳女) 2) 胚細胞性腫瘍 (7歳女) 3) 胚細胞性腫瘍 (18歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、病理	10月15日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、脳外科3名、病理1名	1) 膠芽腫 (2歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、病理	10月22日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、脳外科3名、病理1名	1) 上衣腫 (7歳女) 2) 網膜芽腫 (4歳男) 3) 網膜芽腫 (1歳男)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、脳外科、外科、病理	10月29日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、脳外科3名、外科5名、病理1名	1) 髄芽腫 (4歳女) 2) 神経芽腫 (14歳男) 3) 奇形腫 (1歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	11月5日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科3名、外科5名、脳外科4名、病理1名	1) 胚細胞性腫瘍 (13歳男) 2) 横紋筋肉腫 (2歳男) 3) 胚細胞性腫瘍 (11歳男)

名称	主催部署	日時	場所	参加人数	テーマ
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	11月12日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科3名、外科4名、病理1名	1) 神経芽腫 (1歳女) 2) 腎芽腫 (1歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、脳外科、病理	11月19日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、外科6名、脳外科3名、病理1名	1) 奇形腫 (1歳女) 2) 髄芽腫 (3歳男) 3) AT/RT (0歳男) 4) LCH (0歳女) 5) 血管腫 (0歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、耳鼻科、病理	12月3日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科5名、放射線科2名、外科1名、外科6名、病理1名	1) 神経芽腫 (14歳男) 2) 血管腫 (0歳女) 3) LCH (0歳女)
腫瘍カンファレンス	血液腫瘍科、放射線科、外科、病理	12月17日 16:30~17:00	カンファレンス室	血液腫瘍科4名、放射線科2名、外科7名、病理1名	1) 奇形腫 (3歳女) 2) 肝芽腫 (15歳女) 3) 奇形腫 (1歳女)

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ
麻酔科カンファレンス	麻酔科	通年、毎日午前 8 時40分から 9 時	手術室内 麻酔医室	8 -14名	毎日の麻酔症例について 検討、情報交換を行う
麻酔科抄読会	麻酔科	隔週月曜、午前 8 時40分から 9 時	手術室内 麻酔医室	8 -14名	英文雑誌から麻酔関連論 文の紹介
麻酔科・心臓外科合同 カンファレンス	麻酔科・ 心臓外科	通年、毎日午前 7 時55分から 8 時 10分	ICU	10名程度	当日の心臓外科症例につ いてのカンファレンス

名 称	主催部署	日 時		場所	参加人数	テーマ
薬剤部勉強会	薬剤部	1月9日	午後5:45~6:00	薬剤部	10	症例報告会 産科
薬剤部勉強会	薬剤部	2月5日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	危険予知トレーニング 勉強会
薬剤部勉強会	薬剤部	2月6日	午後5:30~6:30	薬剤部	11	ヒューマトローベン3 製品勉強会
薬剤部勉強会	薬剤部	2月8日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	危険予知トレーニング 演習 -1
薬剤部勉強会	薬剤部	2月13日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	危険予知トレーニング 演習 -2
薬剤部勉強会	薬剤部	2月15日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	危険予知トレーニング 演習 -3
薬剤部勉強会	薬剤部	2月20日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	危険予知トレーニング 演習 -4
薬剤部勉強会	薬剤部	2月27日	午後5:30~6:30	薬剤部	11	ヒューマトローベン3 製品勉強会
薬剤部勉強会	薬剤部	2月28日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	危険予知トレーニング 演習 -5
薬剤部勉強会	薬剤部	3月6日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	危険予知トレーニング 演習 -1
薬剤部勉強会	薬剤部	3月12日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	危険予知トレーニング 演習 -2
薬剤部勉強会	薬剤部	3月12日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	製品勉強会 コンサータ錠
薬剤部勉強会	薬剤部	3月18日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	部内勉強会 抗菌剤耐性菌
薬剤部勉強会	薬剤部	3月25日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	メーカー説明会 ハベカシン注射液の用法 用量改訂について
薬剤部勉強会	薬剤部	3月26日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	製品勉強会 フィブラストスプレー
薬剤部勉強会	薬剤部	3月27日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	危険予知トレーニング 演習 -3
薬剤部勉強会	薬剤部	4月15日	午後5:30~6:30	薬剤部	15	製品勉強会 レバチオ錠
薬剤部勉強会	薬剤部	5月14日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 血液腫瘍科 「造血幹細胞 移植時にタクロリムスによる急性腎不全を きたした症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	5月21日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 循環器科 「ワーファリン におけるコントロール不良の症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	5月22日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	部内勉強会 血液腫瘍科 「血液腫瘍科 の使用薬剤について」
薬剤部勉強会	薬剤部	5月28日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 産科 「子宮収縮抑制剤に より肺水腫を起こした症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月4日	午前8:45~9:00	薬剤部	12	症例報告会 血液腫瘍科 「イホマイド により出血性膀胱炎を発症した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月4日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	製品勉強会 メドウェイ注
薬剤部勉強会	薬剤部	6月11日	午前8:45~9:00	薬剤部	12	症例報告会 循環器科 「アスパラカリ ウム散の服薬コンプライアンスにかんする 症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月11日	午後5:30~6:30	薬剤部	8	部内勉強会 循環器科 「循環器科の内 服薬」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月12日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	部内勉強会 産科 「切迫早産、妊娠貧 血、前期破水、PIHの薬」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月18日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 治験 「治験全般」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月25日	午前8:45~9:00	薬剤部	12	症例報告会 循環器科 「QT延長症候 群」
薬剤部勉強会	薬剤部	6月25日	午後5:30~6:30	薬剤部	11	部内勉強会 治験 「治験について(1)」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月2日	午前8:45~9:00	薬剤部	9	症例報告会 産科 「心疾患合併妊娠で の子宮収縮抑制剤使用症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月2日	午後5:30~6:30	薬剤部	8	メーカー勉強会 バンコマイシンの投与設 計
薬剤部勉強会	薬剤部	7月9日	午前8:45~9:00	薬剤部	9	症例報告会 血液腫瘍科 「MRTKに 合併した高カルシウム血症のコントロール に難渋した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月16日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 循環器科 「ドルナーの服 薬に関する症例」

名 称	主催部署	日 時		場所	参加人数	テーマ
薬剤部勉強会	薬剤部	7月16日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	部内勉強会 血液腫瘍科 「ALL・AML・悪性リンパ腫について」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月23日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 治験 「アトモキセチンについて」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月23日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	部内勉強会 循環器科 「心臓カテーテル検査・心血管造影」
薬剤部勉強会	薬剤部	7月30日	午前8:45~9:00	薬剤部	9	症例報告会 産科 「リトドリンの服薬コンプライアンスに関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月6日	午前8:45~9:00	薬剤部	12	症例報告会 循環器科 「小児の服薬コンプライアンス低下に関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月6日	午後5:30~6:30	薬剤部	11	部内勉強会 産科 「分娩について - 経膣分娩 - 」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月11日	午後5:30~6:30	薬剤部	11	製品勉強会 エクジエド懸濁用錠
薬剤部勉強会	薬剤部	8月13日	午前8:45~9:00	薬剤部	12	症例報告会 血液腫瘍科 「トポテシン増量により重度の下痢をきたし脱水に陥った症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月19日	午後5:30~6:30	薬剤部	12	製品勉強会 アクテムラ点滴静注用
薬剤部勉強会	薬剤部	8月20日	午前8:45~9:00	薬剤部	13	症例報告会 産科 「妊娠糖尿病インスリン使用に関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月20日	午後5:30~6:30	薬剤部	12	部内勉強会 血液腫瘍科 「造血幹細胞移植」
薬剤部勉強会	薬剤部	8月27日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「免疫グロブリン療法不応例の川崎病患児にウリナスタチンを使用した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月3日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 血液腫瘍科 「再発ALL症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月3日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	部内勉強会 循環器科 「川崎病について」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月10日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 循環器科 「ヨード系造影剤にアレルギーを持った症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月17日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 治験 「CRCとして反省した症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月25日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 循環器科 「PPH原発性肺高血圧に関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	9月25日	午後5:30~6:30	薬剤部	7	部内勉強会 産科 「帝王切開について」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月1日	午前8:45~9:00	薬剤部	10	症例報告会 産科 「吸入ステロイド使用中の妊婦への服薬指導について」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月1日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	部内勉強会 治験 「治験について(2)」 「抄録の書き方」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月7日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	研修報告会 日本病院薬剤師会研修報告
薬剤部勉強会	薬剤部	10月8日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 血液腫瘍科 「ネオオールの服薬コンプライアンスに関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月8日	午後5:30~6:30	薬剤部	12	部内勉強会 「小児発症難治性ネフローゼについて」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月15日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「乳糖の変化によりコンプライアンス不良となった症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月22日	午前8:45~9:00	薬剤部	11	症例報告会 産科 「産褥精神病の症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	10月22日	午後5:30~6:30	薬剤部	10	部内勉強会 SOAP方式の記録方法について
薬剤部勉強会	薬剤部	10月23日	午後5:30~6:30	薬剤部	9	製品勉強会 リウマトレックスカプセル

名 称	主催部署	日 時		場所	参加人数	テーマ
薬剤部勉強会	薬剤部	10月29日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	11	症例報告会 血液腫瘍科 「ATG製剤の試験投与について」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月 5日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	10	症例報告会 循環器科 「グレープフルーツとワーファリン相互作用」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月 5日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	9	研修報告会 がん治療学会
薬剤部勉強会	薬剤部	11月12日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	11	症例報告会 産科 「栄養機能食品と妊婦のビタミンA摂取に関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月12日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	10	部内勉強会 産科 「妊娠高血圧症候群について」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月19日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	10	症例報告会 治験 「リツキシマブ治験患者同意説明に出席して」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月26日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「体重増加を目的に低出生体重児用ミルクを使用していた症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	11月26日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	8	メーカー勉強会 気管支喘息について
薬剤部勉強会	薬剤部	12月 3日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	11	症例報告会 血液腫瘍科 「MTXの相互作用に関する症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	12月 3日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	10	部内勉強会 血液腫瘍科 「脳腫瘍について」
薬剤部勉強会	薬剤部	12月10日	午前 8 : 45 ~ 9 : 00	薬剤部	11	症例報告会 循環器科 「血球貪食症候群を併発した先天性心疾患の症例」
薬剤部勉強会	薬剤部	12月10日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	9	製品勉強会 デュロテップMTパッチ
薬剤部勉強会	薬剤部	12月16日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	7	部内勉強会 「麻薬管理について」
薬剤部勉強会	薬剤部	12月18日	午後 5 : 30 ~ 6 : 30	薬剤部	10	製品勉強会 アクトヒブ

症例検討会

第回	実施日	担当科	担当者	題 名	参加者人数	
					院内	院外
76	2008/1/10	救急集中治療科	佐治 洋介	脳低温療法	41	3
77	2008/1/24	麻酔科	森野 良蔵	小児における経食道エコー検査	36	0
78	2008/2/14	放射線科	北住 一哉	当院における MRI 撮影シーケンスについて	30	3
79	2008/2/28	新生児科	秋田 大輔	双胎間輸血症候群 “ 出生前評価と短期予後 ”	42	1
80	2008/3/13	小児外科	高野 洋一	肥厚性幽門狭窄症の治療	23	2
81	2008/3/27	眼科	永井 隆史	被虐待児症候群の眼症状について	12	3
82	2008/4/10	血液腫瘍科	川崎圭一郎	搬送時臨床的脳死状態であったランゲルハンス細胞性組織球症の1例 - 神経学的予後不良例の悪性腫瘍患者の管理について考える -	28	1
83	2008/4/24	産科	斎木 美恵	当院における超緊急帝王切開術 最近21例の検討	32	0
84	2008/5/8	アレルギー科	中岸 保夫	若年性関節リウマチ (J R A) 最新の知見	24	1
85	2008/5/22	精神科	前田 宏章	不登校と身体症状	19	2
86	2008/6/12	耳鼻咽喉科	大津 雅秀	当科における新生児聴覚スクリーニング後精密聴力検査の現況	20	3
87	2008/6/26	腎臓内科	寺岡 由恵	当院における膀胱尿管逆流症の予後調査と逆流性腎症のこれからの治療	17	2
88	2008/7/10	整形外科	竹内 正史	小児整形外科疾患における自己血輸血について	17	2
89	2008/9/11	形成外科	小野田素大	皮膚色素性疾患のレーザー治療について	14	3
90	2008/9/25	脳神経外科	山元 一樹	脳室-腹腔シャント機能不全-診断とピットフォール	21	0
91	2008/10/9	脳神経内科	青木 一憲	複雑型熱性痙攣はどの時点で集中治療の適応となるか	21	2
92	2008/10/23	代謝内分泌科	奥野美佐子	ターナー症候群における生涯健康管理	26	0
93	2008/11/13	心臓血管外科	圓尾 文子	気管狭窄を伴った心疾患の外科治療	36	0
94	2008/11/27	循環器内科	浅野 貴大	Eisenmenger 化した心室中隔欠損の1症例	32	0
参加者合計					491	28

名 称	主催部署	日 時	場 所	参加人数	テ ー マ	担 当
臨床病理検討会 (CPC)	血液腫瘍 科, 病理	平成20年3月14日 17時30分～19時	研修室 A B	30名程度	慢性活動性EBウイルス 感染症の治療難渋例	川崎・吉田

内科勉強会

日付	題名	出席者数	内容	発表者	ジャンル
2008/1/9	小児科：毎週水曜日、木曜日 16時より抄読会、症例検討会、予演会を実施している 創傷・熱傷創治療	10	疾患	大類 隼人	救急・集中治療
2008/1/10	骨髄非破壊性前処置を用い臍帯血移植を施行した頻回再発非ホジキンリンパ腫（NHL）の一症例	11	疾患	竹田 洋樹	血液・腫瘍
2008/1/17	小児固形腫瘍に対する・同種造血幹細胞移植の経験	15	疾患	長谷川大一郎	血液・腫瘍
2008/1/22	脳波のパターンによる院内CPA生存者の予後について・	12	抄読会	青木 一憲	救急・集中治療
2008/1/30	診断確定に1年以上を要した高安病の1例・	13	学会予演会	笠井 和子	免疫・アレルギー
2008/1/31	当院救急医療室における痙攣性疾患のまとめ	12	学会予演会	青木 一憲	救急・集中治療
2008/2/20	surviving sepsis campaign guideline 2008	11	文献	細川 悠紀	救急・集中治療
2008/2/21	急性心筋炎の診断と治療	15	文献	山本 哲也	救急・集中治療
2008/10/14	小児科：毎週火曜日8時、木曜日17時より抄読会、症例検討会、プロトコル改定勉強会を実施 頭部外傷	10	抄読会	澤田 杏子	事故・中毒
2008/10/21	肺炎	9	抄読会	林 耕平	感染症
2008/10/28	尿路感染症	11	抄読会	寺岡 由恵	感染症
2008/11/5	アナフィラキシー			笠井 和子	アレルギー
2008/11/5	気管支喘息	15	抄読会	三好 麻里	呼吸
2008/11/5	経口栄養剤	12	勉強会	谷口 草子	栄養
2008/11/11	敗血症	13	抄読会	安部 信吾	感染症
2008/11/13	頭部外傷	9	勉強会	澤田 杏子	事故・中毒
2008/11/18	低Na血症	12	抄読会	下岡 武史	水・電解質
2008/11/20	肺炎	15	勉強会	林 耕平	感染症
2008/11/20	尿路感染症	12	勉強会	寺岡 由恵	感染症
2008/11/25	症例検討	9	症例検討会	末田 彩	神経
2008/11/26	熱性痙攣	11	勉強会	永瀬 裕朗	神経
2008/11/27	症例検討	8	症例検討会	大槻泰一郎	神経
2008/12/2	痙攣重積	12	抄読会	青木 一憲	神経
2008/12/4	血液浄化	13	勉強会	田中亮二郎	呼吸
2008/12/9	weaning protocol	12	抄読会	細川 悠紀	呼吸
2008/12/11	気管支喘息	12	勉強会	三好 麻里	呼吸
2008/12/11	敗血症	13	勉強会	安部 信吾	感染症
2008/12/16	川崎病	15	抄読会	中岸 保夫	アレルギー
2008/12/18	低Na血症	12	勉強会	下岡 武史	水・電解質
2008/12/18	熱性痙攣	11	勉強会	永瀬 裕朗	神経
2008/12/25	症例検討	12	症例検討会	上羽由希子	

勉強会

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	テーマ	担当
周産期勉強会	NICU・GCU	5月19日	17:30~18:30	研修室AB	28	Let's Enjoy Neonatal Care	中尾医師
周産期勉強会	NICU・GCU	6月16日	17:30~18:30	研修室AB	54	CLD	坂井医師
周産期勉強会	NICU・GCU	7月28日	17:30~18:30	研修室AB	50	感染対策	溝淵医師
周産期勉強会	NICU・GCU	8月11日	17:30~18:30	研修室AB	47	新生児集中ケア認定看護師の役割と今後の活動	伊達認定看護師
周産期勉強会	NICU・GCU	9月22日	17:30~18:30	研修室AB	35	ROP	溝淵医師
周産期勉強会	NICU・GCU	10月20日	17:30~18:30	研修室AB	20	新生児看護学会発表予演会	
周産期勉強会	NICU・GCU	12月8日	17:30~18:30	研修室AB	26	黄疸	坂井医師
1年目勉強会	NICU	5月29日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	17	食育	プリセプター
1年目勉強会	NICU	6月24日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	11	栄養・ファミリーケア	プリセプター
1年目勉強会	NICU	8月29日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	10	入院受け	プリセプター
1年目勉強会	NICU	10月8日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	14	低酸素にさせないケア	プリセプター
1年目勉強会	NICU	11月16日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	11	情報共有	プリセプター
勉強会	NICU	7月9日	17:30~19:00	カンファレンスルーム	11	ラダー 対象 救急蘇生	救急蘇生グループ
勉強会	NICU	9月4日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	10	ラダー 対象 救急蘇生	救急蘇生グループ
勉強会	NICU	11月24日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	19	ラダー 対象 救急蘇生	救急蘇生グループ
勉強会	NICU	7月30日	17:30~19:00	NICU個室	14	加湿器勉強	
勉強会	NICU	8月4日	17:30~19:00	カンファレンスルーム	18	循環器疾患の基礎	
勉強会	NICU	8月20日	17:30~19:00	カンファレンスルーム	15	2年目勉強会 事例検討	
勉強会	NICU	9月15日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	19	ラダー 事例検討	
勉強会	NICU	9月18日	17:30~19:00	カンファレンスルーム	19	ラダー 対象 処置介助	
勉強会	NICU	10月20日	17:30~19:00	カンファレンスルーム	15	ラダー 前半 事例検討	
勉強会	NICU	10月22日	17:30~19:00	産科カンファレンスルーム	20	危機と危機介入	伊達認定看護師
勉強会	NICU	10月29日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	14	食道閉鎖・胃ろう	
勉強会	NICU	11月13日	17:30~19:00	カンファレンスルーム	18	ラダー 後半 事例検討	
勉強会	NICU	11月17日	17:30~19:00	第3会議室	14	輸液管理	
勉強会	NICU	11月26日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	14	髄膜瘤・腹壁破裂	
新人勉強会	GCU	9月11日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	15	腹部膨満常在する児の看護	山崎あ
新人勉強会	GCU	10月10日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	10	経口練習中の児の看護	山邊
新人勉強会	GCU	11月14日	17:30~18:30	カンファレンスルーム	10	アブニアのある児の看護	森脇

名称	主催部署	開催日	時間	会場	場所	参加者人数	テーマ	担当
新人勉強会	GCU	1月10日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		10	コット移床について	福田
新人勉強会	GCU	6月19日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		13	救急蘇生	木下・田丸
新人勉強会	GCU	10月17日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		15	救急蘇生	藤原・石原
ラダー1・2勉強会	GCU	8月26日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		13	IVH 患児の看護	青木
ラダー1・2勉強会	GCU	12月26日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		14	N-CPAP 装着中の児の看護	笠作
2年目救急蘇生	GCU	5月16日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		9	救急蘇生	藤原・高木
2年目救急蘇生	GCU	10月15日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		10	救急蘇生	藤原・高木
病棟救急蘇生	GCU	6月13日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		14	救急蘇生	上野・植山
病棟救急蘇生	GCU	12月10日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		15	救急蘇生	伊賀・後藤
感染勉強会	GCU	10月29日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		12	培養の見方・スタンダードプロシジョン	橋本
感染勉強会	GCU	11月28日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		16	培養の見方・スタンダードプロシジョン	橋本
災害勉強会	GCU	7月18日	17:30~18:30	研修室 A・B		16	停電	熊本・植山
災害勉強会	GCU	12月18日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		20	火災	熊本・植山
災害勉強会	GCU	1月30日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		8	火災	熊本・植山
病棟勉強会	GCU	7月14日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		10	直母(基礎編)	長谷・砂川
病棟勉強会	GCU	7月22日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		7	直母(基礎編)	長谷・砂川
病棟勉強会	GCU	1月20日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		13	直母(応用編)	長谷・砂川
病棟勉強会	GCU	8月16日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		18	接遇について	園・杉森
病棟勉強会	GCU	9月10日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		14	接遇について	園・杉森
病棟勉強会	GCU	11月21日	17:30~18:30	カンファレンスルーム		15	倫理について	石原・木下
勉強会	ICU	6月12日	17:30~19:00	研修室 C		22 4	呼吸器の原理と看護	西川・ME
勉強会	ICU	6月18日	17:30~19:00	研修室 C		23	救急蘇生	石本・村川
勉強会	ICU	7月10日	17:30~19:00	研修室 C		21	背景要因分析：ドレーン管理について	安全係
勉強会	ICU	7月22日	17:50~19:15	研修室 C		14	ICU における感染対策	感染係
勉強会	ICU	8月14日	17:30~19:15	研修室 C		18	事例検討：患者家族への対応で困った事例	看護ケア係
勉強会	ICU	8月26日	17:30~18:55	研修室 C		18	看護記録と質の保証、記録要項の理解	記録係
勉強会	ICU	10月3日	17:55~19:00	研修室 C		20	救急蘇生	中村・伊丹
勉強会	ICU	11月6日	17:40~19:00	研修室 C		22	日常場面でリスクに気づく。リスクを考える	安全係
勉強会	HCU	5月	17:30~18:30	研修室 A B		15	気管狭窄症の今後の治療について	西島医師
シミュレーション	HCU	5月	17:30~18:30	カンファレンスルーム		2	新人救急シミュレーション	深江
シミュレーション	HCU	6月	17:30~18:30	カンファレンスルーム		2	新人救急シミュレーション	横田
勉強会	HCU	6月	17:30~18:30	母と子の教室		14	多合指症の治療について	小野田

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	テーマ	担当
勉強会	HCU	7月	17:30~18:30	研修室AB	看護師 13	呼吸器の加湿について	中村 (臨床工学士)
勉強会	HCU	8月	17:30~18:30	カンファレンスルーム	看護師 10	心電図の基礎知識	長谷
勉強会	HCU	9月	17:30~18:30	7F会議室	看護師 25	移植時の食事について	下川・ 長谷川医師
勉強会	HCU	10月	17:30~18:30	カンファレンスルーム	看護師 15	骨髄移植におけるドナー決定からの流れ	川崎医師
勉強会	HCU	10月	17:30~18:30	カンファレンスルーム	看護師 10	看護研究について	菅野
勉強会	HCU	12月	17:30~18:30	7F第1会議室	看護師 15	ガン治療における晚期障害	林医師
勉強会	血液主体病棟	4月21日	17:30~18:30	学習室	看護師 7	記録	斎藤
勉強会	血液主体病棟	4月21日	17:30~18:30	学習室	看護師 7	検査データ 輸血 クリーンカーテン	田中
勉強会	血液主体病棟	4月	17:30~18:30	学習室	看護師 8	マッサージ	杉山
勉強会	血液主体病棟	5月19日	17:30~18:30	研修室C	看護師 14	1歳児のリハビリ	中田 (理学療法士)
勉強会	血液主体病棟	5月21日	17:30~18:30	学習室	看護師 6	化学療法	中尾
勉強会	血液主体病棟	5月23日	17:30~18:30	学習室	看護師 12	心不全	刈谷 (5B病棟)
勉強会	血液主体病棟	5月28日	17:30~18:30	学習室	看護師 7	検査	澤
勉強会	血液主体病棟	6月5日	17:30~18:30	7階会議室	看護師 10	フィジカルアセスメントについて	周藤
勉強会	血液主体病棟	6月23日	17:30~18:30	面談室	看護師 10	退院支援	岩田
勉強会	血液主体病棟	6月26日	17:30~18:30	学習室	看護師 15	化学療法	竹田医師
勉強会	血液主体病棟	6月	17:30~18:30	学習室	看護師 8	LTVの取り扱いについて	業者
勉強会	血液主体病棟	6月	17:30~18:30	学習室	看護師 7	症状マネジメント	松野
勉強会	血液主体病棟	7月11日	17:30~18:30	学習室	看護師 10	フィジカルアセスメント (術後)	馬場
勉強会	血液主体病棟	7月24日	17:30~18:30	学習室	看護師 7	リスクアセスメント	小野
勉強会	血液主体病棟	7月29日	17:30~18:30	学習室	看護師 10	フィジカルアセスメント (腹痛)	小林
勉強会	血液主体病棟	8月19日	17:30~18:30	学習室	看護師 12	フィジカルアセスメント (尿崩症)	松本
勉強会	血液主体病棟	8月20日	17:30~18:30	学習室	看護師 10	歯科口腔ケア	小澤 (歯科衛生士)
勉強会	血液主体病棟	8月	17:30~18:30	7階会議室	看護師 10	退院に向けての支援	長岡 (指導相談部)
勉強会	血液主体病棟	9月19日	17:30~18:30	学習室	看護師 10	マッサージ	菅野 (HCU)

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	テーマ	担当
勉強会	血液主体病棟	9月24日	17:30~18:30	学習室	看護師 10	フィジカルアセスメント(移植)	高尾
勉強会	血液主体病棟	10月21日	17:30~18:30	学習室	看護師 7	痛みのコントロール 概論	岩田
勉強会	血液主体病棟	10月31日	17:30~18:30	学習室	看護師 10	フィジカルアセスメント(発熱)	塚本
勉強会	血液主体病棟	11月27日	17:30~18:30	学習室	看護師 10	フィジカルアセスメント(呼吸障害)	澤
勉強会	血液主体病棟	12月21日	17:30~18:30	学習室	看護師 5	痛みのコントロール	松野
病棟勉強会	混合病棟	5月10日	17:30~18:30	産科外来	看護師 20	抱っこについて	看護長補佐
呼吸器勉強会	学童、混合病棟	5月14日	17:30~18:30	研修室C	看護師 10	LT Vについて	勉強会係
安全勉強会	混合病棟	5月28日	17:30~18:30	7階会議室	看護師 15	背景要因分析について	安全係
蘇生勉強会	混合病棟	6月10日	17:30~18:50	病棟	看護師 10	蘇生勉強会 基礎編	勉強会係
安全勉強会	混合病棟	7月14日	17:20~18:00	7階会議室	看護師 8	病棟に潜むリスクを考える	安全係
病棟勉強会	混合病棟	7月20日	17:30~18:30	7階会議室	看護師 11	ケアパッケージ	安全係
病棟勉強会	混合、学童病棟	8月7日	17:30~18:30	研修室C	看護師 15	斜視勉強会	勉強会係
呼吸器勉強会	混合病棟	8月29日	17:30~18:30	研修室C	看護師 7	ニューポート勉強会	呼吸部会委員
ケーススタディ	混合病棟	9月17日	17:30~18:40	7階会議室	看護師 15	糖尿病児の家族指導について	勉強会係
蘇生勉強会	混合病棟	9月29日~	カンファレンス 時間に	病棟	看護師 24	蘇生勉強会 挿管編	勉強会係
疾患勉強会	混合、学童病棟	10月21日	17:30~19:00	研修室A B	看護師 17	リツキサン治療について	勉強会係
ケーススタディ	混合病棟	10月23日	17:30~18:00	7階会議室	看護師 20	ネフローゼ症候群の患者の看護	勉強会係
ケーススタディ	混合病棟	10月31日	17:30~18:45	7階会議室	看護師 17	プライマリー看護を考える	勉強会係
ケーススタディ	混合病棟	11月26日	17:30~18:00	7階会議室	看護師 9	看護過程の展開	勉強会係
病棟勉強会	混合病棟	11月28日	17:30~18:30	7階会議室	看護師 13	摂食勉強会	摂食係
病棟勉強会	混合病棟	12月17日	17:30~18:40	母と子の教室	看護師 11	退院指導を考える	本田 (大学院生)
勉強会	学童主体病棟	4月14日	17:30~18:30	第一会議室	看護師 9	摂食ケアについて	摂食ケア部 会委員
ケーススタディ	学童主体病棟	4月16日	17:30~18:00	第一会議室	看護師 14	ケーススタディ発表会	教育委員
勉強会	学童主体病棟	5月13日	17:30~18:30	研修室A B	看護師 18	呼吸管理勉強会	看護長補佐
勉強会	学童主体病棟	5月21日	17:30~18:30	研修室A B	看護師 18	呼吸管理勉強会	看護長補佐
勉強会	学童主体病棟	6月20日	17:30~18:30	第一会議室	看護師 11	スタンダードプリコーション	感染委員
勉強会	学童主体病棟	6月26日	17:30~18:30	第一会議室	看護師 9	スタンダードプリコーション	感染委員
勉強会	学童主体病棟	7月29日	17:30~19:00	第一会議室	看護師 12	救急蘇生シミュレーション	蘇生係
勉強会	学童主体病棟	8月1日	18:00~18:30	第一会議室	看護師 5	背景要因分析	安全係

名 称	主催部署	開催日	時 間	場 所	参加者人数	テ ー マ	担 当
勉強会	学童主体病棟	8月7日	17:30~19:00	研修室C	看護師 14	斜視	野村医師
勉強会	学童主体病棟	7月29日	17:30~19:00	第一会議室	看護師 12	救急蘇生シミュレーション	蘇生係
勉強会	学童主体混合病棟	10月21日	17:30~19:00	研修室A B	看護師 17	治験薬リツキサン導入に向けて	下岡医師
勉強会	学童主体病棟	10月31日	18:00~18:30	第一会議室	看護師 9	手洗いについて	感染委員
勉強会	学童主体病棟	11月13日	18:00~18:30	第一会議室	看護師 10	手洗いについて	感染委員
勉強会	学童主体病棟	11月28日	17:30~18:30	第一会議室	看護師 16	背景要因分析	安全係
勉強会	学童主体病棟	12月17日	17:30~19:00	第一会議室	看護師 11	救急蘇生シミュレーション	蘇生係
勉強会	循環器A病棟	5月29日	17:30~18:30	5 A 食堂	看護師 14	人工呼吸器ケアの看護	林・樋爪・南あ
勉強会	循環器A病棟	7月21日	17:30~18:30	5 A 食堂	看護師 7	心不全について	森本
勉強会	循環器A病棟	8月15日	17:30~19:00	5 A 食堂	看護師 9	慢性心不全の治療薬	林・荒井・濱谷・川口・松岡
勉強会	循環器A病棟	8月27日	18:00~19:00	5 A 食堂	看護師 14	救急蘇生時の対応	松下・村上
勉強会	循環器A B病棟	9月5日	18:00~19:15	研修室C	看護師 12	安全対策勉強会 「KYTトレーニング」	和田・樋爪・竹村
勉強会	循環器A病棟	9月30日	17:30~18:30	5 A 食堂	看護師 14	新生児におけるボジショニング	南さ・森本・竹村
勉強会	循環器A B病棟	10月30日	14:00~14:30	5 A 食堂	看護師 医師 10 1	R S ウィルスについて	東谷・松岡
勉強会	循環器A B病棟	10月31日	17:30~18:30	母と子の教室	看護師 7	ロタ・アデノウイルス感染症について	河南・南あ・濱谷
勉強会	循環器A病棟	11月6日	17:30~18:30	5 A 食堂	看護師 15	T C P C 術後の看護	林・川口・樋爪
勉強会	循環器A B病棟	11月27日	14:04~14:50	5 A 食堂	看護師 栄養士 10 1	心不全とミルクについて	渡辺・永田
勉強会	循環器A病棟	12月17日	17:30~18:30	5 A 面談室	看護師 6	新生児の看護	南さ
ASD, VSD, PH 勉強会	循環器B病棟	7月29日	17:30~19:00	研修室C	看護師 8	ASD, VSD, PH の血行動態, 看護について	平
T O F 勉強会	循環器B病棟	8月25日	17:00~19:00	研修室C	看護師 9	T O F の血行動態, 看護について	下井、平井
安全対策委員勉強会	循環器A B病棟	9月5日	17:30~18:30	研修室C	看護師 17	KYT (危険予知トレーニング) について	安全委員 (中村)
P D A 開存勉強会	循環器A B病棟	9月22日	17:30~19:00	研修室C	看護師 8	PDA 開存の血行動態, 看護について	小林稚、佐野、赤木
IAA,COA 勉強会	循環器B病棟	10月28日	17:55~18:10	研修室C	看護師 8	手術前後の看護 (Bチーム活動)	平

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	テーマ	担当
不整脈勉強会	循環器B病棟	10月28日	17:45~19:35	研修室C	看護師 9	心電図の正常波形と不整脈について	佐伯、森松、下井
マッサーJ勉強会	循環器B病棟	11月21日	17:30~18:30	研修室C	看護師 5	心疾患を持つ患者へのフットマッサージ	大原
姑息術勉強会	循環器B病棟	11月26日	18:15~19:50	業者対心室	看護師 9	姑息術 (BT, PAB) の血行動態、看護について	吉武
摂食委員勉強会	循環器A B病棟	11月28日	14:30~15:00	循環器病棟	看護師 10	心疾患患者とミルクについて	松木
A S 勉強会	循環器B病棟	11月28日	17:48~18:15	研修室C	看護師 7	治療と看護について (Bチーム看護)	馬場
血液疾患勉強会	循環器B病棟	12月4日	14:20~15:00	循環器病棟	看護師 21	HLHについて	Aチーム
救急蘇生勉強会	循環器B病棟	12月19日	17:45~19:45	循環器病棟	看護師 12	救急蘇生の流れ、アンビューバグ構造について	吉武、小林久
1年目勉強会	一般外科主体	9月19・23日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	術前・術後の看護	プリセプター
1年目勉強会	一般外科主体	9月24日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	VUR・尿路感染患者の看護	プリセプター
1年目勉強会	一般外科主体	9月26日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	RT・ヘルニア・尿道下裂患者の看護	プリセプター
1年目勉強会	一般外科主体	9月27日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	水腎症患者の看護	プリセプター
1年目勉強会	一般外科主体	10月2日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	腸重積・イレウス・虫垂炎患者の看護	プリセプター
1年目勉強会	一般外科主体	10月7日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	胆道閉鎖患者の看護	プリセプター
1年目勉強会	一般外科主体	10月15日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	PS・食道閉鎖患者の看護	プリセプター
1年目勉強会	一般外科主体	10月27日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	鎖肛・ヒルシユ患者の看護	プリセプター
1年目勉強会	一般外科主体	10月28日	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 3	漏斗胸・GER患者の看護	プリセプター
新規配属者勉強会	一般外科主体	7月	17:30~18:30	病棟面談室	看護師 5	救急シミュレーション	プリセプター
合同カンファレンス	一般外科主体	10月29日	14:30~15:00	病棟Nsステーション	看護師 7	災害時の対策について	Bチーム
合同カンファレンス	一般外科主体	10月30日	14:30~15:00	病棟Nsステーション	看護師 7	尿道下裂のカテーテル管理について	Bチーム
合同カンファレンス	一般外科主体	9月24日	14:30~15:00	病棟Nsステーション	看護師 9	倫理について	看護補佐
合同カンファレンス	一般外科主体	11月2日	14:15~14:45	病棟Nsステーション	看護師 7	倫理について	看護補佐
勉強会	外来	5月30日	17:05~18:05	眼科外来	看護師 12	眼科外来における看護師の役割とは	大脇
勉強会	外来	6月30日	16:40~17:45	外来点滴室	看護師 9	アプノモニターの取り扱いについて	北條
勉強会	外来	7月31日	17:30~18:05	研修室A B	看護師 13	安全で確実なMRI検査を提供するために	北住放射線技師
勉強会	外来	8月29日	16:35~17:20	外来点滴室	看護師 10	外来ケアパッケージを活用して	東
勉強会	外来	9月26日	17:00~17:45	外来点滴室	看護師 10	各科での在宅支援へのとりくみ	小澤・北條
勉強会	外来	10月24日	16:45~18:40	外来点滴室	看護師 10	血友病患者の標準看護計画作成について	小澤
勉強会	外来	11月28日	17:00~18:05	外来点滴室	看護師 8	CISCについて	鎌田
勉強会	外来	12月24日	17:10~17:50	外来点滴室	看護師 13	スタンダードプリコーションに基づいた外来感染対策	中田
勉強会	産科	7月23日	17:30~18:15	産科外来保健指導室	看護師 26	術後創傷処置の包交について	喜吉医師

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	テーマ	担当
勉強会	産科	9月25日	17:30~18:30	産科外来保健指導室	看護師 13	病院機能評価について	杉友
勉強会	産科	9月26日	17:30~18:30	産科外来保健指導室	看護師 10	病院機能評価について	杉友
勉強会	産科	9月29日	17:30~18:30	産科外来保健指導室	看護師 5	病院機能評価について	中西
勉強会	産科	11月10日	17:30~18:45	産科外来保健指導室	看護師 27	グリーフケアについて	谷口・中村文
勉強会	産科	1月21日	17:30~18:45	産科外来保健指導室	看護師 27	乳房ケアについて	大納
勉強会	手術室	4月22日	17:00~18:00	手術室リカバリー	看護師 10	脳外科ステレオについて	原田・山元医師
勉強会	手術室	5月28日	17:00~18:00	手術室リカバリー	看護師 13	接遇の基本	原田・菊池
勉強会	手術室	6月30日	17:00~18:30	手術室リカバリー	看護師 16	手術室における経営感覚の醸成	菊池・医事課
勉強会	手術室	12月16日	16:40~17:40	手術室リカバリー	看護師 15	針刺し事故について	新谷
勉強会	手術室	10月24日	16:50~17:10	手術室リカバリー	看護師 16	日帰りにおける音楽療法	川崎・音楽療法士
勉強会	手術室 産科病棟	11月21日	14:00~15:00	手術室 産科病棟	看護師 9	超緊急帝王切開のコミュニケーション	手術室: 江藤・新谷・谷口 産科病棟、 産科医、 麻酔科医
勉強会	手術室	11月27日	17:00~18:00	手術室リカバリー	看護師 10	フィジック哲学・笑い療法士	原田
勉強会	手術室	12月3日	17:00~18:10	手術室休憩室	看護師 15	手術室の防災について	稲阿・鎌田
PALS 勉強会	救急	5月21日	17:45~	研修室 A B	看護師 20	BLS (講義・実技)	藤原
PALS 勉強会	救急	6月4日	17:45~	初療室	看護師 20	CPA シミュレーション	藤原
PALS 勉強会	救急	6月18日	17:45~	研修室 A B	看護師 17	呼吸基礎 (講義・実技)	栗田・藤原
PALS 勉強会	救急	7月2日	17:45~	初療室	看護師 13	CPA シミュレーション	藤原
循環基礎勉強会	救急	7月9日	17:30~	母と子の教室	看護師 23	循環基礎勉強会 (講義)	三澤・中越
PALS 勉強会	救急	7月16日	17:45~	研修室 A B	看護師 12	循環基礎 (講義・実技)	浅井・藤原
PALS 勉強会	救急	8月6日	17:45~	初療室	看護師 18	溺水 CPA シミュレーション	藤原
PALS 勉強会	救急	8月20日	17:45~	研修室 A B	看護師 12	不整脈について	藤原
PALS 勉強会	救急	9月3日	17:45~	初療室	看護師 8	頭部外傷シミュレーション	湯村
循環勉強会	救急	9月10日	17:30~	母と子の教室	看護師 20	循環 (PH) についての勉強会	浅井
PALS 勉強会	救急	9月17日	17:45~	研修室 A B	看護師 20	院内心肺蘇生アルゴリズムの一連の流れ	藤原
PALS 勉強会	救急	10月15日	17:45~	初療室	看護師 18	外傷についてのレクチャー	牧野

名称	主催部署	開催日	時間	場所	参加者人数	テーマ	担当
家族看護勉強会	救急	10月22日	17:30~	母七子の教室	看護師 19	危機状態にある家族への看護	浅井・森本・河野
PALS 勉強会	救急	11月5日	17:45~	研修室A B	看護師 13	PALS についてのレクチャー	牧野・坂本
PALS 勉強会	救急	11月19日	17:45~	初療室	看護師 15	外傷シミュレーションの流れ検証	藤原
神経基礎勉強会	救急	11月27日	17:30~	母七子の教室	看護師 15	神経基礎勉強会	大久保・湯村
PALS 勉強会	救急	12月3日	17:45~	研修室A B	看護師 10	PALS2005を学ぶ！基本エッセンス第1弾	藤原
PALS 勉強会	救急	12月17日	17:45~	初療室	看護師 20	外傷シミュレーション	藤原
PALS 勉強会	救急	1月7日	17:45~	研修室A B	看護師 8	PALS2005を学ぶ！基本エッセンス第2弾	湯村・藤原
PALS 勉強会	救急	1月21日	17:45~	初療室	看護師 16	外傷シミュレーション (出血性ショック編)	湯村
呼吸基礎勉強会	救急	1月27日	17:30~	母七子の教室	看護師 12	呼吸基礎勉強会	雲丹亀・平田・(PT中田)
災害ケアパッケージ	救急	1月	14:00~	病棟内		病棟内設備、避難経路確認シミュレーション	伊藤
災害ケアパッケージ	救急	1月	14:00~	病棟内	医師、 NS 全員 50	病棟内設備、避難経路確認シミュレーション	伊藤
災害ケアパッケージ	救急	1月	14:00~	病棟内		病棟内設備、避難経路確認シミュレーション	伊藤
災害ケアパッケージ	救急	1月	14:00~	病棟内		病棟内設備、避難経路確認シミュレーション	伊藤
災害ケアパッケージ	救急	2月16日	17:30~	初療室	看護師 17	中・大規模災害時の受け入れシミュレーション	伊藤

2. 看護研修

看護部の理念

命を守り、育てることに努力し、安心と満足が得られる看護の提供に努めます。

看護部方針

こどもの権利を守り、患者・家族の思いを尊重した看護を提供します。

看護の質の向上を目指し、安全と安心に繋がる看護を提供します。

患者を中心としたチーム医療の調整役として、主体的に行動します。

真の優しさと逞しさを備えた人間性を養い、自己研鑽に努めます。

平成20年度看護部目標

1. 安全で確実な看護の提供を行う
 - 1) 看護実践能力の向上
 - 2) 医療事故防止
 - 3) 感染防止
 - 4) 患者サービスの向上
2. 他部門との連携を図り、チーム医療を推進する
 - 1) カンファレンスの充実
 - 2) 患者・家族の医療への参加
 - 3) 退院支援
3. 病院機能評価受審に向けて取り組む
4. 経営感覚を醸成する
 - 1) 病床利用率の向上
 - 2) 5S (整理・整頓・清潔・清掃・躰) の推進
 - 3) ムダ、ムラ、ムリの排除

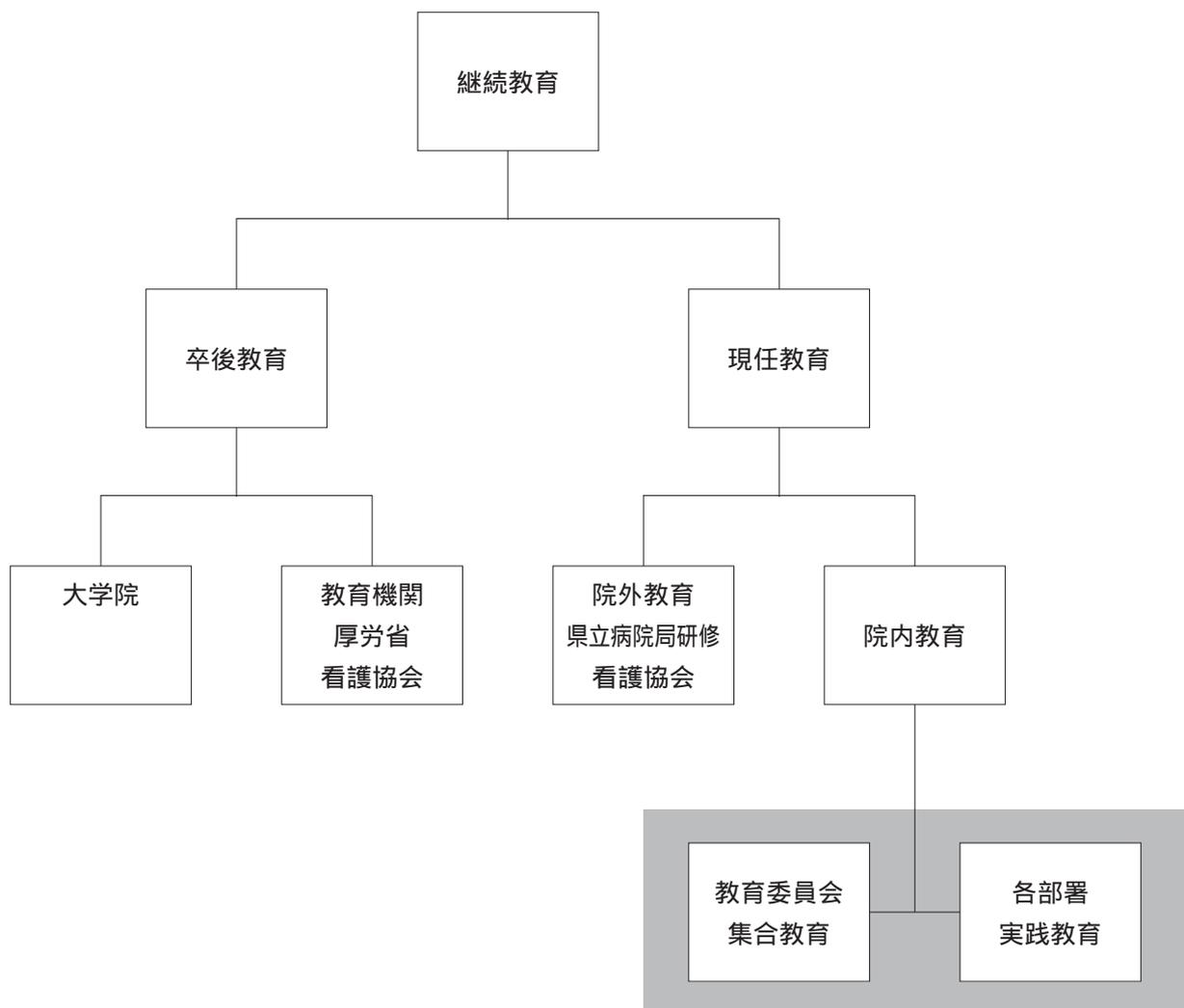
こども病院教育理念

病院・看護部の理念をふまえ、高度専門的医療に対応し質の高い看護が提供できる豊かな人間性を備えた看護師を育成する

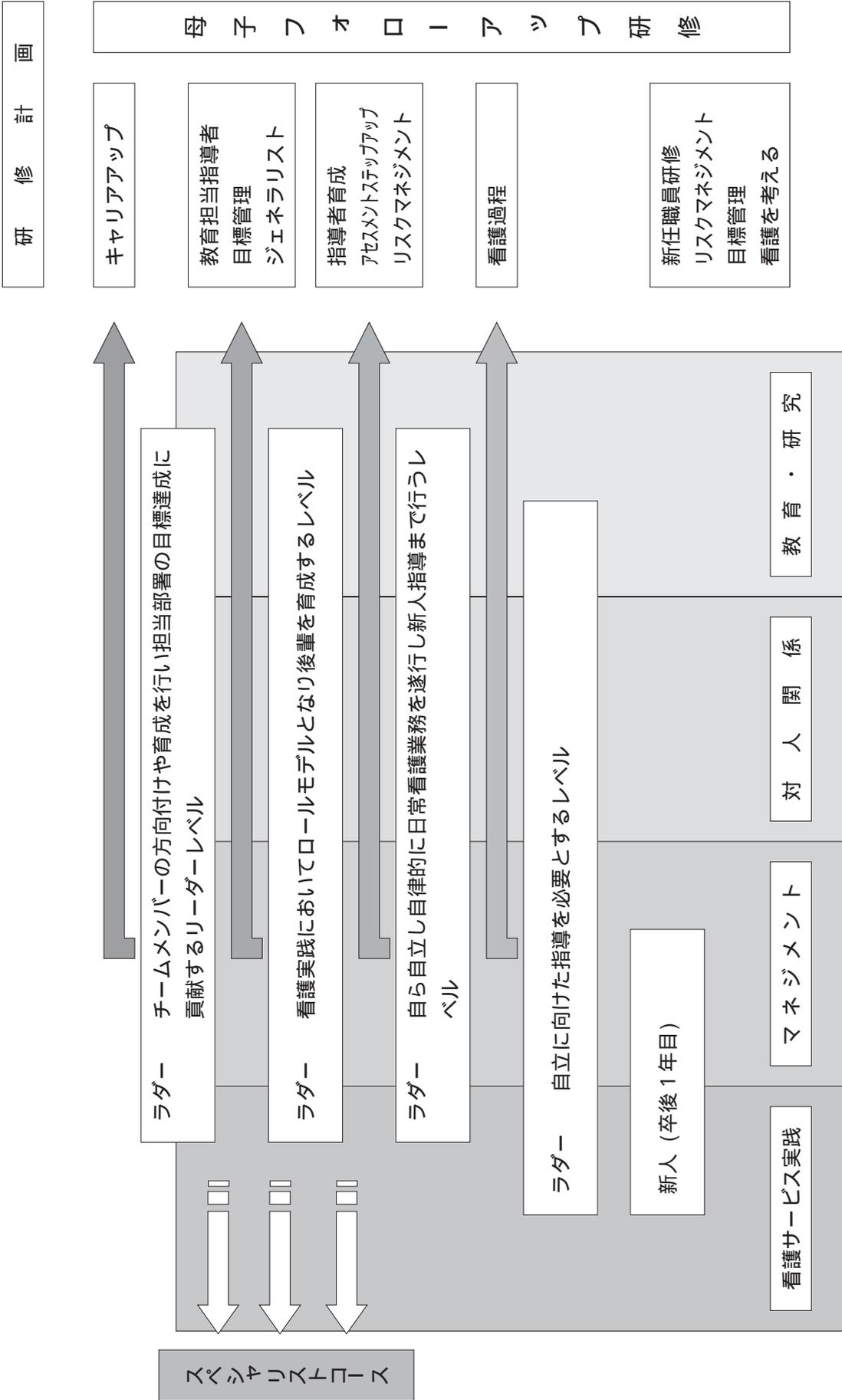
こども病院教育方針

1. 高度専門的な母子看護の知識・技術をもち、エビデンスに基づいた看護実践ができる看護師の育成
2. こどもの権利を守り、患者家族の思いを尊重できる看護師の育成
3. チーム医療の調整役として行動できる看護師の育成
4. 研究的視点で看護実践の改善がはかれる看護師の育成

こども病院継続教育の位置づけ



小児ジェネラリストの実践家として役割を認識し行動できる



平成20年度新規採用者・転勤者オリエンテーション実施表

2008. 4 . 7

月 日	オリエンテーションの内容	時 間	研修方法	講 師	担当者・備考	場所
4月1日 (火曜日)	挨拶・点呼 オリエンテーションの進め方、資料 配布、夜間タクシーチケットの利用 について、食事カードの配布、 辞令交付にあたっての注意事項等	9:00～9:10 正規、転入 13:30～ 年間・単年22条	講義	藤久保看護部 次長	看護部	研修室 A・B
4月2日 (水曜日)	オリエンテーション、事務連絡 開講式 新規採用看護職員自己紹介 看護部、看護長紹介 新人看護師に期待すること 小児医療における各部門の役割 放射線科、薬剤部、研究検査部、 総務部（医事課、栄養指導課） 昼休憩 看護部の理念と役割 新人に期待すること 社会人としての自律 こども病院看護師のあるべき姿 看護部の組織と委員会 ラダー、目標管理とキャリアアップ 総務部紹介 各種手続きについて、転居届けな ど総務関係の書類の記載 銀行の手続き 互助会保険 所属部署発表 ユニフォーム配布 病院案内（病棟・外来） ロッカー案内	8:30～9:00 9:00～9:05 9:05～10:00 10:00～10:20 10:20～11:20 11:20～12:00 12:00～12:45 12:45～13:45 13:45～14:30 14:30～15:30 15:30～15:45 15:45～16:00 16:00～16:20 16:20～17:00 17:00～	講義 講義 講義 講義 見学	幹部職員 各看護長 丸尾院長 藤久保看護部 次長 平山看護部長 尻看護長 松下総務課員 三井住友銀行員 職員互助会職員 平山看護部長 看護長（菰野・ 斉藤） 担当教育委員	教育委員1名 （小林） 藤久保看護部 次長 尻・春名看護長	研修室 A・B 研修生 53名
4月3日 (木曜日)	オリエンテーション、事務連絡 こども病院の診療内容の特徴 指導相談部・地域医療連携室との連 携 県職員としての心構え（県立病院の ありかた、こども病院の役割） 看護協会・さつき会・ボランティア 紹介 看護提供方式 昼休憩 看護記録 クリニカルパス、標準看護計画 情報開示、個人情報保護、看護記 録要綱 看護必要度と重症度に係わる評価表、 DPC について 事務連絡	8:30～9:00 9:00～10:00 10:00～11:00 11:00～11:30 11:30～12:30 12:15～13:00 13:00～15:00 15:00～16:45 16:45～17:00	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	上谷副院長 片岡総務部長 藤久保看護部 次長 細川看護長 下雅意看護長 檜田看護長 担当教育委員	教育委員1名 （深江） 尻・春名看護長	研修室 A・B 研修生 53名

月 日	オリエンテーションの内容	時 間	研修方法	講 師	担当者・備考	場 所
4月4日 (金曜日)	オリエンテーション、事務連絡 看護師の業務規定と法的責任 個人情報保護について 各期のこどもの特徴と看護 昼休憩 家族看護 子どもの権利と看護倫理、小児にお ける看護理論、小児におけるプレパ レーション 事務連絡	8:30～9:00 9:00～10:00 10:00～10:45 10:45～12:00 12:00～12:45 12:45～13:45 13:45～16:45 16:45～17:00	講義 講義 講義 講義 講義	平山看護部長 細川看護長 粟津教育委員 凧看護長 清水小児救急認定 看護師 担当教育委員	教育委員1名 (辻田) 看護長	研修室 A・B 研修生 53名
4月7日 (月曜日)	オリエンテーション、事務連絡 看護における防犯対策について スタンダードプリコーションと小児の感染症 昼休憩 看護業務の安全性 医療安全管理体制、医療事故等緊 急連絡体制、ヒヤリハット用紙、 与薬のルール、小児の安全性 各部署へ挨拶 閉講式、事務連絡	8:30～9:00 9:00～9:45 9:45～11:45 11:45～12:30 12:30～14:30 14:30～16:30 16:30～17:00	講義 講義 講義	担当教育委員 三宅主任 時吉看護長 河野看護長 各看護長 平山看護部長 藤久保看護部次長 檜垣看護部次長 足立看護部次長	教育委員1名 (中村) 凧・春名看護長	研修室 A・B 研修生 53名

研修コース	新人	新人	新人	新人	新人
研修会名	1ヶ月フォローアップ・放射線従事者研修	リスクマネジメント・救急蘇生	リスクマネジメント・救急蘇生	目標管理	看護を考える
研修月日	4月22日(火)	5月29日(木)	5月29日(木)	6月24日(火)	平成21年1月27日(火)
研修時間	13:00~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	13:00~17:00
研修のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 就職後1ヶ月間の思いを共有し今後の看護意欲につなげる 同期入職仲間と思いを共有し、今後の仕事意欲につなげる 	<ol style="list-style-type: none"> 療養環境の安全性について考えられる 看護チームにおける自分の役割を理解し、メンバースhipについて考えられる PALSの基本行動が指示の元でできる 職後2ヶ月間の思いを共有し今後の看護意欲につなげる 	<ol style="list-style-type: none"> 日々の看護を目標をもって行える 就職後3ヶ月を振り返り、自己の課題を明確にする 	<ol style="list-style-type: none"> 日々の看護を目標をもって行える 仕事をすすめる大切さがわかる 自らを客観的に評価し、今後の課題が考えられる 6カ月後になりたい自分の姿を考え、目標達成のための具体的な行動が考えられる 	<ol style="list-style-type: none"> 日々の看護実践を通して、根拠を保持した看護を言葉にして話すことが出来る 6ヶ月間でできたこと、出来なかつた事の理由を整理することができる 小児専門病院内の看護師として求められる事を理解し、次年度の課題を明確にする
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 1ヶ月間の自分自身の頑張りを認め、気づきや不安を共有できる 日常の看護ケアについて根拠をもつて実践することの大切さがわかる 患者・家族・職員間におけるコミュニケーションのとり方について考えられる 患者の権利を守り個を尊重した看護実践とは何かを経験を通して考えることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 基本的な安全確認行動の必要性がわかり、自分の役割を認識した行動がとれる 療養環境の安全性についての不備に気づき、報告ができる ヒヤリハット報告の必要性が分かると、ミス、事故に気づき、必要な報告ができる 救急蘇生に必要な物品の準備が使用方法がわかる 救急時のメンバースhipがわかる 2ヶ月間の自分の成長を認められる 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア開発(初級段階)について学ぶ 目標設定について学ぼう 半年後の自己の課題を明確にする チェックリストを使用し、今後の自己の課題を明確にする 	<ol style="list-style-type: none"> 6ヶ月間の成果を発表する 実践事例を検討する 次年度の目標を設定する 	
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 社会人・職業人としてのコミュニケーションのとり方を考える 根拠をもった看護実践の必要性を理解する 今後の自己の課題を明確にする チェックリストを使用し、今後の自己の課題を明確にする 	<ol style="list-style-type: none"> 基本的な安全確認行動ができる メンバースhipを理解する 今後の自己の課題を明確にする チェックリストを使用し、今後の自己の課題を明確にする 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア開発(初級段階)について学ぶ 目標設定について学ぼう 半年後の自己の課題を明確にする チェックリストを使用し、今後の自己の課題を明確にする 	<ol style="list-style-type: none"> 6ヶ月間の成果を発表する 実践事例を検討する 次年度の目標を設定する 	
研修方法	GW 事後課題	GW 講義 救急蘇生実技 事後課題	GW 講義 救急蘇生実技 事後課題	講義 GW 事後課題	事前課題 発表 GW 事後課題
学習者	新規採用看護職員 36名	新規採用看護職員 42名	新規採用看護職員 42名	新規採用看護職員 32名	新規採用看護職員 30名
院内外講師		院内講師：教育委員 小林、清水 小児救急認定看護師	院内講師：教育委員 小林、清水 小児救急認定看護師	院内講師： 凧看護長	
教育委員の職務	教育担当看護長 藤久保次長 教育委員長 凧看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 泊、菊池	教育担当次長 藤久保看護長 教育委員長 凧看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 小林、深江、松野	教育担当次長 藤久保看護長 教育委員長 凧看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 小林、深江、松野	教育担当看護長 藤久保看護長 教育委員長 凧看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 深江、小林、松野	教育担当看護長 藤久保看護長 教育委員長 凧看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 深江、小林、松野
研修場所	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B

研修コース名	ラダー1	ラダー2	ラダー2	ラダー2
研修会名	看護過程の展開	アセスメントステップアップ研修	リスクマネジメント研修	指導者育成研修
研修月日	7月15日(火)	7月29日(火)	9月2日(火)	平成21年2月12日(火)
研修時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	13:00~17:00
研修のねらい	看護過程の展開を学び、日々の実践に活かすことができる	1. 根拠に基いた看護ケアを自立して実践できる能力を養う 2. 問題指向型の思考(クリティカルシンキング)の大切さが分かる	1. 小児看護における安全な環境の提供について考え行動できる	後輩指導の役割を理解し、主体的に後輩指導に臨める
研修目標	1. 小児看護における看護理論を理解する 2. 問題解決思考型での看護過程を理解する 3. 指導を受けながら提示事例のアセスメントができ、患者の問題点を抽出し、計画が立案できる	1. 科学的根拠に基いた看護判断ができる(判断を理論的に説明できる) 2. 問題の優先順位を的確に判断した看護ケアの立案ができる 3. 知識と経験・判断を実践に活かすことができる 4. 個別性を考え状況に応じた看護ケアの展開ができる 5. 看護実践の妥当性を評価し次の看護ケアプランへと発展させる方法がわかる	1. 当院の危機管理システム・看護部事故対策委員会の取り組みの実際を知る 2. 事例検討を通して陥りやすい事故要因について考え、防止行動が出来る 3. 事故発生時の対応方法が分かり実践できる 4. 自己の特性や効果的なコミュニケーション技法についての理解を深め事故防止に活かすことができる 5. 看護師としての自己責任の重さ・果たし方について考えることができる	1. 臨床現場におけるOJTとOffJTについて学ぶ 2. 後輩指導の役割について理解し、日々の業務の中で意識して関ることが出来る 3. 後輩への教育的関わり方の具体的な方法について学び実践できる 4. 後輩指導に求められる姿勢について考えられ実践できる 5. プリセプタージュを理解できる
研修内容	1. 事例を用いて看護過程を展開する 2. 小児看護に必要な看護理論を理解する 3. 自分が大切にしたい看護を明確にする 4. 今後の自己の課題を明確にする(ケーススタディー)	1. クリティカルシンキングについて学ぶ 2. 日常の看護ケアの科学的視点からの分析を行う	1. ヒヤリハット事例を検討する 2. 事故防止と発生時の対処について学ぶ 3. 看護師として自己の責任を自覚(メンバースhip)できる	1. 後輩指導に必要な姿勢とスキルを学ぶ 2. 自分自身に必要な知識や指導技術を考える
研修方法	講義 GW 事後課題 *ケーススタディー発表は自部署で計画	講義 GW 事後課題	講義 演習 GW 事後課題	講義 GW
学習者	ラダー 対象者 33名	ラダー 対象者 33名	ラダー 対象者 31名	ラダー 対象者 (今から後輩指導の役割につくスタッフ) 19名
院内外講師	院内講師：教育委員 深江	院内講師：教育委員 栗津	院内講師：河野看護師	院内講師：菅野小児専門看護師
教育委員の職務者	教育担当看護次長 藤久保看護次長 教育委員長 皿看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 深江、小林、松野	教育担当看護次長 藤久保看護次長 教育委員長 皿看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 瀬川、菊池、牧野、栗津	教育担当看護次長 藤久保看護次長 教育委員長 皿看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 深江、小林、松野	教育担当看護次長 藤久保次長 教育委員長 皿看護長、教育副委員長 春名看護長 教育委員 中村、土井、岡野
研修場所	研修室A B	研修室A B	研修室A B	研修室A B

研修コース名	ラダー3 (全体の計画)	ラダー3 (1回目)	ラダー3 (2回目)
研修会名	小児ジェネラリスト研修	変革理論基礎編	リスクマネジメント
研修日時	月1回 第3火曜日	9月16日(火)	10月21日(火)
研修時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
研修のねらい	小児専門看護師として、役割モデルとなり、こども病院内の看護の質を高める	1. 小児専門病院の看護師としての役割を理解する 2. 変革理論を理解し、変革推進者の役割行動が理解できる	1. 看護師の法的責任について理解を深め、患者が安心して医療を受ける環境づくりができる 2. リスクマネジメントに関する知識を持ち、自ら問題提起し、解決への提案ができる。
研修目標	1. 患者・家族の権利を尊重した看護実践ができる 2. 小児看護領域の専門性を高め、こども(個)に適した看護方法を創意工夫できる 3. 実践場面でリーダーシップが発揮できる	1. 小児専門病院の看護師としての役割を確認する 2. 小児専門病院看護師として期待される役割がわかり、目標を明らかにすることができる 3. 小児専門病院における役割モデルの概念化ができる 4. 変革理論の概要を理解する 5. 変革の必要性および変革過程を効果的に行う方法について理解できる	1. 看護業務規定・法的責任について理解する 2. 判例事例から、看護師の法的責任について考えられる 3. 所属病棟のリスク要因が明確にできる 4. 科学的裏づけに基づいた事故分析ができ、変革理論に沿って問題解決方法が考えられる 5. 看護におけるリスクマネジメントを説明できる
研修内容	毎回テーマに沿ってレポート提出	1. 役割モデルを理解する 2. 効果的なGWについて学ぶ 3. 変革理論を学び事例で展開する	1. 県立病院における医療訴訟の現状について知る 2. 看護業務規定や法的責任について学ぶ 3. 事例を用いて背景要因分析を行う
研修方法	講義 演習 GW 事前課題 事後課題 成果レポート作成及び発表	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題
学習者	ラダー3に該当する看護師 看護長が推薦、且つ、本人の研修出席意志がある臨床経験5年~10年(当院看護師歴1年以上)	ジェネラリスト研修生 10名	ジェネラリスト研修生 10名
院内外講師	院内講師(看護次長、看護長、教育委員、小児専門看護師、医師、保健師など) 院外講師(大学講師、病院局職員、地域の医療関係者など)	院内講師: 瓜看護長	院外講師: 病院局企画課課長補佐兼医療安全係長 毛利泰樹氏 院内講師: 瓜看護長
教育委員の職務	教育担当看護次長、教育委員長、教育副委員長、教育委員等	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 山岡、後藤、伊丹、泊教育委員	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 山岡、後藤、伊丹、泊教育委員
研修場所	研修室A B	研修室A B	研修室A B

研修コース名	ラダー3 (3回目)	ラダー3 (4回目)	ラダー3 (5回目)
研修会名	グループマネージメントとリーダーシップ	チーム医療	継続看護
研修月日	11月18日 (火)	12月16日 (火)	平成21年1月20日 (火)
研修時間	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00
研修のねらい	グループマネージメントがわかり、リーダーシップの発揮方法がわかる。	1. 小児専門病院におけるチーム医療について理解し、看護においてリーダーシップがとれる 2. こどもの権利を理解し、アドボケーターとしての役割について考え、実践できる 3. 小児専門病院看護師として看護のインフォームドコンセントが実践できる 4. チームの一員として患者・家族と共に看護ができる	1. 継続看護の重要性を理解し、地域との連携や社会資源を活用した退院指導ができる。 2. 在宅療養へ移行するための家族支援ができる。
研修目標	1. リーダーとしての自分の強み・弱みが分かり、自己を活かすことができる。 2. 自己の個性を最大限に活用した、リーダー像をイメージし、そのための課題を考えられる。 3. グループマネージメントが理解できる。 4. グループダイナミクスについて理解し、グループダイナミクスを活用するための自身の役割を理解できる	1. 現代社会におけるこどもの環境を知る 2. 小児専門病院のチーム医療の実践について述べる 3. チーム医療における看護師の役割について述べる 4. こどもの権利を理解し、家族が機能を果たすことができるように看護実践においてよき支援者になれる 5. アドボケーターとしての役割について考えられる 6. 小児看護における患者の意思決定の選択肢と予測される結果を明確にできる 7. 患者・家族の意思決定を支えることができる 8. 家族もチームの一員として考えることができる	1. 継続看護の必要性について理解する 2. 在宅支援の実践を理解する 3. 地域との連携の実際と社会資源の活用方法を理解する 4. 在宅療養のために必要な家族看護ができる
研修内容	1. 自己分析を行い、自分を知る 2. 集団理解とグループマネージメントスキルについて学ぶ 3. チーム年齢に応じたリーダーシップを考える	1. チーム医療について学ぶ 2. こどもの権利と倫理原則について学ぶ 3. アドボケーターの役割を考える	1. 在宅支援の実際を知る 2. 地域連携の役割と公的支援について学ぶ 3. 在宅支援のための自己の行動を考える
研修方法	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題
学習者	ジェネラリスト研修生	ジェネラリスト研修生 一般聴講生	ジェネラリスト研修生 一般聴講生
院内外講師	院内講師：平山看護部長	院内講師：清水小児救急看護認定看護師 泊教育委員	院外講師：塚口訪問看護ステーション所長 小林澄子氏 院内講師：指導相談部長 岡精神保健福祉相談員 春名看護長 泊教育委員
教育委員の職務者	藤久保教育担当看護長 舩教育委員長、春名教育副委員長 山岡、後藤、伊丹、泊教育委員	藤久保教育担当看護長 舩教育委員長、春名教育副委員長 山岡、後藤、伊丹、泊教育委員	藤久保教育担当看護長 舩教育委員長、春名教育副委員長 山岡、後藤、伊丹、泊教育委員
研修場所	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B

研修コース名	ラダー3 (6回目)	ラダー3・4	ラダー3・4	ラダー3・4	ラダー3・4
研修会名	看護研究	ジェネラリスト発表会	ファシリテーター養成研修会	ファシリテーター養成研修会	ファシリテーター養成研修会
研修月日	平成21年2月18日(水)	平成21年2月18日(水)	6月12日(木)	12月10日(水)	
研修時間	8:30~11:45	17:15~19:00	13:00~17:00	8:30~12:00	
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 臨床実践の質を上げるための研究に率先して取り組むことができる。 小児専門病院の看護師として看護の質を高めるために、自己の果たすべき役割について行動計画が立案できる。 	<p>ジェネラリストとして取り組んだ研究を発表し、今後の自己の役割行動を再確認できる</p> <ol style="list-style-type: none"> 研究発表を行い、達成感や組織の改革を実感できる 取り組みの成果を共有できる 	<p>看護師のアセスメント能力が向上するよう事例検討ファシリテーターを育成する</p> <ol style="list-style-type: none"> 事例に関する問題解決技法を習得できる ファシリテーションについて理解し、事例検討における自己の役割を考えて行動できる 	<p>職場でのファシリテーター活動状況を報告し、自己の役割に関する問題点の共有及び対策を見出すことができ、所属でのファシリテーターを浸透させる</p> <ol style="list-style-type: none"> 各職場での実践を報告する 実践での問題点を抽出し、対策を検討する 	
研修目標	<ol style="list-style-type: none"> 日々の実践を研究の視点から検証できる 看護研究の方法について理解する 研究のまとめ方やデータ分析について理解する 半年間の自己の学びと課題について発表する 自己の課題をふまえて行動計画が立案できる 				
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 看護研究について学ぶ 研究計画書の書き方について学ぶ 研究論文の書き方について学ぶ 		<ol style="list-style-type: none"> 事例検討の進め方について学ぶ ファシリテーターの役割について学び、ロールプレイで実践する 		
研修方法	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	発表会	講義 GW	講義 GW	
学習者	ジェネラリスト研修生 10名	平成19年度ジェネラリスト研修受講者 11名	ラダー 対象者 16名	ラダー 対象者 16名	
院内外講師	院内講師：井上扶美 プレCNS		院外講師：濱田 CNS		
教育委員の職務	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 山岡、後藤、伊丹、泊教育委員	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 山岡、後藤、伊丹、泊教育委員	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 土井、岡野、中村教育委員	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 土井、岡野、中村教育委員	
研修場所	研修室A B	研修室A B	研修室A B	研修室A B	

研修コース名	ラダー3・4	ラダー3	ラダー3
研修会名	キャリアアップ研修	目標管理 成果発表会	目標管理とキャリア開発
研修月日	8月5日(火)	平成21年1月30日(金)	平成21年1月30日(金)
研修時間	8:30～17:00	13:00～17:00	8:30～12:30
研修のねらい	経験豊富な看護師として自己啓発やセルフコントロールを学ぶ、自分自身のキャリアアップを図るきっかけにする	マイプランの成果を自己の成長につなげることができ	1. 目標管理について理解し、自分自身が組織にとって大切な人材であることが確認できる 2. 生涯教育とキャリアアップの重要性について理解し、自己の能力評価およびキャリア開発計画を立案できる
研修目標	1. 各部署における自分の役割を認識できる 2. 自己の傾向を知り、役割遂行のための方策を考 えることができる 3. 自分のキャリア開発のための動機づけができる	1. マイプランの成果を発表することで、達成感や組織のプラスの変化を感じることができる。 2. 取り組みの成果を共有できる。	1. 目標管理の目的と方法が理解できる 2. 自己の能力評価を行い小児専門病院の看護師として のキャリア開発(能力・行動目標の設定)ができる 3. 自己の個性を最大限に活用する方法を知る 4. 変革理論について理解し質の高い看護を实践す るための組織変革の方法を考え実践できる (* 変革理論についてはシエネラリスト研修を受 講しておくことが望ましい)
研修内容	1. 看護職のキャリア開発について学ぶ 2. 生涯学習論を学ぶ 3. 自己啓発について学ぶ 4. 自己評価を行い、自己の傾向を知る 5. セルフコントロール方法と必要性を学ぶ	1. マイプランの成果を効果的に発表する	1. 目標管理とキャリア発達について学ぶ 2. 変革理論を用いた組織変革が考えられる
研修方法	事前レポート 講義 GW	発表会	講義 GW
学習者	ラダー・対象者 19名	ラダー 対象者 28名	ラダー 対象者 9名
院内外講師	院外講師：県立柏原病院看護部部長 箕浦 洋子		院内講師：藤久保看護次長
教育委員の職務者	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 土井、岡野、中村教育委員	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 土井、岡野、中村教育委員	藤久保教育担当看護次長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 土井、岡野、中村教育委員
研修場所	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B

研修コース名	ラダー3	ラダー3・4 (全体の計画)	ラダー3・4 (1回目)	ラダー3・4 (2回目)
研修会名	目標管理 成果発表会	教育担当指導者研修	兵庫県病院局主催臨床指導者研修	指導者役割の認識
研修月日	平成22年1月	月1回 第4火曜日	8月18日～20日	9月30日(火)
研修時間	13:00～17:00	8:30～17:00	8:30～17:00	8:30～17:00
研修のねらい	マイプランの成果を自己の成長につなげることができる。	新人看護師教育に関する組織的教育理念や教育目標を理解するとともに、教育に必要な知識・技術を習得させ、新人看護師等に対し効果的な教育ができる人材を育成する	自己の教育観を明確にさせ、臨床実習の意義を理解させるとともに、効果的な臨床実習指導及び現任教育(後輩育成)の実践に必要な知識・技術を習得させる	新人教育を行う組織的な取り組みを知り、指導者の役割を認識するとともに、指導知識・技術を深める
研修目標	1. マイプランの成果を発表することで、達成感や組織のプラスの変化を感じることができる。 2. 取り組みの成果を共有できる。	1. 新人看護師教育に関する知識・技術・態度を習得する 2. 新人看護師教育に関するプログラムの立案・運営・評価ができる 3. 教育環境を調整しながら、対象者の能力や個性に適した指導ができる 4. 教育経験を通して、教育者自身も成長する	1. 現任教育についての基本的な考え方に关する理解を深め、指導に活かす 2. 看護基礎教育について学び、教育課程に心じた指導方法を身につける 3. 教育全般にわたる教育や指導効果について考え方やとらえ方について学ぶ 4. 臨床実習指導の実際について学び、効果的な指導方法について考える	1. 新人教育の組織的取り組みを理解する 2. 教育担当者の役割を認識できる 3. 具体的な指導知識・技術を自己の中で考えられる
研修内容	1. マイプランの成果を効果的に発表する	毎回テーマに沿ってレポート提出	1. 青年心理学 2. 教育哲学・原理 3. 現任教育 4. 看護基礎教育課程 5. 教育評価 6. 臨床実習指導原理と実際	1. 今求められている小児看護 2. 教育プログラムの概要 3. プリセプターシップとプリセプター支援の方法 4. 指導者の役割 5. 指導の実際を考えたスキル 6. モチベーションコントロール
研修方法	発表会	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題
学習者	ラダー 対象者	ラダー3に該当する看護師 看護長が推薦、且つ、本人の研修出席意志がある臨床経験5年～10年(当院看護師歴1年以上)	教育担当者 14名	教育担当者 14名
院内外講師		院内講師(看護次長、看護長、教育委員、小児専門看護師、医師、保健師など) 院外講師(大学講師、病院局職員、地域の医療関係者など)	兵庫県大学 小寺 正一 近大姫路大学看護学部 増野 園恵 兵庫県立柏原病院 箕浦 洋子	院外講師：濱田 CNS
教育委員の職務	教育担当看護次長 教育委員長、教育副委員長 教育委員	教育担当看護次長、教育委員長、教育副委員長、教育委員等	兵庫県病院局主催臨床指導者研修	藤久保教育担当看護次長 血教育委員長、春名教育副委員長 荻野、牧野、粟津、菊池教育委員
研修場所	研修室A B	研修室A B	のじぎく会館	研修室A B

研修コース名	ラダー3・4 (3回目)	ラダー3・4 (4回目)	ラダー3・4 (5回目)
研修会名	指導案の立案	指導スキルの実際	指導案の評価と活用
研修月日	11月26日 (水)	12月10日 (金)	平成21年2月25日 (水)
研修時間	8:30~17:00	13:00~17:00	8:30~17:00
研修のねらい	新人看護師、プリセプターに対する現場における実践的な教育指導案を考える	指導案を用いて、実践的な指導が実施できる	1. 新人教育プログラムを用いたプログラムの評価を行う 2. 病棟としての新人教育プログラムへの理解を深めることができる
研修目標	1. 所属における新人教育に関する現状分析と課題が抽出できる 2. 新人看護師・プリセプターに関する教育プログラムの立案ができる	1. 指導案を用いて、各所属における実践指導のイメージができる 2. 具体的な指導場面を想定し、指導を行う	1. 指導案を用いておこなった結果を評価し、問題点について意見交換ができる 2. 指導案の修正ができる 3. 指導方法を確認しながら、実践への取り組みができる
研修内容	1. 各部署における新人教育に関する現状分析と課題の抽出 2. 各部署における新人看護師・プリセプター支援に関する教育プログラムの立案	1. 教育プログラムの立案と評価 2. 教育プログラムの実施シミュレーション 3. 具体的な指導スキルの展開	1. 指導案の評価 2. 指導案の修正 3. 指導方法の確認・実践への具体的な取り組みの明確化
研修方法	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題	講義 演習 GW 事前課題 事後課題
学習者	教育担当者 14名	教育担当者 14名	教育担当者 14名
院内外講師	院外講師：濱田 CNS	院外講師：濱田 CNS	院外講師：濱田 CNS
教育委員の職務	藤久保教育担当看護長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 荻野、牧野、栗津、菊池教育委員	藤久保教育担当看護長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 荻野、牧野、栗津、菊池教育委員	藤久保教育担当看護長 瓜教育委員長、春名教育副委員長 荻野、牧野、栗津、菊池教育委員
研修場所	研修室 A B	研修室 A B	研修室 A B

母子フォローアップ研修

目的：プレパレーションについての知識・能力が向上し、こどもや家族に適したより良いケアを提供することにつながる

目標

- 1 プレパレーションの知識・技術が習得できる
- 2 院内におけるプレパレーションの取り組みを知り、より良い実践を考えることができる
- 3 プレパレーションについて院内で共通認識を持ち、方向性を確認できる

学習者：全スタッフ

開催：4回/年 1時間/回 (17:30~18:30)

研修日	研修名	参加者	講師	担当者	場所
6月27日	こどもの権利 プレパレーション概論	84名	清水小児救急看護認定看護師 鎌田皮膚排泄ケア認定看護師	教育委員 土井 松野	研修室A B
8月22日	ミニレクチャー プレパレーションの実際： 循B病棟ディスカッション	68名	井上プレ CNS 清水小児救急看護認定看護師 鎌田皮膚排泄ケア認定看護師	教育委員 小林	研修室A B
10月24日	ミニレクチャー プレパレーションの実際： 混合病棟ディスカッション	72名	菅野プレ CNS 清水小児救急看護認定看護師 鎌田皮膚排泄ケア認定看護師	教育委員 栗津	研修室A B
12月15日	プレパレーションの実際： OP室ディスカッションまとめ (当院における方向性)	77名	清水小児救急看護認定看護師 鎌田皮膚排泄ケア認定看護師	教育委員 菊池	研修室A B

平成20年度看護実践報告会

【目 的】日常の看護実践を科学的に分析し、結果を意味づけ、成果として発表する。

看護実践の成果を共有することにより小児専門病院としての看護の質の向上を図る。

日 時：平成21年2月21日（土）13：00～17：00

運営担当：三宅 典子 濱端 健一 前原 由紀

所 属 名	研 究 テ ー マ	研究メンバー
N I C U	在胎28～30週で出生した時の指摘環境と体温変動に 関係する因子の検討	関根 万葉 柳川瀬涼子 福田 理香 竹澤 絵里 伊達 尚美 竹井 朋子 菰野 朱美
G C U	酸素離脱の手順作成への取り組み	神田 麻衣 林 瑠美子 後藤 瑠美 杉森 恵美 三宅 典子 凧 真貴子
学童病棟	学童期の入院児に対する学習継続への援助	木村 真司 伊藤 宏美 岡村 道代 藤原 千草 細川 員巳
血液主体病棟	当病棟における復学支援についての現状と課題	田中亚希子 藤本 恵子 斉藤 美穂 中尾 裕美 高尾 健司 柏原 佳奈 松本 恵 小阪真由子 周藤 育子
外来	在宅外来における3年間の取り組みの経過と今後の 課題	北條佳代子 東 絵里 山村 福子 松本 祥江 大西 美樹 春名真巳子
I C U	優肌絆で皮膚トラブルが起こる児のシーネ固定の 工夫	田路久美子 井上裕美子 小林 千佳 古市たまき
循環器A病棟	頸部の色素沈着軽減を目指して～気管切開カニ ュラ固定用ひもを変更して～	村上 知也 川口由起子 竹村 奈央 今井 澄子
H C U	致死性骨異形成症患者児の腹部アプローチに関する 取り組み	横田 理永 夏末真砂子 大谷 操穂 島田恵梨華 家常栄里花 吉田知可子 菅野由美子 武田 志乃 足立久美子
内科外科混合病棟	腎生検を受ける児へのプレパレーション	栗林 佑季 歌枕 真子 橋口ゆかり 前原 由紀 岩崎 真弓 藤田真理子
循環器B病棟	摂食機能の獲得が妨げられた児への援助	松木 麻子 馬場 靖子 佐伯 和美 開保津直美 谷本江利子
循環器A病棟	胸部心臓脱児の行動制限緩和への看護実践	東谷 直子 柏木 朋子 林 京子
産科病棟	切迫早産の重症化予防における指導内容の見直し ～切迫早産予防VTRを活用した指導を通して～	末廣真由美 杉原 礼美 山口 恵子 中西亜希子 杉友 ユリ 檜田 隆子
中央手術室	日帰り手術室における術前オリエンテーションの 検討	本田千奈美 高橋 紫 藤原 真樹 高本 求 中山 佳代 片山 恵理 坂本 郁子 時吉あけみ
一般外科病棟	手術を受ける患者・家族への不安の軽減にむけて の援助～術後のイメージができる視覚的資料を用 いての術前説明	西埜 里美 黒田 陽子 藁代 裕美 西口 愛美 矢野 智美 岡野 恭子 豆崎 紀子 田原エリカ 斉藤富美代
救急医療センター	小児救急における家族への初期の危機介入～症状 が正しく“知覚”されるための看護アプローチ～	浅井 桃子 森本 佳世 河野 早苗 清水 称喜 河野 恵

委 員 会 名	テ ー マ	発 表 者
接遇部会	接遇部会報告	林 京子
記録委員会	当院クリニカルパスにおけるバリエーション分析の結果 報告	中村 孝子 大原三代子 松山 美穂 家納 郁江 吉田知可子

平成20年度 看護協会主催等研修会等参加実績

研 修 会	開催月日	救急	産科	NICU	GCU	HCU	ICU	手術室	血液	混合	学童	循環A	循環B	一般外科	外来	看護部	ME	合計
新人ナースの感染予防	8月26日										石井 亜季 松岡 真織							2
コミュニケーションと対人関係	10月3～4日					山下 美希	笠木 憲一 稲岡 真弓			北嶋 麻衣 田中 彩子								5
キャリアアップ研修	6月20日				要 登志美		古野 健治 松岡 富子		若藤 美穂			田中あゆみ						3
生き生きとした職場活性のためのコーチング	7月7日																	2
看護に活かす栄養管理	7月25日		大北 正子	山本 陽子														2
実践事例から考える家族看護	9月5～6日	森本 佳世		福田 理香		川野 森子				小林 牧		川口由起子 森松 舞						6
災害看護の基本と看護師の役割	9月26日	伊藤 祥子								岡田 有希			吉竹 慎治					3
今日から始める感染防止	7月31日 1月23日	山本 文		深田美重子			染谷 陽子	新谷 茜	中尾 裕美	菊池美穂子				西埜 里美				7
これからの看護記録	10月7日 11月14日	西辻 真奈		伊藤弥智子		吉田知可子	宮本 清美	坂田衣久美		中野 幸子	吉矢 智子	南 亜耶		佐々木 愛				9
摂食・嚥下リハビリテーションと看護援助	11月29日 3月6日			大元 涼子		高木のぶ子								歌林真子 茨木美鶴				5
ベッドサイドで取り組む退院支援	12月16日									栗林 佑季 小椋 輝美								2
スタッフナースとして取り組む医療安全	12月9日	綾部由美子			神田 麻衣		山本 康代	藤尾 麻未	小野 里美				楠本 恵美					6
ファイジカルアセスメント (循環器系・呼吸器系の入門)	10月10日	田中 絵里					西川 菜央	片山 恵理										3
終末期における看護の役割	11月21日						中谷 弥生											1
臨地実習指導	7月9～10日 12月4～5日		中村 文		熊本 裕美	山本 あい			岩田めぐみ	浦上 和美	掛川 光香							6
看護職のストレスマネジメント	10月9日		袁代裕美		藤原 和代													2
退院調整における院内チームと地域連携 のシステム作り	1月15日					丹野 友美			川崎 紀子	馬道 優子				横山 経子				4
看護管理の基本的スキル	1月26日					深江登志子				橋口ゆかり		金気智代恵						3
臨床と看護学校の連携研修	8月19日			平井 詠子														1
ナーシングケアドボカシーと看護のイメージ アップ	6月16日						中村 亮子	原田 敬子										2
モニタリング技術を駆使した分娩経過と 乳房管理	6月24～26日		岸野 早希															1
NSTの導入と活動	10月24～25日			坂田 佳子										田原工リカ				2
一般病棟におけるメンタルケア	10月21日									坂上 朋子								1
医療リスクマネジメント	12月18日	辻田 利香													東 絵里			2
緊急時におけるアセスメントと看護	7月18・19日																	1
管理者が行うストレスマネジメント	11月18日		中西亜希子															1
スタッフの定着とラダー	12月13～14日					大中 清文												1
合 計		7	5	7	5	8	9	6	5	9	6	5	3	7	1			83
看護管理ファーストレベル	6/30～8/6												谷本江利子					1
看護管理ファーストレベル	10/27～12/4									藤田真理子								1
看護管理セカンドレベル	8/25～10/9										細川 真巳							2

研 修 会	開催月日	救急	産科	NICU	GCU	HCU	ICU	手術室	血液	混合	学童	循環A	循環B	一般外科	外来	看護部	ME	合計
医療安全管理者養成講習	10月6日間	河野 恵																1
看護管理者研修 (自治体病院協議会)	11月26~28日			菟野 朱美			下瀬 悠つる	時吉あけみ										3
周産期医療研修会	12月2~5日			平井 詠子	田丸 美里													2
成育医療研修会	12月8~10日									前原 由紀								1
日本周産期・新生児医学会公認 新生児蘇生法	2月7日 2月8日		檀田 裕佳里 藤原 洋美															2
合 計		1	2	2	1		1	1		2	1		1		1			13

新生児集中ケアと家族への支援	2月5~6日			関根 万葉														1
相手の力を引き出すフアンリターターズ	1月29~30日														鎌田 直子			1
期待されるこれからの外来看護	11月7~8日														北條 佳代子			1
安全を守る薬ミス発生のしくみ	9月24~25日				砂川 恭子													1
大切な人を失う人のグリーフケア	1月22~23日			井谷 洋美														1
患者と自分を守る手術看護	7月4~5日							菊池 真由美										1
ストレスマネジメントと看護管理	2月3~4日							時吉あけみ										1
看護必要度評価者 院内指導者研修	11月3日		倉田 隆子								細川 貞巳							2
合 計		1		2	1			2			1				2			9

平成20年度 学会等参加者

学会名	開催月日	救急	産科	NICU	GCU	HCU	ICU	手術室	血液腫瘍	混合	学童	循環A	循環B	一般外科	外来	看護部	IE	合計
日本小児ストーマ・排泄管理学会	4月26日														鎌田 尚子			1
日本小児救急医学会	6月20～21日	湯村、平田 清水																3
日本小児循環器病学会	7月2～4日		杉友 コリ				伊丹 照美											1
日本母性看護学会	6月21～22日																	1
日本緩和医療学会	7月4～5日								小野 里美									1
小児看護学会学術集会	7月26～27日					菅野由美子	井上 扶美											2
日本小児保健学会	9月25～27日	清水 称喜									文字 智子							2
日本摂食嚥下リハビリテーション学会	9月13～14日					森本 葉子												1
日本家族看護学会	9月13～14日										文字 智子							1
日本臨床工学会																		1
看護協会近畿学会	12月16～17日												平井 重世					1
兵庫県看護協会実践研究会	12月14日													西口 愛美 佐々木 愛 横山 経子				3
看護協会西部支部実践発表会	2月28日									浦上 和美								1
日本医療保育学会	6月7～8日											奥田 早苗						1
日本乳幼児教育学会	11月28～30日											奥田 早苗						1
日本新生児学会	10/31～11/1			井谷 洋美	林 理美子													2
近畿小児ストーマ・排泄・創傷研究会	12月13日														鎌田 尚子			1
日本体外循環技術医学大会	10月25～26日															横山 高司 中村 智裕		2
日本環境感染症学会	2月27～28日			鳴滝 由佳														1
合計		4	1	2	1	2	2		1	1	2	2	1	3	2		3	27

看護部

看護学生

看護学校名	実習名	実習生数	実習期間	実習病棟
兵庫県立大学 看護学部	総合看護	15名	平成20年 6月2日～6月27日	血液主体、混合、学童循環器A、 循環器B、一般外科
兵庫県立大学 看護学部	生涯健康看護実習	21名	7月7日～25日	血液主体、混合、学童循環器A、 循環器B、一般外科
	生涯健康看護実習	21名	10月6日～24日	血液主体、混合、学童循環器A、 循環器B、一般外科
兵庫県立大学 看護学部	インパクト実習	16名	8月5日～7日	血液主体、学童循環器A、 一般外科
兵庫県立大学 看護学部	総合看護技術実習	31名	12月8日～19日	血液主体、混合、学童循環器A、 循環器B、一般外科
兵庫県立大学 看護学部	出会い実習	21名	平成21年 2月2日～14日	血液主体、混合、学童循環器A、 循環器B、一般外科
兵庫県立 総合衛生学院 看護学科定時制	産科看護実習	6名×4G 5名×2G 4名×1G 計38名	5月22日・23日 6月5日・6日 6月12日・13日 7月10日・11日 10月16日・17日 10月30日・31日 11月6日7日	産科病棟
兵庫県立 総合衛生学院 助産学科	新生児看護実習	4名	平成20年 9月24日～26日	GCU病棟
		4名	10月1日～3日	
		4名	平成21年 1月7日～9日	
		4名	1月20日～22日	

看護部ボランティア

活動実績

ボランティアグループ	活動内容	活動時間
協会ボランティア (神戸生活指導研究会病院 ボランティア)	カルテのセット組・お絞リタオル作成・ 外来患者の案内・玩具の片付け外来・病 棟での患者の遊び相手	毎週月・金曜日10:30～15:00 総活動時間(H20年):1273時間 活動者数:23名
病院ボランティア (こども病院で募集)	外来・病棟での患者の遊び相手・玩具の 片付け・外来患者の案内縫製作業 など	月～金曜日 1～3回/週 活動者数:14名

ボランティアグループ	内容	開催日	担当者
協会ボランティア (神戸生活指導研究会病院 ボランティア)	交流会 (31名)	1月23日	桧垣 美香子 周藤 育子 細川 員巳 檜田 隆子 齋藤 富美代
	健康診断 (18名)	1月23日・30日	
	インフルエンザ予防接種	11月26・27・28日	
病院ボランティア	交流会 (24名)	1月30日	
	健康診断 (7名)	1月23日・30日	
	インフルエンザ予防接種	11月26・27・28日	
	ボランティア募集・受付	6月～8月	
	説明会・研修会・健康診断	9月26日・11月11日	
	* 11月より新ボランティアの方	3名 活動開始	
健康診断担当医師:佐本 崇 母性内科部長			

ボランティアグループ	内容	開催日	開催場所
AHVプログラム事務局	トークショー 田口壮選手・辻俊哉選手	1月24日 15:00～16:00	研修室A B
桐田 伸一 氏	マジック	6月25日 15:00～15:30	6階病棟 プレイルーム
フィーリングアーツ研究会	フィーリングアーツ (光と音の芸術)	6月30日 14:00～16:00 2回公演	研修室A B
ジャスパー瀧口 氏	マジック	9月17日 15:00～15:45	研修室A B
神戸大学児童文化研究会	人形劇	9月29日 15:00～15:45	研修室A B
神戸ハーバーライオンズ クラブ	クリスマス会	12月17日 15:00～16:00	周産期センター ロビー
ワンダーアート	クリスマス会	12月22日 15:00～16:00	研修室A B

看護長補佐会 <活動回数；11回>

<活動目的>

患者様やご家族が安心と満足を得られるよう看護長補佐としての役割を遂行し、看護の質の向上を図る

<目標>

1. 病院としての課題達成（機能評価受審等）に向けての取り組みを率先して実行できる
2. 看護師として責任ある行動が主体的に取れるようスタッフの育成を行う

<活動内容>

1. グループ活動

1) 記録向上グループ

患者・家族と共に立案する看護計画の指針の浸透と、記録の実施

2) カンファレンスグループ

カンファレンスの質向上と、看護の活性化

3) 受け持ち看護師支援グループ

固定チーム実践ガイドを活用し、ラダー、のスタッフを中心に受け持ち看護師の役割遂行

4) 倫理問題への取り組みグループ

倫理的に問題となりやすい事柄の認識と対策の検討

2. 各部署及び全体の年間固定チームナーシング実践評価

3. 病院機能評価に向けての取り組み

倫理ファイルの作成

身体拘束ガイドラインの作成

情報公開・個人情報保護マニュアルの改訂

4. その他

看護必要度導入にむけての啓蒙活動

看護実践報告会の企画運営（平成20年2月16日）

看護部目標管理発表会の企画運営（平成20年2月22日）

ふれあい看護体験の企画運営（平成20年7月29日、8月19日）

教育委員会 <活動回数；12回>

<活動目的>

1. さまざまな教育背景を持つ看護職員に対して、当院で看護を行っていくために必要な知識・技術の修得や態度を育成し、より質の高い看護ケアを提供できるように看護師個々を支援する。
2. 看護部の理念や目標を達成するために、看護師継続看護について企画・運営・評価を通して看護師個々の成長を図ることができるよう活動する。
3. 看護部における集合教育は、現場における日々の教育支援につながることや動機付けが主たるねらいであるから、現場における教育との関連性・継続性を図ることができるよう運営する。

< 目標 >

1. 新人看護師が看護師として必要な臨床実践能力を習得するための教育担当指導者を養成する
2. アセスメント能力・実践能力向上に向けて集合教育とOJTとの連動性・継続性をはかる
3. こども病院におけるジェネラリストの役割を認識し行動できる人材を育成する

< 活動内容 >

1. 新規採用者オリエンテーションの企画・運営（平成20年4月1日～7日）
2. 集合教育の企画・運営
 - 1) 新人：4回/年
 - 2) ラダー：1回/年
 - 3) ラダー：3回/年
 - 4) ラダー：3回/年
 - 5) ラダー：3回/年
 - 6) ジェネラリスト研修：ラダー 対象 6回/年
 - 7) 教育担当指導者研修：ラダー 対象 4回/年
 - 8) 母子フォローアップ研修（4回）全看護師対象 時間外研修
プリパレーション

安全対策委員会 < 活動回数；11回 >

< 活動目的 >

1. 看護事故防止対策の立案と監査システムの確立、定期的監査の実施、指導を行う
2. ヒヤリハット・事件事例の分析、評価を行い安全策を検討する
3. 必要時、業務委員会と連携を図り看護基準・手順の変更をする
4. 年間のデータ分析とまとめ

< 目標 >

1. 確認不足、思い込みによるヒヤリハット・事故を防止する対策を検討する
2. ヒヤリハット、事件事例の分析・安全策を検討する
3. ミスに繋がりそうな状況の改善を検討する

< 活動内容 >

以下の4つのグループで活動を行なった

1. 誤薬の防止：各病棟の特徴に合わせた対策実施、与薬忘れキャンペーン
終業時の確認行動の徹底
2. 転倒・転落の防止：リスクファクターの抽出と防止対策の実施
家族への防止対策：入院時のオリエンテーションの徹底とマニュアル使用状況遵守の調査
転倒転落防止マニュアルの作成
3. ライントラブル減少：輸液管理マニュアルの順守状況の調査と対策実施

輸液ライン安全確認キャンペーン実施

NGチューブの管理手順遵守の徹底・ラウンド調査

4. 広報：現場取材とタイムリーな情報提供、広報活動を行なう

毎月の新聞発行、臨時号外の発行を行ない、情報周知と再発防止に努めた

5. 病院機能評価に向けての活動：患者確認方法の手順作成

：指示受け時の転記防止に関する手順の作成

業務・手順委員会 <活動回数；11回>

<活動目的>

看護業務を見直し、当院で必要な看護基準・手順を作成し、安全で安楽な標準化したケアを提供する。

<目標>

1. 看護手順の基本となるものによって、手順の修正及び新規作成を行う。
2. 「業務の手引き」を作成する。

<活動内容>

1. 院内看護部看護手順の見直しと新規作成を行った。
2. 他部門との連携を含めた「業務の手引き」の作成を行った。

感染対策委員会 <活動回数；11回 >

<活動目的>

1. 院内感染対策委員会と連携し、感染防止を推進する
2. 院内感染防止対策の見直しと監査システムの確立、定期的な監査の実施と指導を行う

<目標>

1. ICTと連携して血流サーベイランス、環境サーベイランスを実施し、感染防止につなげる
2. 院内感染マニュアルの周知とスタンダードプリコーションの教育を行う

<活動内容>

1. リンクナースは各部署の感染状況を報告し、ICTメンバーと感染防止対策を検討した
2. 血流サーベイランスを2回（7，10月）実施、感染率を出し、結果を部署にフィードバックした
感染防止のためにCVポートの清潔操作の監査を6，9月に実施した
3. 環境感染監査を2回（8，9月と11，12月）実施し結果を部署にフィードバックした
4. 職員対象の感染対策研修会の看護部門担当を企画、実施した
5. 監視培養について「第24回日本環境感染学会」に発表した
6. 2007年作成の「リンクナースファイル」を評価、修正して教育に活用した

看護記録委員会 <活動回数；11回>

<活動目的>

1. 看護の可視化と質評価につながる看護記録ができる。
2. クリニカルパスを推進する。

<目標>

1. 看護記録用紙の改訂と記録監査の実施
2. クリニカルパスの改訂とバリエーション評価

<活動内容>

1. 質的監査ツールに基づき、7月・12月に全病棟で質的監査を実施した。
2. 看護記録と看護計画の連動に関する監査を毎月各病棟3例ずつ実施した。
3. 機械的監査ツールに基づき、7月・10月に全病棟で機械的監査を実施した。
4. 看護記録用紙を検討し、新看護記録2号用紙に変更した。
5. 新看護記録2号用紙の記載要項の作成と看護記録記載要項の見直しを行った。
6. クリニカルパスの使用状況とバリエーション分析を行った。
7. クリニカルパスのフォーマット、作成基準を明確にし、様式を統一し、MOに保存した。
8. クリニカルパスの見直しを行い、一部修正した。
形成外科：口唇裂、口蓋裂、顎裂、多合指症
外科：ソケイヘルニア、ロート胸、幽門狭窄症、甲状舌管嚢腫、食道静脈瘤
泌尿器科：尿路感染、停留精巣、VUR、尿道下裂、水腎症、腎摘、外陰部形成、二分陰嚢、尿道弁
9. 標準看護計画の取り扱い基準の見直しを行った。
10. 看護記録と看護計画の連動に関するモデルを作成し、看護が見える記録ができるよう啓蒙活動を行った。
11. 入院カルテに綴じる順番を決め、入院カルテ見本を作成した。
12. 略語集の見直しを行った。

臨床指導者会 <活動回数；6回>

<活動目的>

1. 臨床指導者の育成を図り、看護教育の質の向上を図る。
2. 看護教育について理解を深め、実習指導に必要な知識、技術を習得し効果的な実習指導ができる。
3. 看護学校との連携をはかるために、連絡会議を持つ。

<目標>

1. 患者様を優先した安全で有効な実習を行える環境が提供できる。
2. 学生指導を通して指導スキルの向上、自己成長ができる。
3. 各部署全体で指導スキルの向上ができるような教育的かわりができる。

< 活動内容 >

1. 実習の打ち合わせ、実習後評価、実習に関する学校との意見交換、事例検討などが教員と委員の間で行え、その情報をタイムリーに各病棟へ伝達することができた。
2. 指導者用ファイルの内容を充実させ、スタッフの学生指導スキルアップにつなげるように働きかけた。
3. 学生の受け入れや指導、学生理解に対する意識付けの為に実習新聞を5回発行した。
4. 指導スキルの向上、自己成長をはかるため、ミニ勉強会や、伝達講習、教員による講義などを計画的に行うことができた。
5. 委員と各指導者間の連携をはかるためのシステムとして、「実習経過表」を充実させた。また、「実習指導評価の視点」を作成し、指導者が各々の見方でなく、統一した視点で評価ができるように工夫した。
6. 臨床実習指導要領の見直しを行った。

領域別看護ケア向上委員会 呼吸障害ケア部会 < 活動回数 ; 11回 >

< 活動目的 >

1. 看護師の専門的な実践能力を向上し患者のQOLを高める
2. 個別の看護師が有する専門的な知識・技術を他の看護師(チーム)に還元できる
3. 委員はスタッフに必要とされる領域の看護を自主的に学習し、責任ある実践ができるように看護師を動機づける

< 目標 >

呼吸ケアの実践と教育において、現場に即した支援を行う

1. 安全で確実な呼吸ケア実践を支援する
2. 呼吸ケアの実践や教育に役立つ資料を充実する

< 活動内容 >

1. 呼吸ケア関連のヒヤリハット対策
部会での共有・対策検討(毎月)、病棟訪問活動(3回)、安全啓蒙の新聞作成(4回)
2. 事例検討、関連情報の共有
 - 1) 事例検討: 4例実施、呼吸理学療法やケアについて(一部PTと連携)
 - 2) 学会・研修報告: 県立病院局学会で「MEとの連携」について発表参加報告(研修1例、学会3例)
3. 院内ME、PTとの連携
ME: 関連機器や物品の管理について部会時間内で検討(毎月)(アンビューや吸入器の管理方法の改善、呼吸器リークチェックの徹底など)
PT: 呼吸理学療法に関連した事例検討(2回)
4. 勉強会の企画・開催
6回実施(院内ME、PT、地域連携室、各業者と連携)、平均参加人数53名
テーマ: 各種呼吸器の管理、呼吸理学療法、在宅支援など
5. 研修や各病棟での救急蘇生や呼吸ケアに関する勉強会支援

6. 関連マニュアルの整備、呼吸ケア指導方法の検討
- 1) 呼吸療法マニュアルの一部修正、改訂
 - 2) 呼吸ケア関連の看護手順作成
(酸素療法など6項目作成。気管内吸引について作成中)
 - 3) 補足教材の検討(各部署のニーズ調査。気管内吸引について動画作成予定)
 - 4) 各病棟の活動紹介(2回実施、呼吸ケア技術チェック・ケアマップの活用について)
7. 在宅療法指導マニュアルの作成
- 1) 気管切開(昨年度作成内容の修正、業務委員会で検討中)
 - 2) HOT(マニュアル作成)

領域別看護ケア向上委員会 摂食ケア部会 <活動回数;11回>

<目標>

1. 症例検討を通して、患者のさらなる摂食面を中心とした看護ケア向上を図る
2. 摂食委員及び各病棟スタッフの摂食ケア能力の向上に努める

<活動内容>

1. 毎月、各部署から出される摂食問題症例を検討し、検討結果を患者の看護計画、ケアに反映と評価
2. 新メンバーを対象に、摂食に必要な知識・技術の習得
3. 毎月、管理栄養士との協議・連携の場を設け、より良い食事の提供の促進
4. NSTとの連携を図り、摂食機能に問題がある症例への積極的介入
5. 摂食ケアマニュアルの改訂

領域別看護ケア向上委員会 WOCケア部会 <活動回数;11回>

<目標>

1. 症例検討を通して、患者のさらなるWOCケアを中心とした看護ケアの向上を図る
2. WOC委員及び病棟スタッフのWOCケア能力の向上に努める

<活動内容>

1. 毎月、各部署から出されるWOCケア対象症例の検討および、検討結果の関連部署への還元
2. 新メンバーを対象に、W・O・Cそれぞれの知識・技術の習得
3. 院内勉強会を開催による、スタッフのW・O・Cケアの知識・技術の向上
 - 1) 褥瘡発生状況とリスクアセスメント
 - 2) 褥瘡予防、予防具の体験
 - 3) スキンケア 創傷治癒、軟膏とドレッシング材の使い方
 - 4) ストーマケア 基礎知識の確認と演習
4. 院内のWOCケアの改良
 - 1) IVシーネ固定による踵の褥瘡予防
 - 2) 気管カニューレによる褥瘡予防
5. ストーマケアファイルの改訂

3. 研修医・専攻医 指導記録

研修医：竹内 正史

研修期間：2008年4月1日～2009年3月31日

指導医：薩摩 真一、小林 大介

主な症例	執刀	助手
ソルター骨盤骨きり術	1	3
先天股脱観血的整復術	0	3
大腿骨骨きり術	0	5
骨延長術	0	6
腫瘍性疾患	4	3
足部矯正	16	14
側湾症	0	11
骨折	7	5
抜釘など	19	8
骨頭すべり	3	1

研 修 医：小野田素大

研 修 科：形成外科

研修期間；2008.4.1.～2008.12.31

指 導 医：西本 聡、大山 知樹、吉村 友希

症 例	症例数 256	
	執刀 151	助手 101
新鮮熱傷		1
顔面骨骨折		3
顔面軟部組織損傷	2	1
口唇裂	4	24
口蓋裂	7	37
手足の先天異常	23	8
手足の外傷	1	
その他の先天異常	55	7
母斑・血管腫・良性腫瘍	59	11
悪性腫瘍およびそれに関連する再建		3
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド		6
褥瘡・難治性潰瘍		
美容外科		
その他		

専攻医：脇坂 マリコ
研修科：麻酔科
研修期間：2007.3.12～2008.3.31
指導医：香川 哲郎

麻酔件数	446件
------	------

専攻医：上嶋 江利
研修科：麻酔科
研修期間：2006.5.1～2008.3.31
指導医：香川 哲郎

麻酔件数	749件
------	------

専攻医：井上 明彦
研修科：麻酔科
研修期間：2008.1.1～2008.3.31
指導医：香川 哲郎

麻酔件数	135件
------	------

専攻医：武田 敏宏
研修科：麻酔科
研修期間：2007.11.1～2008.4.30
指導医：香川 哲郎

麻酔件数	288件
------	------

専攻医：北村 裕亮
研修科：麻酔科
研修期間：2008.5.1～2008.10.31
指導医：香川 哲郎

麻酔件数	259件
------	------

脳神経外科 専攻医指導記録

専攻医：山本 大輔

研修期間：2007.10.1～2008.3.31

指導医：長嶋 達也、河村 淳史、山元 一樹

症 例	執刀	第1助手	第2助手
脳腫瘍摘出術			3
動脈瘤・脳動静脈奇形ほか			
開頭脳内血腫		1	1
バイパス手術		1	2
急性硬膜外血腫		1	1
急性硬膜下血腫		3	1
硬膜下血腫・水腫		3	
頭蓋・脳奇形			2
脊椎・脊髄奇形	4	3	1
水頭症脳室シャント	2	16	1
脊椎・脊髄腫瘍		2	2
脊髄空洞症			2
その他	1	8	
	7	38	16

専攻医：井上 悟志

研修期間：2008.4.1～2008.9.31

指導医：長嶋 達也、河村 淳史、山元 一樹

症 例	執刀	第1助手	第2助手
脳腫瘍摘出術		7	
経蝶形骨洞手術		1	
動脈瘤・脳動静脈奇形ほか			
開頭脳内血腫		1	
バイパス手術		2	
急性硬膜外血腫	1	4	
急性硬膜下血腫		1	
硬膜下血腫・水腫		5	
頭蓋・脳奇形		4	
脊椎・脊髄奇形		9	
水頭症脳室シャント	2	14	
水頭症神経内視鏡手術		1	
脊椎・脊髄腫瘍		8	
脊髄空洞症		2	
その他	11	0	
	14	59	0

専攻医：石井 大嗣

研修期間：2008.10.1～2008.12.31

指導医：長嶋 達也、河村 淳史、山元 一樹

症 例	執刀	第1助手	第2助手
脳腫瘍摘出術		4	
動脈瘤・脳動静脈奇形			
開頭脳内血腫		0	
バイパス手術		1	
急性硬膜外血腫	1	0	
急性硬膜下血腫		2	
外減圧開頭	1		
硬膜下血腫・水腫		2	
頭蓋・脳奇形		5	
脊椎・脊髄奇形		1	
水頭症脳室シャント	2	13	
水頭症内視鏡手術		1	
脊椎・脊髄腫瘍		4	
脊髄空洞症		0	
その他	3	7	
	4	33	0

報 道

テーマ	所属科	発表者名	報道媒体	報道年月日
子どもとアレルギー	アレルギー科	三好麻里	Pulse 2008.Vol12	2008.10.
食物アレルギー発症したら	アレルギー科	三好麻里	讀賣新聞	2008.11.13

学 術 活 動

1. 書籍

テーマ	所属科	発表者名	単著・共著の別	編者名	書籍名	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
弱視の検査	眼科	山本 節	共著	丸尾敏夫ほか	視能矯正学	343	354	金原出版	08. 5. 25
睫毛内反症の手術治療	眼科	山本 節	共著	樋田哲夫ほか	眼科診療のコツと落とし穴 手術	28	29	中山書店	08. 9. 10
乳幼児の眼圧	眼科	山本 節	共著	樋田哲夫ほか	眼科診療のコツと落とし穴 検査	100	101	中山書店	08. 11. 5
心因性視覚障害における視野測定工夫	眼科	山本 節	共著	樋田哲夫ほか	眼科診療のコツと落とし穴 検査	228	228	中山書店	08. 11. 5
弱視・斜視で用いられる点眼液の注意点	眼科	山本 節	共著	樋田哲夫ほか	眼科診療のコツと落とし穴 薬物療法	154	154	中山書店	08. 9. 10
Progesterone and progesterone receptor modulator in cultured leiomyoma cells	産科	Ohara N, Xu Q, Matsuo H, Maruo T	共著	Maruo T, Mardon H, Stewart C	Translational Research in Uterine Biology	161	178	Elsevier	2008年 4月
Percutaneous pelvic perfusion with extracorporeal chemofiltration for advanced uterine cervical carcinoma	産科	Maruo T, Motoyama S, Hamana S, Yoshida S, Ohara N, Yamasaki M, Ku Y	共著	Wanebo HJ	Regional Therapy for Malignancy : Clinics of North America	843	856	Elsevier Saunders	2008年 10月
子宮筋腫とSPRM：子宮筋腫治療の新戦略	産科	小原範之、丸尾 猛	共著	金澤康徳、武谷雄二、山田信博	Annual Review 糖尿病・代謝・内分泌 2008	198	204	中外医学社	2008年 1月
子宮筋腫研究の最近の話題と今後の展望	産科	小原範之、丸尾 猛	共著	平松祐司	子宮筋腫の臨床	246	251	Medical View	2008年 5月
胎盤の異常	産科	船越 徹	共著	MFICU 連絡協議会	MFICU マニュアル	344	359	メデイカ出版	2008年 2月
臨床小児麻酔ハンドブック改訂第二版	麻酔科	香川哲郎、鈴木毅、高辻小枝子、大西広泰、池島典之、吉澤佐也、吉村依里子、上嶋江利、三浦泰、村田洋	共著	前川信博	臨床小児麻酔ハンドブック改訂第二版	1	325	診断と治療社	2008/ 2 / 1

テーマ	所属科	発表者名	単著・共著の別	編者名	書籍名	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
小児麻酔における口 クロナウム（エスラックス）の 用法	麻酔科	武田敏宏、 香川哲郎	共著	大下修造ら	最新筋弛緩薬使用の手引き クロナウム（エスラックス）の 上手な使い方	93	99	ライフメディ コム	2008/11/1
知っておきたい泌尿 器のCT・MRI：13， 奇形および先天性疾 患	放射線科	赤坂好宣	共著	山下康行	画像診断別冊 KEY BOOK シリー ズ	268	285	秀潤社	2008年 8 月
腎・泌尿器疾患 紫斑病性腎炎	兵庫県立 こども病 院腎臓内 科	田中亮二郎	単著	小児内科、小児外科編集委員会 共編	小児疾患診療のための 病態生理 1	811	814	東京医学社	2008
小児に対する薬物療 法	眼科	野村耕治	共著	樋田哲夫	眼科プラクティス・小児眼科診 療	178	181	文光堂	2008. 3 .23
交代性上斜位の診断 と治療方針の考え方	眼科	野村耕治	共著	樋田哲夫、江口秀一郎	眼科診療のコツと落とし穴	156	157	中山書店	2008.11. 5
早発型小児白内障の 手術適応はどのよう に考えるか	眼科	野村耕治	共著	樋田哲夫、江口秀一郎	眼科診療のコツと落とし穴	52	53	中山書店	2008.11. 5
気管支喘息患者に造 影剤やアスピリンは 禁忌か？	アレルギー 科	三好麻里	単著	真部 淳、上村克徳	小児科研修の素朴な疑問に答え ます	219	220	メディカル・ サイエンス・ インターナ ショナル	2008
なぜ春先や秋口など 季節の変わり目で気 管支喘息患者が増え るのか？	アレルギー 科	三好麻里	単著	真部 淳、上村克徳	小児科研修の素朴な疑問に答え ます	220	221	メディカル・ サイエンス・ インターナ ショナル	2008
気管支喘息重症発作	アレルギー 科	三好麻里	単著	山田至康	小児救急 Q & A	1555	1561	総合医学社	2008
採血では親に付き添っ てもらうほうがよい か？	救急医療 センター	清水 称喜	単著	真部 淳、上村克徳	小児科研修の素朴な疑問に答え ます	286	289	株式会社メ ディカル・ サイエンス・ インターナ ショナル	2008
小児の入院で親から 離してよいか？	救急医療 センター	清水 称喜	単著	真部 淳、上村克徳	小児科研修の素朴な疑問に答え ます	289	291	株式会社メ ディカル・ サイエンス・ インターナ ショナル	2008

テーマ	所属科	発表者名	単著、共著の別	編者名	書籍名	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
心肺停止状態で搬送された乳児突然死症候群が疑われる乳児に、まず何を行うか？	救急集中治療科	永瀬裕明 上谷良行	共	真部 淳 上村克徳	小児科研修の素朴な疑問に答え ます	20	22	メデイカル サイエンス シヨナル	2008年 5月
パルスオキシメータが正常値なら酸素投与は必要ないか？	救急集中治療科	佐治洋介	共	真部 淳 上村克徳	小児科研修の素朴な疑問に答え ます	121	122	メデイカル サイエンス シヨナル	2008年 5月
新生児の蘇生	救急集中治療科	上谷良行	共	羽鳥文彦	小児科臨床ピクシス 小児救急 医療	14	15	中山書店	2008年 10月
外傷初期治療に必要な緊急薬剤とその投与量・投与方法	救急集中治療科	佐治洋介 中川 拓	共	益子邦洋 武井健吉	実践小児外傷初療学	252	258	永井書店	2008年 6月
小児・先天性疾患	整形外科	薩摩真一	共	黒坂昌弘 井口哲弘	ポケット整形外科ハンドブック (改訂第5版)	197	217	南江堂	2008年 11月
小児虐待	指導相談・ 地域医療 連携部	宅見晃子	共著 (翻訳)	稲垣由子 岡田由香	子どもの虐待とネグレクト	17	45	日本小児医 事出版	2008年 7月 10日
早産児の急性期の低血圧に対するステロイド療法	新生児科	溝淵雅巳 中尾秀人	共著	新生児内分泌研究会	新生児内分泌ハンドブック	163	170	メデイカ 出版	2008. 5. 10
先天性心疾患を伴った小児外科疾患患児への対応	心臓外科	大嶋義博	共著	日本小児外科学会教育委員会	第24回卒後教育セミナーキス ト	64	69	株式会社セ カント	2008年 5月
III. 循環器疾患 24. Ebstein 奇形	循環器科	城戸佐知子	単著		小児疾患診療のための病態生理 (小児内科、増刊号)	282	286	東京医学社、 東京	2008.11.30

2. 雑誌発表表

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻	第号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
乳幼児における角膜厚と眼圧について	眼科	山本 節、西崎雅也	眼科臨床紀要	1	4	349	351	眼科臨床紀要会	2008. 4
眼科手術と私（小児眼科における手術）	眼科	山本 節	眼科手術	21	2	233	235	メデイカル葵出版	2008. 2
フリーガニズム	眼科	山本 節	兵庫県眼科医会報	178	1	4	4	兵庫県眼科医会	2008. 1
諫山名誉教授を偲んで	眼科	山本 節	神経眼科	25	1	95	95	日本神経眼科学会	2008. 1
Progesterone receptor modulator CDB-2914 induces extracellular matrix metalloproteinase inducer in cultured human uterine leiomyoma cells	産科	Xu Q, Ohara N, Liu J, Amano M, Sitruk-Ware R, Yoshida S, Maruo T	Mol Hum Reprod	14	3	181	191	Oxford University Press	March, 2008
Selective progesterone receptor modulator asoprisnil down-regulates collagen synthesis in cultured human uterine leiomyoma cells through up-regulating extracellular matrix metalloproteinase inducer	産科	Morikawa A, Ohara N, Xu Q, Nakabayashi K, DeManno DA, Chwalisz K, Yoshida S, Maruo T	Hum Reprod	23	4	944	951	Oxford University Press	April, 2008
Association study between catechol-O-methyltransferase polymorphisms and uterine leiomyomas in a Japanese population	産科	Morikawa J, Yoshida S, Kennedy S, Takemura N, Sugimoto M, Kitao K, Deguchi M, Ohara N, Maruo T	Clin Exp Obstet Gynecol	35	1	35	40	S.O.G.	2008
Effects of corticotropin-releasing hormone and stresscopin on vascular endothelial growth factor mRNA expression in cultured early human extravillous trophoblasts	産科	Wakahashi S, Nakabayashi K, Maruo N, Yata A, Ohara N, Maruo T	Endocrine	33	2	144	151	Humana Press	April, 2008
Percutaneous pelvic perfusion with extracorporeal chemofiltration for advanced uterine cervical carcinoma	産科	Maruo T, Motoyama S, Hamana S, Yoshida S, Ohara N, Yamasaki M, Ku Y	Surg Oncol Clin N Am	17	4	843	856	Saunders	October, 2008
Association study of vascular endothelial growth factor gene polymorphisms in endometrial carcinomas in a Japanese population	産科	Amano M, Yoshida S, Kennedy S, Takemura N, Deguchi M, Ohara N, Maruo T	Eur J Gynaecol Oncol	29	4	333	337	S.O.G. Sri	2008
Obstetric risk factors associated with the development of periventricular leukomalacia in preterm infants born to mothers complicated by placenta previa	産科	Oda N, Takeuchi K, Tanaka A, Maruo T	Fetal Diagn Ther	24	4	345	348	S. Karger	October, 2008

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
産科感染症の管理と治療	産科	武内享介、丸尾 猛	日本産科婦人科学会雑誌	60	N117	N123	杏林舎	2008年6月
分娩様式と Late-Preterm 分娩様式の選択	産科	船越 徹	周産期医学	38	1005	1009	東京医学社	2008年8月
当院における IUGR の分娩管理	兵庫県立こども病院産科、久保みずしエイクスクリニック1)	喜吉賢二、牧志 綾、田中達也、菅原 淳、高松祐幸、佐本 崇、船越 徹	位育会誌	54	141	151	神戸大学医学部産科婦人科学教室位育会	2008年12月
予防接種、感染症と小児の麻酔	麻酔科	香川哲郎	Anesthesia 21 Century	10巻	1801	1804	ソフトナイン	2008/2/1
高度な巨舌を呈したベックウイズ・ウィデマン症候群患児の麻酔経験	麻酔科	岩淵いさな、香川哲郎、大西広泰、上嶋江利	麻酔	57巻	464	466	克誠堂出版	2008/4/1
「患者が小児で、かつ宗教上の理由で輸血を拒否する患者への対応に関する調査」の結果報告	麻酔科	香川哲郎	日本臨床麻酔学会雑誌	28巻	490	497	日本臨床麻酔学会	2008/5/1
ロクロニウムの一時的臨床使用の実際 - 小児麻酔におけるロクロニウムの使用法 -	麻酔科	武田敏宏、香川哲郎	日本臨床麻酔学会雑誌	28巻	685	690	日本臨床麻酔学会	2008/7/1
小児におけるレミフェンタニルの使用経験	麻酔科	脇坂マリコ、吉澤佐也、大西広泰、香川哲郎	日本小児麻酔学会誌	14巻	81	85	日本小児麻酔学会	2008/8/1
A simple modification of the Trachlight for pediatric use	麻酔科	澤登慶治、香川哲郎、他2名	Journal of Anesthesia (Japan)	22巻	338	339	日本麻酔科学会	2008年
幼児開腹術後の鎮痛法としてのフェンタニル持続静注の有用性	麻酔科	栗原ゆか、香川哲郎、鈴木 毅、大西広泰、池島典之	麻酔	57巻	1414	1420	克誠堂出版	2008/11/1
小児胸腺腫 type B1 の1例	1) 兵庫県立こども病院検査・放射線部病理室、2) 同放射線科、3) 神戸市立医療センター中央市民病院病理、4) 茨城県立こども病院 外科	吉田牧子1)、今井幸弘3)、連 利博4)、赤坂好宣2)、山口善道2)、橋村宏美2)	小児がん	第45巻	177	177	日本小児がん学会	2008年5月25日

テ - マ	所 属 科	発 表 者 名	書 籍 名	第 卷 号	開 始 頁	終 了 頁	発 行 元	発 行 年 月
Improved renal survival in Japanese children with IgA nephropathy	Division of Pediatric Nephrology Hyogo prefectural Kobe Children's Hospital	Yata N, Nakanishi K, Shima Y, Togawa H, Obana M, Sako M, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N	Pediatr Nephrol	23	905	912	Springer	2008
Increased chymase-positive mast cells in children with crescentic glomerulonephritis.	Division of Pediatric Nephrology Hyogo prefectural Kobe Children's Hospital	Togawa H, Nakanishi K, Shima Y, Obana M, Sako M, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N	Pediatr Nephrol	in press			Springer	
生体腎移植後、MRSAによる結核性膀胱炎を発症した1症例	腎臓内科	寺岡由恵、藤田晃生、田中亮二郎、久松英治、高木志寿子、乃美昌司、杉多良文、中山真紀子、亀井宏一、飯島一誠	日本小児腎不全学会誌	28	141		小児腎不全学会	2008
副甲状腺機能低下症	代謝内分泌科	郷司克己	小児内科	40	1781	1785	東京医学社	2008/11/1
摂食・嚥下指導の早期介入を考える - 当科での症例を通して -	小児歯科	曾根由美子	小児歯科臨床	第13巻	53	58	東京臨床出版	2008/8/1
ここまで分かる「小児の単純X線写真とエコー画像」生殖器3：胎児期より指摘される腹部嚢胞性腫瘍	放射線科	赤坂好宣(こども病院、主著者)、橋村宏美(こども病院)、山口善道(こども病院)	小児科臨床増刊号	61	705	710	日本小児医事出版	2008年4月
ここまで分かる「小児の単純X線写真とエコー画像」生殖器1：急性陰嚢症の鑑別 - 同在がばつきりしない下腹部痛 -	放射線科	山口善道(こども病院、主著者)、橋村宏美(こども病院)、赤坂好宣(こども病院)	小児科臨床増刊号	61	691	698	日本小児医事出版	2008年4月
ここまで分かる「小児の単純X線写真とエコー画像」生殖器2：急性陰嚢症の鑑別 - 同在がばつきりしない下腹部痛 -	放射線科	橋村宏美(こども病院)	小児科臨床増刊号	61	699	704	日本小児医事出版	2008年4月
Case-based review - 教訓症例から学ぶ - case : 小児	放射線科	赤坂好宣(こども病院)	画像診断	28	1470	1471	秀潤社	2008年12月

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
今月の症例 画像診断：胃軸捻症	放射線科	赤坂好宣 (こども病院、主著者) 山口善道 (こども病院)、 橋村宏美 (こども病院)、 小田切邦雄 (横浜青葉台 クリニック)	小児科臨床	61 2	175	178	日本小児医事出版	2008年2月
今月の症例 画像診断	放射線科	山口善道 (こども病院、主著者)、 橋村宏美 (こども病院)、 赤坂好宣 (こども病院)、 小田切邦雄 (横浜青葉台 クリニック)	小児科臨床	61 8	1567	1571	日本小児医事出版	2008年8月
薬に関する素朴な疑問・点眼薬を使うときの 注意点	眼科	野村耕治	小児内科	40 2	468	470	東京医学社	2008.2.1
両眼性の先天白内障手術を急ぐべからず	眼科	野村耕治	眼科手術	21 3	351	351	メデイカル葵出版	2008.7.30
全自動血液分析装置 CELL-DYN Sapphire に おける必要最少検体量、有核赤血球測定および CD61免疫学的血小板測定の検討	検査・放射 線部	幸福淳子	医学と薬学	59 4	629	636		
N S T におけるチームアプローチ	栄養指導課	谷口章子	小児看護	第31巻 第9号	1210	1216	ヘルス出版	2008年8月
「クリスマス・ランチバイキング給食」「パ レンタイン・ケーキデザートバイキング」を 開催しました。	栄養指導課	富本 弘	病院調理	通巻 第36号	28	30	日本病院調理師協会	2009.1.1
Efficacy and safety of tocilizumab in patients with systemic-onset juvenile idiopathic arthritis: a randomised, double-blind, placebo-controlled, withdrawal phase III trial		Shumpei Yokota, Mari Miyoshi		371 22- Mar	998	1006	The Lancet	2008.3.
カンファレンスを成功させるためのアイデア・ 工夫	救急医療セ ンター	清水称喜	看護実践の科学	第33巻 第2号	20	25	看護の科学社	2008年2月
子どもたちへのアプローチ 小児救急の現場から 「コロナは通うか？」	救急医療セ ンター	清水称喜	看護実践の科学	第33巻 第4号	88	89	看護の科学社	2008年4月
さまざまな場面でのプレパレーション：救急 外来の場面	救急医療セ ンター	清水称喜	小児看護	第31巻 第5号	622	627	へるす出版	2008年5月
子どもたちへのアプローチ 小児救急の現場から 「小児救急と終末期医療」	救急医療セ ンター	清水称喜	看護実践の科学	第33巻 第11号	88	89	看護の科学社	2008年11月
低出生体重児のフォローアップと栄養アセス メント	総合診療科	上谷良行	Neonatal Care	秋季 増刊	264	267	メデイカ出版	2008年9月

テ - マ	所 属 科	発 表 者 名	書 籍 名	第 卷 第 号	開 始 頁	終 了 頁	発 行 元	発 行 年 月
小児科 E R ~ これだけは見逃さない~	救急集中治療科	上谷 良行	臨床研修プラクティス	5 11	5	5	文光堂	2008年10月
痙攣している	救急集中治療科	永瀬 裕明	臨床研修プラクティス	5 11	50	57	文光堂	2008年10月
不機嫌・なんとなく元気がない	救急集中治療科	福原 信一	臨床研修プラクティス	5 11	58	63	文光堂	2008年10月
周産期の栄養 シンポジウムのまとめ	総合診療科	上谷 良行	周産期学シンポジウム2008	26	109	110	日本周産期・新生児医学会	2008年10月
小児および成人の胃酸逆流による咽喉頭症状の現況 - 外来における臨床鑑別診断と乳幼児GERを中心に -	耳鼻咽喉科	阪本 浩一	喉頭	20	79	85	日本咽喉頭科学会	2008
後鼻漏症候群	耳鼻咽喉科	阪本 浩一	ENT/et	7	10			2008
大量出血をきたした先天性頭皮形成不全の一例	形成外科	吉村 友希、大山 知樹、大崎 陽子	日本形成外科学会誌	Vol.28 No.7	456	460		2008
Stabilization of a mobile premaxilla by cementing a bite splint with 1-stage bilateral alveolar bone grafting.	Plastic Surgery	Oyama T, Yoshimura Y, Onoda M, Hosokawa K, Kanomi R	Journal of Craniofacial Surgery	Vol.19 6	1705	1707		2008
Antithymocyte globulin and cyclosporine for treatment of 44 children with hepatitis associated aplastic anemia	血液腫瘍科	Osugi Y, Yagasaki H, Kosaka Y, et.al	Haematologica	92 12	1687	1690		2007年12月
Prospective multicenter trial comparing repeated immunosuppressive therapy with stem-cell transplantation from an alternative donor as second-line treatment for children with severe and very severe aplastic anemia	血液腫瘍科	Kosaka Y, Yagasaki H, Sano K, Kojima S, et.al	Blood	111 3	1054	1059		2008年2月
Successful treatment of chronic granulomatous disease with fludarabine-based reduced-intensity conditioning and unrelated bone marrow transplantation.	血液腫瘍科	Hasegawa D, Fukushima M, Hosokawa Y, Takeda H, Kawasaki K, Mizukami T, Numoi H, Ochiai H, Morio T, Kosaka Y.	International journal of Hematology	87 1	88	90		2008年1月
国内のインヒビター保有血友病患者における遺伝子組換え活性型凝固第 VII 因子製剤(注射用ノボセブ)の高用量単回投与に関する臨床研究	血液腫瘍科	白幡 聡、嶋緑倫、岡 敏明、天野景裕、花房秀次、瀧 正志、三間屋純一、松下 正、高松純樹、日笠聡、小坂嘉之、須賀健一、酒井道生、梶原真清恵、高田 昇、吉岡 章	日本血栓止血学会誌	19 2	244	256		2008年4月

テ-マ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
The first confirmed case with C3 deficiency caused by compound heterozygous mutations in the C3 gene; a new aspect of pathogenesis for C3 deficiency.	血液腫瘍科	Kida M, Fujioka H, Kosaka Y, Hayashi K, Sakiyama Y, Ariga T.	Blood Cells Mol Dis.	40	3	410		2008年5月
Congenital Dyserythropoietic Anemiaの全国調査	血液腫瘍科	伊藤 剛、井上雅美、菊地 陽、鈴木信寛、岩崎史記、石田昌宏、小原 明	日本小児血液学会雑誌	22	4	233		2008年8月
マススクリーニング発見症例における術後残存腫瘍増大	血液腫瘍科	荒井洋志、横井暁子、中尾 真、高野洋一、田浦康明、吉田牧子	小児外科	40	9	1003		2008年9月
非血縁者間同種骨髄移植を施行したt(6;9)を有する急性骨髄性白血病の一例	血液腫瘍科	川崎圭一郎、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之	日本小児血液学会雑誌	in press				
Fatal degeneration of specialized cardiac muscle in chronic active Epstein-Barr virus infection	血液腫瘍科	Hasegawa D, Kaji M, Takeda H, Kawasaki K, Takahashi H, Ochiai H, Morio T, Omori Y, Yokozaki H, and Kosaka Y	Pediatrics International	in press				
下肢痛で初診した白血病、悪性リンパ腫患者の検討	整形外科	小林大介	日本小児整形外科学会雑誌	17	2	359		2008
先天性股関節脱臼の疫学調査	整形外科	薩摩真一	日本小児整形外科学会雑誌	17	2	298		2008
先天性股関節脱臼治療後に発生した大腿骨頭のペルテウス様変化に対するソルター骨盤骨切り術の有用性	整形外科	薩摩真一	臨床整形外科	43	10	953		2008
小児脳神経外科疾患の救急	脳神経外科	長嶋達也	小児神経学の進歩第37集	37		50	日本小児神経学会	2008年
Shaken baby syndrome の診断・治療に関する臨床的研究	脳神経外科	長嶋達也、河村淳史、山元一樹	厚生労働省精神神経委託研究費 18指-4 研究報告集				厚生労働省精神神経委託研究班 18指-4	2008年
A case of cerebellar capillary hemangioma with multiple cysts	脳神経外科	Uyama Atushi, Nagashima Tatsuya, Kawamura Atsumi, Yamamoto Kazuki	Pediatr Neurosurg.	44	4	344	Karger	2008年

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第巻号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
心理臨床における観点から発達障害を抱える子どもたちへの関わりを考える	指導相談・地域医療連携部	宮崎美知恵	日本小児放射線技術研究会	33	42	45	六甲出版	2008年2月
当院における非造影冠動脈撮像について	放射線部	北住一哉	INNERVISION	23	66	69	インナービジョン	H20年8月25日
MRI検査を受ける子供たちに対する環境(アメンテイ)	放射線部	北住一哉	RAD FAN	6	43	45	メディカルアイ	H20年8月25日
小児専門病院における医療サービスの向上(怖い検査室を楽しい検査室へ)	放射線部	関尾直士	兵庫県放射線技術会雑誌	3	32	33	兵庫県放射線技術師会	平成20年3月1日
早産児におけるDCHとCLDの関連性	新生児科	上田雅章	近畿新生児研究会雑誌	17	26	30	近畿新生児研究会	2008.11
13トリソミーまたは18トリソミーに対する開心術の経験	心臓外科	鈴木恵美子、大嶋義博、士肥善郎、大高慎吾、橋本郁夫、市田諒子、宮脇利男、三崎拓郎	日小雑誌	24	546			2008
【もっと知りたい心臓手術】心臓手術の実際Ⅱ～新生児手術～	心臓外科	大嶋義博	HNL 第47回・48回「医療・生活・教育」相談会報	1250	46	52	神戸市難病団体連絡協議会	2008
Management of Pulmonary Artery Sling Associated With Tracheal Stenosis	Cardiac & Pediatric Surgery	Yoshihiro Oshima, Masahiro Yamaguchi, Naoki Yoshimura, Shiiki Sato, Toshihiro Muraji, Eiji Nishijima and Chikara Tsugawa	Ann Thorac Surg	86	1334	1338		2008
Sinus node dysfunction after repair of partial anomalous pulmonary venous connection	Cardiac Surgery	Hiroaki Takahashi, Yoshihiro Oshima, Masahiro Yoshida, Masahiro Yamaguchi, Kenji Okada, and Yutaka Okita	J Thorac Cardiovasc Surg	136	329	334		2008
フアロー (Fallot) 四徴症の問題点	心臓外科	大嶋義博	Circulation Up-to-date	3	98			2008
2歳未満の虐待による頭部外傷の臨床的特徴	脳神経内科	青木一恵、澤田杏子、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行、中村 肇	日本小児科学会雑誌				投稿中	
パルスオキシメーターが正常値なら酸素投与は必要ないか？	救急集中治療科	佐治洋介	小児科研修の素朴な疑問に答えます		121	122	メディカルサイエンスインターナショナル	2008

テーマ	所属科	発表者名	書籍名	第 卷 号	開始頁	終了頁	発行元	発行年月
心肺停止で搬送された乳幼児突然死症候群が疑われる乳児に、まず何をを行うか？	脳神経内科	永瀬裕朗	小児科研修の素朴な疑問に答えます		20	21	メディカルサイエンスインターナショナル	2008
痙攣している	脳神経内科	永瀬裕朗	臨床研修ブックテイ	5	11	57	文光堂	2008
小児熱傷	脳神経内科	澤田杏子、永瀬裕朗	小児医療心理学		382	390	マイケル・C・ロバーツ編 奥山真紀子、丸光恵監訳、エルセビア	
子どもの虐待とネグレクト - 臨床かハンドブック -	脳神経内科	永瀬裕朗	子どもの虐待とネグレクト - 臨床かハンドブック -				Christopher J. Hobbs, Helga G.I.Hanks, Jane M. Wynne 監訳 稲垣由子、岡田由香	
実践小児外傷初療学	救急集中治療科	佐治洋介、中川 拓	実践小児外傷初療学		252	258	永井書店	2008
Pretransplant risk factors and optimal timing for living-related liver transplantation in biliary atresia: experience of one Japanese children's hospital and transplantation center.	Kobe Children's Hospital, Department of Surgery of Kyoto University Graduate school of Medicine, Department of Surgery	Tatsuya Okamoto, Akiko Yokoi, Shinya Okamoto, Shigeru Takamizawa, Shiiki Sato, Toshihiro Muraji, Shinji Uemoto, Eiji Nishijima	Journal of Pediatric Surgery	43	489	494	Elsevier	Mar-08
Completely isolated alimentary tract duplication in a neonate	Kobe Children's Hospital, Department of Surgery	Tatsuya Okamoto, Shigeru Takamizawa, Akiko Yokoi, Shiiki Sato, Eiji Nishijima	Pediatric Surgery International	24	1145	1147	Springer	Oct-08
気道異物、消化管異物	外科	高見澤滋、西島栄治	小児科診療	71	609	614	診断と治療社	
当科で経験した先天性嚢胞性肺疾患 (CCAM、肺分画症) の手術適応、手術時期についての検討	外科	高見澤滋、西島栄治、高野洋一、尾藤祐子、荒井洋志、横井暁子、中尾 真、堀内 淳、堀内 淳、佐藤志以樹	日本小児呼吸器疾患学会雑誌	19	30	35	日本小児呼吸器外科疾患学会	
特集 / 産科医が見逃したくない小児外科疾患 腸回転異常症	小児外科	荒井洋志、西島栄治、佐藤志以樹	産科と婦人科	75巻	1134	1138	診断と治療社	2008.09

テ ー マ	所 属 科	発 表 者 名	書 籍 名	第 卷 第 号	開 始 頁	終 了 頁	発 行 元	発 行 年 月
特集 / 神経芽腫マスキリングの今後 マスキリング発見症例における術後残 存腫瘍増大	小児外科	荒井洋志、西島栄治、 横井暁子、中尾 真、 尾藤祐子、岡本竜弥、 岡本光正、高野洋一、 田浦康明	小児外科	40巻 9号	1003	1006	東京医学社	2008.09
完全大血管転換術後の肺動脈分岐部狭窄に対 するバルーン拡張術20日後に発症した大動脈 肺動脈窓の3ヶ月乳児例	循環器科	寺野和宏	日本小児循環器学会 雑誌	24 2	140	144	日本小児循環器学会	2008年3月

3. 口 述 発 表 表

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
小児白内障の術後管理	眼科	山本 節、東 範行、 磯部真理子、初川嘉一	31	日本眼科手術学会	横浜	08. 2. 2
兵庫アイバンアックについて	眼科	山本 節	23	須磨医師会学術集 談会	神戸	08. 3. 15
小児眼科	眼科	山本 節	平成20年	山形県眼科集談会	山形	08. 6. 15
一般小児眼科	眼科	山本 節	平成20年	兵庫医大小児眼科 講習会	西宮	08. 6. 28
小児眼科診療	眼科	山本 節	平成20年	岡山県眼科集談会	岡山	08. 7. 27
兵庫県下における病院開発の展望と実際	眼科	渡邊和誉、石原香織、 吉谷麻衣、片山千加子、 山本 節	7	日本組織移植学会	札幌	08. 8. 23
小児眼内レンズについて	眼科	山本 節、黒坂大二郎、 矢ヶ崎佛司、仁科幸子	32	日本臨床眼科学会	東京	08. 10. 24
小児眼科	眼科	山本 節	平成20年	神戸視能訓練学校	神戸	08. 11. 5
小児眼科診療について	眼科	山本 節	平成20年	千葉県眼科集談会	千葉	08. 11. 8
斜視・弱視の早期診断	眼科	山本 節	平成20年	愛媛県眼科学術講 演会	松山	08. 11. 23
Regulation of extravillous trophoblast invasion by thyroid hormone	産科	Maruo T	The 13th	World Congress of Gynecological Endocrinology	Florence, Italy	February 28 - March 2, 2008
Progesterone and progesterone receptor modula- tors in uterine myoma growth	産科	Maruo T, Matsuo H, Ohara N, Xu Q	2008	Annual Meeting of Taiwan Association of Obstetrics and Gynecology	Taipei, Taiwan	March 15 - 16, 2008
ミレーナの有用性と臨床応用	産科	丸尾 猛	2008	ウイメンズヘルス ケア講演会	東京	2008年6月22日
胎児と母体の接点としての胎盤	産科	丸尾 猛	2008	神戸市民講座	神戸	2008年11月8日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Attack on uterine fibroids by progesterone receptor modulators in a cell type-specific manner	産科	Maruo T, Yoshida S, Ohara N		International Workshop on Uterine Fibroids - Options and Paradigms for Treatment	Berlin, Germany	December 10-11, 2008
特別講演 切迫早産に対する硫酸マグネシウム療法の13年間の経験から マグネシウムとトリプトランの追加減	産科	大橋正伸	平成19年度	愛媛県産婦人科医学会総会	松山市	2008年3月15日
シンポジウム 兵庫県における周産期医療システム	産科	船越 徹	第5回	周産期医療研修会	大阪市	2008年3月29日
当科における超緊急帝王切開術 最近16例の検討	産科	斎木美恵、佐本 崇、 上田大介(1)、藁谷深洋子(2)、 喜吉賢二、上田敏子(3)、 石原尚徳、船越 徹、 大橋正伸(4) 1)神戸医療センター、 2)京都民医連中央病院、 3)鳥根県立中央病院、 4)若宮病院	第60回	日本産科婦人科学会 会学術集会	横浜市	2008年 4月12-15日
ハイリスク分娩のみを扱う三次周産期施設の経歴分岐	産科	上田大介(1)、石原尚徳、 藁谷深洋子(2)、斎木美恵、 喜吉賢二、上田敏子(3)、 佐本 崇、船越 徹、 大橋正伸(4) 1)神戸医療センター、 2)京都民医連中央病院、 3)鳥根県立中央病院、 4)若宮病院	第60回	日本産科婦人科学会 会学術集会	横浜市	2008年 4月12-15日
当院でのCAOS (Chronic abruptio-oligohydramnios sequence) 症例の周産期管理について	産科	喜吉賢二、上田敏子(1)、 上田大介(2)、藁谷深洋子(3)、 斎木美恵、石原尚徳、 佐本 崇、船越 徹、 大橋正伸(4) 1)鳥根県立中央病院、 2)神戸医療センター、 3)京都民医連中央病院、 4)若宮病院	第60回	日本産科婦人科学会 会学術集会	横浜市	2008年 4月12-15日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
当科における子宮筋腫合併妊娠の検討	産科	藁谷深洋子1)、船越 徹、 上田大介2)、齋木美恵、 喜吉賢二、上田敏子3)、 石原尚徳、佐本 崇、 大橋正伸4) 1)京都市民医連中央病院、 2)神戸医療センター、 3)島根県立中央病院、 4)若宮病院	第60回	日本産科婦人科学 会学術集会	横浜市	2008年 4月12-15日
当院における超緊急帝王切開術 最近21例の検討	産科	齋木美恵、佐本 崇、 笹原 淳、高松祐幸、 喜吉賢二、石原尚徳、 船越 徹	第83回	こども病院症例模 討会	神戸市	2008年 4月24日
特別講演 産科医療の現状と課題	産科	船越 徹	第9回	明石市民フォーラ ム「どうなる明石の お産」	明石市	2008年 5月10日
パルボウイルス感染による胎児水腫に対する 胎児輸血の経験	産科	喜吉賢二、船越 徹、 牧志 綾、笹原 淳、 高松祐幸、上田敏子1)、 石原尚徳、佐本 崇、 大橋正伸2) 1)島根県立中央病院、 2)若宮病院	第82回	兵庫県産科婦人科 学学術集会	神戸市	2008年 6月1日
当院における IUGR に対する分娩誘発	産科	喜吉賢二、上田大介1)、 藁谷深洋子2)、齋木美恵 3)、上田敏子4)、 石原尚徳、佐本 崇、 大橋正伸3) 1)神戸医療センター、 2)京都市民医連中央病院、 3)若宮病院、 4)島根県立中央病院	第118回	近畿産科婦人科学 会学術集会周産期 研究部会	守口市	2008年 6月14-15日
出生前診断された7例の胎児仙尾部奇形腫	産科	船越 徹、藁谷深洋子1)、 喜吉賢二、上田大介2)、 齋木美恵3)、上田敏子4)、 石原尚徳、佐本 崇、 大橋正伸3) 1)京都市民医連中央病院、 2)神戸医療センター、 3)若宮病院、 4)島根県立中央病院	第118回	近畿産科婦人科学 会学術集会	守口市	2008年 6月14-15日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
当院における IUGR に対する分娩管理	産科	喜吉賢二、牧志綾、 笹原淳、田中達也、 高松祐幸、石原尚徳1)、 佐本崇、船越徹 1)くぼみずきレディース クリニック	第44回	日本周産期・新生 児医学会学術集会	横浜市	2008年 7月13-15日
出生前診断された7例の胎児仙尾部奇形腫	産科	船越徹、藁谷深洋子1)、 喜吉賢二、上田大介2)、 石原尚徳、佐本崇、 大橋正伸3) 1)京都民医連中央病院、 2)神戸医療センター、 3)若宮病院	第44回	日本周産期・新生 児医学会学術集会	横浜市	2008年 7月13-15日
当院における IUGR の分娩管理	産科	喜吉賢二、牧志綾、 笹原淳、田中達也、 高松祐幸、石原尚徳1)、 佐本崇、船越徹 1)くぼみずきレディース クリニック	平成20年度	位育会臨床セミナー	神戸市	2008年8月3日
出生前診断し得た先天性食道裂孔ヘルニアの一例	産科	笹原淳、喜吉賢二、 牧志綾、田中達也、 高松祐幸、石原尚徳1)、 佐本崇、船越徹 1)くぼみずきレディース クリニック	第119回	近畿産科婦人科学 会学術集会	吹田市	2008年11月9日
最近経験した胎児脳腫瘍の3例	産科	高松祐幸、牧志綾、 笹原淳、田中達也、 喜吉賢二、石原尚徳1)、 佐本崇、船越徹 1)くぼみずきレディース クリニック	第119回	近畿産科婦人科学 会学術集会	吹田市	2008年11月9日
ランチョンセミナー 当科における切迫早産の管理 の具体的な使用方法について	産科	船越徹	第119回	近畿産科婦人科学 会学術集会	吹田市	2008年11月9日
特別講演 安全安心なお産を目指して 産科医の立場から	産科	船越徹	平成20年	おぎやー献金チャ リティーコンサート	守山市	2008年11月15日
妊娠34週以降の早産 (Late preterm) の取扱い	産科	船越徹	平成20年	周産期医療研修会	神戸市	2008年12月20日
日本麻酔科学会認定病院における小児麻酔症例数および研修・指導体制	麻酔科	香川哲郎、他3名	第55回	日本麻酔科学会	横浜	2008年6月12日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Datex-Ohmeda Aestiva における半閉鎖回路と Bain 回路の比較	麻酔科	吉澤佐也、東 秀和、野々村智子、池島典之、鈴木 毅、香川哲郎	第55回	日本麻酔科学会	横浜	2008年6月12日
術前に診断がつかない新生児先天性喉頭蓋嚢胞の一例	麻酔科	野々村智子、吉澤佐也、鈴木 毅、大西広泰、間嶋 望、北村裕亮、香川哲郎	第14回	日本小児麻酔学会	東京	2008年8月
心臓脱を呈したカントレリ症候群の麻酔経験	麻酔科	吉澤佐也、鈴木 毅、大西広泰、間嶋 望、北村裕亮、香川哲郎	第14回	日本小児麻酔学会	東京	2008年8月
小児麻酔におけるリスクマネジメント「術前評価」	麻酔科	香川哲郎	第28回	日本臨床麻酔学会	京都	2008年11月
小児開腹手術におけるレミアフェンタン投与量の検討	麻酔科	吉澤佐也、間嶋 望、北村裕亮、池島典之、鈴木 毅、香川哲郎	第28回	日本臨床麻酔学会	京都	2008年11月
小児の各年齢におけるロクロニウムとベクロニウムの作用発現時間の検討	麻酔科	武田敏宏、香川哲郎	第28回	日本臨床麻酔学会	京都	2008年11月
Leydig 細胞 LH 受容体遺伝子に体細胞変異を認めたゴナドトロピン非依存性思春期早期発症の男児例	代謝内分泌科	郷司克己、寺岡由恵、奥野美佐子、細川悠紀、尾崎佳代、吉田牧子、松尾雅文	第42回	日本小児内分泌学会	米子	平成20年10月4日
PHEX 遺伝子異常による遺伝性低リン血症性クル病に対する早期診断早期治療の試み	代謝内分泌科	寺岡由恵、奥野美佐子、細川悠紀、尾崎佳代、郷司克己、八木麻理子、松尾雅文	第42回	日本小児内分泌学会	米子	平成20年10月4日
インスリン抵抗性糖尿病病に対する rhIGF-1 長期投与経験	代謝内分泌科	細川悠紀、寺岡由恵、奥野美佐子、尾崎佳代、郷司克己	第42回	日本小児内分泌学会	米子	平成20年10月3日
劇症肝炎に対し、血液浄化療法を施行後肝移植を受けた4歳の1例	腎臓内科	寺岡由恵、下岡武史、藤田晃生、田中亮二郎	第10回	神戸急性血液浄化研究会	神戸	平成20年2月2日
高容量 Mizoribine 療法を施行した難治性膜性増殖性糸球体腎炎の2例	腎臓内科	寺岡由恵、下岡武史、藤田晃生、田中亮二郎	第21回	近畿小児科学会	大阪	平成20年3月16日
Carpal-Tarsal osteolysis の1 例生検例	腎臓内科	下岡武史、寺岡由恵、藤田晃生、田中亮二郎	第37回	近畿小児腎臓病研究会	大阪	平成20年3月29日
Analysis of mutations in the Human Transporter 1(hURAT1) Gene of Two Japanese Children with Acute Renal Due to Bilateral Obstructive Uric Acid Stones Associated with Acute Gastroenteritis	Division of Pediatric Nephrology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital	Teruo Fujita, Yoshie Teraoka, Takeshi Shimooka, Hiroshi Kaito, Kandai Nozu, Hajime Nakamura, Ryojiro Tanaka	4th	Congress of Asian Society for Pediatric Research	Hawaii	May 3-6, 2008

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
小児腎疾患における chymase の発現	和歌山県立医科大学 小児科 神戸大学大学院医学講 系研究科成道医学講 座 小児科学 兵庫県立こども病院 腎臓内科 国立成育医療センター 腎臓科	戸川寛子、中西浩一、 島 友子、尾鼻美奈、 吉川徳茂、野津寛大、 田中亮二郎、飯島一誠	第51回	日本腎臓学会	福岡	平成20年5月31日
腹膜透析中にみられた二次性副甲状腺機能亢進症の管 理に難渋した先天性ネフローゼ症候群の1例	腎臓内科	藤田晃生、下岡武史、 寺岡由恵、田中亮二郎	第43回	日本小児腎臓病学 会	福岡	平成20年 6月13日、14日
肝移植後の免疫抑制剤による腎障害についての検討	腎臓内科、小児外科	下岡武史、寺岡由恵、 藤田晃生、田中亮二郎、 横井睦子、高見沢滋、 佐藤志以樹、西島栄治	第43回	日本小児腎臓病学 会	福岡	平成20年 6月13日、14日
IgA 沈着が消失した重症型小児 IgA 腎症26例の検討	和歌山県立医科大学 小児科 神戸大学小児科 兵庫県立こども病院 腎臓内科 北海道大学 小児科 国立成育医療センター 腎臓科	島 友子、中西浩一、 戸川寛子、尾鼻美奈、 吉川徳茂、野津寛大、 田中亮二郎、佐々木聡、 飯島一誠	第43回	日本小児腎臓病学 会	福岡	平成20年6月13日、 14日
当院における膀胱尿管逆流症の長期予後の検討	腎臓内科、泌尿器科	寺岡由恵、下岡武史、 藤田晃生、田中亮二郎、 高木志寿子、久松英治、 乃美昌司、杉多良文	第43回	日本小児腎臓病学 会	福岡	平成20年6月13日、 14日
肝移植後に腎機能障害を呈した1例	腎臓内科	下岡武史、寺岡由恵、 藤田晃生、田中亮二郎	第12回	兵庫県腎疾患治療 懇話会	神戸	平成20年7月4日
当院における、ネフローゼ症候群に対する mizoribine 治療についての検討	腎臓内科	寺岡由恵、下岡武史、 藤田晃生、田中亮二郎	第51回	兵庫県小児腎臓懇 話会	神戸	平成20年7月12日
Impairment of renal function following pediatric liver transplantation and immunosuppressive drugs	Division of Pediatric Nephrology Hyogo prefectural Kobe Children's Hospital	Takeshi Shimooka, Yoshie Teraoka, Teruo Fujita, Ryojiro Tanaka	10th	Asian Congress of Pediatric Nephrology	Bangkok	August 28-30, 2008

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
High-Dose Mizoribine therapy for children with severe type 1 membranoproliferative glomerulonephritis	Division of Pediatric Nephrology Hyogo prefectural Kobe Children's Hospital	Ryojiro Tanaka, Yoshie Teraoka, Takeshi Shimooka, Teruo Fujita	10th	Asian Congress of Pediatric Nephrology	Bangkok	August 28-30, 2008
生体腎移植後にサイトメガロウイルス、EBウイルス、BKウイルスの混合感染を認めた1例	腎臓内科	下岡武史、田中亮二郎	第30回	日本腎不全学会	栃木	平成20年10月2日～3日
生体腎移植後にサイトメガロウイルス、EBウイルス、BKウイルスの混合感染を認めた1例	腎臓内科	下岡武史、田中亮二郎	第38回	近畿小児腎臓病研究会	大阪	平成20年11月29日
矯正用 Ti-Wiヤーを用いた術前顎矯正 口蓋形成時の検討	小児歯科	石井信行、曽根由美子、大山和樹	第32回	日本口蓋裂学会	広島	2008/05/28,29
舌リンパ管腫に起因した開咬症例	小児歯科	石井信行、川端順子、曽根由美子、西島栄治、霧ノ海龍三	第18回	日本顎変形症学会	名古屋	2008/06/17,18
シンポジウム：重症未熟児網膜症に対する初期手術選択と適応「近年の網膜症の発症および治療状況の変遷」	眼科	野村耕治	第112回	日本眼科学会総会	横浜	2008.4.17
小児白内障の診断と治療	眼科	野村耕治	2008年度	大阪医科大学 オープンカンファレンス	大阪	2008.4.24
シンポジウム：小児の眼内レンズ適応を考える・視覚発達管理からみた小児眼内レンズの適応	眼科	野村耕治	第33回	日本小児眼科学会総会	東京	2008.7.5
V型外斜視に対する下斜筋切腱術の治療効果	眼科	永井隆史、辰巳康子、野村耕治	第64回	日本弱視斜視学会総会	東京	2008.7.4
急速に増大した新生児鼻腔腫瘍の一例	放射線科	山口善道、赤坂好宣、橋村宏美、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、小阪嘉之、吉田敦子	第30回	近畿小児がん研究会	和歌山	2008/3/10
特別講演：胎児のMRI -体幹部を中心に-	放射線科	赤坂好宣	第37回	滋賀MRI研究会	草津	2008/3/21
研修医セミナー：救急疾患の画像診断 4.小児	放射線科	赤坂好宣	第67回	日本医学放射線学会総会	横浜	2008/4/6
急速に増大した乳児頭部腫瘍の1例	放射線科	原田 文、赤坂好宣、橋村宏美、山口善道、杉村和朗	第289回	日本医学放射線学会関西地方会	大阪	2008/6/28

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
小児腹部救急疾患の画像	放射線科	赤坂好宣		宮城県小児科医学会 学術講演会	仙台	2008/9/12
プチレヴュー：小児膀胱腫瘍	放射線科	赤坂好宣	第2回	兵庫県小児 tumor board	神戸	2008/9/5
ミニレクチャー：泌尿器系先天奇形	放射線科	赤坂好宣	第17回	関西 GUR 研究会	大阪	2008/10/17
化学療法後に嚢胞性の画像変化をきたした両側性 Wilms 腫瘍の1例	放射線科	上村尚文、赤坂好宣、 板橋健太郎、山口善道、 吉田牧子、杉村和朗	第290回	日本医学放射線学 会関西地方会	大阪	2008/11/15
小児脳腫瘍の画像診断	放射線科	赤坂好宣	第7回	放射線診療セミナー	神戸	2008/11/22
Stage 神経芽細胞腫の1例	兵庫県立こども病院 検査・放射線部病 理室1)、小児外科2)、 血液腫瘍科3)、放射 線科4)、西神戸医療 センター 病理科5)、 神戸市立医療センター 中央市民病院 病理6)	吉田牧子1)、橋本公夫5)、 今井幸弘6)、高見沢滋2)、 荒井洋志2)、横井暁子2)、 尾藤祐子2)、岡本竜弥2)、 佐藤志以樹2)、西島栄治2)、 長谷川大一郎3)、竹田洋樹3)、 川崎圭一郎3)、林 耕平3)、 小阪嘉之3)、赤坂好宣4)、 山口善道4)、 橋村宏美4)	第59回	関西小児病理研究 会	大阪市	2008年 1月12日(土)
晩期再発をきたした TTF1融合遺伝子関連腎癌の一例	姫路赤十字病院 検査部1)、倉敷中央病院 病理検査科2)、 兵庫県立こども病院 検査・放射線部 病理室3)、神奈川県 立こども医療センター 病理科4)	藤澤真義1)、能登原憲司2)、 吉田牧子3)、田中祐吉4)	第97回	日本病理学会総会	金沢市	2008年 5月16日(金)
右頸部腫瘍	兵庫県立こども病院 検査・放射線部 病理室	吉田牧子	2008年	小児腫瘍組織分類 委員会症例検討会	松本市	2008年 9月5日(金)
当院における小児神経芽腫、髄芽腫、悪性ラブライド 腫瘍における HER2/neu 蛋白の発現の免疫組織化学染 色を用いた検討	兵庫県立こども病院 検査・放射線部 病理室、血液腫瘍科 ²⁾ 、 脳神経外科 ³⁾ 、放射線 科 ⁴⁾ 、外科 ⁵⁾	吉田牧子 ¹⁾ 、長谷川大一郎 ²⁾ 、 林耕平 ²⁾ 、竹田洋樹 ²⁾ 、 川崎圭一郎 ²⁾ 、小阪嘉之 ²⁾ 、 河村厚史、長嶋達也 ⁴⁾ 、 赤坂好宣 ⁴⁾ 、山口善道 ⁴⁾ 、 尾藤祐子 ⁵⁾ 、横井暁子 ⁵⁾ 、 西島栄治 ⁵⁾	第28回	日本小児病理研究 会	松本市	2008年 9月6日(土)

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
乳児小脳腫瘍の1例	兵庫県立こども病院 検査・放射線部 病理室1)、脳神経外科2)、血液腫瘍科3)、放射線科4)	吉田牧子1)、長嶋達也2)、河村淳史2)、山元一樹2)、井上悟志2)、林耕平3)、下川祐子3)、竹田洋樹3)、長谷川大一郎3)、川崎圭一郎3)、小坂嘉之3)、赤坂好宣4)、山口善道4)	第60回	関西小児病理研究会	大阪市	2008年 10月25日(土)
全自動血液分析装置 CELL-DYN Sapphire におけるCD61免疫学的血小板測定値の検討	検査・放射線部	幸福淳子	2008年度	兵庫県立病院学会	神戸市	2008年9月6日
当院における検査部運営の現状と問題および日常検査の取り組み・くふう	検査・放射線部	幸福淳子	第28回	小児臨床検査研究会	春日井市	2008年10月12日
全自動血液分析装置 CELL-DYN Sapphire における必要最少検体量の検討	検査・放射線部	幸福淳子	第48回	近畿医学検査学会	神戸市	2008年10月19日
全自動血液分析装置 CELL-DYN Sapphire における有核赤血球測定値の検討	検査・放射線部	八尾雅美	第48回	近畿医学検査学会	神戸市	2008/10/18~19
在胎26週未満の児における創傷被覆材テガダーム貼付の効果 - 不感蒸泄量の減少と体温管理 -	N I C U	井谷洋美、山本陽子、和久望美、清永淳子、伊達尚美、菰野朱美	第18回	日本新生児看護学会	札幌	2008年 10月31日 ~11月1日
環境監査による院内感染防止の取り組み	N I C U	鳴瀬由佳、糸島美砂子、松本祥江、丹野友美、時吉あけみ、周藤育子、足立久美子	第23回	日本環境感染学会	長崎	2008年 2月22日~23日
先天性心疾患患者の統一した看護を目指して - 血行動態シート活用の取り組み -	N I C U	平井詠子、長谷部陽子、松本京子、土井真弓、菰野朱美	2008年度	県立病院学会	神戸	2008年9月6日
小児がんでこどもを亡くした遺族ケアの実践	血液主体病棟	小野里美	第13回	日本緩和医療学会	静岡市	2008年7月5日
胃瘻を持つ幼児のミルクからミキサー食注入に成功した1事例 - N S T リンクナースとしての取組 -	内外科科混合病棟	橋口ゆかり	第6回	兵庫県立病院学会	神戸市	2008年9月6日
小児救急医療センターにおける事例検討グループの発足と活動	救急医療センター	湯村佳奈子	第22回	日本小児救急医学会	奈良市	2008年6月20日
食拒否が形成された児の経口摂取確立までの症例報告	看護部	森本葉子	第14回	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	千葉県	2008年9月13日
呼吸障害ケア部会の活動報告 - 院内臨床工学技士との連携を通じて -	看護部 呼吸障害ケア部会	文字智子	2008年度	県立病院学会	兵庫県神戸市	2008年9月6日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
ダウン症である子どもの自立に関する家族の望みの構造	看護部	共同研究(文字智子)	第15回	日本家族看護学会	神奈川県 横浜市	2008年 9月13~14日
ダウン症である子どもの自立に向けた家族のかかわりの構造	看護部	文字智子	第15回	日本家族看護学会	神奈川県 横浜市	2008年 9月13~14日
ダウン症の子どもをもつ家族の自立に対する認識1 - 家族が望む自立の程度 -	看護部	共同研究(文字智子)	第55回	日本小児保健学会	北海道 札幌市	2008年 9月25~27日
ダウン症の子どもをもつ家族の自立に対する認識2 - 自立に向けた家族のかかわり -	看護部	文字智子	第55回	日本小児保健学会	北海道 札幌市	2008年 9月25~27日
ストーマサイトマキング	看護部	鎌田直子	2008年度	日本小児ストーマ・ 排泄管理セミナー	大阪市	2008年 4月24日
総排泄腔外反症患児の消化管ストーマ位置の検討	看護部	鎌田直子	2008年度	日本小児ストーマ・ 排泄管理研究会	大阪市	2008年 4月25日
WOC 概論	看護部	鎌田直子	2008年度	兵庫県看護協会皮 膚・排泄ケア看護 認定看護師研修	神戸市	2008年 5月21日
小児ストーマケア	看護部	鎌田直子	2008年度	兵庫県看護協会皮 膚・排泄ケア看護 認定看護師研修	神戸市	2008年 6月24日
失禁ケア	看護部	鎌田直子	2008年度	兵庫県看護協会皮 膚・排泄ケア看護 認定看護師研修	神戸市	2008年 8月5日
小児ストーマの管理と実際	看護部	鎌田直子	2008年度	関西ストーマケア 講習会	西宮市	2008年 8月17日
小児ストーマケア	看護部	鎌田直子	2008年度	白鳳女子大学 WOC 看護認定看護師教 育課程	奈良市	2008年 9月3日
二分脊椎症児の排便管理	看護部	鎌田直子	2008年度	二分脊椎症協会 広島支部 講演 会	広島市	2008年 11月30日
リンクナースへの小児WOCケア教育	看護部	鎌田直子	2008年度	近畿小児ストーマ・ 排泄・創傷研究会	大津市	2008年 12月13日
血管内留置針の圧迫による褥瘡発生予防への取り組み ～マイクロフォームの使用	看護部	田路久美子 鎌田直子	2008年度	近畿小児ストーマ・ 排泄・創傷研究会	大津市	2008年 12月13日
斜視の手術を受ける幼児期の子どもに対する母親のか かわりのプロセス	ICU	井上扶美	第18回	日本小児看護学会 学術集会	名古屋	2008年 7月26~27日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
ICUにおける過敏予防の早期取り組み	ICU	伊丹照美、西澤由美子、谷本江利子、下雅意つるえ	第44回	日本小児循環器学会総会学術集会	郡山市	2008年7月3～4日
血管内留置針の圧迫による褥瘡発生予防への取り組み～マイクログロブフォームの使用～	ICU	田路久美子	第19回	近畿ストーマ排泄創傷研究会	大津市	2008年12月13日
呼吸機能障害患者への理学療法の効果 - 脊椎側弯症に伴う呼吸機能障害の事例 -	循環器B病棟	平井重世、中村純子、赤木玉奈、河野 恵	2008年度	近畿地区看護研究会	京都市	2008年12月16～17日
腹式帝王切開術オリエンテーションVTRの作成と今後の課題	産科	杉友コリ	第10回	日本母性看護学会	大阪市	2008年6月21日
「小児救急のブレパレーション」	看護（小児救急医療センター）	清水称喜	2008年度	茨城県立こども病院 研修	茨城市	2008年2月27日
「子どもの頑張る力を引き出す関わり」	看護（小児救急医療センター）	清水称喜	2008年度	兵庫県認定看護師レヘルアップ研修	神戸市	2008年2月15日
「小児救急看護」	看護（小児救急医療センター）	清水称喜	2008年度	香川県看護協会研修	高松市	2008年10月5日
「救急外来における発達に応じたコミュニケーション技術」	看護（小児救急医療センター）	清水称喜	2008年度	日本看護協会看護研修学校講義	清瀬市（東京）	2008年8月25日
「小児救急看護」	看護（小児救急医療センター）	清水称喜	2008年度	広島県看護協会研修	広島市	2008年12月8日
「小児救急におけるトリアージ」	看護（小児救急医療センター）	清水称喜	2008年度	中国四国小児救急研修会	高松市	2008年12月19日
「小児救急医療センターにおける看護師教育の現状と課題」	看護（小児救急医療センター）	清水称喜	2008年度	兵庫県病院学会	神戸市	2008年9月6日
「小児救急におけるブレパレーション」	看護（小児救急医療センター）	清水称喜	第55回	日本小児保健学会	札幌市	2008年9月26日
産科病棟入院患者様へのイベントバイキング食提供の試み～クリスマス・ランチバイキングとパレンタイン・デザートバイキング～	栄養指導課	*松崎勝人、富本 弘、北谷剛章、川脇 恵、谷口草子	第6回	兵庫県立病院学院学会	神戸市	2008年9月6日
心臓外科手術後の乳児における経時的栄養評価	栄養指導課	谷口草子	第12回	日本病態栄養学会年次学術集会	京都市	2009年1月10日～1月11日
診断確定に1年以上を要した高安病の1例	アレルギー科	三好麻里	第244回	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎市	2008年2月2日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
救急医療室で治療を要した小児リウマチ性疾患患者に ついての検討	アレルギー科	中岸保夫	第52回	日本リウマチ学会 総会・学術集会	札幌市	2008. 4. 21
食物負荷試験における症状出現リスク因子の検討	アレルギー科	谷中好子	第245回	日本小児科学会兵 庫県地方会	神戸市	2008. 5. 24
当院における若年性特発性関節炎に対する生物学的製 剤の使用状況	アレルギー科	中岸保夫	第245回	日本小児科学会兵 庫県地方会	神戸市	2008. 5. 24
食物負荷試験1038例の検討：第一報 臨床型別の報告	アレルギー科	谷中好子	第20回	日本アレルギー学 会春季臨床大会	東京都	2008. 6. 13
食物負荷試験1038例の検討：第一報 月齢、食品別の 検討	アレルギー科	三好麻里	第20回	日本アレルギー学 会春季臨床大会	東京都	2008. 6. 13
画像上スキルスが疑われた好酸球性胃腸症の14歳男児 例	アレルギー科	田中裕也	第20回	日本アレルギー学 会春季臨床大会	東京都	2008. 6. 13
A case of systemic-onset juvenile idiopathic ar- thritis might develop macrophage activation syn- drome during Tocilizumab treatment	アレルギー科	中岸保夫	第13回	The Asia Pacific League of Associations for Rheumatology	横浜市	2008. 9. 25
トシリズマブによる治療中にマクロファージ活性化症 候群の合併を疑う全身型若年性特発性関節炎の1例	アレルギー科	安部信吾	第18回	日本小児リウマチ 学会	札幌市	2008.10. 3
授乳中の母親に対する厳格な食物制限が原因と推測さ れた後天性甲状腺機能低下症を合併した乳児食物アレ ルギーの1例	アレルギー科	田中裕也	第45回	日本小児アレルギー 学会	横浜市	2008.12.14
兵庫県立こども病院小児救急医療センターの現状と課 題	救急集中治療科	三好麻里、上谷良行	第22回	日本小児救急医学 会	奈良	2008年6月20日
当院における有熱性痙攣の検討	救急集中治療科	青木一恵、佐治洋介、 澤田杏子、丸山あずさ、 永瀬裕朗、三好麻里、 上谷良行	第22回	日本小児救急医学 会	奈良	2008年6月20日
小児重症頭部外傷に対し、減圧開頭術を併用した脳低 温療法施行症例の検討	救急集中治療科	井出健太郎、青木一恵、 澤田杏子、佐治洋介、 永瀬裕朗、三好麻里、 上谷良行、山本一樹、 長嶋達也	第22回	日本小児救急医学 会	奈良	2008年6月21日
当院救急医療室において救命不可能であった児への対 応	救急集中治療科	澤田杏子、永瀬裕朗、 上谷良行	第111回	日本小児科学会	東京	2008年 4月25～27日
2000年出生の超低出生体重児6歳時予後の全国調査集 計結果	総合診療科	上谷良行	第53回	日本未熟児新生児 学会	札幌	2008年 10月30～11月1日
当院救急医療室を受診した交通外傷症例の検討	救急集中治療科	猪俣慶、三好麻里、 上谷良行	第244回	日本小児科学会兵 庫県地方会	西宮	2008年2月2日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
当院救急医療室における院外心肺停止症例の検討	救急集中治療科	澤田杏子、永瀬裕明、三好麻里、上谷良行	第244回	日本小児科学会兵庫県地方会	西宮	2008年2月2日
当院救急医療室における痙攣性疾患のまとめ	救急集中治療科	青木一憲、澤田杏子、佐治洋介、永瀬裕明、上谷良行	第244回	日本小児科学会兵庫県地方会	西宮	2008年2月2日
PICUにおける集中治療を要した中枢神経系疾患の検討	救急集中治療科	佐治洋介、青木一憲、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕明、三好麻里、上谷良行	第245回	日本小児科学会兵庫県地方会	神戸	2008年5月24日
前頭葉を主として障害する乳幼児急性脳症(AIEF)の一例	救急集中治療科	田村彰広、青木一憲、澤田杏子、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕明、上谷良行、井上真太郎、三舛信一郎	第246回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2008年9月13日
乳幼児の虐待が疑われる外傷性脳傷害患者は外傷ではなく、神経症状を主訴に来院する	救急集中治療科、脳神経内科	永瀬裕明、奥山眞紀子、青木一憲、丸山あずさ	第50回	日本小児神経学会総会	東京	2008年5月28日
小児神経集中治療における持続脳波モニタリングの試み	救急集中治療科、脳神経内科	丸山あずさ、永瀬裕明	第50回	日本小児神経学会総会	東京	2008年5月29日
当院における有熱性痙攣の早期予後不良因子検討	救急集中治療科、脳神経内科	青木一憲、澤田杏子、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕明	第43回	日本小児神経学会近畿地方会	大阪	2008年11月8日
救急医療室で治療を要した小児リウマチ性疾患患者についての検討	救急集中治療科、アレルギー科	中岸保夫	第52回	日本リウマチ学会総会・学術集会	札幌	2008年4月21日
子どもを「避ける死」から守るためにできること	総合診療科	上谷良行	平成20年度	平成20年度小児救急医療研修会	神戸	2008年10月19日
BLS, PALSの基本と実際	救急集中治療科	上谷良行、福原信一、青木一憲、下川祐子	平成20年度	近畿ブロック医療技術研修会	神戸	2008年11月8日
虐待の診断と対応	救急集中治療科	青木一憲	平成20年度	近畿ブロック医療技術研修会	神戸	2008年11月8日
小児救急におけるトリアージ	救急集中治療科	福原信一	平成20年度	近畿ブロック医療技術研修会	神戸	2008年11月8日
迅速な心肺機能評価	救急集中治療科	上谷良行	平成19年度	小児救急アドバンスト研修会	神戸	2008年2月17日
迅速な心肺機能評価	救急集中治療科	上谷良行	平成20年度	小児救急アドバンスト研修会	神戸	2008年10月5日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
Shaken Baby Syndrome/Abusive Head Trauma in Japan.	救急集中治療科	Takeo Fujiwara, Hiroaki Nagase, Takahiro Hoshino	第7回	Seventh North American Conference on Shaken Baby Syndrome/Abusive Head Trauma	サンフランシスコ	October 5-7, 2008
小児心肺停止蘇生後症例の神経学的予後判定における聴性脳幹反応(ABR)V波の検討	救急集中治療科	佐治洋介、澤田杏子、青木一憲、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第36回	日本救急医学会総会・学術集会	札幌	2008年10月14日
小児急性脳炎・脳症に対するデキサメサゾン併用脳低温療法の介入による神経学的予後の比較検討	救急集中治療科	佐治洋介、青木一憲、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第57回	兵庫県小児てんかん研究会	神戸	2008年9月20日
小児急性脳炎・脳症に対するデキサメサゾン併用脳低温療法の介入による神経学的予後の比較検討	救急集中治療科	佐治洋介、青木一憲、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第11回	日本脳低温療法学会	岐阜	2008年7月4日
Comparison of Neurological Outcomes After Treatments with Mild Hypothermia with Dexamethasone and Normothermia for Presumed Encephalitis.	救急集中治療科	Yohsuke Saji, Kazunori Aoki, Kyoko Sawada, Azusa Maruyama, Hiroaki Nagase, Hajime Nakamura	2008	Pediatric Academic Societies' 2008 Annual Meeting	ホノルル	2008年5月2～6日
PICUにおける集中治療を要した中枢神経疾患の検討	救急集中治療科	佐治洋介、青木一憲、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕朗、三好麻里、上谷良行	第35回	日本集中治療医学会	東京	2008年2月14日
小児悪性固形腫瘍に対する同種造血幹細胞移植の経験	血液腫瘍科	長谷川大一郎	第23回	須磨区医師会学術集会	神戸	
兵庫県立こども病院における小児耳鼻科の現況	耳鼻咽喉科	阪本浩一		明石市医師会講演会	明石	2008/1/31
耳鳴	耳鼻咽喉科	大津雅秀		A M神戸「みんなの健康相談」兵庫県医師会提供ラジオ番組	神戸	2008.3.1
みみの話	耳鼻咽喉科	阪本浩一		加古川市医師会耳の日講演会	加古川	2008/3/8
シンポジウム：胃食道逆流の咽喉頭症状の現況と病態生理：小児および成人の胃食道逆流の咽喉頭症状の現況	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第20回	喉頭科学会総会	佐賀	2008/3/14

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
後鼻漏と咳そして異常感	耳鼻咽喉科	阪本浩一	2008	喉頭アレルギークラム	名古屋	2008/6/7
ランチョンセミナー：臨床に役立つ咽喉頭異常感・咳嗽の鑑別診断ー副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎・喉頭アレルギークラムそして胃食道逆流との関わり	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第47回	日本鼻科学会総会	名古屋	2008/9/27
シンポジウム：PNDSは慢性咳嗽の重要な原因となるか？	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第10回	日本咳嗽研究会	金沢	2008/11/1
特別講演：頭頸部外科医がPETを使う時《頭頸腫瘍におけるPETの臨床応用》	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第13回	東海腫瘍核研究会	名古屋	2008/11/8
特別講演：頭頸部外科医がPETを使う時《頭頸腫瘍におけるPETの臨床応用》	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第178回	長久手会	名古屋	2008/11/27
後鼻漏は慢性咳嗽の重要な原因となりうるか？	耳鼻咽喉科	阪本浩一	第6回	東播耳鼻科研究会	加古川	2008/11/13
Bone-conduction auditory steady state response(ASSR) in children:usefulness and problem	耳鼻咽喉科	Hirokazu Sakamoto, Masahide Otsu, Keiko Shibakiri		8th International Conference of European Society of Paediatric Otorhinolaryngology	Budapest, Hungary	2008.6.8-11
ASSRにて聴力評価を行い補聴器装用に至った乳児の長期経過	耳鼻咽喉科	阪本浩一、大津雅秀、柴切圭子	第158回	日耳鼻兵庫県地方部会	尼崎	2008/3/30
兵庫県立こども病院における新生児聴覚スクリーニング検査後の精密聴力検査の検討	耳鼻咽喉科	大津雅秀、阪本浩一、柴切圭子	第109回	日本耳鼻咽喉科学会総会	大阪	2008/5/15
小児難聴診断におけるASSRの役割-ABRの省略は可能か？-	耳鼻咽喉科	阪本浩一、大津雅秀	第109回	日本耳鼻咽喉科学会総会	大阪	2008/5/15
ASSRにて聴力評価を行った乳児の長期経過(補聴器装用に至った中等度感音難聴例を中心に)	耳鼻咽喉科	阪本浩一、大津雅秀、柴切圭子	第3回	日本小児耳鼻科学会総会	鹿児島	2008/6/21
主題：小児難聴の評価における聴性定常反応(ASSR)の有用性と問題点	耳鼻咽喉科	阪本浩一、大津雅秀	第53回	日本聴覚医学会総会	東京	2008/10/2
鼻副鼻腔炎に伴う後鼻漏と咳嗽の関連について	耳鼻咽喉科	阪本浩一、吉田尚史	第47回	日本鼻科学会総会	名古屋	2008/9/26
舌小帯短縮症が構音障害に関連していたと考えられた2例	耳鼻咽喉科	阪本浩一、柴切圭子	第53回	日本音声言語医学会総会	三原	2008/10/24
当科における二期的Furlow法による口蓋形成術	形成外科	大山知樹、吉村友希、小野田素大	第32回	日本口蓋裂学会学術集会	広島	2008/5/29
Original Preoperative Orthodontic Appliances for the Treatment of Cleft Lip and Palate in Kobe Children's Hospital	Plastic Surgery	Tomoki Oyama		Australian Plastic Surgery Society, Congress, 2008	Queensland	2008/10/2~5

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
当科における顎裂部骨移植術における移植材料の変遷	形成外科	大山知樹、吉村友希、小野田素大	第26回	日本顎顔面外科学会学術集会	岩手	2008/10/16
RED system により上顎骨前方延長術を施行した2例	形成外科	小野田素大、大山知樹、吉村友希	第91回	日本形成外科学会関西支部学術集会	京都	2008/11/29
小児難治性固形腫瘍に対する同種造血幹細胞移植	血液腫瘍科	猪俣 慶、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、小阪嘉之	第16回	兵庫県がん細胞治療研究会	神戸	
神経線維腫症に合併し Triton 腫瘍との鑑別を要した横紋筋肉腫の1例	血液腫瘍科	林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、吉田牧子、小阪嘉之	平成19年度	JRSG 研究会	東京	2008年1月26日
神経芽腫に対する同種造血幹細胞移植	血液腫瘍科	猪俣 慶、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、小阪嘉之	平成19年度	神戸血液病研究会	神戸	2008年2月9日
心肺停止状態で発症し、その後臨床的に脳死状態となっているランゲルハンス細胞組織球症 (LCH) の一例	血液腫瘍科	川崎圭一郎、佐竹恵理子、猪俣 慶、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之	平成19年度	JL-SG 研究会	大阪	2008年3月22日
Clonal expansion of an MLL-AF3p21 fusion gene in the absence of leukaemia	血液腫瘍科	D Hasegawa, K Uchide-Takeda, A Hayakawa, K Hayashi, H Takeda, K Kawasaki, Y Kosaka	第48回	英国血液学会総会	Scotland	2008年4月1日
当院医療従事者に対する流行性疾患への感染対策	血液腫瘍科	田中裕也、小阪嘉之、中尾秀人、中村 肇	平成20年度	日本小児科学会	東京	2008年4月25日
JACLS ER02研究	血液腫瘍科	長谷川大一郎	平成19年度	JACLS 総会	大阪	2008年5月18日
Expression of HER2/neu is Uncommon in Childhood Neuroblastomas but not in Human Neuroblastoma Cell Lines	血液腫瘍科	Hasegawa D, Yoshida M, Takahashi H, Yanai T, Imai Y, Hayashi K, Takeda H, Kawasaki K, and Kosaka Y		Advances Neuroblastoma Research 2008	千葉	2008年5月22日
初診時広範な頭蓋内出血を認めた AMMoL の一例	血液腫瘍科	山口由美、浅野貴大、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、小阪嘉之	第24回	兵庫県小児血液腫瘍症例検討会	神戸	2008年6月6日
初診時多発転移を認めた MRTK の一例	血液腫瘍科	川崎圭一郎、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之	平成20年度	大阪小児がんカンファレンス	大阪	2008年7月26日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
両側 Wilms 腫瘍の一例	血液腫瘍科	川崎圭一郎、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之	平成20年度	兵庫県 tumor board	神戸	2008年9月5日
診断に苦慮した縦隔原発年長児の悪性腫瘍の一例	血液腫瘍科	川崎圭一郎、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之	平成20年度	兵庫県 tumor board	神戸	2008年9月5日
急性転化で発症し、HLA3座不一致の母親から同種骨髄移植を施行した JMML の1例	血液腫瘍科	下川祐子、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、小阪嘉之	平成20年度	神戸血液病研究会	大阪	2008年9月13日
抗血小板抗体出現により水頭症と尿路結石の管理に難渋した血小板無力症の1例	血液腫瘍科	竹田洋樹、林 耕平、長谷川大一郎、川崎圭一郎、柏木浩和、富山佳昭、小阪嘉之	平成20年度	臨床血液学会	京都	2008年10月10日
リツキシマブが著効した、多彩な自己免疫病態を有する難治性特発性血小板減少性紫斑病の1例	血液腫瘍科	早川 昂、豊嶋大作、金澤 健、光田好寛、森 矢内友子、竹島泰弘、川崎圭一郎、小阪嘉之、谷中好子、松尾雅文	平成20年度	臨床血液学会	京都	2008年10月10日
小児再生不良性貧血に対する免疫抑制療法の反応性は治療開始前の臨床像・検査所見から予測可能か	血液腫瘍科	吉田奈央、谷々崎博、小阪嘉之、小林良二、矢部善正、金子 隆、土田昌宏、小原 明、中畑龍俊、小島勢二	平成20年度	臨床血液学会	京都	2008年10月11日
JACLS-ALL02治療研究における L-asparaginase 肺炎発症の危険因子の検討	血液腫瘍科	橋井佳子、堀浩樹、鈴木信寛、河崎裕英、遠藤幹也、吉田 真、佐藤 篤、末延聡一、伊藤康彦、森本 哲、松本公一、原 純、長谷川大一郎、茶山公祐、宮地良介、西村真一郎、谷澤昭彦、宇佐美郁哉、出口隆生、高橋良博、堀部敬三、八木啓子、小児白血球病研究会 ALL 小委員会	平成20年度	臨床血液学会	京都	2008年10月11日
小児固形腫瘍に対する分子標的治療に関する研究	血液腫瘍科	長谷川大一郎	平成20年度	兵庫県医師会勤務医研究助成研究発表	神戸	2008年11月9日

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
初診時に骨髄転移を認めた stage 4 片側網膜芽細胞腫の 1 例	血液腫瘍科	林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、小阪嘉之、野村耕治、吉田牧子	平成20年度	小児がん学会	千葉	2008年11月14日
初診時切除不能肝芽腫 7 例の臨床的検討	血液腫瘍科	岡本竜弥、西島栄治、田浦康明、高野洋一、岡本光正、中尾 真、荒井洋志、尾藤裕子、横井暁子、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之、川崎圭一郎、小阪嘉之、吉田牧子	平成20年度	小児がん学会	千葉	2008年11月14日
初診時、著しい白血球増多に伴い leukostasis を合併した急性単球性白血病の 3 例	血液腫瘍科	長谷川大一郎、山口由美、早川 晶、宇佐美郁哉、松原康策、林 耕平、竹田洋樹、川崎圭一郎、小阪嘉之	平成20年度	小児血液学会	千葉	2008年11月14日
化学療法が無効で切除困難と考えられた巨大神経節芽腫の 1 例	血液腫瘍科	荒井洋志、西島栄治、佐藤志以樹、横井暁子、尾藤裕子、中尾 真、岡本竜弥、岡本光正、高野洋一、田浦康明、小阪嘉之、竹田洋樹、林 耕平、吉田牧子	平成20年度	小児がん学会	千葉	2008年11月15日
縦隔腫瘍で発症したランゲルハンス細胞組織球症 (LCH) の 3 例	血液腫瘍科	林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之	平成20年度	小児がん学会	千葉	2008年11月15日
生下時血小板減少を認めたものの、脾腫を認めず診断に苦慮した若年性骨髄単球性白血病 (JMML) の 1 例	血液腫瘍科	川崎圭一郎、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之、松田和之、小池健一	平成20年度	小児血液学会	千葉	2008年11月16日
Relapse of Children with Aplastic Anemia after Immunosuppressive Therapy	血液腫瘍科	Takuya Kamio, Etsuro Ito, Akira Ohara, Yoshiyuki Kosaka, Masahiro Tsuchida, Hiideo Mugishima, Hiromasa Yabe, Akira Morimoto, Shouichi Ohga, Hiroshi Yagasaki, Fumio Bessho, Tatsutoshi Nakahata, and Seiji Kojima	第50回	Annual Meeting of American Society of Hematology	SanFrancisco	2008年12月 7 日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Predicting Response to Immunosuppressive Therapy in Childhood Aplastic Anemia.	血液腫瘍科	Nao Yoshida, Hiroshi Yagasaki, Yoshiyuki Kosaka, Ryoji Kobayashi, Hiromasa Yabe, Takashi Kaneko, Masahiro Tsuchida, Akira Ohara, Tatsutoshi Nakahata, and Seiji Kojima	第50回	Annual Meeting of American Society of Hematology	San Francisco	2008年12月8日
Nation-Wide Survey of Infant Leukemia in Japan: A Report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group (JPLSG).	血液腫瘍科	Takako Miyamura, Katsuyoshi Koh, Daisuke Tomizawa, Kanji Sugita, Koji Kato, Takashi Sato, Yoshihiro Takahashi, Atsushi Ogawa, Masahiro Hirayama, Akira Kikuchi, Megumi Oda, Daiichiro Hasegawa, Kazutoshi Koike, Yutaka Saikawa, Michiki Hatanaka, Keizo Horibe, and Eiichi Ishii	第50回	Annual Meeting of American Society of Hematology	San Francisco	2008年12月9日
初発時、肺・骨転移を認めた GIST の一例	血液腫瘍科	中島 絵梨花、林 耕平、竹田洋樹、長谷川大一郎、川崎圭一郎、小坂嘉之	平成20年度	小児がんカンファレンス	大阪	2008年12月13日
小児固形腫瘍に対する造血幹細胞移植の経験	血液腫瘍科	長谷川大一郎		須磨区医師会講演会	神戸	2008年3月15日
当院における血友病診療	血液腫瘍科	小坂嘉之	第1回	姫路へモフィリア研究会	姫路	2008年4月12日
先天股脱に対するリームベンユージェル法	整形外科	小林大介	47	日本小児股関節研究会	名古屋	2008.6.27~28
臼蓋形成不全の自然経過	整形外科	小林大介	19	日本小児整形外科学会	東京	2008.12.11~12
創外固定器を用い変形矯正、延長を行った限局性強皮症の1例	整形外科	小林大介	21	日本創外固定骨延長学会	横浜	2008.2.22~23
大腿骨頭すべり症に対する In situ pinning	整形外科	小林大介	41	近畿小児整形外科学懇話会	大阪	2008.2.2
過剰肢による足部変形に対し足関節形成術を行った1例	整形外科	小林大介	33	日本足の外科学会	東京	2008.6.20~21

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
特発性股関節軟骨融解症の1例	整形外科	浜村清香	41	近畿小児整形外科懇話会	大阪	2008. 2. 2
Radical soft tissue release for severe equinovarus deformity in spina bifida and arthrogyposis	整形外科	薩摩真一	7	APOA	チエジユ島	2008. 6. 4 ~ 7
年長児先天性股関節脱臼の治療経過	整形外科	薩摩真一	47	日本小児股関節研究会	名古屋	2008. 6. 27 ~ 28
症候性内足に対して Ponseti 法を初期治療とした軟部組織離断術の術後成績	整形外科	薩摩真一	33	日本足の外科学会	東京	2008. 6. 20 ~ 21
小児整形外科疾患とそのタイミング	整形外科	薩摩真一	7	西播整形外科医会	姫路	2008. 1. 19
小児の歩容異常とその原因疾患	整形外科	薩摩真一		姫路市整形外科医会	姫路	2008. 3. 6
小児の股関節疾患とその治療指針	整形外科	薩摩真一		播但地区整形外科集会	神戸	2008. 5. 15
乳幼児期の整形外科疾患 頻度の高いもの、稀なもの	整形外科	薩摩真一	23	神戸市北区整形外科医会	神戸	2008. 7. 5
小児整形外科疾患に対する治療戦略	整形外科	薩摩真一	153	静岡県整形外科医会集談会	三田	2008. 7. 15
外来で遭遇する小児整形外科疾患の鑑別と治療	整形外科	薩摩真一		奈良県臨床整形外科医会	奈良	2008. 7. 26
乳幼児期の股関節疾患	整形外科	薩摩真一	116	備後整形外科医会	福山	2008. 10. 4
小児整形外科手術における自己血貯血について	整形外科	竹内正史	42	近畿小児整形外科懇話会	大阪	2008. 8. 2
小児整形外科手術における自己血貯血について	整形外科	竹内正史	19	日本小児整形外科学会	東京	2008. 12. 11 ~ 12
大脳半球間裂に発生した ectopic ependymoma の一例	脳神経外科	河村淳史	第5回	神戸脳腫瘍症例検討会	神戸	2008/ 3 / 12
乳児テント上非定型奇形腫瘍/ラブroid腫瘍の治療経験	脳神経外科	山本大輔	第55回 第67回	日本脳神経外科学会近畿支部学術集会・近畿脳腫瘍研究会	大阪	2008/ 4 / 5
大脳半球間裂に発生した上衣腫の一例と発生に関する考察	脳神経外科	河村淳史	第26回	日本脳腫瘍病理学会	東京	2008/ 5 / 23
Atypical teratoid/Rhabdoid tumor 2例の治療経験	脳神経外科	河村淳史	第36回	小児神経外科学会	東京	2008/ 5 / 29

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
3歳未満の小児脳腫瘍に対する集学的治療 (シンポジウム)	脳神経外科	長嶋達也	第36回	日本小児神経外科学会	東京	2008年5月30日
脳神経外科専門医訓練における小児病院の役割 (シンポジウム)	脳神経外科	長嶋達也	第36回	日本小児神経外科学会	東京	2008年5月30日
胎児診断された脊髄腫瘍症例の検討 (シンポジウム)	脳神経外科	山元一樹	第36回	日本小児神経外科学会	東京	2008年5月30日
脊髄腫瘍の外科的治療 - 脊髄係留症候群 (教育講演)	脳神経外科	長嶋達也	第25回	二分脊椎研究会	名古屋	2008年6月21日
脊髄腫瘍の修復術	脳神経外科	山元一樹	第25回	二分脊椎研究会	名古屋	2008年6月21日
診断が困難であったが治療が功を奏した乳児脳室内 atypical teratoid/ Rhabdoid 腫瘍の1例	脳神経外科	河村淳史	第7回	小児脳腫瘍研究会	京都	2008/8/2
小児救急医療センター開設と頭部外傷	脳神経外科	山元一樹	2008年度	兵庫県脳神経外科 医懇話会	神戸	2008年7月5日
小児頭部外傷に伴う交通枝領域の脳梗塞	脳神経外科	井上悟志	第56回	日本脳神経外科学 会近畿支部学術集 会	大阪	2008年9月13日
脳室 - 腹腔シャント機能不全 - 診断とピットフォー ル	脳神経外科	山元一樹	第90回	こども病院症例検 討会	神戸	2008年9月25日
小児救急医療センター開設に伴う診療体制強化への取 り組み	脳神経外科	山元一樹	第26回	日本こども病院神 経外科医会	大阪	2008年9月27日
小児第3脳室内腫瘍の治療	脳神経外科	井上悟志	第67回	日本脳神経外科学 会総会	盛岡	2008年11月1日
小児悪性脳腫瘍に対する外科的治療および補助療法後 の2次性脳腫瘍の経験	脳神経外科	河村淳史	第67回	日本脳神経外科学 会総会	盛岡	2008/11/1
脊髄腫瘍 - 胎児診断症例の特徴、経過 -	脳神経外科	山元一樹	第67回	日本脳神経外科学 会総会	盛岡	2008年11月1日
Shaken Baby Syndrome の診断・治療に関する臨床的 研究の外科的治療	脳神経外科	長嶋達也	2008年度	厚生労働省精神 経委託研究費 18 指-4 研究報告回	東京	2008年11月22日
診断が困難であった大脳半球間列に発生した小児脳腫 瘍の一例	脳神経外科	河村淳史	第26回	日本脳腫瘍学会	松山	2008/12/1
Syringomyelia: Current concept in diagnosis and treatment 招待講演	脳神経外科	長嶋達也	2008年	World Federation of Neurological Surgeons, Education Course	Taipei, Taiwan	2008年 12月5 ~ 7日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
乳児期の神経内視鏡手術	脳神経外科	山元一樹	2008年度	神戸大学脳神経外科同門会	神戸	2008年12月14日
デンバー 講習会	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子	2008年	社会人学び直し講座	島根県松江市	2008年1月27日
デンバー 講習会	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子	2008年	社会人学び直し講座	島根県出雲市	2008年2月10日
デンバー 講習会	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子	2008年	社会人学び直し講座	島根県浜田市	2008年2月11日
デンバー 講習会	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子	2008年	デンバー 判定技術養成講習会	神戸市中央区	2008年6月19日
新型インフルエンザについて	指導相談・地域医療 連携部	宅見晃子	20年度第2回	三木ハートケア研究会	三木市	2008年9月11日
養育困難事例における退院支援について	指導相談・地域医療 連携部	長岡美佐	20年度	兵庫県育児支援研究会	神戸	2008年10月4日
小児心臓検査における最適コイルの検討	放射線部	北住一哉	第36回	日本磁気共鳴学会	旭川市	H20. 9. 12
ヨードアレルギー患児に対しガドリニウム造影剤を用いて施行した心大血管IVRの一例	放射線部	関尾直士	第6回	県立病院学会	神戸市	H20. 9. 6
小児における心大血管IVRでの重複照射野についての検討	放射線部	関尾直士	第47回	全国自治体病院学会	福井市	H20. 10. 16
小児心大血管IVRにおける照射野の重複についての検討	放射線部	関尾直士	第36回	日本放射線技術学会秋季学術学会	長野県軽井沢町	H20. 10. 23
ガドリニウム造影剤を使用したヨードアレルギー患児に対する心大血管IVRの検討	放射線部	関尾直士	第20回	兵庫県放射線技術学会学術大会	姫路市	H20. 11. 9

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
小児のX線TV検査と被ばく	放射線部	関尾直士	20年度第2回	兵庫県放射線技師会 淡路支部勉強会	洲本市	H20. 12. 20
早産児におけるDCHとCLDの関連性	新生児科	上田雅章	第17回	近畿新生児研究会	大阪	2008. 3. 1
TTTS - 最近の症例に学ぶterminationの難しさ -	新生児科	秋田大輔	第243回	未熟児新生児懇話会	神戸	2008. 3. 13
双胎間輸血症候群における循環管理について	新生児科	秋田大輔	第21回	近畿小児科学会	大阪	2008. 3. 16
未熟児へのパロピズマブの効果と問題点	新生児科	中尾秀人	第111回	日本小児科学会	東京	2008. 4. 26
子宮内胎児発育遅延児におけるlight-for-datesとsmall-for-datesの違い	新生児科	芳本誠司	第111回	日本小児科学会	東京	2008. 4. 26
新生児低酸素性虚血性脳症における連続脳波記録の使用経験	新生児科	坂井仁美	第111回	日本小児科学会	東京	2008. 4. 26
第三次周産期センターにおける多胎分娩の変遷	新生児科	上田雅章	第111回	日本小児科学会	東京	2008. 4. 26
Prophylactic Indomethacin for Patent Ductus Arteriosus in Extremely Premature Infants between 23 and 24 Wks Gestation	新生児科	芳本誠司	2008	PAS annual meeting	Honolulu, Hawaii	2008. 5. 5
A Novel CT Scoring System for Chronic Lung Disease in Preterm Infants	新生児科	坂井仁美	2008	PAS annual meeting	神戸	2008. 5. 5
Efficacy and Safety of Hydrocortisone Treatment for Refractory Hypotension in Extremely Premature Infants.	新生児科	溝淵雅巳	2008	PAS annual meeting	東京	2008. 5. 5
当院NICUで経験した超早産児早発型敗血症5例の検討	新生児科	岩谷壮太	第245回	日本小児科学会兵庫県地方会	神戸	2008. 5. 24
新生児期に発症したメチルマロン酸血症の1例	新生児科	沖田 空	第245回	日本小児科学会兵庫県地方会	神戸	2008. 5. 24
胎児期より診断されていた頭蓋内奇形腫の早産児2例	新生児科	中村 舞	第244回	未熟児新生児懇話会	神戸	2008. 6. 26
重症先天性横隔膜ヘルニアの治療戦略と限界	新生児科	芳本誠司	第44回	日本周産期新生児医学会	横浜	2008. 7. 14
血清IGF-1値と未熟児網膜症の関連性	新生児科	溝淵雅巳	第44回	日本周産期新生児医学会	横浜	2008. 7. 14

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
早産児における常位胎盤早期剥離の危険因子に関する検討	新生児科	岸本佳子	第44回	日本周産期新生児医学会	横浜	2008. 7. 15
心臓腫瘍の6例	新生児科	坂井仁美	第44回	日本周産期新生児医学会	横浜	2008. 7. 15
早産児におけるDCHとCLDの関連性	新生児科	上田雅章	第44回	日本周産期新生児医学会	横浜	2008. 7. 15
多臓器不全を合併した胎児母体間輸血症候群の1例	新生児科	山口由美	第246回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2008. 9. 13
両児とも動脈管閉鎖術を施行した在胎32週、一絨毛膜二羊膜性双胎	新生児科	小川禎治	第246回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2008. 9. 13
早産児の急性期の低血圧に対するステロイド療法	新生児科	溝淵雅巳	第2回	新生児内分泌研究会	京都	2008. 9. 14
気管内吸引液による病態解析	新生児科	岩谷壮太	第245回	未熟児新生児懇話会	神戸	2008. 9. 25
重症Leaky Lung Syndromeに対するヒドロコルチゾン投与の有効性と安全性	新生児科	溝淵雅巳	第53回	日本未熟児新生児学会	札幌	2008. 10. 30
「NO吸入療法：その新たな治療戦略-NO吸入療法を安全かつ効果的に行うために-」薬物との併用療法に関して	新生児科	芳本誠司	第53回	日本未熟児新生児学会	札幌	2008. 10. 30
一絨毛膜双胎児の出生時NT-proBNP値はTTTSの指標となるか	新生児科	坂井仁美	第53回	日本未熟児新生児学会	札幌	2008. 10. 30
超早産児における尿中ステロイドホルモンの変化	新生児科	吉形真由美	第53回	日本未熟児新生児学会	札幌	2008. 10. 30
長期人工呼吸器管理を要した超早産児の気道内保菌と予後の検討	新生児科	岩谷壮太	第53回	日本未熟児新生児学会	札幌	2008. 10. 30
早発型嚢胞性脳室周囲白質軟化症の1例 - 絨毛羊膜炎の関与および炎症の時相に関する検討 -	新生児科	沖田空	第53回	日本未熟児新生児学会	札幌	2008. 10. 30
超早産児におけるIL-6値は絨毛羊膜炎を予測できるか？	新生児科	上田雅章	第53回	日本未熟児新生児学会	札幌	2008. 11. 1
早産児のRSウイルス感染予防の重要性	新生児科	中尾秀人	第33回	日本産婦人科学会岡山地方部会	岡山	2008. 11. 16
脳室内出血後水頭症に対して外科治療を施行した10例の検討	新生児科	沖田空	第246回	未熟児新生児懇話会	神戸	2008. 12. 4
最近経験した大動脈弓離断症5症例の経験	心臓血管外科	日隈智恵、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、井上武	第244回	日本小児科学会兵庫県地方会・総会	西宮	2008. 2. 2

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
大動脈縮窄、弓部低形成を伴った両大血管右室起始症に対する手術	心臓外科	井上 武、大嶋義博、吉田昌弘、團尾文子、島津親志、日隈智憲	第22回	日本小児循環器学会近畿中四国地方会	大阪	2008. 2. 3
シンボジウム 経右室アプローチによるフアロー四徴症根治術後の遠隔成績	心臓外科	大嶋義博、吉田昌弘、團尾文子、島津親志、日隈智憲、井上 武、山口真弘	第38回	日本心臓血管外科学会総会	福岡	2008. 02. 22
先天性心疾患に対する大動脈弁置換術後の検討	心臓血管外科	島津親志	第38回	日本心臓血管外科学会学術総会	福岡市	2008. 2. 20-22
異型鎖骨下動脈を再建した先天性心疾患症例の検討	心臓外科	井上 武、大嶋義博、吉田昌弘、團尾文子、島津親志、日隈智憲、山口真弘	第38回	日本心臓血管外科学会総会	福岡	2008. 02. 22
Surgical results of arterial switch operation for Taussig-Bing anomaly	心臓血管外科	團尾文子、大嶋義博、吉田昌弘、島津親志、日隈智憲、井上 武	16	Asian society for Cardiovascular and thoracic Surgery	Singapore	2008. 3. 14~16
Cervical arch を伴う vascular ring	心臓血管外科	日隈智憲、大嶋義博、吉田昌弘、團尾文子、島津親志、井上 武	46	神戸心臓外科研究会 (KCCS)	神戸	2008. 3. 28
TOTAL CAVOPULMONARY CONNECTION FOR APICOCAVAJUXTAPOSITION -CONSIDERATION ABOUT THE ROUTE OF CONDUIT	心臓外科	Masahiro Yoshida, Yoshihiro Oshima, Chikashi Shimazu, Hironori Matsuhisa, Tomonori Higuma, Yutaka Okita	第57回	ESCVS International Congress (57回 欧州心臓血管外科国際学会)	Barcelona, Spain (バルセロナ、スペイン)	2008. 4. 25
大動脈弓離断症術後に進行した大動脈弁狭窄の2例	心臓血管外科	日隈智憲、大嶋義博、吉田昌弘、團尾文子、島津親志、井上 武	245	日本小児科学会兵庫県地方会・総会	神戸	2008. 5. 24
共通房室弁、両大血管右室起始修復、僧帽弁置換術後に左室流出路狭窄・僧帽弁狭窄、Valsalva 洞動脈瘤を来した1例	心臓血管外科	島津親志	第55回	近畿心臓外科研究会	大阪市	2008. 6. 14
Modified single patch technique を用いた完全型心内膜症欠損症修復	心臓外科	大嶋義博、吉田昌弘、團尾文子、島津親志、日隈智憲、井上 武、三崎拓郎	第51回	関西胸部外科学会	富山	2008. 06. 19
肺動脈狭窄を伴う大血管転位症に対する truncal switch と aortic translocation 手術2例の経験	心臓外科	吉田昌弘、團尾文子、島津親志、日隈智憲、井上 武	第51回	関西胸部外科学会	富山	2008. 06. 19

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
大血管スウィッチ術後肺動脈弁狭窄に対して atrioventricular patch plasty を施行した 1 例	心臓血管外科	圓尾文子、大嶋義博、吉田昌弘、島津親志、日隈智憲、井上 武	51	関西胸部外科学会	富山	2008. 6. 19~20
Doty 法・大動脈弁交連切開による大動脈弁狭窄解除後の大動脈弁逆流に対し、Ross 手術を行なった 1 例	心臓血管外科	島津親志	第51回	関西胸部外科学会 学術集会	富山市	2008. 6. 19~20
最近10年の兵庫県立こども病院における肺動脈絞扼術の検討	心臓血管外科	日隈智憲、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、井上 武	51	関西胸部外科学会	富山	2008. 6. 19
左冠動脈右肺動脈起始を合併した大動脈肺動脈窓の一例	心臓外科	井上 武、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、日隈智憲	第51回	関西胸部外科学会	富山	2008. 06. 19
大動脈左室トンネルの 1 手術例	心臓外科	井上 武、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、日隈智憲	第15回	小児循環器病カンファレンス	京都	2008. 6. 28
シンポジウム 先天性心疾患と気道狭窄：その診断と治療 座長	心臓外科	大嶋義博、佐藤志以樹	第44回	日本小児循環器学会総会	郡山	2008. 07. 02
気管病変を伴う先天性心疾患の外科治療 (シンポジウム)	心臓血管外科、 小児外科	圓尾文子、大嶋義博、吉田昌弘、島津親志、日隈智憲、井上 武、西島宋治、佐藤志以樹	44	日本小児循環器学会総会	郡山(福島)	2008. 7. 2~4
左心系狭窄病変を合併する大動脈縮窄・大動脈弓離断症例の検討	心臓血管外科	島津親志	第44回	日本小児循環器学会総会・学術集会	郡山市	2008. 7. 2~4
大動脈肺動脈中隔欠損症の遠隔期成績の検討	心臓血管外科	日隈智憲、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、井上武、山口真弘	44	日本小児循環器学会総会・学術集会	郡山	2008. 7. 2
大動脈縮窄、大動脈弓離断の大動脈再建における胸部正中アプローチの妥当性の評価	心臓外科	井上 武、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、日隈智憲、山口真弘	第44回	日本小児循環器学会総会	郡山	2008. 07. 02
喘息増悪を契機に発見された僧帽弁逆流・大動脈弁逆流の 1 例	心臓外科、循環器科	大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、日隈智憲、井上 武、城戸佐知子、藤田秀樹、佐藤有美	第246回	日本小児科学会兵庫県地方会	姫路	2008. 09. 13
心室中隔欠損を伴った僧帽弁閉鎖不全に対する手術成績	心臓外科	大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、日隈智憲、井上 武、山口真弘	第61回	日本胸部外科学会 定期学術集会	福岡	2008. 10. 13

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
先天性心疾患と先天性気管狭窄の同時手術の成績	心臓血管外科	圓尾文子、大嶋義博、吉田昌弘、島津親志、日隈智恵、井上武、山口眞弘	第61回	日本胸部外科学会 定期学術集会	福岡	2008. 10. 13
大動脈縮窄・大動脈弓離断に合併する大動脈弁2尖弁の検討	心臓血管外科	島津親志	第61回	日本胸部外科学会 定期学術集会	福岡市	2008. 10. 12～15
小児僧帽弁置換術の長期遠隔成績の検討	心臓外科	井上武、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、日隈智恵、山口眞弘	第61回	日本胸部外科学会 定期学術集会	福岡	2008. 10. 13
当院で行っている肺高血圧(PH)患児に対する開心術後PH治療のStrategy-VSD &PH症例と右心バイパス症例に対して-	心臓血管外科	日隈智恵、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、井上武	第3回	エポプロステノール臨床フォーラム	東京	2008. 10. 18
気管支軟化症を合併した左心低形成症候群の治療経験	心臓血管外科	日隈智恵、大嶋義博、吉田昌弘、圓尾文子、島津親志、井上武	第47回	神戸心臓外科研究会 (KCCS)	神戸	2008. 11. 5
座長	心臓外科	大嶋義博	第53回	兵庫県心臓外科懇話会	神戸	2008. 11. 07
座長	心臓外科	大嶋義博	第56回	近畿心臓外科研究会	大阪	2008. 11. 22
先天性心疾患を伴った小児外科疾患患児への対応	心臓外科	大嶋義博	第24回	日本小児外科学会 卒後教育セミナー	つくば	2008. 5. 31
ランチョンセミナー [主要小児外科疾患を伴った心疾患患児の治療方針]	心臓外科	大嶋義博	第51回	関西胸部外科学会	富山	2008. 06. 18
もっと知りたい心臓手術 その4 グレンからフォンタン手術まで	心臓外科	大嶋義博	第49回	医療・生活・教育 相談会	神戸	2008. 6. 29
前頭葉を主として障害する乳幼児急性脳症(AIEF)の1例	脳神経内科	田村彰広、青木一恵、澤田杏子、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行、井上真太郎、三舛信一郎	第246回	日本小児科学会 兵庫県地方会	姫路	2008年8月
小児重症頭部外傷に対し、減圧開頭術を併用した脳低温療法施行症例の検討	脳神経内科	井手健太郎、佐治洋介、青木一恵、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行、山元一樹、長嶋達也	第22回	日本小児救急医学会	奈良	2008年5月

演 題 名	所 属 科	発 表 者 名	回、または、年度	学 会 名	開 催 都 市 名	開 催 年 月 日
当院における有熱性痙攣の検討	脳神経内科	青木一憲、澤田杏子、佐治洋介、永瀬裕朗、上谷良行	第22回	日本小児救急医学会	奈良	2008年5月
PICUにおける集中治療を要した中枢神経疾患の検	脳神経内科	佐治洋介、青木一憲、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第245回	日本小児科学会兵庫県地方会	神戸	2008年4月
乳幼児の虐待が疑われる外傷性脳傷害患者は外傷ではなく、神経症状を主訴に来院する	脳神経内科	永瀬裕朗、興山眞紀子、青木一憲、丸山あずさ	第50回	日本小児神経学会総会	東京	2008年4月
小児神経集中治療における持続脳波モニタリングの試み	脳神経内科	丸山あずさ、永瀬裕朗	第50回	日本小児神経学会総会	東京	2008年4月
当院救急医療室において救命不可能であった児への対応	脳神経内科	澤田杏子、永瀬裕朗、上谷良行	第111回	日本小児科学会学術集会	東京	2004年3月
当院における有熱性痙攣の早期予後不良因子検討	脳神経内科	青木一憲、澤田杏子、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗	第43回	日本小児神経学会近畿地方会	大阪	2008年2月
当院救急医療室における痙攣性疾患のまとめ	脳神経内科	青木一憲、澤田杏子、佐治洋介、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第244回	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎	2008年1月
当院救急医療室における院外心肺停止症例の検討	脳神経内科	澤田杏子、永瀬裕朗、上谷良行	第244回	日本小児科学会兵庫県地方会	尼崎	2008年1月
Shaken Baby Syndrome/Abusive Head Trauma in Japan.	脳神経内科	Takeo Fujiwara, Hiroaki Nagase, Takahiro Hoshino		Seventh North American Conference on Shaken Baby Syndrome/Abusive Head Trauma	Vancouver Canada	October 5-7, 2008
小児心肺停止蘇生後症例の神経学的予後判定における聴性脳幹反応 (ABR) V波の検討	脳神経内科	佐治洋介、澤田杏子、青木一憲、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第36回	日本救急医学会総会・学術集会	札幌	2008年9月
小児急性脳炎・脳症に対するデキサメサゾン併用脳低温療法法の介入による神経学的予後の比較検討	脳神経内科	佐治洋介、青木一憲、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第57回	兵庫県小児てんかん研究会	神戸	2008年8月
小児急性脳炎・脳症に対するデキサメサゾン併用脳低温療法法の介入による神経学的予後の比較検討	脳神経内科	佐治洋介、青木一憲、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕朗、上谷良行	第11回	日本脳低温療法学会	山口	2008年6月

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Comparison of Neurological Outcomes After Treatments with Mild Hypothermia with Dexamethasone and Normothermia for Presumed Encephalitis.	脳神経内科	Yohsuke Saji, Kazunori Aoki, Kyoko Sawada, Azusa Maruyama, Hiroaki Nagase, Hajime Nakamura		Pediatric Academic Societies' 2008 Annual Meeting	Fonto Canada	May 3-6, 2008
PICUにおける集中治療を要した中枢神経疾患の検討	脳神経内科	佐治洋介、青木一憲、澤田杏子、丸山あずさ、永瀬裕朗、三好麻里、上谷良行	第35回	日本集中治療医学会	神戸	2008年1月
先天性気管狭窄症に対する当院の術式—スライド気管形成術	外科	横井暁子、岡本竜弥、田浦康明、高野洋一、岡本光正、荒井洋志、尾藤祐子、中尾 真、西島栄治	第19回	PSJM2008 日本小児呼吸器外科研究会	大阪	2008/11/22 ~ 23
The Modified Swenson Procedure in Hirschsprung's Disease	外科	Akiko Yokoi, Eiji Nishijima, Shiiki Satoh, Shigeru Takamizawa	第39回	American Pediatric Surgical Association 39th Annual Meeting	Phoenix Arizona	2008/5/29 ~ 31
Use of Prosthetic Patches for Large congenital Diaphragmatic Hernia	外科	Akiko Yokoi, Eiji Nishijima	第15回	アジアオセアニア周産期学会	名古屋	2008/5/21
出生当日に手術を施行した巨大仙尾部奇形腫 4 例	外科	中尾 真、高野洋一、岡本竜弥、荒井洋志、尾藤祐子、横井暁子、高見澤 滋、佐藤志以樹、西島栄治	第45回	日本小児外科学会 学術集会	筑波	5月28日 ~ 30日
外傷性十二指腸穿孔の 1 例	外科	中尾 真、荒井洋志、横井暁子、尾藤祐子、岡本竜弥、高野洋一、岡本光正、田浦康明、西島栄治	第44回	日本小児外科学会 近畿地方会	奈良	8月30日
EXITを施行した胎児巨大頸部腫瘍の 1 例	外科	中尾 真、鈴木 毅、大橋正伸、西島栄治	第19回	PSJM2008 日本小児呼吸器外科研究会	大阪	11月22日
食道・胃の著明な拡張を呈した新生児の激しい嘔吐…なにっ？手術！？	外科	尾藤祐子、横井暁子、佐藤志以樹、高見澤滋、中尾 真、荒井洋志、岡本竜弥、高野洋一、西島栄治	第59回	小児外科わからん会	大阪	3月16日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Aganglionic segment of the 肛門側と口側に hypoganglionic segment が認められた一例	外科	尾藤祐子、西島栄治、佐藤志以樹、高見澤滋、横井暁子、中尾 真、荒井洋志、岡本竜弥、高野洋一	第45回	日本小児外科学会 総会	つくば	2008年5月30日
頭蓋内出血で発症した先天性胆道拡張症の一例	外科	尾藤祐子、西島栄治、佐藤志以樹、高見澤滋、横井暁子、中尾 真、荒井洋志、岡本竜弥、高野洋一	第45回	日本小児外科学会 総会	つくば	2008年5月30日
A case of zonal hypoganglionosis in Hirschsprung's disease	外科	Bitoh Y, Satoh S, Nishijima E	第41回	Pacific Association of Pediatric Surgeons 41st Annual Meeting	Wyoming (USA)	2008年7月4日
重症心身障害児の胃食道逆流症に対する噴門形成術 - 最近4年間83例の治療成績と問題点	外科	尾藤祐子、西島栄治、佐藤志以樹、高見澤滋、横井暁子、中尾 真、荒井洋志、岡本竜弥、高野洋一	第33回	日本外科学系連合学会	舞浜	2008年6月14日
小児単径ヘルニア日帰り手術におけるクリニカルパス - 帰宅後の生活を含めて作成したパスを適用して -	外科	尾藤祐子、高見澤滋、横井暁子、荒井洋志、中尾 真、岡本竜弥、高野洋一、田浦康明、西島栄治	第44回	日本小児外科学会 近畿地方会	奈良	2008年8月31日
狭窄部に気管気管支を伴う先天性気管狭窄症に対してスライド器官形成術を施行した一例	外科	尾藤祐子、高見澤滋、横井暁子、中尾 真、荒井洋志、岡本竜弥、高野洋一、田浦康明、西島栄治	第19回	小児呼吸器外科学会	大阪	2008年11月23日
An infant with choledochal cyst presenting with severe intracranial hemorrhage - uncommon as the first symptom compared to biliary atresia	外科	Bitoh Y, Takamizawa S, Nishijima E	第21回	21st Congress of Asian Association of Pediatric Surgeons	Bangkok	2008年11月19日
新生児に認められた完全孤立性腸管重複症の1例	外科	岡本竜弥、高見澤滋、高野洋一、荒井洋志、尾藤祐子、中尾 真、横井暁子、佐藤志以樹、西島栄治	2008	日本小児外科学会 総会	筑波	2008年5月

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
初診時切除不能肝芽腫 7 例の臨床的検討	外科	岡本竜弥、西島栄治、田浦康明、高野洋一、岡本光正、中尾真、荒井洋志、尾藤祐子、横井暁子、竹田洋樹、長谷川大一郎、小阪嘉之、吉田牧子	2008	日本小児がん学会 総会	幕張	2008年11月
The prognostic significance of associated cardiovascular anomalies and the optimal timing of surgical treatment.	外科	Tatsuya Okamoto, Eiji Nishijima, Ayako Maruo, Akiko Yokoi, Shigeru Takamizawa, Shiiki Satoh, Yoshihiro Oshima	2008	British association of pediatric surgeons, annual meeting	Spain Saramanca	Jul -08
KTPレーザー焼灼を併用して喉頭気管形成術を施行した先天性声門下腔狭窄症の 1 例	外科	岡本光正、横井暁子、尾藤祐子、中尾真、荒井洋志、岡本竜弥、高野洋一、田浦康明、西島栄治	第44回	日本小児外科学会 近畿地方会	奈良	2008/ 8 /31
超低出生体重児の消化管穿孔手術における死亡原因の検討	外科1), 新生児科2)	岡本光正1)、西島栄治1)、中尾秀人2)、芳本誠司2)、横井暁子1)、中尾真1)、尾藤祐子1)、荒井洋志1)、岡本竜弥1)、高野洋一1)、田浦康明1)	第28回	日本小児内視鏡外科手術手技研究会	大阪	2008/11/22
術後 5 年を経過した喉頭気管分離術症例の合併症に対する検討	外科	田浦康明、横井暁子、中尾真、尾藤祐子、荒井洋志、岡本竜弥、岡本光正、高野洋一、西島栄治	2008年度、第19回	日本小児呼吸器外科研究会	大阪	2008年 11月21日、22日
大動脈胸骨固定術により気管と左気管支の軟化症が改善した 1 例	外科	田浦康明、横井暁子、中尾真、尾藤祐子、荒井洋志、岡本竜弥、岡本光正、高野洋一、西島栄治	2008年度、第44回	日本小児外科学会 近畿地方会	奈良	2008年 8 月31日
左胸腔内に広がる胸水と腫瘍性病変	外科	田浦康明、横井暁子、中尾真、尾藤祐子、荒井洋志、岡本竜弥、岡本光正、高野洋一、西島栄治	2008年度、第60回	小児外科わからん 会	大阪	2008年10月19日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
気管内挿管、気管支ファイバースコープ下に気管支内異物を除去した挿管困難症の1例	外科	高見澤滋、高野洋一、西島栄治、岡本竜弥、荒井洋志、尾藤祐子、中尾 真、横井暁子、佐藤志以樹	第45回	日本小児外科学会 総会	つくば	平成20年 5月28～30日
Is preoperative transanal catheter useful to avoid enterocolitis and colostomy in patients with Hirschsprung's disease?	外科	S. Takamizawa, E. Nishijima, A. Yokoi, S. Satoh, Y. Bitoh, M. Nakao, H. Arai, T. Okamoto, Y. Takano, T. Muraji	41st	Annual meeting, Pacific Association of Pediatric Surgeons	Wyoming,	June 29-July 3,
A successful non-operative management with endoscopic retrograde biliary drainage (ERBD) for posttraumatic intrapancreatic biliary stenosis in a child: A case report	外科	S. Takamizawa, N. Nozaki, N. Aoyama, E. Nishijima, S. Satoh, A. Yokoi, T. Muraji	41st	Annual meeting, Pacific Association of Pediatric Surgeons	Wyoming,	June 29-July 3,
診断に難渋したヒルシユスブルング病、腸回転異常症、無脾症候群を合併した1例	外科	荒井洋志、西島栄治、佐藤志以樹、高見澤滋、横井暁子、中尾 真、尾藤祐子、岡本竜弥、高野洋一	第45回	日本小児外科学会 総会	つくば市	2008年 5月28日～30日
切除困難な進行神経芽腫の外科治療 ~ 原発巣の完全切除は予後に寄与するか ~	外科	荒井洋志、西島栄治、佐藤志以樹、高見澤滋、横井暁子、中尾 真、尾藤祐子、岡本竜弥、高野洋一	第45回	日本小児外科学会 総会	つくば市	2008年 5月28日～30日
化学療法が無効で切除困難と考えられた巨大神経節芽腫の一例	外科	荒井洋志、西島栄治、佐藤志以樹、横井暁子、中尾 真、尾藤祐子、岡本光正、高野洋一、田浦康明、小阪嘉之、竹田洋樹、林 耕平、吉田牧子	第24回	日本小児がん学会	千葉市	2008年 5月28日～30日
当科における総排泄腔遺残症の治療戦略	外科	荒井洋志、西島栄治、横井暁子、中尾 真、尾藤祐子、岡本竜弥、高野洋一、岡本光正、田浦康明、杉多良文	第28回	日本小児内視鏡外科・手術手技研究会	大阪市	2008年 5月28日～30日
Total Cavo Pulmonary Connection 術後遠隔期における負荷心電図の有用性	循環器科	城戸佐知子、鄭輝男、山口真弘	第10回	日本成人先天性心疾患研究会	東京	2008年 1月12～13日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
DORV, PA, PDA, Rastelli 術後の右肺動脈狭窄に対するバルーン血管形成術により右肺動脈 - 左房交通を形成した1例	循環器科	田中敏克、澤田杏子、齋木宏文、藤田秀樹、寺野和宏、城戸佐知子、吉田昌弘、大嶋義博	第19回	日本小児インターベンション研究会	横浜	2008年 1月18～19日
内胸動脈から起始する体肺側副動脈に対する新しい治療戦略 - コイル塞栓術と外科的結紮術の併用 -	循環器科	田中敏克、齋木宏文、藤田秀樹、寺野和宏、城戸佐知子、吉田昌弘、大嶋義博	第19回	日本小児インターベンション研究会	横浜	2008年 1月18～19日
膜様純型肺動脈閉鎖に対するカテーテルインターベンションの適応	循環器科	齋木宏文、藤田秀樹、寺野和宏、田中敏克、城戸佐知子、鄭輝男	第19回	日本小児インターベンション研究会	横浜	2008年 1月18～19日
左心低形成症候群における両方向性グレン手術後上大静脈に対する血栓除去	循環器科	齋木宏文、田中敏克、城戸佐知子、島津親志、吉田昌弘、大嶋義博	第19回	日本小児インターベンション研究会	横浜	2008年 1月18～19日
21trisomy における TCPC 手術	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、田中敏克、寺野和宏、藤田秀樹、大嶋義博、吉田昌弘、島津親志、鄭輝男	第14回	日本小児肺循環研究会	東京	2008年2月2日
心房中隔欠損に対するカテーテル治療の経験	循環器科	田中敏克	第244回	日本小児科学会兵庫県地方会	西宮	2008年2月2日
ヨードアレルギーのためガドリニウム造影剤を用いてバルーン血管形成術を施行した左心低形成症候群の1例	循環器科	井手健太郎、田中敏克、城戸佐知子、齋木宏文、藤田秀樹、寺野和宏	第22回	日本小児循環器学会近畿中四国地方会	大阪	2008年2月3日
胎児心臓超音波検査で単心室血行動態と考えられた症例の予後	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、鄭輝男	第14回	日本胎児心臓病研究会	東京	2008年 2月9～10日
Traumatic right pulmonary artery to left atrium communication as a complication of pulmonary artery balloon angioplasty	循環器科	田中敏克、齋木宏文、藤田秀樹、寺野和宏、城戸佐知子	第2回	Asia-Pacific Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery	Jeju, Korea	2008年 5月27～30日
Anomalous Origin of the Left Coronary Artery from the Right Pulmonary Artery	循環器科	齋木宏文、藤田秀樹、寺野和宏、田中敏克、城戸佐知子、井上武、圓尾文子、島津親志、吉田昌弘、大嶋義博	第2回	Asia-Pacific Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery	Jeju, Korea	2008年 5月27～30日

演題名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
Two Rare Cases of Atrial Abnormalities	循環器科	城戸佐知子、田中敏克、寺野和宏、藤田秀樹、齋木宏文	第2回	Asia-Pacific Congress of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery	Jeju, Korea	2008年 5月27～30日
Midterm- to long-term effects of Bosentan: our experience	循環器科	城戸佐知子	第5回	5th Scientific Symposium	東京	2008年 6月7～8日
二弁置換術後の複雑心奇形患者に対する心房細動の治療	循環器科	城戸佐知子、田中敏克、寺野和宏、藤田秀樹、齋木宏文	第105回	日本循環器学会近畿地方会	大阪	2004年6月27日
Amplatzer ductal occluder を用いた動脈管閉鎖術	循環器科	田中敏克	第44回	日本小児循環器学会学術集会	郡山、福島	2008年 7月2～4日
心房中隔欠損における欠損孔径の自然歴	循環器科	田中敏克、齋木宏文、藤田秀樹、寺野和宏、城戸佐知子	第44回	日本小児循環器学会学術集会	郡山、福島	2008年 7月2～4日
出生前診断し生後早期に外科治療を行った胎児心臓腫瘍の2例	循環器科	齋木宏文、鄭輝男、城戸佐知子、田中敏克、寺野和宏、藤田秀樹、大嶋義博、吉田昌弘、島津親志	第44回	日本小児循環器学会学術集会	郡山、福島	2008年 7月2～4日
2心室修復が困難と考えられた先天性心疾患合併21trisomyの修復形態と予後	循環器科	齋木宏文、藤田秀樹、寺野和宏、田中敏克、城戸佐知子、鄭輝男、吉田昌弘、大嶋義博	第44回	日本小児循環器学会学術集会	郡山、福島	2008年 7月2～4日
新生児期に診断され、合併する多発性心室中隔欠損に対する開心術を施行した心筋緻密化障害の2例	循環器科	城戸佐知子、田中敏克、寺野和宏、藤田秀樹、齋木宏文	第44回	日本小児循環器学会学術集会	郡山、福島	2008年 7月2～4日
多発性心室中隔欠損を伴う両大血管右室起始術後の肺高血圧・重症右心不全に対して sildenafil が著効を示した1例	循環器科	城戸佐知子、田中敏克、寺野和宏、藤田秀樹、齋木宏文	第44回	日本小児循環器学会学術集会	郡山、福島	2008年 7月2～4日
成人先天性心疾患患者の診療現場における小児病院の立場とは	循環器科	城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、齋木宏文、鄭輝男、山口眞弘	第56回	日本心臓病学会学術集会	東京	2008年 9月8～10日
MRI を用いて心機能評価を試みた乳児例	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹	第28回	日本小児循環器動態研究会	軽井沢	2008年11月1日
当院の小児心疾患児に対するペースメーカー留置症例の検討	循環器科	齋木宏文、城戸佐知子、田中敏克、藤田秀樹、大嶋義博	第13回	日本小児心電学研究会	筑波	2008年11月15日

演 題 名	所属科	発表者名	回、または、年度	学会名	開催都市名	開催年月日
新生児心疾患のみかた(講演)	循環器科	田中敏克	第22回	京滋未熟児新生児研究会	京都	2008年12月20日
小児のカテーテル治療(講演)	循環器科	田中敏克		心臓病の子どもを守る会 兵庫県支部	神戸	2008年 8 月23日
心疾患患者の運動と呼吸(講演)	循環器科	城戸佐知子		心臓病の子どもを守る会 兵庫県支部		2008年12月 7 日

診 療 統 計

1. 外来患者数

(1) 年齢別・診療科別患者数

平成20年1月～12月分

診療科	区分		乳 児		幼 児		学 童		思春期	その他	新規患者		再診患者		
	未熟児	新生児	前期	後期	前期	後期	前期	後期			患者数	科別構成比(%)	患者数	科別構成比(%)	
小児科	総合診療科	0	8	72	54	81	65	48	40	35	17	420	4.3	1,408	1.8
	新生児内科	361	305	31	8	5	1	0	0	0	0	711	7.3	3,205	4.2
	脳神経内科	0	1	12	12	46	45	27	26	27	5	201	2.1	2,149	2.8
	循環器内科	0	60	183	53	71	73	59	29	38	14	580	6.0	7,005	9.1
	腎臓内科	0	0	3	2	7	37	28	28	56	16	177	1.8	2,395	3.1
	代謝内分泌科	0	14	22	13	30	34	27	36	23	35	234	2.4	4,676	6.1
	血液内科	0	0	6	9	20	15	15	13	9	15	102	1.0	3,294	4.3
	卒 煙	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.0	17	0.0
	発達行動	0	0	0	1	7	18	13	7	5	1	52	0.5	166	0.2
	救急科	0	21	111	125	326	241	178	121	93	61	1,277	13.1	1,144	1.5
アレルギー内科	0	0	29	22	66	37	26	17	15	0	212	2.2	2,365	3.1	
小 計	361	409	469	299	659	566	421	317	302	165	3,968	40.8	27,824	36.2	
外科	一般外科	0	24	166	82	201	227	90	60	24	15	889	9.1	5,388	7.0
	心臓血管外科	0	0	3	1	4	1	1	1	1	1	13	0.1	1,508	2.0
	脳神経外科	0	15	75	38	45	41	31	18	9	5	277	2.8	3,364	4.4
	形成外科	0	34	197	72	111	82	49	29	16	8	598	6.1	4,009	5.2
	整形外科	0	27	225	60	164	134	101	77	50	8	846	8.7	4,473	5.8
小 計	0	100	666	253	525	485	272	185	100	37	2,623	27.0	18,742	24.4	
その他	眼 科	0	4	50	60	149	242	127	63	15	10	720	7.4	9,631	12.5
	精神科	0	0	0	0	13	40	48	42	42	13	198	2.0	3,312	4.3
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	0	11	148	109	193	170	114	98	29	8	880	9.0	5,129	6.7
	耳鼻咽喉科	0	10	77	36	117	172	93	38	10	7	560	5.8	4,360	5.7
	産 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	639	639	6.6	3,341	4.3
	放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	978	1.3
小 計	0	25	275	205	472	624	382	241	96	677	2,997	30.8	26,751	34.8	
歯 科	0	2	5	1	35	54	27	13	1	3	141	1.4	3,557	4.6	
合計患者数	361	536	1,415	758	1,691	1,729	1,102	756	499	882	9,729	100.0	76,874	100.0	
区分別構成比	3.7	5.5	14.5	7.8	17.4	17.8	11.3	7.8	5.1	9.1	100.0				

(2) 地域別新規患者数

区 分	患者数	構成比(%)
神戸市	5,123	52.7
阪神南	660	41.2
阪神北	448	
東播磨	1,328	
北播磨	460	
中播磨	367	
西播磨	187	
但馬	164	
丹波	159	
淡路	236	
近畿	294	
県外他	303	6.1
合計	9,729	100.0

(3) 費用別新規患者数

区 分	件数	割合(%)
保 険	2,536	26.1
諸 法	531	5.5
自 費	754	7.7
そ の 他	5,908	60.7
合 計	9,729	100.0

(注) 保険と公費併用の場合、各々公費欄に計上した。

2. 退院患者数 (20年1月~12月)

(1) 診療科別退院患者

区分	退院総数		在院日数		転					帰			解		剖	
	男	女	計	延	平均	治療	軽快	不変	事故	死	48時間	その他	精率%	粗率%		体数
総合診療科	271	243	514	3,701	7.2		498	8		4	4	4	0.8	1.6	(1)	12.5
新生児科	407	335	742	22,635	30.5		719	5		6	12	1.6	2.4	(3)	16.7	
脳神経内科	31	44	75	1,572	21.0		73	2								
循環器科	167	147	314	13,749	43.8		284	25		1	4	1.3	1.6			
腎臓内科	46	30	76	1,342	17.7		75	1								
代謝内分泌科	39	31	70	745	10.6		68	2								
血液腫瘍科	258	244	502	9,253	18.4		492	8			2	0.4	0.4	(1)	50.0	
アレルギー内科	37	31	68	613	9.0		65	3								
遺伝内科			0		0.0											
(内科小計)	(1,256)	(1,105)	(2,361)	(53,610)	22.7	(0)	(2,274)	(54)	(0)	(11)	(22)	0.9	1.4	(5)	15.2	
一般外科	319	291	610	5,954	9.8		597	13								
心臓血管外科	70	77	147	3,544	24.1		145	1		1	1	0.7	0.7			
脳神経外科	108	104	212	2,942	13.9		202	9			1	0.5	0.5			
形成外科	137	123	260	2,022	7.8		260									
眼科	179	209	388	1,686	4.3		385	3								
整形外科	105	93	198	3,690	18.6		196	2								
泌尿器科	235	47	282	1,523	5.4		278	4								
耳鼻咽喉科	54	32	86	668	7.8		86									
皮膚科			0		0.0											
精神神経科			0		0.0											
歯科			0		0.0											
産科		585	585	10,725	18.3		474	111								
合計	2,463	2,666	5,129	86,364	16.8	0	4,897	197	0	11	24	0.5	0.7	(5)	14.3	

(死亡退院で剖検5人)

(胎内死亡で剖検4人)

(2) 地域別退院診療録数

地域	患者数	%
東灘	188	3.7
東灘	159	3.1
中央	97	1.9
北	217	4.2
兵庫	108	2.1
長田	148	2.9
須磨	402	7.8
垂水	487	9.5
西	494	9.6
(小計)	2,300	44.8
阪神南	416	8.1
阪神北	248	4.8
東播磨	656	12.8
北播磨	260	5.1
中播磨	274	5.3
西播磨	91	1.8
但馬	147	2.9
丹波	84	1.6
淡路	150	2.9
(小計)	2,326	45.4
大阪	124	2.4
他近畿	111	2.2
県外	268	5.2
(小計)	503	9.8
合計	5,129	100.0

3. 死亡病名一覧

病名	新患計	未熟児	新生児	乳児		幼児		学童		思春期	その他
				前期	後期	前期	後期	前期	後期		
早産児、敗血症	2	2									
早産児、致死性不整脈	7	7									
早産児、急性心不全	1	1									
早産児、肺出血	1	1									
超早産児、多臓器不全	1	1									
乳児突然死症候群	1		1								
早産児、肺低形成	1	1									
重症新生児仮死	1		1								
早産児、18トリソミー	1	1									
壊死性腸炎	1					1					
脱水症、滑脳症	1							1			
心不全、肺高血圧	1						1				
大動脈弁狭窄	1			1							
ファロー四徴症	1				1						
脳腫瘍	1										1
右室梗塞	1				1						
急性心筋梗塞	1			1							
肺動脈狭窄、VSD	1					1					
肺動脈閉鎖、ASD	1				1						
交通事故脳挫傷	1									1	
心肺停止	1			1							
致死性不整脈	1					1					
腎臓悪性横紋筋腫様腫瘍	1					1					
完全房室ブロック	1	1									
小脳出血	1					1					
急性骨髄性白血病	1							1			
肺低形成、先天性横隔膜ヘルニア	1		1								
悪性脳腫瘍	1					1					
	0										
	0										
合計	35	15	3	4	2	6	1	2	0	1	1

4. 総合診療科

総合診療科は「よくある病気を中心とした全人的医療」と言われており、各専門科における診療になじまない紹介患者への対応、院内各科からの相談、セカンドオピニオンの相談に応じるなどを行っている。まさによくある病気の応用編というような一筋縄ではいかない症例が本当に多く紹介されてくる。

担当スタッフは2名になっている。また、研修医や専攻医の研修の受け皿となり、研修計画の立案や実際の研修を担当し、コーディネートすることも重要な役割である。

入院患者は小児救急医療センターからの転科症例を主に担当している。多くが基礎疾患を持った児の合併症、特に感染症である。

今後は総合診療科として独自のアイデンティティーをもって診療に当たれるようになることを目指したいと考えている。

外来担当スタッフ：上谷良行、福原信一、宅見晃子、山崎武美（阪神北広域こども急病センター）、
中岸保夫、尾崎佳代

小児救急医療センター開設後は救急センター退院患者のフォローを午後の総合診療科外来で実施し、主として専攻医が担当している。

5. 救急集中治療科

1. 診療活動

平成19年10月1日より開設した小児救急医療センターもあつという間に1年が経過した。平成14年10月に県下における小児3次救急の拠点として救急医療室が設置されて以来当院では小児救急医療特に三次救急医療に特化して取り組んできた。小児救急医療センターの開設とともに病院全体の外来システム・入院システムも大きく変革してきた。

- 1) 外来システム：救急センター1階に初療室および診察室を3室（1室は感染対応用）整備したので、本館外来を基本的に予約患者対応のみとし、時間内、外を問わず予約外患者を救急患者として救急センターで診察することとした。対応する医師は当該診療科医師または救急集中治療科医師とした。その結果、本館における予約患者の診察が多少とも円滑になったと考えている。救急センターでは約2000人の外来患者に対応し、救急集中治療科が約1600人を、当該診療科が約400人を担当した。初療の段階で救命できず死亡した症例は11例を数え、そのうち神戸中央市民病院から出動したDr carによって当院まで搬送された児も2例あり、心肺蘇生の必要な症例が何とか当院まで搬送されてくるルートは確立されつつある。これらの重症児を当院の担う医療圏でどの程度を把握しているのか今後検討する必要がある。
- 2) 入院システム：PICU4床（集中治療科加算病床）、一般病床6床で重症児を受け入れている。医師スタッフも専任医師9名と兼任医師6名で対応している。入院症例数は769例で、うち院内から重篤化したために転棟した児が34例あり、院内の内科系ICUとしても機能している。院内のICU、HCU、NICUと役割分担し、重症児を一般病棟で管理しない方針を少しずつ徹底している。3ヶ月ずつローテートする小児科専攻医も救急診療に参画し、研修を行っている。当院は管理型の初期研修施設ではないものの、協力型研修施設として各県立病院をはじめ市内の病院から初期研修医を受け入れている関係上、若い医師が入れ替わり立ち替わり救急医療センターで研鑽を積んでいる。

本年は救急医の取扱患者数が年間約3927人で昨年より1200人程度増加している。最重症に分類したいわゆる救命救急に相当する患者数は昨年の183件から175件とほぼ横這いであることを考えると当院へ来るべき重症患者はある程度把握しているのかもしれない。今後は前述したように重症児を当院の医療圏でどの程度把握しているかを検討することが必要である。

最近では重症、軽傷を問わず頭部外傷で紹介されるケースが著明に増加している。近隣の医療機関が小児の脳神経疾患を受け入れないことが大きな要因であろうが、脳神経外科の医師の出番が多くなっている。院内各科との協力実績を見ても一般外科とほぼ同じ頻度である。このように小児救急医療センターが小児三次救急医療を着実に実施できるためには、これまで以上に院内各科、各部署の協力と連携が必要である。今後とも一段階飛躍した救急医療を提供できるように努力したい。

2. スタッフ

救急集中治療科：上谷良行、長谷川大一郎、尾崎佳代、丸山あずさ、福原信一、中岸保夫
佐治洋介、細川悠紀、奥野美佐子

兼任：三好麻里（部長・免疫アレルギー科）、田中亮二郎（腎臓内科）、永瀬裕朗（脳神経内科）
川崎圭一郎（血液腫瘍科）、竹田洋樹（血液腫瘍科）、笠井和子（免疫アレルギー科）

専攻医：澤田杏子（平成20年1月～3月、10月～）

青木一憲（平成20年1月～3月、10月～）

寺岡由恵（平成20年1月～）

中川 拓 (平成20年10月～)
 山本哲也 (平成20年1月～3月)
 田村彰広 (平成20年4月～6月)
 浅野大貴 (平成20年7月～9月)
 下川祐子 (平成20年4月～6月)
 安部信吾 (平成20年10月～)
 中島絵梨花 (平成20年7月～9月)

初期研修医：

上羽由希子	県立西宮病院	10月～3月	救急集中治療科、新生児科ローテート
白川 豊	県立加古川病院	1月～3月	救急集中治療科、血液腫瘍科、選択科目ローテート
尾上 寛	県立がんセンター	5月～7月	救急集中治療科、血液腫瘍科、選択科目ローテート
桑原 元	県立がんセンター	6月～8月	救急集中治療科、血液腫瘍科、選択科目ローテート
高橋 弘継	県立がんセンター	4月～6月	救急集中治療科、血液腫瘍科、選択科目ローテート
伊富貴雄太	県立がんセンター	11月～1月	救急集中治療科、血液腫瘍科、選択科目ローテート
大島泰一郎	県立がんセンター	10月～12月	救急集中治療科、血液腫瘍科、選択科目ローテート
岡本 薫学	姫路循環器病センター	5月～7月	救急集中治療科、循環器科、選択科目ローテート
木西 悠紀	姫路循環器病センター	10月～12月	救急集中治療科、循環器科、選択科目ローテート
堀 達雄	姫路循環器病センター	4月～6月	救急集中治療科、循環器科、選択科目ローテート
浅羽 穰二	神戸百年記念病院	4月	救急集中治療科
竹下 光	神戸百年記念病院	11月	救急集中治療科
宇佐美 綾	神戸赤十字病院	3月	救急集中治療科
河合 晴日	神戸赤十字病院	10月	救急集中治療科
姜 純希	神戸赤十字病院	8月	救急集中治療科
末田 彩	神戸赤十字病院	11月	救急集中治療科
中村 舞	神戸赤十字病院	5月～8月	救急集中治療科、循環器、選択科目ローテート
森田 卓也	神戸赤十字病院	9月	救急集中治療科

小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科など外科系各科は on call で back up 体制をとっている。

3. 診療統計

兵庫県立こども病院 小児救急医療センター 統計 2008年1月～12月
 【1】 救急医療センター 来院患者 全体統計

2008年	外来のみ						本館入院						救急センター入院						小計						合計
	時間内			時間外			時間内			時間外			時間内			時間外			時間内			時間外			
	初診	再診	再診	初診	再診	再診	初診	再診	再診	初診	再診	再診	初診	再診	再診	初診	再診	再診	初診	再診	再診	初診	再診	再診	
救急集中治療科Dr 外来診察	157	432	258	709	19 (18)	39 (33)	24 (15)	95 (54)	118	156	230	231	23	11	294	650	512	1046	944	1558	2502				
小計	589	967	58	119	274	461	34																		
小児外科	0	21	0	46	0	7	0	7	0	0	0	7													81
脳外科	1	4	0	10	0	4	0	0	0	0	0	0													19
泌尿器科	4	7	0	20	3	0	1	1	0	0	0	0													36
形成外科	0	4	0	18	0	1	0	0	0	0	0	0													23
その他	3	0	0	21	0	0	0	1	0	0	0	0													25
心外・循環器科	1	11	0	12	4	3	3	3	0	0	0	0													37
新生児科	0	40	0	184	0	22	0	68	0	0	0	0													314
他の内科系	0	2	0	9	2	2	1	0	0	0	0	0													16
小計	9	89	0	320	9	39	5	80	118	156	230	231	23	11	1090	1963	3053	146	405						
中計	98	320	48	85	769	11																			
合計	255	432	578	709	67	39	109	95	118	156	230	231	23	11	1090	1963	3053	146	405						
				2284	769																				

【2】 救急集中治療科 統計

1) 全体

2008年	来院患者							転棟	電話相談	計	
	外来				入院						
	死亡	帰宅			他科入院	救急科入院					
		観察処置 後帰宅	院内他科 外来紹介	診察のみ		本館病棟					救急 センター
				救急科 以外	救急集 中科						
初診	9	226	19	162	36	5	348	0	1425	3927	
再診	2	647	28	463	84	52	387	34			
小計	11	873	47	625	120	57	735	34			
		1665				792					
		1545				177		769			
		1733						769			
		1676					826				
計	2502							1425			

患者数の推移 (含電話相談)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2003年	259	208	225	162	200	126	146	121	127	172	172	282	2200
2004年	234	247	206	210	223	179	166	157	157	198	160	254	2391
2005年	181	247	256	190	239	175	216	170	170	217	200	233	2494
2006年	228	191	223	214	242	188	217	186	186	218	196	234	2523
2007年	180	185	229	192	194	183	217	126	134	335	302	410	2687
2008年	345	328	329	349	374	286	339	303	293	329	299	353	3927

2) 来院患者重症度別

重症度

	計	%
来院患者 最重症	175	7.0
重症	661	26.4
外来	1666	66.6
計	2502	100

事故・疾病別 重症度

	事故	%	疾病	%	計	%
来院患者 最重症	38	21.7	137	78.3	175	100
重症	128	19.4	533	80.6	661	100
外来	388	23.3	1278	76.7	1666	100
計	554	22.1	1948	77.9	2502	100

3) 連絡方法別

2008年	外来						救急科入院				電話 相談 のみ	合計
	死亡		帰宅		他科入院		最重症		重症			
	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診	初診	再診		
患者から	0	1	132	861	1	69	3	21	14	217	1319	2638
小計	1		993		70		24		231			
医療機関	4	1	94	53	32	12	77	26	169	86	49	603
小計	5		147		44		103		255			
救急隊	4	1	98	102	2	2	7	6	79	47	57	405
小計	5		200		4		13		126			
直接来院	0	0	77	62	0	0	0	0	3	3	0	145
小計	0		139		0		0		6			
院内外来	0	0	4	62	0	3	0	1	2	31	0	103
小計	0		66		3		1		33			
院内転棟	0	0	0	0	0	0	0	23	0	10	0	33
小計	0		0		0		23		10			
中計	8	3	405	1140	35	86	87	77	267	394	1425	3927
合計	11		1545		121		164		661			
合計	2502											

4) 来院方法別

		小計	計	%		
来院患者	自家用車・タクシー・徒歩	1847	1847	73.8		
	救急車	公共	602	614	24.5	
		Dr car	当院			0
			災害医療			9
			中央市民			2
			その他			1
	ヘリ	7	7	0.3		
転棟	34	34	1.4			
計	2502		100			

ヘリでの搬送例

公立八鹿病院 インフルエンザ・意識障害
 市立福知山病院 呼吸不全・小顎症 当院 Dr 同乗にて搬送
 公立八鹿病院 大腿骨骨折 待機手術 (整形外科)
 公立豊岡病院 小脳腫瘍 緊急手術 (脳神経外科)
 愛知県一宮市民病院 頭蓋形成不全・無呼吸
 島根県立中央病院 頸部血管腫・呼吸不全
 県立柏原病院 意識レベル低下

5) 特記すべき疾患

1. 頭部打撲 286名
(経過観察 217名、頭蓋骨骨折22名、頭蓋内出血30名 裂傷17名)
2. 被虐待児疑い 17名
(頭蓋内出血7名 心肺停止3名 頭蓋骨骨折3名 熱傷1名 呼吸不全1名 薬物中毒1名 全身打撲1名)
3. 交通外傷 47名 (うち多発外傷 11名)
4. 熱傷 25名 (うち入院11名)
5. 腫瘍性疾患救急センター入院例 54名
(血液腫瘍37名、腹部腫瘍 6名、脳腫瘍 2名、頸部腫瘍 2名 敗血症5名 縦隔腫瘍2名)

6) 外科系緊急協力科 (含重複)

小児外科	146	泌尿器科	23
脳外科	142	放射線科	27
麻酔科	21	耳鼻科	20
形成外科	54	眼科	10
整形外科	49	精神科	0
心外循環器	31	歯科	4

6) 最重症例 175名の内訳 (含重複)

死亡例 19名

	病態	基礎疾患他	初再診	連絡方法	治療内容	最終転帰	来院時間帯	医療圏
1	心肺停止	不明	初診	救急隊	心肺蘇生	外来死亡	休日準夜	神戸
2	心肺停止	不明	再診	医療機関	心肺蘇生	外来死亡	平日深夜	神戸
3	心肺停止	不明	初診	医療機関	心肺蘇生	外来死亡	休日深夜	東播
4	心肺停止	大動脈弁置換術後	初診	医療機関	心肺蘇生	外来死亡	平日準夜	神戸
5	心肺停止	不明	初診	救急隊	心肺蘇生	外来死亡	平日日勤	東播
6	心肺停止	不明	初診	救急隊	心肺蘇生	外来死亡	休日日勤	東播
7	心肺停止	肝腫瘍	再診	患者から	心肺蘇生	外来死亡	平日日勤	神戸
8	心肺停止	不明	初診	Dr car 中央市民	心肺蘇生	外来死亡	休日日勤	神戸
9	心肺停止	溺水(風呂)	初診	Dr car 中央市民	心肺蘇生	外来死亡	休日準夜	神戸
10	多発交通外傷		初診	救急隊	心肺蘇生	外来死亡	休日日勤	東播
11	来院時心肺停止	脳性麻痺	再診	救急隊	心肺蘇生	外来死亡	休日深夜	東播
12	肺高血圧症	ダウン症候群	再診	転棟	人工呼吸療法 NO吸入療法	死亡	平日日勤	阪神
13	心肺停止蘇生後	脳性麻痺	初診	医療機関	人工呼吸療法	死亡	平日深夜	神戸
14	心肺停止	修正大血管転位	再診	患者から	心肺蘇生 人工呼吸療法 ECMO	死亡	平日日勤	阪神
15	心肺停止蘇生後	腸穿孔	初診	医療機関	人工呼吸療法	死亡	平日深夜	東播
16	脳挫傷	交通外傷	初診	医療機関	人工呼吸療法	死亡	平日日勤	東播
17	心肺停止蘇生後	不明	初診	Dr car 災害医療	人工呼吸療法	死亡	平日日勤	神戸
18	小脳出血	不明	初診	医療機関	人工呼吸療法 緊急手術	死亡	平日日勤	阪神
19	心肺停止蘇生後	骨髄移植後 消化管出血	再診	院内転棟	人工呼吸療法	死亡	平日日勤	東播

脳平温療法 2名

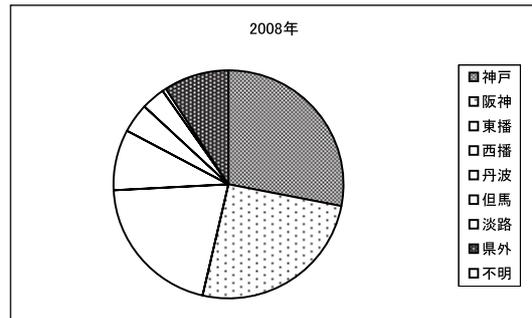
	年齢	病態	基礎疾患他	初再診	連絡方法	治療内容	最終転帰	来院時間帯	医療圏
1	10歳	インフルエンザ脳炎	インフルエンザA	初診	医療機関	人工呼吸療法 脳平温療法	転院	休日日勤	但馬
2	8歳	急性硬膜下血腫	2階より転落	再診	Dr car 災害医療	人工呼吸療法 緊急手術 脳平温療法	入院中	平日準夜	神戸

血液・腹膜透析 1名

	年齢	病態	基礎疾患他	初再診	連絡方法	治療内容	最終転帰	来院時間帯	医療圏
1	6歳	溶血性尿毒症症候群	病原性大腸菌	初診	医療機関	腹膜透析	軽快退院	休日準夜	東播

7) 救急センター入院 最重症患者住所

	2008年		2007年		2006年	
	数	%	数	%	数	%
神戸	49	28.0	74	40.4	46	31
阪神	45	25.7	36	19.7	40	25.8
東播	36	20.6	41	22.4	34	21.9
西播	15	8.6	17	9.3	5	3.2
丹波	7	4.0	1	0.5	4	2.6
但馬	6	3.4	3	1.6	3	1.9
淡路	1	0.6	3	1.6	3	1.9
県外	16	9.1	8	4.4	14	8.5
不明	0	0.0	0	0.0	5	3.2
計	175	100.0	183	100.0	154	100

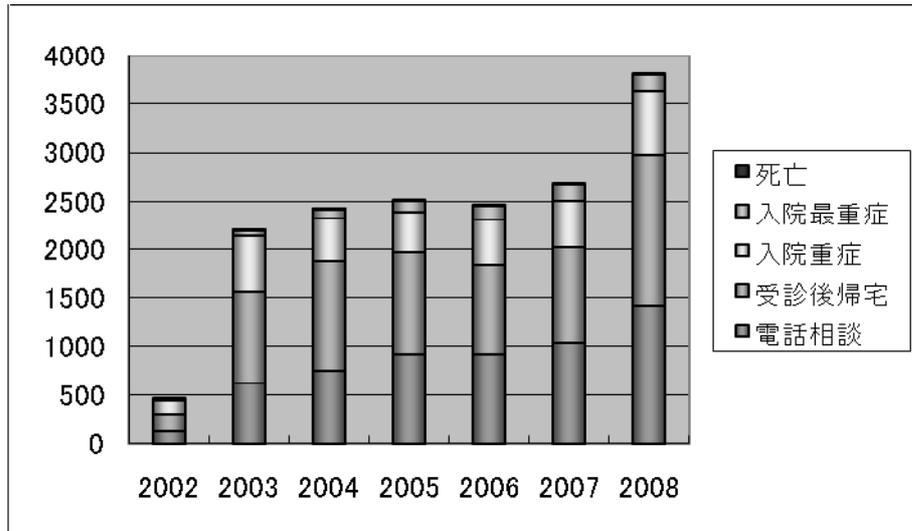


【3】救急センター外来・入院患者の内訳 2008年1月～12月

外来患者	1733 (死亡11 本館入院177 帰宅1545)
------	----------------------------

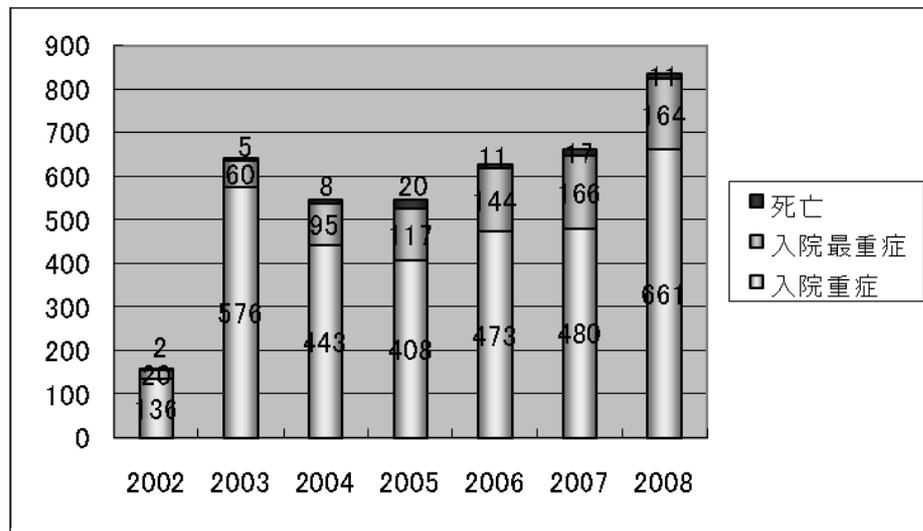
入院患者	死亡	8	PICU	275
	最重症	162		
	重症	599	Q病棟	494
	計	769	計	769

県立こども病院救急医療室（小児救急医療センター）の実績
患者数の推移 2002～2008



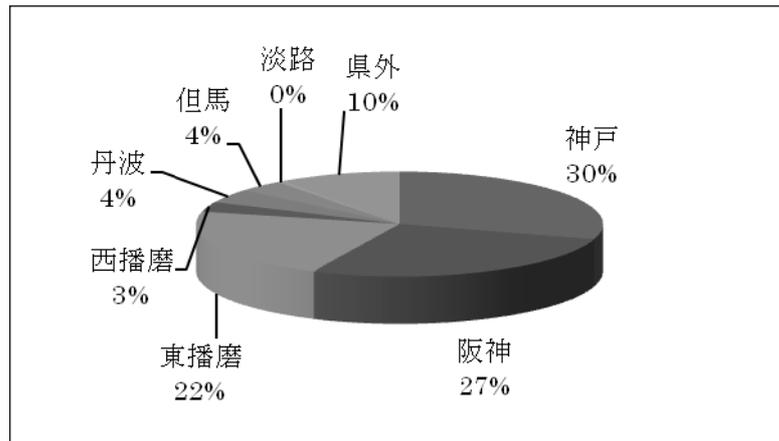
全体として患者数はほぼ一定でしたが、2007年10月の救急センターの開設により患者数が増加し、重症の入院患者の比率も増加してきました。

入院患者数の推移 2002～2008



入院患者数は年間600名前後でしたが、救急センター開設後入院患者数も増加し、最重症患者数が徐々に増加しています。

最重症患者の住所地 2008



最重症患者は神戸市内、阪神、東播磨を中心に、県内全域から搬送されていますが、県外から紹介、搬送されることも多くなっています。

救急医療室で取り扱った特記すべき疾患 2008

- 1 頭部打撲 286例 (うち頭蓋骨骨折22例、頭蓋内出血30例)
- 2 被虐待児疑い 17例 (うち心肺停止3例、頭部外傷10例、全身打撲1例)
- 3 交通外傷 47例 (うち多発外傷11例)
- 4 熱傷 25例
- 5 腫瘍性疾患 54例 (血液腫瘍37例、腹部腫瘍6例、脳腫瘍2例)

救急医療室で取り扱った最重症症例の治療内容 2008

- 1 手術 96例 (うち緊急手術61例)
- 2 人工呼吸管理 58例 (HFO1例、ECMO1例、NO吸入2例)
- 3 脳低温療法 2例
- 4 透析療法 1例

6. 代謝内分泌科

代謝内分泌科は小児における大きな特性である成長と成熟にかかわる疾患、すなわち低身長症、肥満、糖尿病、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、思春期発来異常、性分化異常などを対象としている。また、当科では新生児マススクリーニング対象疾患である先天代謝異常、クレチン症および先天性副腎過形成も担当している。本年度の新規患者数は218名であった。

近年、分子生物学の分野における技術的な進歩はめざましく、各種疾患における病態も分子レベルで解明されるようになった。その結果、当院の様な小児専門病院の臨床の現場においても遺伝子工学的手法に基づく診断、治療技術が必須となってきた。当科では、遺伝子工学的手法を駆使して診療にあたることこそが社会的要請に合致することと考え分子生物学の技術の確立に努めている。本年度は、男性ホルモン産生腫瘍における病因遺伝子の解析、遺伝性低カルシウム血症をきたす疾患におけるメチル化の異常の解析において臨床と直結する成果が得られた。

代謝内分泌科 2008年度

外来患者（新患）

	患者数
低身長症	61
甲状腺疾患	18
性腺疾患	47
副腎	1
糖代謝異常	18
肥満	6
マススクリーニング クレチン症	29
先天代謝異常症	6
先天性副腎過形成	3
その他	29
計	218

入院患者

	患者数
低身長症	21
糖代謝異常	20
性腺疾患	8
甲状腺疾患	1
副腎疾患	4
その他	16
計	70

7. アレルギー科

アレルギー科は部長の三好、医長の中岸、笠井 医員の安部の4人のチームで診療を行った。兵庫県で小児科でのアレルギー学会指導医、リウマチ学会専門医がいる病院は当院のみであり、県の中核施設として機能している。増え続けるアレルギー性疾患のこどもへより良い対応をするため、治療が日進月歩であるリウマチ性疾患のこどもへより良い対応をするため、またそれらの疾患を診療していく専門医を育成するため、さらなる発展を遂げて行きたいと考えている。

【診療活動】

アレルギー科の対象疾患としては、以下のような内容である

- 1) アレルギー疾患；気管支喘息、アトピー 性皮膚炎、食物アレルギー 等
- 2) 膠原病・リウマチ性疾患；若年性特発性関節炎（JIA）、全身性エリテマトーデス、若年性皮膚筋炎、自己炎症性疾患 等

アトピー性皮膚炎については、ドクターショッピングやアトピービジネス、民間療法などの果てに受診される患者さんも多く、スタンダードな治療の普及に努めた。食物アレルギーの確定診断および不必要な食事制限を解除するための食物負荷試験を行っているのも特徴のひとつで、2008年は延べ636名に実施した。気管支喘息については、乳児喘息の早期診断と長期管理薬による発作予防療法、思春期喘息の治療管理に力を尽くした。

膠原病・リウマチ性疾患の患者数も徐々に蓄積され、現在治療中の症例が約180名に達している。JIA に対する生物学的製剤の診療実績も積み重ねられてきており、地域の中心的病院としての役割を果たすよう努力を続けている。

1) 外来初診患者数 224

1. アレルギー疾患 174

気管支喘息	24
アトピー性皮膚炎	47
好酸球性胃腸症	3
食物アレルギー	93
じんましん	5
その他のアレルギー疾患	2

2. リウマチ性疾患 43

若年性特発性関節炎	25
SLE	3
皮膚筋炎	2
その他のリウマチ性疾患	13

3. 予防接種 7

2) 入院患者数 62

1. アレルギー疾患 26

アトピー性皮膚炎	6
気管支喘息	8
胃食道逆流症	3
アナフィラキシー	6
食物負荷試験	2
好酸球性胃腸症	1

2. リウマチ性疾患 36

若年性特発性関節炎	13
皮膚筋炎	8
SLE	8
不明熱	5
その他のリウマチ性疾患	2

8. 脳神経内科

【診療活動】

診療活動は、脳神経内科外来初診254名・外来延べ総数2349人、発達行動小児科外来初診患者は53人・外来延べ人数215人であった。また入院患者数は1476人であった。

【動向】

これまで神経内科の診療範囲は、神経疾患・発達障害・心身症であったが、米国の小児医療体制では、発達障害・心身症に関しては、主として発達行動小児科医が診療にあたり、今後日本の小児病院・大学病院でも専門外来が開設されつつある。当科では平成17年7月に発達行動小児科外来を開設したが、初診患者の受診待ちが平均2ヶ月程度となっている。

在宅医療が進む中、神経内科領域でも在宅人工呼吸・在宅酸素・在宅中心静脈栄養などを要する患儿が増加しつつある。現在、一般外科にて、在宅外来が行われているが、関係他科とも協力した、専門外来が必要である。

その他小児神経疾患にも、集中治療を要する急性脳炎などの病態から、まれな先天性代謝異常の診断まで幅の広い疾患が含まれる。

一般的な診療は可能であるにしても、小児専門病院としてのより専門的な医療を満たすには外来スペース、人員の不足であり他の小児専門病院と比べても圧倒的に不足している。

また兵庫県では小児神経疾患の中核施設が存在せず、その医師の育成も困難である。当院が小児神経領域に対してどこまでの役割を担うのかというグランドデザインと、それに向けた対策が必要である。

神経外来初診患者

けいれん性疾患

てんかん	101
熱性けいれん	23
その他のけいれん疾患	13
その他の発作性疾患	7

発達障害

精神遅滞	11
広汎性発達障害	2
その他の発達障害	5

感染性・炎症性疾患

急性脳炎・脳症	6
---------	---

心身症

摂食障害	3
その他の心身症	7

その他

歩行障害・運動失調	12
頭痛	10
神経皮膚症候群	10
チック	10
低酸素性脳障害	8
血管障害	5
その他の脳外科疾患	4
末梢神経疾患	3
視力障害(視神経炎)	3
睡眠障害	2
脱随疾患	1
染色体異常・奇形症候群	1
頭部打撲	1
その他	5

発達行動小児科外来初診患者

発達障害

広汎性発達障害	13
精神遅滞	15
注意欠陥多動性障害	4
その他の発達障害	6

心身症・神経症 1

その他 14

9. 血液腫瘍科

【スタッフ・人事】

部長	小阪 嘉之	
医長	川崎圭一郎	
医長	長谷川大一郎	
医長	竹田 洋樹	
専攻医	林 耕平	
専攻医	猪俣 慶	H.20.1.1 ~ 3.31
専攻医	佐竹恵理子	H.20.1.1 ~ 3.7
専攻医	山口 由美	H.20.4.1 ~ 6.30
専攻医	浅野 貴大	H.20.4.1 ~ 6.30
専攻医	下川 祐子	H.20.7.1 ~ 12.31
専攻医	田村 彰広	H.20.7.1 ~ 9.30
専攻医	中島絵梨花	H.20.10.1 ~ 12.31
短期ローテーター（研修医）は省略		

【活動状況】

外来・入院とも患者数は微増であるが、難治性疾患、なかでも悪性腫瘍患者が激増している。特に造血器悪性腫瘍の新患数は平成20年には合計31名にもおよび（表1参照）、これは過去最高数であり、さらには表1から小児がん学会への登録対象となるいわゆる悪性腫瘍の新患は71名（成熟奇形腫を含む）であり、これらはともに全国でも1, 2を争う数字である。造血幹細胞移植症例数は11例（表2参照）となっている。慢性的なマンパワー不足に加えて時期によっては病床数の不足もあったが、各部署の協力により平成20年は一部患者においては血液病棟（本館7階）以外で化学療法を問題なく施行できた。また重症複合型免疫不全症（SCID）患者は種々の合併症を有するため救急部において臍帯血移植を施行し、経過は極めて順調である。さらには特記すべきはこれだけ新患が増加しているなか、昨年死亡例はわずか6例（この数字はここ数年で最少）で、条件が悪かった同種骨髄移植後の1例を除いていわゆる治療関連死は認めなかった。こういったように増加する難治性血液・悪性腫瘍患者に対して、病院あげてのバックアップ体制のもと、紹介先の各医療機関のニーズに応えられるようスタッフ一同益々頑張っていく所存です。各医療機関におかれましては今後ともよろしくお願い申し上げます。

表1 新患一覧

疾患	症例数	備考
急性リンパ性白血病	23	
急性骨髄性白血病	4	M3 1, M4 1, M5 1, M6 1
骨髄異形成症候群	4	
悪性リンパ腫	2	ホジキン病1
ランゲルハンス細胞組織球症	6	
血球貪食リンパ組織球症	2	
脳腫瘍	8	胚細胞系4, 髄芽腫1, 神経膠腫2, 膠芽腫1, ATRT1
神経芽細胞腫	5	
卵黄のうがん	4	
網膜芽細胞腫	5	
ウィルムス腫瘍	2	
腎悪性ラブドイド腫瘍	1	
肝芽腫	1	
血管内皮細胞腫	1	
消化管間質細胞腫瘍	1	
原発性免疫不全症	4	SCID 1, 高IgM 1, CVID 2
好中球減少症	4	すべて免疫性
再生不良性貧血	4	
鉄欠乏性貧血	4	
特発性血小板減少性紫斑病	4	
溶血性貧血	2	
血友病	1	
フォンビルブランド病	1	
免疫不全疑い	6	すべて正常
出血傾向疑い	4	すべて正常
本態性血小板血症	1	
慢性活動性EVウィルス感染症	1	
一過性骨髄増殖症	1	
成熟奇形腫	2	
軟部組織良性腫瘍	4	
リンパ管腫	2	
血管腫	2	
非特異的リンパ節炎	17	
骨髄移植ドナー (家族内検索)	32	
その他	6	
計	171	

表 2 造血幹細胞移植例

年齢/性	疾患	移植の種類	病期	転記	備考
5/M	肝芽腫	RBMT	不応期	腫瘍死	肝移植後
8/F	AML	RBMT	寛解導入不能	無病生存	7モノソミー
4/M	神経芽腫	APBSCT	1st CR	無病生存	stage A
1/M	脳腫瘍(ATRT)	APBSCT	1st CR	無病生存	初診時脊髄転移あり
4/M	ALL	UBMT	1st CR	無病生存	Ph1
5/M	AML	RBMT	1st CR	合併症死(TMA)	JMML 急性転化例
0/M	SCID	CBSCT		無病生存	
16/F	ALL	UBMT	寛解導入不能	無病生存	
9/F	MDS	UBMT		無病生存	8トリソミー
2/M	網膜芽腫	APBSCT	1st CR	無病生存	初診時骨髄転移あり
15/F	MDS	UBMT		無病生存	2次がん、5q-

RBMT:血縁間同種骨髄移植
 UBMT:非血縁間同種骨髄移植
 APBSCT:自家末梢血幹細胞移植
 CBSCT:臍帯血移植
 ATRT:Atypical Teratoid Rhabdoid Tumor
 TMA:Thrombotic Micro Angiopathy
 JMML:若年性骨髄単球性白血病
 SCID:重症複合型免疫不全症

表 3 死亡例一覧

年齢/性	疾患名	死因	備考
17/F	神経膠芽腫	腫瘍死	
16/F	髄芽腫	腫瘍死	希望により在宅で死亡
2/F	Atypical Teratoid Rhabdoid Tumor	腫瘍死	
8/M	肝芽腫	腫瘍死	
1/F	腎悪性ラブドイド腫瘍	腫瘍死	
5/M	AML	合併症死 (BMT 後 TMA)	

10. 循環器科

【スタッフ・人事異動】

城戸佐知子
田中 敏克
寺野 和宏 (平成20年8月、東京慈恵会医大へ異動)
藤田 秀樹
齋木 宏文
富永 健太 (平成20年10月より)
佐藤 有美 (フェロー、神戸大学より)
井手健太郎 (専攻医、国立成育センターへ異動)

スタッフは5名、他に専攻医・フェロー数名。専攻医はほぼ3ヶ月ごとのローテーションで、主に入院患者管理、カテーテル検査の補助などに従事。また1年程度の比較的長期のフェローについては、できる限りカテーテル検査、心エコー検査を自身の判断でこなせるように指導している。

【診療活動】

- (1) 外来：月曜日から金曜日まで週5日。外来総患者数は7576名（前年7820名）、新規外来患者数は566名（うち431名に心疾患・不整脈など経過観察を要する疾患あり）であった。外来予約枠を設け1日の受診人数をいくらか制限した結果、特に夏休みなどは予約が入らないという問題が出ているが、待ち時間の都合上ある程度の制限はやむを得ない状態になっている。カテーテル治療相談外来（木曜午前、担当：田中医師）や成人外来（月曜午後、担当：城戸）など専門外来を併せて行なっている。カテーテル治療目的の紹介も増加しており、専門性を高めた分野での医療の進展が期待されるが、一方ではこれまで続けてきたような、軽症・重症に関わらず、小児の心疾患全般のオーダーメイド診療がさらに丁寧に行なわれるように考えている。
- (2) 入院：1年間の総入院患者数は317名。うち206名がカテーテル検査・治療目的の入院。救急部門の充実により、循環器疾患が主問題となる場合以外の感染症などは救急科が窓口になり、循環器科としてはより循環器の専門性を生かせるようになってきている。新生児や乳児期早期の入院は32名で、新生児はうち24名。新生児では大血管転位が5名と最も多く、肺動脈狭窄・閉鎖を伴う两大血管右室起始/ファロー四徴症が4名、胎児期からの不整脈が問題となっていた新生児が3名、純型肺動脈閉鎖、三尖弁閉鎖が各2名、そのほかバリエーションに富んだ疾患の患者を受け入れた。特に胎児心エコーの充実により母体搬送・院内出生の新生児の心疾患患者が増加しており、まだ診療体制に改善の余地はあるものの、産科・新生児科という周産期部門が併設されているメリットを生かして、胎児期・周産期・新生児期早期からの診療がひとつの柱となりつつある。また、先天性心疾患の術後、もしくは未手術で経過観察中の患者の出産数も増加しており、必要時に産科と協力の上安全に分娩に至ることができた症例も複数経験するようになってきた。感染症および新生児を除く救急入院では、不整脈が8例、川崎病による巨大冠動脈瘤が3例、主に術後の感染症などに伴う心不全管理が7例、その他、喀血、心外膜炎に伴う心タンポナーデなどである。
- (3) 生理検査：総心電図件数5052件、Master 負荷心電図件数2230件、Holter 心電図件数118件、トレッドミル負荷心電図は46件。心エコーは5406件（前年5139件、本年統計はICUでのエコー件数を除いている）、胎児心エコーは167件（前年164件）（担当：齋木・佐藤医師）。そのほか、カテーテル検査室・手術室での経食道心エコーは増加傾向。心エコー検査担当は外来では検査技師・担当医師が分担、入院は全て主治医

の手により行なわれている。

- (4) カテーテル検査：総件数251件（前年277件）。昨年に引き続き、患者負担減少を目的に、合併症のない軽症心疾患のカテーテル検査を大幅に減らしている。心房中隔欠損については、カテーテル治療の適応確認のために、現時点では比較的多めになっている。心エコーのみで手術へ、また術後の評価も、可能な疾患では造影CT検査やMRIでの経過観察に振り替えている。カテーテル治療の件数は54件と今期はやや減少したが、主として術前後の側副血管コイル塞栓術の減少によるもので、心房中隔欠損のカテーテル治療は7名に施行、来年度の治療予定者も含めて順調に患者数が増加している。

【その他の活動】

- (1) カンファレンス：月曜日に心臓外科との合同カンファレンス、木曜日にカテーテル検査および心エコー検討会、木曜日朝隔週で抄読会を行い、討議の時間をもっている。
- (2) 学会参加：小児循環器病学会、JPIC研究会、胎児循環器学会、成人先天性心疾患研究会、HOT研究会、川崎病研究会などへの参加。

【新規患者内訳】		僧帽弁閉鎖不全	8
1. 新患総数 566名 (517名に心疾患)		大動脈縮窄 (軽度)	5
A 新生児期・乳児期早期	32	川崎病	24
大動脈縮窄複合	1	不整脈	34
心室中隔欠損・心内膜症欠損	4	その他	63
大血管転位	5	機能性心雑音	86
肺動脈閉鎖・ファロー四徴症	2		
両大血管右室起始	2	【カテーテル検査・治療内訳 (総数251件)】	
純型肺動脈閉鎖・重症肺動脈弁狭窄	5	4. 心臓カテーテル検査 (検査のみ)	197
三尖弁閉鎖	2	心室中隔欠損 (合併奇形・肺高血圧を伴う)	14
単心室・臓器錯位症候群	1	心房中隔欠損	40
総動脈幹症	1	心内膜床欠損	7
大動脈弁狭窄	2	ファロー四徴症/肺動脈閉鎖・心室中隔欠損	27
僧帽弁閉鎖・肺動脈閉鎖	1	両大血管右室起始	10
孤立性心室逆位	1	大血管転位	9
修正大血管転位・肺動脈狭窄	1	純型肺動脈閉鎖	5
エプスタイン奇形	1	いわゆるフォンタン適応症例	59
大動脈左室トンネル	1	肺動脈弁狭窄 (治療例は除く)	1
不整脈	2	大動脈弁狭窄	4
川崎病・巨大瘤	1	大動脈縮窄 (合併奇形あり)	1
原発性肺高血圧	1	大動脈弁閉鎖不全	2
心筋緻密化障害・心筋症	2	僧帽弁閉鎖不全	3
		腎血管性肺高血圧	3
B 乳児期以後 (外来紹介の新生児含む)	517	川崎病	12
心室中隔欠損	134	その他	3
心房中隔欠損	77		
動脈管開存	23	5. カテーテル治療	54
心内膜床欠損	8	弁形成 (大動脈弁・肺動脈弁)	9
肺動脈弁狭窄	37	血管形成	18
大動脈弁狭窄・閉鎖不全	6	コイル塞栓術 (動脈管開存)	8
ファロー四徴症	6	コイル塞栓術 (側副血管)	9
両大血管右室起始	4	バルーン心房中隔裂開術	3
大血管転位	1	心房中隔欠損閉鎖術	7
総肺静脈還流異常	1		

11. 腎臓内科診療統計

外来診療については、田中亮二郎医師が、入院診療については、専攻医（下岡武史医師、寺岡由恵医師）と藤田晃生医師（8月で転出）と田中亮二郎医師が担当した。また2008年度の外来初診患者数は192名、入院患者数は80名であった。

活動状況

ネフローゼ症候群、急性腎炎、IgA腎症、紫斑病性腎炎、遺伝性腎炎、その他慢性腎炎、全身性エリテマト-デス、溶血性尿毒症症候群などの急性腎不全、慢性腎不全、高血圧、尿路感染症、先天性尿路奇形、腎臓移植後のフォロー等を対象としている。本年度はネフローゼ症候群や腎炎などに対して35例の腎生検を施行した。またPICUにおいてHUS1名の患者さんに腹膜透析を施行した。また現在3名の慢性腎不全患児が外来維持腹膜透析を受けている。腎移植に関しては他院にお願いし、現在計5名の患者さんが外来にてフォロー中である。平成19年度より最新の持続血液透析濾過器が常備され、急性腎不全に対する透析や他の血液浄化療法に対して迅速に対応可能となった。今後急性腎不全に対する血液浄化や慢性腎不全に対する在宅腹膜透析を積極的に押し進めたいと考えている。一方平成15年度より厚生労働科学研究「小児難治性腎疾患に対する薬物療法ガイドライン作成のための多施設協同研究」に参加し、巣状メサンギウム増殖を示す小児IgA腎症、頻回再発型ネフローゼ症候群、ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群を対象とした多施設協同非盲検ランダム化比較試験、平成19年度から小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した多施設共同臨床研究と拡大臨床試験体制整備事業にも参加している。また平成20年度より小児期発症の難治性ネフローゼ症候群に対するIDEC-C2B8の多施設共同二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験を医師主導治験として開始した。新しいエビデンス構築に向けて貢献している。院内活動としては、週1回英文抄読会を行い、最新の情報の収集に努めている。さらに平成18年度より日本腎臓学会の研修教育施設にも指定されている。

平成20年度入院患者

ネフローゼ症候群	37
IgA腎症	11
膜性増殖性糸球体腎炎	1
巣状分節性糸球体硬化症	1
ループス腎炎	3
紫斑病性腎炎	3
アルポート症候群	2
溶血性尿毒症症候群	1
TTP	3
尿細管間質腎炎	1
慢性腎不全	4
保存期腎不全	1
腎臓移植後	2
尿路感染症	6
その他	4
計	80名

12. 精神神経科

2008年度のスタッフは、常勤医1名（前田宏章）と、非常勤医4名（伊東恵子、井出浩、白瀧貞昭、松川悦之）であった。

昨年度と比較して、新患数が40名ほど減少している。これは伊東恵子先生、白瀧貞昭先生が今年度で退職されるため、新患予約を取らなくなったことが関連していると考えられる。新患数は児童精神科医師数の影響を強く受けるが、児童精神科医不足は相変わらず続いている。

減少した診察枠を補うまでにはいかないが、この度 ADHD（注意欠陥多動性障害）外来という専門外来を新設し、スムーズな外来診療の一助になればと思っている。不注意症状、多動症状に有効で安全と考えられる薬が日本で初めて認可され、保険適応を受けたことも ADHD 治療の大きな一助となっている。

2005年に発達障害者支援法が施行され、その心理機能の適正な発達を支援し、及び円滑な社会生活を促進するため行う発達障害の特性に対応した医療的、福祉的及び教育的援助を行う必要があるということが定められた。ここで言う発達障害とは自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害を指しているが、何らかの支援を受けることが出来ない潜在的な患者数はまだまだ非常に多いと考えられる。その社会的ニーズに答えられるよう、今後も尽力していきたい。

新患分布

疾 患	年 齢		乳児	幼児 前期	幼児 後期	学童 前期	学童 後期	中学 高校	18歳 以上	計
	男	女								
精神遅滞	11	7	0	1	6	3	0	7	1	18
学習障害	7	5	0	3	4	3	0	2	0	12
自閉症圏	26	14	0	6	12	11	4	7	0	40
多動性障害	21	3	0	1	6	9	7	1	0	24
行為障害	4	1	0	0	0	0	2	3	0	5
不安障害	15	7	0	1	7	3	6	5	0	22
強迫性障害	4	4	0	0	0	2	2	4	0	8
ストレス障害、適応障害	8	12	0	0	1	4	6	7	2	20
解離性障害	6	11	0	0	0	6	8	3	0	17
身体表現性障害	4	5	0	0	0	2	3	4	0	9
選択性緘黙	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
愛着障害	2	2	0	0	1	1	0	2	0	4
チック障害	5	3	0	0	1	3	3	0	1	8
遺尿症、遺糞症	3	2	0	0	2	1	1	1	0	5
哺育障害、異食症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吃音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器質性精神障害	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
統合失調症圏	0	3	0	0	0	0	1	1	1	3
気分障害	2	6	0	0	0	0	0	5	3	8
摂食障害	1	3	0	0	0	0	1	3	0	4
睡眠障害	3	2	0	1	2	1	0	1	0	5
抜毛症	0	2	0	0	0	0	1	1	0	2
てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2
計	125	93	0	13	42	50	45	59	9	218

13. 小児外科

小児外科スタッフ

西島 栄治 (昭和53年卒)
佐藤志以樹 (昭和62年卒, 1月～3月)
横井 暁子 (平成2年卒)
高見澤 滋 (平成3年卒, 1月～3月)
中尾 真 (平成3年卒)
尾藤 祐子 (平成5年卒)
荒井 洋志 (平成7年卒)

小児外科専攻医

岡本 竜弥 (平成13年卒)
高野 洋一 (平成15年卒, 4月～12月)
岡本 光正 (平成15年卒, 4月～)
田浦 康明 (平成16年卒, 4月～)

診療活動

入院患者数812名 (前年度793名)、日帰り手術患者数358名 (前年度387名)、全手術件数1247名 (前年度1023名)、新生児患者数40名 (前年度52名)、手術件数は増加したが新生児患者数は減少した。

手術待ち時間は入院手術で2週～1ヶ月、日帰り手術で約5～6週間であった。

教育活動

神戸大学と熊本大学の5～6年生を臨床実習生として受け入れた。今年度はポーランドの小児外科医師を1ヶ月間見学医として受け入れた。

学会活動

日本小児外科学会、太平洋小児外科学会、英国小児外科学会、米國小児外科学会、アジアオセアニア周産期学会、小児がん学会、日本小児呼吸器外科研究会等で発表した。発表論文は邦文4編、英文2編、計6編であった。

小児外科統計 2008年

(1) 入院患者数	812
(2) 日帰り手術患者数	358
(3) 手術件数	928
(4) 内視鏡検査治療件数	319
総数	
入院 手術件数	576
内視鏡検査治療件数	307
日帰り 手術件数	354
内視鏡検査治療件数	14

(5) 入院手術内訳

顔面 頸部	甲状舌管嚢腫摘出術	3	
	側頸嚢胞	3	
	腫瘍生/切除	8	
	その他	1	
胸部	気道	気管切開術	17
		気管形成術	5
		声門下腔形成術	3
		胸腔ドレナージ	7
		喉頭気管分離術	6
		大動脈胸骨固定術	1
		その他	2
		肺	肺葉切除術
		分画肺切除術	1
	横隔膜	横隔膜ヘルニア閉鎖術	7
	食道	先天性食道閉鎖症-期の根治術	4
		食道内磁石挿入/抜去	3
	胸壁	漏斗胸手術 Ravitch 変法	8
		Nuss法	11
Nuss bar 抜去		13	
腹部	消化管	噴門形成術	15
		胃瘻造設術	19
		肥厚性幽門狭窄症手術	11
		十二指腸閉鎖、狭窄手術	5
		空腸・回腸閉鎖症手術	3
		腸回転異常症手術	5
		腸重積症手術	7
		イレウス手術	17
		虫垂切除術	21
		鎖肛根治術	7
		直腸生検	4
		痔核・痔瘻手術	3
		人工肛門造設術	7
		人工肛門閉鎖術	6
		その他	13
	肝胆膵脾	胆道閉鎖症手術	2
		胆道拡張症手術	6
		胆嚢摘出術	2
		脾摘出術	2
		その他	4
	腹壁	臍ヘルニア手術	4
		白線ヘルニア手術	1
		尿管管・臍腸管切除術	5
		その他	3
	腫瘍	卵巣膿腫切除術	2
		奇形腫群腫瘍摘出術	4
		腎腫瘍摘出術・腎摘出術	4
		肝腫瘍摘出・肝切除術	1
		神経芽細胞腫摘出・切除術	7
		悪性腫瘍開胸、開腹生検	8
		その他	19
	鼠径部	鼠径ヘルニア手術	127
		精巣固定術	4
軟部組織・四肢	リンパ管腫摘出術	2	
	ピシバニール注入	4	
その他	中心静脈カテーテル挿入	96	
	テンコフカテーテル挿入	1	
	その他	18	

(6) 内視鏡検査・治療内訳

気管支鏡	気管支鏡のみ	121	
	気管内異物摘出術	1	
	気管バルーン拡張術	1	
	KTP レーザ肉芽焼灼術	10	
	肉芽切除術	5	
	T-tube 挿入	35	
	Y型・I型ステント挿入	10	
	レティナ挿入	2	
	食道胃内視鏡	内視鏡のみ	34
		内視鏡的食道静脈瘤硬化療法	10
食道バルーン拡張術		24	
胃食道異物摘出術		3	
食道ステント		30	
ERCP	ERCP	6	
	総胆管砕石術	1	
大腸内視鏡	内視鏡のみ	10	
	大腸ポリープ切除術	4	

(7) 日帰り手術内訳

鼠径ヘルニア手術	304	
臍ヘルニア手術	32	
リンパ管腫ピシバニール注入	1	
皮膚皮下良性腫瘍摘出術	3	
直腸ポリープ切除術	1	
肛門拡張術	6	
直腸脱手術	1	
陰唇癒合剥離	4	
内視鏡	食道胃内視鏡	5
	下部内視鏡	2
	気管支鏡	3
その他	2	

(8) 新生児外科症例

病名	患者数
横隔膜ヘルニア	6
先天性食道閉鎖症	6
肥厚性幽門狭窄症	3
十二指腸閉鎖・狭窄症	4
空腸・回腸閉鎖症	5
腸回転異常症	3
ヒルシュスブルング病	2
鎖肛	4
メコニウム病	1
鼠径ヘルニア	1
仙尾部奇形種	1
穿孔性腹膜炎	1
合計	36

14. 心臓血管外科

スタッフ紹介

部長 大嶋 義博 (昭和57年卒)、心臓血管外科専門医、胸部外科指導医
医長 吉田 昌弘 (平成5年卒)、心臓血管外科専門医
医長 圓尾 文子 (平成7年卒)、心臓血管外科専門医
医長 島津 親志 (平成9年卒)
医長 日隈 智憲 (平成12年卒)
医長 井上 武 (平成12年卒) 心臓血管外科専門医

2008年度の人事異動は、7月より吉田 昌弘医長が米国ピッツバーグ小児病院へ留学。12月には井上 武医長が心臓血管外科専門医を取得。

診療体制

外来：月、水、金の午後2診

手術：月～金(開心術)、水または金(非開心術)

軽症例、重症例とも、全体の手術件数は前年度を下回った。2008年の体外循環を用いた手術は166例(新生児10例)、体外循環非使用の心臓手術は50例(新生児18例)、その他30例で、手術死亡は2例(0.9%)であった。手術死亡率は低下したが、新生児の最重症例の救命から、QOLの向上を求めた術式への転換を模索している。また、胎児診断から計画的な治療戦略を立てるために、産科・新生児科・循環器科との連携を深め、さらに成績向上に努めている。

学会活動：英文、邦文論文が掲載あるいは投稿中で、胸部外科学会、心臓血管外科学会、小児循環器学会、その他、多数の学会、研究会にて発表した。

術式 (疾患)	28日未満			～ 1歳未満			1歳～17歳			18歳以上			総数		
	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡
PDA															
CoA (simple)				1			1						2		
+VSD				2									2		
+DORV															
+AVSD				1									1		
+TGA															
+SV															
+others				1									1		
IAA (simple)															
+VSD				2									2		
+DORV															
+Truncus															
+TGA															
+SV															
+others															
Vascular ring															
PS							1						1		
PPA or critical PS				1			3						4		
TAPVR	1												1		
asplenia															
PAPVR ± ASD				1									1		
ASD				4			24						28		
Cor triatriatum															
AVSD (partial)															
AVSD (complete)				4			1						5		
+TF or DORV															
+others				2									2		
VSD ()				4			3						7		
VSD (or)				20			7						27		
VSD + PS				4									4		
DCRV ± VSD							2						2		
Aneurysm of sinus Valsalva															
TF				3			3						6		
PA + VSD (Rastelli)				1			1						2		
(SP shunt)				1									1		
DORV				3			1						4		
TGA (simple)	2			1									3		
+ VSD	3			1									4		
+ VSD + PS							2						2		
corrected TGA															
Truncus arteriosus	1												1		
SV (SP shunt)				3									3		
(BDG)				2			2						4		
(Fontan)							5						5		
TA (SP shunt)															
(BDG)				2									2		
(Fontan)							1						1		
HLHS (Norwood)	1			1									2		
(BDG)				3									3		
(Fontan)							3						3		
Aortic valve lesion (形成)				1			1						2		
(弁置換)				1			2						4		1
SAS	1	1		1			1						1		
supra AS				1									1		
Mitral valve lesion (MR 形成)							1						1		
(MR 弁置換)															
(MS 形成)															
(MS 弁置換)															
Ebstein															
Coronary disease															
その他				3			1						4		
再手術 VSD 再閉鎖															
PS 解除							2						2		
RV-PA 導管再置換				1			1						2		
(PVR を伴う)							6						6		
その他	1			3			2			1			7		
総数	10	1	0	78	0	0	77	0	0	1	0	0	166	1	0

術式 (疾患)	28日未満			～ 1歳未満			1歳～17歳			18歳以上			総数		
	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡	症例	死亡	在院死亡
PDA	12			5			2						19		
CoA (simple)							2						2		
+VSD															
+DORV															
+AVSD	1												1		
+TGA															
+SV															
+others															
IAA (simple)															
+VSD	2												2		
+DORV															
+Truncus															
+TGA															
+SV															
+others															
Vascular ring							2						2		
PS															
PPA or critical PS				2									2		
TAPVR															
asplenia															
PAPVR ± ASD															
ASD															
Cor triatriatum															
AVSD (partial)															
AVSD (complete)															
+TF or DORV															
+others				1	1								1	1	
VSD ()															
VSD (or)				1									1		
VSD + PS				1									1		
DCRV ± VSD															
Aneurysm of sinus Valsalva															
TF															
PA + VSD				4									4		
DORV				4									4		
TGA (simple)															
+ VSD															
+ VSD + PS															
corrected TGA															
Truncus arteriosus	1												1		
SV (SP shunt)				1									1		
(PAB)				1									1		
TA (SP shunt)															
(BDG)															
(Fontan)															
HLHS (bil.PAB)	2												2		
(SP shunt 追加)				2			1						3		
Aortic valve lesion (形成)															
(弁置換)															
SAS															
supra AS															
Mitral valve lesion (MR 形成)															
(MR 弁置換)															
(MS 形成)															
(MS 弁置換)															
Ebstein															
Coronary disease															
その他				1			1			1			3		
再手術 VSD 再閉鎖															
PS 解除															
RV-PA 導管再置換															
(PVR を伴う)															
その他															
総数	18			23	1		8			1			50	1	0

腋窩膿瘍	1	死亡	在院死亡
皮下膿瘍	1		
ペースメーカー植え込み	7		
ペースメーカー電池交換	5		
心嚢ドレナージ	7		
横隔膜縫縮	4		
ショック (ECMO)	6	3	
下行大動脈吊り上げ	2		
総計	33	3	

15. 脳神経外科

2008年度の脳神経外科スタッフは長嶋達也（部長）、河村淳史（医長）、山元一樹（医長）の指導医とローテーション医師1名の4名である。2007年10月1日 2008年3月31日の間は山本大輔（専攻医）、4月1日 9月31日は井上悟志（医員）、10月1日 2009年3月31日は石井大嗣（専攻医）が着任した。

診療活動では兵庫県下のみならず他府県からの紹介例、セカンドオピニオン例が増加しており、小児救急医療センター（三次救急施設）に搬送される重症頭部外傷例が増加傾向にある。本施設の特徴としてはこども病院複数科との連携による特殊医療チームがあり、脳神経外科・血液腫瘍内科・放射線科・臨床病理部による集学的治療を必要とする脳腫瘍症例、脳神経外科・整形外科・泌尿器科による治療および管理が必要な二分脊椎症例、脳神経外科・形成外科による合同外科的治療を要する頭蓋顔面奇形症例、脳神経外科・救急部・脳神経内科をはじめ多数科の関与が必要な頭部外傷・多発外傷症例などの紹介・搬送例が増加し、発達など将来を見据えた集学的なアプローチを要する分野の手術数が増えている。手術件数は160例前後であり、手術前も後も小児医療各方面と密な連携を保ち長期の追跡を行っている。来年度も神経奇形、頭部外傷、脳腫瘍を中心に国際的な水準を維持する手術成績を積み重ねていきたい。

学術活動としては、定期的な学会発表、執筆活動を継続、当施設の治療成績などを中心に海外での発表も行っている。山元は日本小児神経外科学会のシンポジストに選ばれた。河村はシカゴで開催された International Symposium of Pediatric Neuro-oncology(ISPNO)へ参加するとともに、引き続きシカゴ小児病院に滞在して脳腫瘍の治療に関する最新の治療体制について学んできた。長嶋は、厚生労働省精神神経疾患委託研究「発達期に発生する外因性脳障害の診断・治療予防のための実証的研究とガイドライン作成」の分担研究者として虐待による乳幼児頭部外傷の診断・予防の研究に取り組み、2009年4月にはガイドラインを完成した。また、2008年12月に台湾で開催された国際脳神経外科学会の教育コースにて「脊髄空洞症の診断と治療」に関する教育講演を行った。

16. 形成外科

2008年は4月に大崎陽子が大阪医療センターに転出、大阪府立急性期総合医療センターより小野田素大が転入した。血管腫（赤あざ）用レーザー導入以降、新患患者、照射患者が増加し前年290例から512例と激増した。今後の課題として、約3ヶ月待ちの日帰り手術枠、多数受診していただきながら他院を紹介せざるをえない青あざ、茶あざ用レーザーの導入、言語訓練枠ならびに言語訓練室の増設などがあげられる。

	入院手術	外来手術	計
新鮮熱傷	1		1
顔面骨骨折	1		1
口唇裂	46	10	56
口蓋裂	39		39
手足の先天異常	51	9	60
頭蓋顔面骨異常	8		8
その他の先天異常	37	47	84
母斑・血管腫・良性腫瘍	28	57	85
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	4	6	10
その他		17	17
	215	146	361

		入院 全麻	外来 全麻	局麻	
新鮮熱傷	全身				0
	局所のみ				0
顔面骨骨折	顔面骨骨折	4			4
	顔面軟部組織損傷		3	12	15
口唇裂		85		5	90
口蓋裂		28			28
手足	先天異常	46	4		50
	外傷	1			1
その他の先天異常		36	63		99
母斑・血管腫・良性腫瘍		48	72	6	126
悪性腫瘍、再建		3			3
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド		11		3	14
褥創、難治性潰瘍		1			1
美容外科					0
その他		23	51	512	586
		286	193	538	1017

含外来処置室
含他科関連

17. 整形外科

2008年4月から浜村医師が兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院に転出し代わりに竹内医師を迎えた。手術件数は昨年と比較して微増の254件であった。内訳では徐々に骨折の件数が増加している。現在小児のリハビリテーションを行う施設が限られており当院にも少なからず影響が出ている。増大する手術件数に対応するため手術日の確保、正規職員の人員増に向けて努力していきたい。

手術

	病名	術式	手術数	
体幹	環軸椎脱臼(含む他疾患)	ハロー装着	2	
	斜頸	切腱術	3	
	側弯症	矯正術	1	
		グローイングロッド挿入(含むシーラ)	1	
股関節	先天性股関節脱臼	ロッド延長	4	
		Ludloff	2	
		SA+OR	2	
	股遺残垂脱臼	内反減捻骨きり術	2	
		ソルター	6	
	ペルテス病	大腿骨内反骨きり術	3	
		骨頭遊離体切除	1	
	骨頭すべり	大腿骨屈曲骨切り術	1	
	骨頭すべり	ピンニング	7	
	足部	先天性内反足	後方解離	2
アキレス腱切腱(Ponseti)			24	
イリザロフ矯正			1	
距骨下関節全周解離			1	
Evans			1	
PMR, PMR Evans			4	
麻痺性内反足		ATL	4	
		Grice-Green	1	
		PMR、TA外側移行	4	
		三関節固定術	3	
		足根骨矯正骨切り術	1	
		距骨摘出術	6	
		腱移行(TPを外側に)	2	
		腱移行(TAを踵骨に)	1	
		(踵足)		
		垂直距骨	観血的整復術	5
足趾変形		矯正術	1	
		脛骨、腓骨癒合術	1	
橈尺骨癒合症		回旋骨切り術	2	
裂手, 裂足		形成術	1	
足根骨癒合症		癒合部切除	2	
膝蓋骨脱臼		整復術	1	
		骨接合	2	
脚長差		脚延長(イリザロフ(含むTaylor Frame))	4	
		変形矯正	2	
		短管骨延長	2	
		脚延長(EBI)	1	
膝関節脱臼		観血的整復術	1	
		矯正骨切り術	1	
変形(内捻)		下腿回旋骨きり術	3	
絞扼輪症候群	形成術	2		
外傷	上腕骨外顆骨折	整復固定術	4	
	上腕骨内顆(内上顆含む)	整復固定術	1	
	上腕骨顆上骨折	整復固定術	4	
	大腿骨骨折	観血的整復術	6	
	骨折後偽関節	骨接合術	1	
	骨折など	鋼線牽引	5	
	その他骨折(徒手整復、観血的整復術)	整復固定術	10	

炎 症	化 膿 性 関 節 炎	病巣搔爬	1
		関節内洗浄	2
	骨髄炎, LCH, 病態不明	生検術	3
腫 瘍	腫 瘍	骨	11
		軟部	6
そ の 他	多・合指（趾）症	余剰指（趾）切除	11
		指（趾）間形成	9
	癒 痕 拘 縮	形成術	2
	剛 直 母 指	腱鞘切開	9
	そ の 他		48
年間手術件数			254

検 査

	部 位	方 法	検査数
	股関節	アルトロ	20
	その他	アルトロ	1

18. 眼科

本年の眼科スタッフ異動は4月に藤岡美幸医師に代わって辰巳康子医師が医長として着任した。当科でスタンダードな治療と考えているものが、他院では必ずしも選択されていないことに驚くことがある。その一例を紹介する。

小児の眼部外傷では打撲等に起因する眼窩吹き抜け骨折の頻度が比較的高い。骨折部位としては眼窩下壁(眼窩底骨折)が圧倒的に多く、骨折部位に下直筋および下斜筋が筋周囲組織とともに陥頓する結果、麻痺性の上下斜視や眼球の上下、回旋運動障害を来す。この合併症への対応が小児例と成人例では全く異なる。すなわち、骨の欠損が多く、通常、その修復(形成外科での上顎洞アプローチによる処置)が必要となる成人と違い、小児では下壁が菲薄なため骨欠損は希で、ほとんどが裂けた骨の間への組織の陥頓である。従って、受傷後早期であれば、眼科での眼窩内操作による陥頓組織の牽引、整復が有効であり、これにより機能障害の後遺を回避することが十分可能である。当科では受傷後2、3日以内に整復を行い、これまで良好な治療結果を得ている。

この様に、小児の眼窩吹き抜け骨折は眼科での初期対応が重要である。この点、議論の余地はないと考えるが、異動してきた眼科スタッフに聞くと施設によっては小児例でも眼科での診断、治療が徹底されず、形成外科にて手術適応が判断されるとのこと。この場合、上顎洞アプローチによる処置は侵襲が大きいため受傷後早期に手術が行われることは少なく、後日、眼球運動障害の自然回復がない場合に手術が検討されることになる。しかし、骨折部位における癒痕形成、組織癒着が進行した段階での整復は機能障害の回復に不利であり、後遺障害となる可能性が高いと言わざるを得ない。これは基本的に眼科医の治療判断、認識の問題であり、今更ながら学会等での啓蒙が必要と考えている。

【新患者数】

病名	新生児	乳児		幼児		学童		思春期	合計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
屈折異常		4	15	141	105	82	33	11	391
斜視及び疑い	1	9	26	152	93	58	23	2	364
未熟眼底				2					2
未熟児網膜症	9	13	2	7	1		1		33
眼瞼疾患	1	9	12	65	55	28	4	3	177
涙器疾患	3	7	31	17					58
結膜疾患	1	4		4	6	5		3	23
角膜・強膜疾患		2	4	8	6	9		1	30
ブドウ膜疾患	1	5	1	6	2	3	1	2	21
網膜症・硝子体疾患	3	11	5	6	6	2		3	36
水晶体疾患	5	12	2	8	19	7	3		56
眼窩疾患				3		1			4
遺伝性疾患			1	1					2
視神経及び視路の障害 (眼振他)	2	3	8	16	12	16	9	5	71
緑内障	1	2	3	4	6	8	2	4	30
外傷				7	3	3	1	1	15
症候群		2	1	3	2	3			11
心因性視力障害					1	7		1	9
腫瘍	1	1	1	3	1				7
その他		5	4	9	2	1			21
合計	28	89	116	462	320	233	77	36	1361

【特別検査・訓練患者数】

プリズム・矯正検査・弱視訓練その他の訓練	190
視 野 検 査	276
合 計	466

実習生受け入れ状況：合計 11名

学 校 名	人 数	期 間	実習場所
神戸総合医療専門学校	4名	5月1日～5月30日	外 来 及び 手術見学
大阪滋慶学園大阪医療福祉専門学校	2名	5月25日～6月27日	
〃 (見学実習)	1名	6月18・19・22日	
九州保健福祉大学保健学部視機能療法学科	2名	6月5日～25日	
大阪医専・総合医療専門学校(見学実習)	2名	3月10日～14日	

眼科診療統計

(2) 入院手術

	新生児	乳 児		幼 児		学 童		思春期	計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
斜 視	0	0	4	42	94	74	41	21	276
内 反 症	0	0	0	10	24	9	1	0	44
眼 瞼 下 垂	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼 瞼・眼 窩 疾 患	0	0	3	6	7	1	0	0	17
結 膜 疾 患 (腫 瘍)	0	0	0	0	0	0	1	0	1
角 膜 疾 患	0	0	0	0	0	0	0	0	0
網 膜 疾 患 (腫 瘍)	0	0	1	2	1	0	0	0	4
硝 子 体	0	0	0	0	5	1	1	0	7
鼻 涙 管 閉 鎖 及 び 異 常	0	0	0	3	5	0	0	0	8
眼 瞼 形 成	0	0	0	0	1	1	0	0	2
緑 内 障	1	1	1	3	0	1	0	1	8
白 内 障	0	2	1	0	12	7	0	0	22
未 熟 児 網 膜 症	0	3	0	0	0	0	0	0	3
眼 球 振 盪 症	0	0	0	0	0	0	1	0	1
外 傷・検 査・そ の 他	0	1	1	3	1	0	0	0	6
合 計	1	7	11	69	150	94	45	22	399

(3) 日帰り手術

	新生児	乳 児		幼 児		学 童		思春期	計
		前期	後期	前期	後期	前期	後期		
内 反 症	0	0	6	23	6	0	1	0	36
霰 粒 腫	0	0	18	16	4	2	1	0	41
斜 視	0	0	0	2	0	0	0	0	2
そ の 他	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	0	0	25	41	10	2	2	0	80

19. 耳鼻咽喉科

人事と概要

2008年は常勤医師1名(大津)、兼任医師1名(火曜、金曜日、阪本)、常勤言語聴覚士1名(柴切)に加えて、4月より柏原病院との兼任言語聴覚士1名(月火木曜、住友)が増員された体制で外来診察、聴力検査、手術等を担当した。

手術は火曜日の日帰り手術を中心に、水曜日の入院全身麻酔手術も増えてきており、一旦待機が減少していたが、現在いずれも約3ヶ月待ちの状態である。手術日の水曜日を除く週4日外来を開く体制と入院手術件数が増えていることが地域の医療機関に周知されてきた。

言語聴覚士の増員により、聴力検査と言語療法を併行しておこなったり、月曜火曜の補聴器外来と一般外来を併行して行うことが可能になった。

診療内容充実への取り組み

1. 外来診療

新患の内訳としては、例年同様、滲出性中耳炎、反復性中耳炎、扁桃・アデノイド肥大、慢性扁桃炎などが多い。他の医療施設で検査の難しい、いびきや睡眠時無呼吸の症例は引き続き増加傾向である。新生児聴覚スクリーニングによる精密聴力検査の依頼は、昨年とほぼ同様の50例余りで増加に歯止めが掛かった。難聴や精神発達遅滞、自閉症を背景とした言葉の遅れが多いのも従来と同様である。

新規患者数は別表に示すとおり2004年までの年間500人前後から増加してきて2008年は703名となった。これは常勤医、常勤言語聴覚士の着任に伴い手術や検査待ちが解消され、地域の医療機関からの新患紹介が2004年までの年間200人前後から、約420人へとほぼ倍増してきているためである。

年	総数	院内	他院	健診	紹介なし
2002	439				
2003	555				
2004	523	254	218	29	22
2005	632	263	298	40	28
2006	748	295	380	36	37
2007	779	303	422	17	37
2008	703	234	419	26	24

言語聴覚士の常勤化により言語療法の受け入れもある程度可能になったが、今の人員では入院患者を中心として他の療育施設等での受け入れ困難な症例のみを対象を絞らざるを得ないのが現状である。

2. 手術

現在、日帰り手術では滲出性中耳炎・反復性中耳炎に対する鼓膜チューブ挿入術が最も多く、口唇粘液貯留嚢胞摘出、舌小帯形成術などである。

入院手術は、年少児の重症睡眠時無呼吸症候群に対する扁桃摘出、アデノイド切除術が中心で、先天性嚢胞性疾患などが続く。特に前者は周術期の呼吸管理が重要であり、麻酔科各医師とHCU看護スタッフの多大の協力に支えられている。2006年まではひと月に0.5日×2回であった手術枠が他科の手術枠を融通していただくことにより、毎週0.5日入院手術が行えるようになったため手術症例数は増加している。最近の予定手術申込件数は、2004年82件、2005年111件、2006年157件、2007年220件、2008年285件と、年々2～3割増加している状況である。今後も限られたスタッフであるが医療安全に十分配慮しつつ手術治療に取り組み

たい。

手術統計以外に、入院治療として突発性難聴、顔面神経麻痺に対する点滴治療があった。

3. 診療内容充実への取り組み、地域連携への取り組み

補聴器特性測定装置は週1回の補聴器外来で活用され年間約200件の補聴器適合検査を行った。生理検査室で検査を行っていただいている ASSR (聴性定常反応) 装置は、ABR とともに乳幼児他覚的聴力検査として引き続き頻用 (約500件) され、聴力閾値の推定に活用された。

睡眠時無呼吸に対する携帯式アプノモニターは予約貸出制の検査とすることにしたため年間約180件の検査が行えることとなった。現在2台で検査をおこなっているものの約3ヶ月待ちの状況である。

火曜金曜日は医師2人体制であるが、現在は耳鼻科診療ユニットが1台しかない。また木曜日午後に受付事務員の配置がない状態は依然改善されていない。

言語聴覚士の増員がなされたが、別表の如く各種聴力検査・言語療法・補聴器適合検査など総計3000件以上の検査・リハビリテーションを1.5人体制で行っている。そのため依然検査や言語指導の予約が入りにくい状況である。業務量に見合った言語聴覚士のさらなる増員が必要である。

長期にわたる治療や経過観察が必要になる滲出性中耳炎、アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎の症例を中心に地域医療機関の先生方と連絡を取って患者紹介を行ない病診連携を進めた。2008年4月改訂の診療報酬制度で、小児滲出性中耳炎に対する耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料が認められることとなった。限られた医療資源の活用のため、かかりつけ耳鼻科医との連携を深めて「日常診療はかかりつけ医で、検査・手術治療は当院で」という診療体制とともに、今後は連携パスの策定も視野に入れて病診連携を推進してゆきたい。

診療実績：

手術

入院手術

口蓋扁桃摘出術	50
アデノイド切除術	45
鼓膜チューブ挿入術 (他科入院中22を含む)	56
蝶形骨洞嚢胞開放	2
舌根嚢胞摘出術	2
口腔・咽頭裂傷	2
外耳道腫瘍摘出術	1
正中頸嚢胞摘出術	1
深頸部膿瘍切開術	1
上顎洞性後鼻孔ポリープ摘出	1

日帰り手術

鼓膜チューブ挿入術	134
口唇粘液嚢胞摘出	4
先天性耳瘻孔摘出	2
舌小帯形成術	1

聴力検査・言語聴覚・補聴器外来統計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
気導純音聴力検査	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
標準純音聴力検査	13	19	29	31	23	38	38	78	19	20	38	20	366
標準語音聴力検査	13	0	2	0	0	0	1	1	1	1	1	2	22
遊戯聴力検査	130	163	170	156	170	196	212	187	155	187	155	166	2047
補聴器適合検査1回目	2	3	1	1	1	1	2	3	5	3	3	2	27
補聴器適合検査2回目以降	20	0	0	15	12	16	17	15	21	23	16	19	174
高度難聴指導管理料	2	3	0	2	1	0	3	2	3	2	2	1	21
聴力検査件数	182	188	202	205	207	251	274	287	204	236	215	210	2661
音声機能検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達及び知能検査 容易	2	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
発達及び知能検査 複雑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理検査 極複雑	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
心理検査件数	2	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	7
検査総件数	184	189	204	206	207	251	274	287	205	236	215	210	2668

リハビリテーション料 (補聴)	6	14	11	4	3	6	5	4	14	14	9	3	93
リハビリテーション料 (言語)	28	30	20	41	30	29	84	48	41	49	46	55	501
言語総単位数	34	44	31	45	33	35	89	52	55	63	55	58	594

聴力検査人数(人)	157	179	224	187	193	234	252	267	175	208	194	188	2458
補聴器外来人数(人)	18	25	23	18	14	17	22	20	31	28	22	22	260
言語聴覚療法(補聴器:人)	11	11	11	4	3	6	5	11	14	9	9	9	103
言語聴覚療法(人)	15	20	11	20	12	18	37	23	22	30	24	24	256
延べ人数(人)	205	239	248	230	222	275	316	321	241	275	249	243	3064
実人数(人)	190	214	228	220	200	255	299	268	226	267	237	212	2816
言語新患者数(人)	7	7	5	5	5	7	10	8	23	6	3	4	90
診療日数(日)	19	18	19	21	18	19	22	19	17	21	18	20	231

2008年耳鼻科新患数・紹介元別内訳 (病名は重複計上)

病 名	症例数	院 内	耳鼻科	小児科	産 科	検 診	聾学校	な し	その他
言語発達遅滞	26	6	10	7	0	3	0	0	0
構音障害	11	3	2	2	0	3	0	1	0
難聴	236	53	102	32	11	27	8	3	0
心因性難聴	13	0	11	1	0	0	1	0	0
慢性中耳炎	3	1	1	0	0	0	0	1	0
急性中耳炎	13	8	1	2	0	0	0	1	1
滲出性中耳炎	203	52	120	14	0	7	2	8	0
外傷性鼓膜穿孔	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外耳道外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳垢栓塞	11	7	2	1	0	1	0	0	0
外耳炎	3	3	0	0	0	0	0	0	0
先天性耳ろう孔	6	0	4	1	0	1	0	0	0
小耳症	6	1	1	3	1	0	0	0	0
外耳道閉鎖症	2	1	0	1	0	0	0	0	0
耳介腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外耳道異物	2	0	1	0	0	0	0	1	0
めまい	5	3	1	1	0	0	0	0	0
側頭骨骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0
顔面神経麻痺	5	3	0	2	0	0	0	0	0
アレルギー性鼻炎	52	18	26	1	0	0	0	6	1
副鼻腔炎	49	20	23	3	0	0	1	2	0
鼻出血	5	2	0	1	0	0	0	2	0
鼻骨骨折	2	1	1	0	0	0	0	0	0
舌小帯短縮症	2	1	0	0	0	1	0	0	0
下口唇粘液のう胞	4	0	2	2	0	0	0	0	0
アデノイド・扁桃肥大	147	31	87	19	0	1	1	8	0
慢性扁桃炎	5	1	0	3	0	0	0	1	0
睡眠時無呼吸症候群	84	15	51	15	0	0	0	3	0
咽頭異物	6	2	4	0	0	0	0	0	0
咽頭外傷	2	1	1	0	0	0	0	0	0
唾石	1	0	1	0	0	0	0	0	0
喉頭外傷	1	0	1	0	0	0	0	0	0
咽頭炎・喉頭炎	2	0	2	0	0	0	0	0	0
喉頭軟化症	21	10	5	6	0	0	0	0	0
反回神経麻痺	18	14	2	1	0	0	0	1	0
声帯結節・ポリープ	6	1	4	1	0	0	0	0	0
嚥下障害	5	3	0	1	0	0	0	0	1
頸部リンパ節炎	6	1	2	3	0	0	0	0	0
正中頸のう胞	2	0	1	1	0	0	0	0	0
合 計	965	262	469	124	12	44	13	38	3

20. 泌尿器科

乃美昌司が3月に兵庫県立総合リハビリテーションセンターリハビリテーション中央病院に転出し一時3人体制となったが、10月には川崎医科大学小児外科から中川賀清が転入したので、再び4人体制（杉多、中川、高木、久松）で診療を行っている。2008年度の手術数は475例（日帰り手術212例および入院手術273例）で、過去最高となった。緊急性のない場合、入院手術が約2ヶ月待ち、日帰り手術が約3ヶ月待ちとなっている。学術的には、日本泌尿器科学会総会、日本小児泌尿器科学会総会、日本小児外科学会総会などの国内学会での発表に加え、国際学会である American Academy of Pediatrics, Section on Urology や Asia-Pacific Association of Pediatric Urology で発表する機会を得た。2009年度も引き続き、小児泌尿器科疾患を有する児に良質な医療を提供できるよう邁進する所存である。

性器系

停 留 精 巢	精巢固定術 (transinguinal)	126
	精巢固定術 (transscrotal)	22
	精巢摘除	18
	腹腔鏡検査	2
停 留 精 巢 / 腹 腔 内	腹腔鏡下精巢血管結紮(F-S1期目)	6
	腹腔鏡下精巢固定術(F-S2期目)	5
尿 道 下 裂	free graft	36
	H-M plasty	3
	Snodgrass	9
	Koyanagi など	8
	外尿道口形成術	4
	口腔粘膜 onlay	1
	口腔粘膜 tube	1
尿 道 狭 窄 (下 裂 術 後)	Johanson 手術	2
	内視鏡下カテーテル留置	1
	ブジー/切開	2
	尿道下裂修復術 Re-do	1
尿 道 皮 膚 瘻	瘻孔閉鎖術	5
陰 囊 水 腫	陰囊水腫根治術	27
そ け い へ ル ニ ア	ヘルニア手術	17
外 尿 道 口 囊 腫	外尿道口囊腫摘除	9
精 巢 捻 転	精巢摘除	7
	精巢固定術 (transscrotal)	3
埋 没 陰 茎	包皮形成術 (逆 Byars flap)	9
陰 茎 縫 線 囊 腫	囊腫摘除	4
尖 圭 コ ン ジ ロ ー ム	コンジローム焼灼術	4
副 腎 皮 質 過 形 成	女性化外陰部形成	3
包 茎 (BXO 含 む)	包皮環状切除	6
精 巢 垂 捻 転	精巢垂摘除	3
前 置 陰 囊	陰囊形成術	2
Chordee without hypospadias	陰茎/包皮形成術	2
総 排 泄 腔 遺 残 症	内視鏡検査	4
	外陰部形成	1
精 巢 腫 瘍	精巢腫瘍核出/高位摘除	2
精 索 血 管 腫	血管腫摘除	1
外 尿 道 口 異 常	外尿道口形成術	1
精 索 静 脈 瘤	顕微鏡下精索静脈低位結紮術	1
特 発 性 陰 核 肥 大	陰核形成術	1
包 皮 母 斑	包皮母斑切除	1
性 分 化 異 常	精巢生検	1
		361

21. 小児歯科

診療内容として全身疾患を有する患児や心身障害児の齲蝕予防・治療を行うことが大きな柱となっていることに変化はない。それに加え形成外科と共同で取り組んでいる唇顎口蓋裂児のホツツ床、術前顎矯正治療の患児の成長により歯列矯正治療を受ける患者数が増加している。また、紹介患者による日帰り全身麻酔下での歯科処置も増加した。その結果、診療内容が齲蝕予防・治療、顎矯正、歯列矯正、口腔外科的処置、全麻下歯科処置、摂食嚥下指導と多様化している。

人事面に変わりはなく、現在小児歯科は常勤歯科医師一名の体制をとっているが、一人医長体制では患者数に限りがありまた引継ぎが困難で問題が生じやすいため、複数医師体制が望ましい。病院歯科としてより機能の幅を拡げるためには口腔外科分野に秀でた歯科医師との2人体制が望まれる。

新患内訳		院内紹介	院外紹介		紹介なし	計
			歯科	医科		
小児歯科関連	口腔内検診希望	93	0	2	2	97
	齲蝕	42	45	2	3	92
	乳歯晚期残存	5	3	0	1	9
	先天性歯	0	0	1	0	1
	その他	0	0	1	0	1
矯正歯科関連	不正咬合	14	1	0	2	17
	術前顎矯正	15	2	0	0	17
	その他	1	0	1	0	2
口腔外科関連	外傷	4	4	0	1	9
	小帯異常	2	0	3	0	5
	埋伏歯・過剰歯	1	6	0	0	7
	その他	1	2	3	0	6
鼻咽腔閉鎖不全		4	1	0	0	5
摂食嚥下障害		15	0	0	0	15
計		197	64	13	9	283

全身麻酔下処置	歯科単独	他科合同	計
入院手術	0	9	9
外来手術	60	2	62
計	60	11	71

歯科衛生士学校名	実習生数	実習期間	実習場所
兵庫県立総合衛生学院	2回生	H20年11月5日～11月27日	歯科外来・他
歯科衛生学科	4名	H19年12月1日～12月22日	

22. 麻酔科

1、人事異動

専攻医人事として、公募の脇坂医師が北海道勤医協病院に戻った。神戸大学は上嶋医師が大学に戻り、宮崎医師が着任した。香川大からは武田医師、北村医師、島田医師を順次迎えた。大阪医大からは間嶋医師を迎えた。

兵庫県が独自に採用した麻酔科医である井上医師を3ヶ月間の研修に迎えた。

常勤医としては当院に勤務経験のある鹿原医師、黒寄医師を迎えた。

2008年12月の時点では香川、鈴木、高辻、大西、池島、吉澤、東、野々村、間嶋、宮崎、鹿原、黒寄、島田、村田の14名で業務を行っている。

2、活動状況と反省

2008年の総麻酔件数は4646件となり、前年を上回り、件数は毎年増加している。また11月からはMRI検査時の全身麻酔を担当することとなった。これに対し、看護部や外科系各科からは様々な協力をいただいたことにこの場を借りて感謝を申し上げたい。

入院手術、日帰り手術、検査の麻酔、病棟麻酔サービス、術前麻酔科診察の各業務において、大きな事故もなく一年を過ごせたことに安堵している。

3、展望

多くの件数を抱える一方で、安全かつ快適に手術・麻酔を行うことは大命題である。麻酔科医の教育や知識技術の向上、麻酔業務の効率化、そして麻酔科医の確保により手術件数の増加に対応したい。とくに麻酔科医の確保は今後も重要な課題であるが、各大学からの派遣および公募により、小児麻酔を志願するものに来ていただけるようにしたい。

総麻酔件数 2008. 1. 1 ~ 12.31

4646件

入院区分および麻酔の場所による内訳

入院手術および検査室での麻酔	2560
日帰り手術の麻酔	1197
病棟麻酔サービス	567
放射線部門 (アンギオ室、透視室) での麻酔	304
M R I 検査時の麻酔	18
計	4646

麻酔法による内訳

全身麻酔・吸入麻酔	4136
全身麻酔・静脈麻酔	85
全身麻酔・吸入麻酔 + 硬膜外麻酔	174
全身麻酔・静脈麻酔 + 硬膜外麻酔	6
硬膜外麻酔 + 脊椎麻酔	8
硬膜外麻酔	4
脊椎麻酔 (脊髄くも膜下麻酔)	227
伝達麻酔	0
その他	6
全身麻酔 小計	4401
合計	4646

年齢別内訳

1ヶ月まで	88
12ヶ月まで	734
5歳まで	2046
18歳まで	1485
65歳まで	293
66歳以上	0
計	4646

手術部位による内訳

開頭術	60
開胸・縦隔手術	97
先天性心疾患根治術	151
先天性心疾患姑息術	50
その他の心臓手術	26
胸腹部手術	4
上腹部手術	93
下腹部手術	162
帝王切開	253
頭頸部・咽喉頭手術	1290
胸壁・腹壁・会陰手術	1226
脊椎手術	152
股関節・四肢手術	317
検査、手術室内	149
検査、手術室外	404
その他	212
計	4646

23. 新生児科

1. 医師の異動

NICU 管理を継続する最大の問題点の端的な現れともいえるが、本年も常勤医は7名の枠を満たすことが困難であった。上田 雅章、坂井 仁美、吉形 真由美、溝淵 雅巳、芳本 誠司、中尾 秀人は引き続き在任した。4月より専攻医の岩谷 壮太、県立西宮病院より沖田 空が専任医として1年間の予定で研修開始した。10月に岡山大学より田淵 和宏が6ヶ月の研修予定で着任した。他に本年も多くの専攻医の往来があり、新生児・小児医療の展開にあたらしい息吹を吹き込んでいただいた。専攻医に対する教育・研修の充実させ、周産期医療の従事者を再生産していくことも、総合周産期母子医療センターの重大な使命であり、常勤医の確保は依然として最重要案件となっている。

2. 診療活動

1次分娩機関や2次新生児医療施設などの周産期医療機関の減少、出生前診断例の増加、地域の中核病院の新生児医療からの撤退という社会の流れもあり、新生児病棟は重症児、長期入院児が引き続き多く、業務は上限を超えつつある。Simple, Clear, Speedy を旨として医療の安全には充分留意して、全員の意志疎通を計り、患児の最善の利益が尊重できる診療行為の遂行に勤めている。NICU・GCUの両看護長をはじめ、看護部門の全面的な理解と協力は、年を経て洗練された新生児医療に反映している。入院患児の重症化を反映して、在宅患児を対象とする外来業務も重症児の管理が増加するため、担当医の負担はますます増大している。他の医療機関との連携、役割分担の相互理解も引き続き重要な案件である。本年も集学的治療を要する重症児の診療については、関連各科の御理解と御協力をいただき、厚く感謝するところである。また、長期入院児の在宅医療への移行も、長い時間をかけて進捗させるペースを確立させつつある。

3. 学会活動

各スタッフの新生児医療における専門領域も明確になりつつあり、国内外に渡って主要な学会での活発な活動がなされている。本年はアメリカ小児科学会の会場がホノルルであったことも影響し、多くの科員が参加した。

2008年新生児科統計

・ 新生児病棟統計

1) 月別入院数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
67	50	61	44	57	47	56	55	52	45	44	52	630

2) 診療科別入院数

新生児科入院	630	新生児科からの転科	28
		循環器内科	11
		一般外科	14
		脳神経外科	2
		代謝内分泌科	1

3) 入院形態と紹介医療機関地域

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	中播磨	西播磨	北播磨	淡路	丹波	但馬	県外	
院外出生	181	144	10	3	18	0	0	0	3	0	1	2
一次搬送	160	133	8	3	16	0	0	0	0	0	0	0
(14日以上)	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二次搬送	21	11	2	0	2	0	0	0	3	0	1	2
院内出生	448	293	39	2	51	8	0	22	5	2	5	21
緊急母体	169	102	24	2	25	3	0	4	3	1	3	2
非緊急母体	276	188	15	0	26	5	0	18	2	1	2	19
院内出生	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日齢14未満一次搬送+院内出生	605	423	47	5	67	8	0	22	5	2	5	21

・ 新生児科統計

対象：新生児科入院（日齢14未満一次搬送入院及び院内出生症例，転科例を含む）

1) 院内出生と院外出生

出生体重	患者数	院内率	帰院産科
500g未満	3	3	100%
500-749g	32	32	100%
750-999g	18	18	100%
1,000-1,499g	43	42	98%
1,500-1,999g	92	87	94.6%
2,000-2,499g	167	139	83.2%
2,500g以上	250	125	50.0%
計	605	446	73.7%

週数	患者数	院内率	帰院産科
22, 23	8	8	100%
24, 25	23	23	100%
26, 27	25	25	100%
28, 29	11	11	100%
30, 31	20	20	100%
32, 33	55	53	96.4%
34 - 36	194	165	85.1%
37以上	269	141	52.4%
計	605	446	73.7%

2) 分娩方法

出生体重	患者数	帝切例率
500g未満	3	3
500-749g	32	25
750-999g	18	18
1,000-1,499g	43	31
1,500-1,999g	92	70
2,000-2,499g	167	105
2,500g以上	250	103
計	605	355

週数	患者数	帝切例率
22, 23	8	3
24, 25	23	21
26, 27	25	23
28, 29	11	9
30, 31	20	13
32, 33	55	38
34 - 36	194	141
37以上	269	107
計	605	355

3) 生存率, 死亡率

出生体重	患者数	死亡数	生存率
500g未満	3	1	66.7%
500-749g	32	5	84.4%
750-999g	18	1	94%
1,000-1,499g	43	1	97.7%
1,500-1,999g	92	1	98.9%
2,000-2,499g	167	2	99%
2,500g以上	250	3	99%
計	605	14	97.7%

週数	患者数	死亡数	生存率
22, 23	8	2	75.0%
24, 25	23	3	87%
26, 27	25	1	96.0%
28, 29	11	1	90.9%
30, 31	20	2	90%
32, 33	55	0	100%
34 - 36	194	1	99.5%
37以上	269	4	98.5%
計	605	14	97.7%

4) 多胎割合 (品胎1組)

出生体重	患者数	多胎率	品胎
500g未満	3	1	33.3%
500-749g	32	5	15.6%
750-999g	18	9	50.0%
1,000-1,499g	43	12	27.9%
1,500-1,999g	92	38	41.3%
2,000-2,499g	167	55	32.9%
2,500g以上	250	10	4.0%
計	605	130	21.5%

週数	患者数	多胎率	品胎
22, 23	8	0	0.0%
24, 25	23	4	17.4%
26, 27	25	11	44.0%
28, 29	11	0	0.0%
30, 31	20	8	40.0%
32, 33	55	19	34.5%
34 - 36	194	80	41.2%
37以上	269	8	3.0%
計	605	130	21.5%

5) 人工呼吸管理の割合

出生体重	患者数	MV率	HFO	CPAP
500g未満	3	3	100%	2
500-749g	32	31	97%	24
750-999g	18	18	100%	6
1,000-1,499g	43	26	60.5%	1
1,500-1,999g	92	31	33.7%	1
2,000-2,499g	167	26	15.6%	0
2,500g以上	250	35	14.0%	2
計	605	170	28.1%	36

週数	患者数	MV率	HFO	CPAP
22, 23	8	8	100%	6
24, 25	23	22	96%	17
26, 27	25	24	96%	8
28, 29	11	9	82%	2
30, 31	20	16	80.0%	0
32, 33	55	19	34.5%	1
34 - 36	194	36	18.6%	0
37以上	269	36	13.4%	2
計	605	170	28.1%	36

6) 特殊治療

PDA閉鎖術	12例	生後ステロイド全身投与	24例
NO吸入療法	5例	ステロイド吸入	36例
ECMO	0例	ROPレーザー	1例

7) 新生児搬送出動回数

入院	62
転院	3

分娩立合い	2
時間外搬送	21

8) 双胎生存率, 死亡率

出生体重	患者数	死亡数	生存率
500g未満	1	0	100%
500-749g	5	1	80%
750-999g	9	0	100%
1,000-1,499g	12	0	100%
1,500-1,999g	35	0	100%
2,000-2,499g	55	0	100%
2,500g以上	10	0	100%
計	127	1	99.2%

週数	患者数	死亡数	生存率
22, 23	0	0	
24, 25	4	0	100%
26, 27	11	1	90.9%
28, 29	0	0	
30, 31	8	0	100%
32, 33	16	0	100%
34 - 36	80	0	100%
37以上	8	0	100%
計	127	1	99.2%

24. 産 科

当院周産期医療センター開設以来、当院産科ならびに兵庫県の周産期医療の充実と向上に多大の貢献を果たされた大橋正伸先生が3月末日に退職されました。3月13日に三宮第一楼にて盛大な送別会が開催されました。

3月に神戸大学医学部産科婦人科学教授を退任されました丸尾 猛先生が4月1日から病院長として赴任されました。

神戸大学産科婦人科学教室同門会の主催により、8月3日に開催された平成20年度位育会臨床セミナーにおいて「当院におけるIUGRの分娩管理」を喜吉医長が発表し学術奨励賞を受賞しました。

平成20年の新しい試みとして、5月より放射線科と胎児MRIを撮影した症例の経過とMRIの読影、その後の状態を検討する「MRIカンファレンス」を月1回隔月で開催しています。

また、6月より管理に難渋した症例のふりかえりと今後の対応について検討する「症例検討会」を月1回隔月で開催しています。

近年の社会構造の変化（女性の高学歴化と社会進出の増加、経済や常識の格差の拡大に伴う未受診妊婦の増加）と医療の進歩（不妊治療、各種合併症の管理の進歩）、患者家族の要求水準や権利意識の増大と一部に見られるモラルの低下、マスコミの医療バッシング、医療訴訟の増加、国の医療費抑制政策等に伴い、高齢妊娠、多胎妊娠、各種合併症妊婦の増加、医療訴訟の増加、医師の過重労働等が産科医師不足、分娩取扱い施設の減少を招き周産期医療の崩壊が始まっています。

当院は兵庫県の唯一の総合周産期母子医療センターですので、兵庫県の周産期医療の最後の砦として診療レベルの維持・向上に努め、また、空床がある限り母体搬送入院を受け入れています。

平成20年人事

1月 大橋正伸周産期センター長兼産科部長、船越 徹産科科長兼産科部長、佐本 崇医長、石原尚徳医長、上田敏子医長、喜吉賢二医長、齋木美恵医長、藁谷深洋子専攻医、上田大介専攻医の9人体制で平成20年をスタートした。

2月28日 上田医長が退職し島根県立中央病院へ。

3月31日 大橋周産期センター長兼産科部長が退職し医療法人三友会若宮病院院長へ、上田専攻医が退職し独立行政法人国立病院機構神戸医療センターへ、藁谷専攻医が退職し京都市民医連中央病院へ。

4月1日 高松祐幸医長が西脇市立西脇病院より入職、笹原 淳医長が新潟大学病院より入職。船越産科部長が周産期センター次長兼産科部長、佐本医長が部長となった。

4月30日 齋木医長が退職し若宮病院へ。

5月1日 牧志 綾医長が神鋼加古川病院より入職。

6月1日 田中達也医長が神戸百年記念病院より入職。

7月31日 石原医長が退職し久保みずきレディースクリニック美賀多台診療所へ。

以上の人事異動の結果8月1日から 船越、佐本、喜吉、高松、田中、笹原、牧志の医師7人体制となり、9人から7人にパワーダウンした。

(1) 平成20年産科診療状況

延べ入院患者数	575
うち母体搬送依頼電話によるもの	173
紹介元へ返送または他院紹介	167
分娩母体数 (22週以降)	391
正期産	139
早産	252
過期産児	0
多胎妊娠	66
うち双胎	65
うち品胎	1
うち要胎	0
経膈分娩	136
うち鉗子・吸引分娩	17
うち骨盤位牽引術	2
帝王切開術	257
出産児数 (22週以降、死産含む)	457
正期産児	143
早産児	314
過期産児	0
低出生体重児 (2500g未満)	329
巨大児 (4000g以上)	2
その他	
切迫流産	22
子宮内胎児死亡(22週以降)	9
産後出血・DIC	11
その他	5

入院患者数は2008.1-12入院したもの、分娩母体数、出産児数は2008.1-12に出産したもの

(2) 紹介元施設所在地別入院件数

大分類	地区	件数	率	大分類	地区	小計	率
阪神南	尼崎市	7	1%	中播磨	姫路市	15	3%
	西宮市	18	3%		神崎郡	1	0%
	芦屋市	8	1%		小計	16	3%
阪神北	小計	33	6%	西播磨	相生市	0	0%
	宝塚市	2	0%		龍野市	0	0%
	三田市	0	0%		赤穂市	0	0%
	川西市	0	0%		揖保郡	0	0%
	伊丹市	1	0%		赤穂郡	0	0%
	川辺郡	0	0%		佐用郡	0	0%
神戸市	小計	3	1%	宍粟郡	0	0%	
	須磨区	95	17%	小計	0	0%	
	中央区	40	7%	豊岡市	4	1%	
	西区	80	14%	城崎郡	0	0%	
	垂水区	55	10%	出石郡	0	0%	
	灘区	18	3%	美方郡	0	0%	
	東灘区	19	3%	養父市	1	0%	
	北区	30	5%	朝来郡	0	0%	
	兵庫区	4	1%	小計	5	1%	
	長田区	12	2%	篠山市	1	0%	
	小計	353	61%	丹波市	1	0%	
東播磨	明石市	81	14%	小計	2	0%	
	加古川市	8	1%	淡路	洲本市	7	1%
	高砂市	8	1%		淡路市	2	0%
	加古郡	0	0%		南あわじ市	2	0%
	小計	97	17%		小計	11	2%
西脇市	6	1%	他府県		京都府	6	1%
三木市	2	0%		大阪府	3	1%	
小野市	18	3%		徳島県	3	0%	
加西市	1	0%		静岡県	3	0%	
美嚮郡	0	0%		福岡県	2	0%	
加東郡	0	0%		東京都	2	0%	
多可郡	0	0%		その他	6	1%	
小計	27	5%		小計	25	4%	
院内紹介						3	1%
計						575	100%

(3) 入院時疾患名別 (重複あり)

疾患名	件数	率
切迫早産	254	44%
胎児異常	99	17%
子宮内胎児発育遅延	98	17%
高齢妊娠	83	14%
多胎	82	14%
うち双胎	79	14%
うち品胎	3	1%
前期破水	68	12%
羊水過多・過少	66	11%
胎児機能不全	62	11%
既往帝王切開	64	11%
羊水検査	51	9%
胎位異常	43	7%
C A M	42	7%
G B S	39	7%
妊娠高血圧症候群	33	6%
切迫流産	22	4%
前置胎盤	18	3%
子宮筋腫合併	18	3%
頸管無力症	17	3%
胎児不整脈	16	3%
糖尿病合併	13	2%
心疾患合併	13	2%
discordant twins	13	2%
産後出血・DIC	11	2%
胎盤早期剥離	10	2%
T T T S	8	1%
他科合併症	8	1%
胎児水腫	7	1%
子宮内胎児死亡	7	1%
子宮奇形	7	1%
他感染症	7	1%
染色体異常	6	1%
その他	135	23%
計	1502	261%

入院母体 1 人あたり平均 2.6 件の疾患を有す。

(10) 妊娠延長期間

(37週未満の入院から分娩まで)

延長期間	件数	率	累積率
当日	60	22%	22%
～ 1 日	25	9%	31%
～ 1 週間	49	18%	49%
～ 2 週間	43	16%	65%
～ 4 週間	35	13%	78%
～ 8 週間	42	15%	94%
～ 12 週間	15	6%	99%
12 週間～	2	1%	100%
計	271	100%	
平均	16.4 日間		

(4) 入院時間帯

時間帯	件数	率
時間内		
平日日勤帯	444	77%
時間外	131	23%
休日日勤帯	36	6%
全日夜勤帯	95	17%
計	575	100%

(6) 帝王切開時間帯

時間帯	件数	率
時間内		
平日日勤帯	202	79%
時間外	55	21%
休日日勤帯	20	8%
全日夜勤帯	35	14%
計	257	100%

(8) 入院時妊娠週数 (母)

週数	件数	率	累積率
～ 21 週	95	17%	17%
22～ 24 週	51	9%	25%
25～ 28 週	80	14%	39%
29～ 32 週	94	16%	56%
33～ 36 週	144	25%	81%
37 週～	104	18%	99%
不明	1	0%	99%
産後	6	1%	100%
非妊娠	0	0%	100%
計	575	100%	

(5) 分娩時間帯 (流産、死産含む)

時間帯	件数	率
時間内		
平日日勤帯	234	59%
時間外	162	41%
休日日勤帯	29	7%
全日夜勤帯	133	34%
計	396	100%

(7) 出産時児体重 (流産、死産含む)

児体重	件数	率	累積率
～ 499 g	11	2%	2%
～ 999 g	51	11%	13%
～ 1499 g	45	10%	23%
～ 1999 g	87	19%	42%
～ 2499 g	141	30%	72%
～ 2999 g	79	17%	89%
～ 3499 g	38	8%	97%
～ 4000 g	11	2%	100%
～ 4500 g	2	0%	100%
計	465	101%	
平均	2048 g		

(9) 分娩時妊娠週数 (死産含む)

週数	件数	率	累積率
～ 21 週	4	1%	1%
22～ 24 週	27	7%	8%
25～ 28 週	30	8%	15%
29～ 32 週	36	9%	24%
33～ 36 週	159	40%	65%
37～ 41 週	139	35%	100%
42 週～	0	0%	100%
不明	1	0%	100%
計	396	100%	

(11) バックトランスファー

(紹介元医へ戻す)

および他院紹介件数

	件数
外来患者	141
入院患者	26
計	167

(12) 緊急母体搬送依頼電話受信状況

月	依頼件数	受け入れ不可件数	受け入れ不可率
1	29	10	34%
2	15	4	27%
3	23	4	17%
4	19	3	16%
5	29	5	17%
6	21	6	29%
7	25	2	8%
8	27	11	41%
9	17	2	12%
10	23	9	39%
11	18	5	28%
12	13	4	31%
不明	0	0	
計	259	65	25%

(13) 年次別搬送受け入れ不可状況

年	依頼件数	受け入れ不可件数	受け入れ不可率	備 考
平成6年	66	12	18%	10月開設 (22床)
平成7年	240	38	16%	阪神・淡路大震災
平成8年	312	76	24%	
平成9年	340	111	33%	
平成10年	324	105	32%	
平成11年	326	55	17%	フルオープン (32床)
平成12年	362	100	28%	総合周産期センターに指定
平成13年	328	60	18%	
平成14年	394	110	28%	
平成15年	367	140	38%	
平成16年	298	126	42%	
平成17年	285	120	42%	M F I C U 6床整備
平成18年	316	124	39%	空床情報ネットワーク整備
平成19年	285	91	32%	
平成20年	259	65	25%	

(14) 搬送依頼施設所在地別受信件数

大分類	地区	件数	率	大分類	地区	件数	率
阪神南	尼崎市	8	3%	中播磨	姫路市	5	2%
	西宮市	13	5%		神崎郡	0	0%
	芦屋市	7	3%		小 計	5	2%
	小 計	28	11%	西播磨	相生市	0	0%
阪神北	宝塚市	2	1%		赤穂市	0	0%
	三田市	0	0%		宍粟市	0	0%
	川西市	0	0%		たつの市	0	0%
	伊丹市	1	0%		揖保郡	0	0%
	川辺郡	0	0%		赤穂郡	0	0%
小 計	3	1%	佐用郡	0	0%		
神戸市	須磨区	49	19%	小 計	0	0%	
	中央区	7	3%	但馬	豊岡市	1	0%
	西区	31	12%		養父市	1	0%
	垂水区	18	7%		朝来市	0	0%
	灘区	10	4%		美方郡	0	0%
	東灘区	14	5%		小 計	2	1%
	北区	17	7%	丹波	篠山市	1	0%
	兵庫区	0	0%		丹波市	2	1%
	長田区	15	6%		小 計	3	1%
	小 計	161	62%	淡路	洲本市	3	1%
東播磨	明石市	34	13%		南あわじ市	2	1%
	加古川市	2	1%		淡路市	0	0%
	高砂市	2	1%		小 計	5	2%
	加古郡	0	0%	大阪府	大阪府	1	0%
	小 計	38	15%		京都府	3	1%
北播磨	西脇市	3	1%		奈良県	1	0%
	三木市	1	0%		和歌山県	0	0%
	小野市	4	2%	滋賀県	0	0%	
	加西市	0	0%	他	1	0%	
	加東市	0	0%	小 計	6	2%	
	多可郡	0	0%	不 明		0	0%
小 計	8	3%	計		259	100%	

(15) 搬送依頼元施設種類別

施設種類	件数	率
総合周産期医療センター	3	1%
地域周産期医療センター	12	5%
一 般 病 院	126	49%
診 療 所	108	42%
助 産 院	3	1%
消 防 隊	7	3%
他	0	0%
不 明	0	0%
計	259	100%

(16) 搬送依頼電話受信時刻

勤務帯	件数	率
時間内	平日・日勤帯 127	49%
時間外	平日・夜勤帯 62	24%
	休日・日勤帯 36	14%
	休日・夜勤帯 34	13%
不 明	0	0%
計	259	100%

(17) 搬送電話依頼時理由

搬送理由	件数	率
切迫早産	106	41%
前期破水	45	17%
胎児機能不全	26	10%
妊娠高血圧症候群	16	6%
子宮内胎児発育遅延	10	4%
切迫流産	9	3%
胎児異常	9	3%
未受診	7	3%
前置胎盤	7	3%
多胎	5	2%
胎盤早期剥離	5	2%
難産	3	1%
胎児死亡	2	1%
他科合併症	2	1%
出血多量	0	0%
既往帝切	0	0%
シヨック	0	0%
子宮外妊娠	0	0%
その他	7	3%
不 明	0	0%
計	259	100%

(18) 搬送電話依頼時妊娠週数

妊娠週数	件数	率
22週以前	17	7%
22～24週	49	19%
25～28週	44	17%
29～32週	43	17%
33～36週	62	24%
37～40週	22	8%
41週以降	8	3%
分娩後	5	2%
不明	8	3%
非妊娠	1	0%
計	259	100%

(19) 受け入れ可否返事所要時間

所要時間	件数	累積率
～ 1 分	167	64%
～ 3 分	39	80%
～ 10 分	47	98%
～ 20 分	4	99%
～ 30 分	1	100%
30分を越える	1	100%
不明	0	100%
計	259	100%

(20) 受け入れ不可理由

理由	件数	率
NICU 満床	7	11%
産科 満床	40	62%
両方 満床	1	2%
対象外	2	3%
その他	15	23%
不明	0	0%
計	65	100%

25. 検査・放射線部（放射線部門）

1. 人事異動

(退職者)	田淵 仁春	平成20年3月31日付	定年退職
	竹中 修	平成20年3月31日付	定年退職（再任用）
	上霜 恵子	平成20年3月31日付	
(転出者)	平山 浩一	平成20年4月1日付	県立尼崎病院へ
(転入者)	五嶋 正行	平成20年4月1日付	県立柏原病院から
	松本 敏幸	平成20年4月1日付	県立姫路循環器病センターから

2. 活動状況

1) 放射線検査業務実績

平成20年放射線検査実績は、総検査件数は34,599件であり、前年比（19年）93.6%（2,361件）の減少でありました。

- ・検査数の増加を目的として、特に検査依頼が多く待ち日数の長かったMRI検査について取り組み、1日7件枠を8件枠に増やし、結果として500件近くの増加を果たした（19年は装置更新のため2ヶ月間休止があり実質235件増）。また、検査待ち日数も、2ヶ月程度であったのが2週間以内に改善された。
- ・休日・夜間の緊急MRI検査対応を開始した。担当者の積極的な活動が中心であったが、21年には全当直者が対応可能となるように研修を行う予定である。

2) 機器の設置、更新

- ・核医学検査装置（ガンマカメラ）の更新。

12月、平成6年9月以降14年間使用してきたガンマカメラ（STARCAM4000 GE社）を最新の装置（Infinia GE社）に更新した。更新により検査時間、処理時間の短縮等が計られ、患児への検査の負担が軽減した。また、検査室の壁紙の張り替え、装置本体へのキャラクターシールを貼るなどアメニティーの充実をおこなった。

- ・放射線情報システム（RIS）の導入

放射線情報システム（RIS）と放射線検査オーダリングシステムの導入決定。今後、院内の調整を行い早期の実施を計画しており、患者基本情報・オーダ情報・会計情報が電子媒体により正確で迅速に伝わり、業務の効率化と患者サービスに貢献する。

3) 医療事故防止の取り組み

月に一度、科内会議で「ヒヤリ・ハット」報告事例の分析、改善策の検討を行い、現場へフィードバックしている。20年重要取り組み項目は次のとおりである。

- ・呼吸タイミング不良による再撮影の減少に努める。
- ・画像の左右間違いを防止する。
- ・MRI検査室内に磁性体（ハサミ等）の持ち込み防止。

4) 資質向上と教育

職員の資質の向上を図るため、学会・研修会に積極的な参加と発表を促進している。

- ・学会・研修会発表、雑誌投稿：12演題
- ・学会・研修会等への参加：延べ36人

- ・放射線部内勉強会の実施 : 8回11演題実施

3. 平成21年の課題

IT化の促進と機器更新を進め、こども病院の更なる発展に寄与する。

- ・放射線治療装置（リニアック）・連続血管撮影装置の更新
- ・PACSの導入とRIS・オーダーリングシステムとの一連のシステム構築。
- ・時間外MRI検査対応の充実（全当直者が対応可能となるように研修を行う）。

(1) 放射線検査人数

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
単 純 撮 影	胸部撮影	外 来	619	534	793	724	419	684	748	832	650	639	584	571	7,797
		入 院	135	148	139	168	204	196	180	222	210	171	133	175	2,081
		計	754	682	932	892	623	880	928	1,054	860	810	717	746	9,878
	外科撮影	外 来	439	397	627	631	491	502	712	623	538	534	482	489	6,465
		入 院	56	107	59	47	54	56	78	53	83	56	52	45	746
		計	495	504	686	678	545	558	790	676	621	590	534	534	7,211
	ポータブル	外 来													0
		入 院	540	525	637	604	639	584	530	526	410	408	446	478	6,327
		計	540	525	637	604	639	584	530	526	410	408	446	478	6,327
	パノラマ・ その他	外 来	28	32	34	46	17	29	32	54	8	18	17	25	340
		入 院	1	1	1					1		4	4	3	15
		計	29	33	35	46	17	29	32	55	8	22	21	28	355
単純撮影合計	外 来	1,086	963	1,454	1,401	927	1,215	1,492	1,509	1,196	1,191	1,083	1,085	14,602	
	入 院	732	781	836	819	897	836	788	802	703	639	635	701	9,169	
	計	1,818	1,744	2,290	2,220	1,824	2,051	2,280	2,311	1,899	1,830	1,718	1,786	23,771	
造 影 撮 影	消化器	外 来	8	21	26	21	15	14	14	22	14	24	18	17	214
		入 院	18	30	10	1	12	12	11	11	10	17	5	16	153
		計	26	51	36	22	27	26	25	33	24	41	23	33	367
	脳血管	外 来													0
		入 院	3	1	1	1	2	1	1	4		1	1	1	17
		計	3	1	1	1	2	1	1	4	0	1	1	1	17
	心臓血管	外 来													0
		入 院	15	20	25	25	20	22	22	26	20	23	18	14	250
		計	15	20	25	25	20	22	22	26	20	23	18	14	250
	その他の血管	外 来													0
		入 院	3			1	1		1	1		1		2	10
		計	3	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	2	10
	泌尿器系	外 来	36	37	44	38	43	46	45	54	39	38	33	23	476
		入 院					2	3	4		1	1	1	16	28
		計	36	37	44	38	45	49	49	54	40	39	34	39	504
	その他の造影	外 来			1	1				2		2		1	7
		入 院	3	1	3		3			6		2	3	1	22
		計	3	1	4	1	3	0	0	8	0	4	3	2	29
造影撮影合計	外 来	59	78	96	85	78	82	81	104	73	64	51	41	892	
	入 院	42	52	39	28	40	38	39	48	31	45	28	50	480	
	計	101	130	135	113	118	120	120	152	104	109	79	91	1,372	
C T 撮 影	外 来	105	115	153	149	120	140	132	167	126	149	115	136	1,607	
	入 院	101	78	110	116	99	125	98	98	104	110	89	99	1,227	
	計	206	193	263	265	219	265	230	265	230	259	204	235	2,834	
M R I 検 査	外 来	98	106	109	109	92	102	109	118	106	110	92	102	1,253	
	入 院	30	31	39	32	34	34	56	45	35	52	56	46	490	
	計	128	137	148	141	126	136	165	163	141	162	148	148	1,743	
核医学検査	外 来	20	20	35	26	22	26	41	58	32	27		40	347	
	入 院	9	4	10	8	8	10	10	13	8	11		7	98	
	計	29	24	45	34	30	36	51	71	40	38	0	47	445	
放射線治療	外 来				2	9				14				25	
	入 院	63		18	23	23	32	26	2	18	30	28	74	337	
	計	63		18	25	32	32	26	2	32	30	28	74	362	
超音波検査	外 来	210	262	247	274	233	219	293	364	225	215	229	252	3,023	
	入 院	56	10	52	64	56	59	51	48	44	47	49	42	578	
	計	266	272	299	338	289	278	344	412	269	262	278	294	3,601	
D U P 処 理	外 来	31	42	44	35	24	33	37	34	34	37	23	26	400	
	入 院													0	
	計	31	42	44	35	24	33	37	34	34	37	23	26	400	
骨塩定量	外 来	6	5	9	5	2	6	3	7	7	3	4	3	60	
	入 院	3			1			3			2		2	11	
	計	9	5	9	6	2	6	6	7	7	5	4	5	71	
総合計	外 来	1,615	1,591	2,147	2,086	1,507	1,823	2,188	2,361	1,813	1,796	1,597	1,685	22,209	
	入 院	1,036	956	1,104	1,091	1,157	1,134	1,071	1,056	943	936	885	1,021	12,390	
	計	2,651	2,547	3,251	3,177	2,664	2,957	3,259	3,417	2,756	2,732	2,482	2,706	34,599	

(2) 時間外検査人数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ポータブル	171	165	218	188	257	157	151	178	123	164	168	210	2,150
一般撮影	103	78	95	91	77	86	106	79	85	93	98	68	1,059
C T	44	41	58	64	39	54	40	51	39	58	47	50	585
T V	3	5	5	2	1		1	3	3	6	5	3	37
アングロ													0
M R I	1						1	2		3	2		9
エコー	18	19											37
その他					1								1
合計	340	308	376	345	375	297	299	313	250	324	320	331	3,878

(3) 機器別検査人数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
X線撮影装置 (胸部)	754	682	932	892	623	880	928	1,054	860	810	717	746	9,878
X線撮影装置 (外科)	495	504	686	678	545	558	790	676	621	590	534	534	7,211
泌尿器用X線TV装置	37	38	48	38	45	49	49	54	40	39	34	39	510
X線TV・断層撮影装置 (多目的)	3	1	4	1	3	0	0	8	0	4	3		27
X線C T撮影装置	206	193	263	265	219	265	230	265	230	259	204	235	2,834
磁気共鳴断層撮影装置	128	137	148	141	126	136	165	163	141	162	148	148	1,743
放射線治療	63	0	20	25	32	32	26	2	32	30	28	74	364
ガンカメラ装置 (R I)	29	24	45	34	30	36	51	71	40	38	0	47	445
デジタルX線TV装置	26	51	36	22	27	26	25	33	24	41	23	33	367
心臓血管連続撮影装置	18	21	26	27	23	23	24	31	20	25	19	17	274

(4) 使用フィルム枚数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
胸部撮影室	772	695	964	919	687	909	951	1,117	893	884	736	767	10,294
外科撮影室	925	952	1,318	1,328	1,001	1,082	1,337	1,285	1,142	1,051	1,019	1,030	13,470
ポータブル撮影	562	541	648	632	651	609	548	576	489	523	483	508	6,770
パノラマ撮影室	43	49	49	54	26	49	43	69	14	34	32	40	502
D R X線TV室	34	58	51	36	46	48	44	54	32	66	37	52	558
泌尿器X線TV室	46	27,949	58	43	50	59	58	65	48	45	44	31	28,496
多目的X線TV室	19	4	19	3	15	0	0	28	0	13	7	5	113
X線C T室	522	473	640	726	600	757	600	668	587	576	521	607	7,277
M R I室	731	716	777	716	687	725	873	884	738	876	873	832	9,428
核医学室	117	76	65	124	104	152	178	236	191	135	0	284	1,662
血管造影撮影室	67	76	82	83	93	91	81	142	66	73	70	63	987
放射線治療室	4	0	6	2	9	14	0	5	6	4	11	9	70
超音波検査室	561	653	338	391	329	299	364	429	332	337	311	299	4,643
D U P処理	103	162	181	140	97	126	145	163	155	153	79	101	1,605
合計	4,506	32,404	5,196	5,197	4,395	4,920	5,222	5,721	4,693	4,770	4,223	4,628	85,875

26. 検査・放射線部（検査部門）

1) 検査部門の人事異動

【転出者】主任検査技師	中内 美穂	県立淡路病院へ	(平成20年 4月 1日付け)
課長補佐	戸田 圭三	県立尼崎病院へ	(平成20年 4月 1日付け)
主査	西山 ひとみ	県立西宮病院へ	(平成20年 4月 1日付け)
【転入者】主任検査技師	芳賀 由美	県立循環器センターから	(平成20年 4月 1日付け)
担当課長補佐	中右 高信	県立がんセンターから	(平成20年 4月 1日付け)
職員	西垣 久実代	県立淡路病院から	(平成20年 4月 1日付け)

2) 活動状況

本年度検査部門が実施した活動を以下に示す。

院内感染対策活動

- ・感染対策チーム（ICT）委員として病棟ラウンド時に問題となる検出菌の情報提供を行い、感染対策の実践を指導した。
- ・院内感染対策講習会では「一年間の菌検出状況」「院内感染対策と細菌検査」「清掃と手洗いの重要性」について講義した。
- ・院内細菌分離について、MRSA発生状況・無菌材料からの検出菌・耐性菌情報・感受性情報などを定期的（毎週）に発信した。
- ・リンクナースとの合同ミーティングの資料作成。
- ・厚生労働省・神戸市のサーベイの資料作成。
- ・安全な病棟管理を目指し、水痘など院内流行性感染情報を感染症通報にて院内に発信した。

安全な輸血医療（輸血療法委員会事務局としての活動）

- ・同意書の改訂
- ・A B O不適合輸血時の治療指針の作成
- ・R C Cの廃棄率の削減方策

診療支援、患者サービスの向上

- ・微量検体での検査可能推進（生化学検査機器の微量測定パラメーター等検討・変更）

医療事故防止の強化

- ・検査部医療安全目標の作成と推進
「計算・入力・転記ミスに注意する」
- ・定例的に検査部内事故防止委員会を開催し、ニアミスの集計、原因分析、対応策を周知
- ・始業前の朝の会で準夜・深夜時間帯の検査実施状況の確認、ヒヤリハット情報の共有

資質向上と教育

- ・検査部内勉強会の充実（本年は3回：3演題実施）
- ・口述発表：4題（学会等） ・雑誌発表：1題
- ・感染対策の技術向上を目的として神戸市病院検査室定点観測へ参加
- ・検査技術科学専攻学生臨地実習の受け入れと指導
 神戸大学医学部保健学科（選択臨地実習：2名）
 常盤短期大学衛生技術科（臨地実習：1名）
 岡山大学医学部保健学科（施設見学実習：1名）

3) 来年の展望と予定

- ・検査オーダリングシステム安定稼働と拡大に向けて取り組む。
- ・輸血用血液製剤の効率的利用、赤血球製剤廃棄率の低減化をさらに進める。

(1) 平成20年臨床検査実施状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
一 般	7,772	7,529	8,785	9,298	8,173	8,406	10,242	11,568	9,555	9,598	8,312	9,118	108,356
血 液	17,651	17,595	19,282	18,517	17,911	17,183	19,187	19,669	16,900	18,038	16,777	18,131	216,841
細 菌	3,019	2,959	2,821	2,947	2,456	2,943	2,961	2,583	2,720	2,936	2,454	3,123	33,922
血 清	4,533	4,280	4,878	4,520	4,691	4,744	5,479	5,477	4,928	4,881	4,509	4,657	57,577
生 化 学	33,210	32,779	36,054	33,818	32,797	31,672	35,745	36,464	31,597	33,075	30,121	30,907	398,239
病 理	160	150	158	277	153	126	334	219	231	198	124	151	2,281
生 理	1,075	1,110	1,536	1,415	1,067	1,328	1,367	1,686	1,203	1,265	1,074	1,113	15,239
内 分 泌・ ウ イ ル ス	2,696	2,904	3,031	3,169	2,543	2,805	2,957	3,050	2,530	3,035	2,617	2,822	34,159
職 員 検 診	2,511	67	67	67	67	124	133	133	127	121	67	61	3,545
合 計	72,627	69,373	76,612	74,028	69,858	69,331	78,405	80,849	69,791	73,147	66,055	70,083	870,159

(2) 平成20年時間外（日、当直）検査実施状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
項 目 数	1,759	1,573	1,848	1,577	1,775	1,437	1,593	1,596	1,442	1,294	1,604	1,751	19,249
対 前 年 比	107.6%	125.0%	139.9%	100.8%	99.4%	93.4%	87.0%	100.4%	86.8%	75.1%	87.4%	84.0%	98.9%
患 者 数	783	704	822	688	777	655	708	714	678	580	728	821	8,658
対 前 年 比	103.7%	119.1%	129.9%	86.1%	86.8%	97.0%	88.5%	103.0%	99.4%	78.3%	94.9%	86.3%	97.8%

材料別検査件数

材料	件数
喀痰	489
気管洗浄液	1273
咽頭粘液	1019
鼻腔粘液	946
ソノ他（呼吸器系）	64
口腔、気道又は呼吸器からの検体合計	3791
尿・カテ - テル尿	801
膣分泌物	1550
悪露	259
子宮腔内	252
ソノ他（泌尿器系）	15
泌尿器又は生殖器からの検体合計	2877
便	410
G B S 増菌（肛門）	521
ソノ他（消化器系）	17
消化管からの検体合計	948
血液	1388
髄液	151
胸・腹水	36
その他（穿刺液）	46
血液又は穿刺液検体合計	1621
IVH 先端	350
ドレーンチューブ	254
膿（開放・非開放）	142
A ライン先端	102
耳漏	41
皮膚	37
眼脂	31
その他	301
その他の部位からの検体合計	1258
トリコモナス	229
培養合計	10724
感受性試験 1 菌種	1997
感受性試験 2 菌種	791
感受性試験 3 菌種以上	179
その他の検査	123
ウイルス迅速検査	968
MRSA 検査	5677

病棟	患者氏名のカウンント
一般外科病棟 4 B	192
循環器 A 病棟 5 A	146
循環器 B 病棟 5 B	114
学童病棟 6 A	109
混合病棟 6 B	124
血液病棟 7 F	943
救急病棟	1018
産科病棟	2332
I C U	394
H C U	301
N I C U	2444
G C U	1303
総合内科	15
アレルギー - 科	6
脳神経内科	2
循環器内科	2
腎臓内科	30
血液内科	15
一般外科	42
心臓外科	2
形成外科	7
整形外科	4
眼科	2
泌尿器科	58
耳鼻科	51
産科外来	828
救急集中治療科	231

細菌分離菌内訳

グラム陽性菌	ブドウ球菌	S.aureus	560	
		S.aureus(MRSA)	224	
		S.epidermidis	103	
		S.epidermidis(MRSE)	1054	
		Coag Neg Staph	41	
		Cog Ng Stap MRS	142	
		Micrococcus sp.	25	
	連鎖球菌	S.agalactiae	312	
		S.pneumoniae	76	
		Group G Strep	27	
		S.mitis	14	
		S.pyogenes	6	
		Viridans Strep	19	
		Streptococcus sp	5	
	腸球菌	E.faecalis	255	
		E.faecium	52	
		Enterococcus sp.	12	
	その他	Bacillus sp.	5	
		Corynebacterium sp	1	
		嫌気性菌	2	
	グラム陰性菌	腸内細菌	K.pneumoniae	366
			E.coli	285
			Ent.cloacae	179
E.aerogenes			100	
K.oxytoca			77	
S.marcescens			26	
Citrobacter sp.			22	
Proteus sp.			11	
Enterobcter sp.			9	
Providencia sp.			6	
M.morganii			4	
Salmonella sp.			2	
ブドウ糖非発酵菌			Ps.aeruginosa	773
		A.baumannii	279	
		A.lwoffii	44	
		S.maltophilia	32	
		Pseudomonas sp.	11	
		F.oryzihabitan	9	
		B.cepacia	6	
		Nonfermentersp.	1	
その他		H.influenzae	130	
		Haemophilus sp	9	
		M.(B)catarrhalis	29	
		E.corrodens	1	
		Campylobacter sp.	1	
真菌		C.albicans	7	
		C.glabrata	5	

グラム陽性菌	ブドウ球菌	S.aureus	574
		S.aureus(MRSA)	231
		S.epidermidis	103
		S.epidermidis(MRSE)	1054
		Coag Neg Staph	887
		Cog Ng Stap MRS	183
		Micrococcus sp.	27
	連鎖球菌	S.agalactiae	327
		S.pneumoniae	76
		Group G Strep	28
		S.mitis	14
		S.pyogenes	6
		Viridans Strep	1085
		Streptococcus sp	18
	腸球菌	E.faecalis	536
		E.faecium	182
		Enterococcus sp.	14
	その他	Lactobacillus sp	1592
		Corynebacterium sp	179
		Bacillus sp.	16
		Gram Pos rod	3
		嫌気性菌	6
グラム陰性菌	腸内細菌	K.pneumoniae	357
		E.coli	309
		E.cloacae	180
		E.aerogenes	100
		K.oxytoca	77
		S.marcescens	26
		Citrobacter sp.	22
		Proteus sp.	12
		E.agglomerans	9
		Providencia sp.	6
		M.morganii	4
		Salmonella sp.	2
		ブドウ糖非発酵菌	Ps.aeruginosa
	A.baumannii		279
	Ac.lwoffii		44
	S.maltophilia		32
	Pseudomonas sp.		14
	F.oryzihabitan		9
	B.cepacia		6
	Nonfermentersp.		3
	その他	H.influenzae	142
		Haemophilus sp.	29
		G.vaginalis	122
		E.corrodens	2
		Campylobacter sp.	1
		Neisseria sp.	718
		M.(B)catarrhalis	29
	嫌気性菌	Bacteroides sp	4
	真菌	C.albicans	195
C.glabrata		84	
C.parapsilosis		9	
Candida sp.		8	
Aspergillus sp.		2	
Penicillium sp.		1	

無菌材料検出菌

材 料	件数	陽性数	陽性率
静脈血	952	54	5.7
プロピアック血	279	35	12.5
動脈血	126	12	9.5
ポ ー ト 血	6	1	16.7
臍帯血	25	5	20.0
髄液	151	24	15.9
関節液	9	3	33.3
胸水	13	1	7.7
腹水	23	9	39.1
羊水	7	2	28.6
組 織	3	1	33.3
I V H 先端	350	63	18.0
A ライン先端	102	24	23.5
P I 先端	31	7	22.6
P M ワイヤ	18	2	11.1
そ の 他	97	1	1.0

血液培養検出菌	
S.epidermidis(MRSE)	28
S.epidermidis	2
その他の CNS	8
Ps.aeruginosa	11
その他のブドウ糖非発酵菌	6
S.aureus(MRSA)	11
S.aureus	8
腸内細菌	9
Haemophilus sp.	6
Candida sp.	6
Bacillus sp.	6
Viridans Streptococcus	6
Enterococcus sp.	4
その他	4

髄液検出菌	
S.epidermidis(MRSE)	15
S.aureus(MRSA)	3
S.mitis	2
S.capitis-ureo	1
E.cloacae	1
Bacillus sp.	1
H.influenzae	1

IVH 先端検出菌	
S.epidermidis(MRSE)	42
その他の CNS	6
P.aeruginosa	5
E.faecalis	4
S.aureus(MRSA)	4
E.coli	2
E.cloacae	2
その他	5

材料別検出菌

喀痰	
P.aeruginosa	135
Viridans Strep	123
Neisseria sp.	100
S.aureus(MRSA)	64
S.epidermidis(MRSE)	63
E.faecalis	33
H.influenzae	33
S.aureus	27
E.cloacae	22
K.pneumoniae	20

尿	
E.faecium	107
Coag Neg Staph	104
E.faecalis	98
E.coli	57
P.aeruginosa	51
Gram Neg rod	24
Lactobacillus sp	21
K.pneumoniae	19
Cog Ng Stap MRS	17
E.coli ESBL	15

気管洗浄液	
S.epidermidis(MRSE)	414
P.aeruginosa	355
Viridans Strep	211
S.aureus	191
A.baumannii	188
K.pneumoniae	139
Neisseria sp.	84
E.cloacae	69
E.faecalis	64
E.coli	46

膺分泌物	
Lactobacillus sp	1531
Coag Neg Staph	544
E.faecalis	172
S.agalactiae	165
C.albicans	133
G.vaginalis	117
C.glabrata	55
E.coli	38
Gram Neg rod	14
S.aureus	13

咽頭粘液	
Viridans Strep	462
Neisseria sp.	391
S.aureus	31
Coag Neg Staph	27
S.epidermidis(MRSE)	25
P.aeruginosa	17
S.epidermidis	17
S.aureus(MRSA)	17
E.coli	14
Corynebacterium sp	14

耳漏	
S.aureus(MRSA)	14
Corynebacterium sp	14
S.aureus	10
P.aeruginosa	6
Coag Neg Staph	5
H.influenzae	5
H.influenzae(BLNAR)	5
C.parapsilosis	4
S.pneumoniae(PISP)	3
S.epidermidis(MRSE)	2
E.coli	2
Viridans Strep	2
H.haemolyticus	2
P.vulgaris	2

鼻腔粘液	
S.epidermidis(MRSE)	309
Viridans Strep	220
S.aureus	166
K.pneumoniae	119
Neisseria sp.	111
P.aeruginosa	102
Corynebacterium sp	64
E.cloacae	51
A.baumannii	50
E.aerogenes	36
S.epidermidis	36

病棟別検出菌

外科主体病棟 (4 B)	
P.aeruginosa	30
S.aureus(MRSA)	30
S.aureus	16
Viridans Strep	14
Neisseria sp.	13
E.coli	11
C.glabrata	11
Coag Neg Staph	9
E.faecalis	9
E.faecium	6
H.influenzae	6

循環器 A 病棟	
Viridans Strep	28
Neisseria sp.	26
P.aeruginosa	19
S.aureus(MRSA)	15
Coag Neg Staph	10
S.aureus	9
E.faecalis	8
Corynebacterium sp	6
E.coli	5
H.influenzae	5
Gram Neg rod	5

循環器 B 病棟	
Viridans Strep	21
Neisseria sp.	17
P.aeruginosa	17
H.influenzae	9
S.aureus(MRSA)	5
Coag Neg Staph	5
E.coli	5
A.baumannii	5
S.aureus	3
E.faecalis	3
Corynebacterium sp	3
E.faecium	3

血液病棟	
Viridans Strep	220
Neisseria sp.	185
E.faecium	114
E.faecalis	55
Coag Neg Staph	47
P.aeruginosa	27
Cog Ng Stap MRS	22
Corynebacterium sp	17
S.epidermidis(MRSE)	14
Gram Neg rod	10
C.glabrata	10
S.haemolyt MRS	10

ICU	
P.aeruginosa	41
S.epidermidis(MRSE)	26
S.aureus(MRSA)	13
Viridans Strep	12
Neisseria sp.	11
E.faecalis	9
Coag Neg Staph	5
E.faecium	3
Corynebacterium sp	3
K.pneumoniae	3

HCU	
P.aeruginosa	42
S.aureus(MRSA)	33
Viridans Strep	26
Neisseria sp.	24
S.epidermidis(MRSE)	23
E.faecalis	20
S.aureus	13
H.influenzae	13
E.coli	12
K.pneumoniae	11
E.coli ESBL	10

産科病棟	
Lactobacillus sp	1133
Coag Neg Staph	480
E.faecalis	177
S.agalactiae	175
C.albicans	81
G.vaginalis	76
E.coli	43
C.glabrata	43
S.aureus	24
Gram Neg rod	18
P.aeruginosa	17

PICU	
Viridans Strep	159
Neisseria sp.	136
Coag Neg Staph	74
P.aeruginosa	69
S.aureus(MRSA)	67
Corynebacterium sp	44
S.aureus	35
E.faecalis	34
H.influenzae	33
E.coli	22
E.faecium	19
S.epidermidis(MRSE)	18

救急外来	
Viridans Strep	36
Neisseria sp.	28
Coag Neg Staph	16
S.aureus(MRSA)	9
Ps.aeruginosa	8
E.coli	8
H.influenzae	7
Corynebacterium sp	5
E.faecalis	4
M.(B)catarrhalis	4

学童病棟	
Coag Neg Staph	15
Viridans Strep	12
Neisseria sp.	11
P.aeruginosa	11
S.aureus(MRSA)	6
S.aureus	6
E.faecalis	6
S.capit-ur MRS	4

内・外混合病棟	
Neisseria sp.	28
Viridans Strep	21
P.aeruginosa	20
S.aureus	14
E.coli	10
Coag Neg Staph	9
S.aureus(MRSA)	7
S.epidermidis(MRSE)	7
H.influenzae	4
Corynebacterium sp	4
H.influenzae(BLNAR)	4

NICU	
S.epidermidis(MRSE)	683
P.aeruginosa	252
S.aureus	211
A.baumannii	193
Viridans Strep	186
K.pneumoniae	160
E.faecalis	136
E.cloacae	125
Neisseria sp.	54
S.epidermidis	53
K.oxytoca	51

GCU	
Viridans Strep	285
S.epidermidis(MRSE)	226
P.aeruginosa	200
S.aureus	169
Neisseria sp.	150
K.pneumoniae	135
Ac baumann/haem	60
E.coli	58
E.aerogenes	43
S.epidermidis	36
Corynebacterium sp	32
E.cloacae	25

細菌別薬剤感受性率

グラム陽性球菌

菌名	株数	PGC	ABPC	IPIPC	CEZ	CZOP	CFDN	CDTR	CMZ	IPM	MEPM	A/C	GM	AMK	ABK	EM	CAM	AZM	CLDM	MINO	LVFX	VCM	TEIC	ST	LZD
S.aureus	557	85%	85%	-	100%	99%	100%	99%	100%	100%	100%	100%	80%	97%	99%	91%	92%	91%	98%	99%	78%	100%	99%	100%	100%
S.aureus(MRSA)	230	0%	0%	-	0%	0%	0%	0%	-	0%	0%	0%	47%	62%	99%	16%	16%	16%	42%	84%	28%	100%	100%	100%	100%
S.epidermidis	98	46%	46%	-	100%	100%	99%	99%	100%	100%	100%	100%	97%	100%	100%	83%	84%	84%	97%	100%	96%	100%	100%	100%	100%
S.epidermidis(MRSE)	1029	0%	0%	-	0%	0%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	67%	90%	100%	28%	28%	27%	50%	100%	44%	100%	100%	97%	100%
Ec.faecalis	531	96%	98%	-	-	-	-	-	-	99%	91%	-	-	-	-	3%	-	-	-	30%	97%	100%	100%	-	98%
Ec.faecium	182	19%	33%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16%	-	-	-	65%	50%	100%	100%	-	100%

菌名	株数	ABPC	CEZ	FMOX	CTX	CFPM	CDTR	MEPM	EM	NFLX
S.pneumoniae(PSSP)	17	50%	100%	100%	100%	100%	100%	94%	6%	50%
S.pneumoniae(PISP)	47	0%	100%	100%	92%	94%	98%	92%	6%	46%
S.pneumoniae(PRSP)	11	0%	100%	100%	64%	73%	64%	27%	0%	100%

グラム陰性桿菌

菌名	株数	ABPC	PIPC	CEZ	CTX	CAZ	CZOP	CFPM	CPDX	CETB	CDTR	CFPN	FMOX	MEPM	FRPM	A/C	P/T	GM	AMK	MINO	LVFX	CPFX	ST
E.coli	270	37%	41%	75%	85%	84%	94%	100%	0%	79%	78%	74%	82%	100%	85%	74%	92%	95%	100%	86%	89%	88%	85%
K.pneumoniae	346	6%	51%	75%	98%	91%	98%	98%	0%	81%	79%	69%	88%	98%	84%	81%	96%	100%	100%	88%	100%	100%	86%
K.oxytoca	76	0%	38%	70%	96%	96%	96%	97%	0%	100%	95%	93%	95%	99%	94%	93%	96%	100%	100%	83%	100%	100%	100%
E.cloacae	175	2%	72%	2%	70%	72%	87%	90%	0%	14%	28%	31%	6%	100%	14%	2%	83%	98%	100%	83%	99%	96%	95%
S.marcescens	26	12%	92%	4%	84%	89%	100%	100%	0%	100%	36%	20%	80%	100%	4%	4%	96%	100%	96%	89%	96%	92%	100%
P.mirabilis	9	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-	100%	100%	100%	100%	100%	80%	100%	100%	100%	100%	11%	89%	89%	78%

菌名	株数	PIPC	CPZ	CAZ	CZOP	CFS	CFPM	IPM	MEPM	AZT	S/C	GM	TOB	AMK	MINO	LVFX	CPFX	ST	FOM
Ps.aeruginosa	774	97%	87%	93%	97%	78%	91%	87%	91%	78%	88%	85%	99%	91%	45%	95%	96%	-	9%

耐性菌検出数

S.epidermidis(MRSE)	1054
S.aureus(MRSA)	231
Cog Ng Stap MRS	178
St.pneumoniae(PISP)	96
St.pneumoniae(PRSP)	22
E.coli ESBL	33
Kl.pneum ESBL	1
H.influenzae(BLNAR)	26

MRSA サーベイ

科・病棟	件数	陰性	陽性
一般外科病棟4B	89	49	40
循環器 A 病棟5A	127	67	60
循環器 B 病棟5B	142	76	66
学童病棟6A	99	78	21
混合病棟6B	102	86	16
血液病棟7F	162	148	14
救急病棟	14	8	6
I C U	54	36	18
H C U	143	101	42
N I C U	140	140	
G C U	292	290	2

MRSA 発生報告書分類

科・病棟	院内	持込
一般外科病棟4B	1	64
循環器 A 病棟5A	6	2
循環器 B 病棟5B	8	6
学童病棟6A	7	32
混合病棟6B	2	20
血液病棟7F	2	
救急病棟	3	24
I C U	4	1
H C U	5	52
N I C U	1	
G C U	1	5

月別 MRSA 発生件数

月	件数
1月	55
2月	32
3月	37
4月	32
5月	40
6月	44
7月	35
8月	49
9月	28
10月	42
11月	37
12月	44

27. 薬 剤 部

1 薬剤部員異動

(平成20年4月1日付)

【転出者】次 長	藤本 潤子	県立がんセンター	(平成20年4月1日付)
課長補佐	塩田 恵	県立加古川病院	(平成20年4月1日付)
【転入者】次 長	辻本 勉	県立柏原病院	(平成20年4月1日付)
主 任	三谷 仁美	県立柏原病院	(平成20年4月1日付)

2 平成20年活動報告

本年の主な取り組み概要を下記に記す。

(1) 病院機能評価受審に向けての取組

現状の業務について部員それぞれが日頃疑問に思っていることを出し合い、見直す点についてはその業務マニュアルの改訂と共に部員間での情報の共有を図った。

また法律等で規定されていることからについて再度認識を新たにし、業務に向こうよう徹底した。

(2) 業務上知り得たことの部員間での情報の共有について

取りわけ薬剤管理指導業務については担当性を引いていることからややもするとそこで知り得た情報が特定の者のみになる。本来薬剤管理指導業務での情報は調剤業務等に反映されるべきで、そのため症例検討会を部内で頻繁に開催し、情報の共有を図った。

(3) 医師主導治験への取組

従来の製薬企業依頼の治験に加えて、医師主導治験への対応のため標準業務手順書等を作成するなど治験事務局業務やC R C業務が増大した。

(4) 専門薬剤師の育成

治験コーディネーター業務、ICT、NST活動への参加を実施するなかで、専門薬剤師の育成を図り、基盤作りに努めた。

(5) 薬剤部内での医薬品に係わるミス軽減への取組

従来から実施している業務環境の整備、鑑査体制の充実等と共に本年は部員間での情報の共有を徹底した。

3 来年の展望と予定

D P C実施に伴い出来高算定となる薬剤管理指導業務について、その対象疾患を順次拡大していく予定である。

また4月実施が求められている「治験審査委員会の手順書、委員名簿及び会議の記録の概要の公表」を履行しつつ、改正G C P省令に基づく治験審査委員会等の運営を今後とも図っていく。

さらに部員の専門薬剤師等への取組を支援し、仕事への意欲向上に努めつつ今後とも医薬品に係わるミス軽減のために努めていく。

20年年報

(1) 調剤件数

区 分	処方箋枚数	合 計			内 用 薬			外 用 薬		
		処方数	調剤数	延調剤数	処方数	調剤数	延調剤数	処方数	調剤数	延調剤数
入 院	33,298	54,505	62,220	305,427	42,276	49,991	260,394	12,229	12,229	45,033
外 来	6,619	13,842	39,060	288,076	9,272	34,490	231,209	4,570	4,570	56,867
計	39,917	68,347	101,280	593,503	51,548	84,481	491,603	16,799	16,799	101,900
一日平均	164.3	281.3	416.8	2,442.4	212.1	347.7	2,023.1	69.1	69.1	419.3

(2) 注射薬取扱件数

区 分	注 射 薬	
	処方箋枚数	延本数
入 院	77,136	403,177
外 来	5,809	8,163
計	82,945	411,340
一日平均	341.3	1,692.8

(3) 薬剤管理指導料 件数

診 療 科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
産 科	134	116	100	102	113	126	122	129	115	132	113	132	1,434
心外・循内	1	2	1	1	0	2	3	5	0	0	1	1	17
血 内	4	5	1	0	4	8	9	7	10	10	8	10	76
計	139	123	102	103	117	136	134	141	125	142	122	143	1,527

(4) 退院指導料 件数

診 療 科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
産 科	37	28	40	31	39	39	40	45	44	36	33	33	445
心外・循内	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
血 内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	37	28	40	31	39	39	41	46	44	36	33	34	448

(5) 薬剤情報提供料 件数

診 療 科	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
全 科	375	350	353	359	352	353	403	381	376	434	362	404	4,502

(6) 無菌製剤調製業務

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
抗がん剤	128	129	143	157	138	129	126	156	103	133	136	145	1,623
高力口リー	38	48	46	31	45	41	72	41	70	89	67	71	659
計	166	177	189	188	183	170	198	197	173	222	203	216	2,282

(7) 院内D I 業務

電子メールによる情報提供

送 信 日	件 名
2008. 1.22	ビスフォスフォネート製剤に関する顎骨壊死について
2008. 1.22	バイアグラ錠の禁忌追加について
2008. 2. 5	医薬品・医療機器等安全性情報 No.243
2008. 3.11	平成19年度第3回薬事委員会結果報告
2008. 3.11	医薬品・医療機器等安全性情報 No.244
2008. 3.17	薬事委員会結果；ダラシン S 注からクリダマシン注及びデカドロン注からデキサート注への切り替えについて
2008. 3.19	薬事委員会結果；注射用硫酸アミカシン「萬有」からアミカシン硫酸塩注「サワイ」への切り替えについて
2008. 3.24	蒸留水（開栓用）の切り替えについて
2008. 4.10	医薬品・医療機器等安全性情報 No.245
2008. 5.21	ヘパリンロック製剤「ヘパフラッシュ」の使用再開について
2008. 6. 2	医薬品・医療機器等安全性情報 No.246
2008. 7. 3	医薬品・医療機器等安全性情報 No.247
2008. 7.24	点滴静注用ミノマイシン品薄について
2008. 7.26	医薬品・医療機器等安全性情報 No.248
2008. 8.14	平成20年度第1回薬事委員会結果報告
2008. 8.27	薬事委員会結果；注射用カリウム製剤の変更について
2008. 9.10	医薬品・医療機器等安全性情報 No.249
2008.10. 6	医薬品・医療機器等安全性情報 No.250
2008.10.24	ペン型インスリン注入器等の取扱について
2008.11. 5	抗リウマチ剤リウマトレックスに関する注意事項について
2008.11.16	医薬品・医療機器等安全性情報 No.251
2008.12.19	ロセフィン静注用使用上の注意について
2008.12.19	医薬品・医療機器等安全性情報 No.252

主な問い合わせ内容

問 い 合 わ せ 内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・注射薬配合変化について ・注射薬のフィルター透過性について ・内服薬の飲み易い飲み方について ・抗がん剤の適切な投与方法について ・血液製剤の投与方法について 	<ul style="list-style-type: none"> ・注射薬溶解後の安定性について ・食品と薬剤の相互作用について ・冷所保存医薬品の常温での安定性について ・注射薬の副作用について ・経腸栄養剤の濃度別調製法について

(8) 薬物の血中濃度測定

	抗 て ん かん 薬			ジゴキシン	メソトレキセート	総検体数	
	フェニバル	カルバマゼピン	バルプロ酸				
20年	57	28	37	14	102	238	
平成20年の月別内訳	1月	8	3	2	0	12	25
	2月	9	8	11	0	4	32
	3月	7	4	3	0	8	22
	4月	2	1	2	0	10	15
	5月	2	1	3	0	13	19
	6月	5	3	6	0	8	22
	7月	6	2	0	3	7	18
	8月	5	3	3	5	4	20
	9月	3	1	3	2	0	9
	10月	4	1	1	3	14	23
	11月	0	0	2	1	7	10
	12月	6	1	1	0	15	23

(9) 院内製剤

内用液剤

製 剤 名	製剤量 (単位 / ml)
内服用ルゴール液	120

軟 膏

製 剤 名	製剤量 (単位 / g)
バリアー	180,000
10%テストステロン軟膏	800
0.4%エストラジオール軟膏	2,700

外用液剤

製 剤 名	製剤量 (単位 / ml)
アセモトール	16,000
1/2カプトドロップ	840
0.5%アトロピン点眼	60
25%グリセリン液	9,600
耳垢水	300
20%硝酸銀	10
30%硝酸銀	120
40%硝酸銀	30
10%ピオクタニン青液	175
0.2%ピオクタニン青液	200
30%アルコール	480
50%アルコール	380
ツェンテール液	100

予製剤

製 剤 名	製剤量 (単位 / g)	製 剤 名	製剤量 (単位 / g)
(倍散 倍散)		インデラル散 (×100)	600
0.01%ジゴシン散	500	ワーファリン (×500)	12,000
(錠 散)		ポラキス散 (×100)	1,500
ダイクロトライド (×10)	250	ドルナー散 (×50000)	12,000
コートリル散 (×20)	1,200	ロングス散 (×100)	2,400
デカドロン散 (×1000)	800	グリチロン散	480

28. 栄養指導課

1. 栄養指導課員の異動

[転出者]	栄養指導課長	下浦 佳之	(平成20年4月1日付)	(県立加古川病院へ)
	主任調理員	村田 勇樹	(平成20年4月1日付)	(県立尼崎病院へ)
[退職者]	主任調理員	直島 優子	(平成20年9月30日付)	
[転入者]	栄養指導課長	尾崎 孝秋	(平成20年4月1日付)	((財)兵庫県人権啓発協会から)
	課長補佐	川脇 恵	(平成20年4月1日付)	(県立光風病院から)
	主任調理員	三宅 美紀	(平成20年4月1日付)	(県立のじぎく療育センターから)
	主任調理員	筧 宏之	(平成20年4月1日付)	(県立ガンセンターから)
	栄養士	臼井 里奈	(平成20年4月1日付)	(新規採用 (非常勤嘱託員))

2. 平成20年の活動

平成20年度の主な活動報告として以下の点が上げられる。

- ・NST (チーム医療) の円滑な稼働
- ・適時適温給食の実施に向けての取り組み
(適温配膳車による適温配膳の実施)
- ・医療事故防止対策に関する取り組み (ひやりハット報告)
- ・褥瘡対策プロジェクト及びクリニカルパス委員会への積極的な参画
- ・患者給食サービスの向上を図るための給食イベントの開催「クリスマスバイキング食の提供」「ホワイトデー・デザートバイキング食の提供」
- ・産科病棟での選択メニューの実施
- ・栄養給食管理システムの更新による
「特殊調整乳のシール制導入」「食事箋の様式変更」「付加食の取り扱い変更」
- ・アレルギー児の両親対象の勉強会「両親教室」への参画
- ・第6回県立病院学会発表
「産科病棟入院患者様へのイベントバイキング食提供の試み」
～クリスマス・ランチバイキングとパレンタイン・デザートバイキング～
- ・病院機能評価の受審に向けての改善等の取り組み
「各種マニュアル等の整備、厨房床面全面塗り替え、AGVの移設等」

3. これからの展望

平成21年に向けては、引き続き「安全な食事の提供」という栄養指導課の基盤整備と患者サービスの向上を中心に業務を推し進める。

- ・NST (チーム医療) の円滑な稼働
- ・適時適温給食の実施に向けての取り組みを推進する。
- ・医療事故防止対策に関する取り組み。(ひやりはっと報告)
- ・患者給食のサービス向上を図るための給食イベントの開催
- ・褥瘡対策プロジェクト及びクリニカルパス委員会に積極的な参画を実施する。
- ・IT化の推進 (栄養給食管理システムと栄養給食関係オーダーリングシステムの連携構築等)

- ・アレルギー児の両親対象の勉強会「両親教室」への参画
- ・知識や技能の資質を向上させるための課内研修会の充実
- ・栄養管理業務に関する研究の成果として学会等への積極的な発表

4. 給食

(1) 調製乳・食事月別延数

1) 患者

調製乳人員

(単位 人)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	%
調乳のみ人員		2,498	2,432	2,608	2,446	2,378	2,348	2,222	1,873	1,852	1,721	1,865	1,896	26,139	70.3
調乳・食事人員(調乳)		209	224	238	453	438	317	299	296	332	373	441	369	3,989	10.7
小計		2,707	2,656	2,846	2,899	2,816	2,665	2,521	2,169	2,184	2,094	2,306	2,265	30,128	81.1
調乳・食事人員(食事)		614	502	566	589	610	600	619	673	617	610	515	515	7,030	18.9
計		3,321	3,158	3,412	3,488	3,426	3,265	3,140	2,842	2,801	2,704	2,821	2,780	37,158	100.0

(注) 調乳・食事人員...調乳(人) 調製乳と食事が重複するもの

調製乳種類及び本数

(単位 本)

種類	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	%
13%レーベンスミルク		12,531	12,641	13,331	11,956	11,617	11,453	11,920	11,981	12,074	10,932	11,443	11,693	143,572	52.1
15% L W		5,550	5,029	5,193	5,124	4,822	5,854	4,925	2,844	2,453	3,255	3,760	3,833	52,642	19.1
10%レーベンスミルク													63	63	
15%レーベンスミルク		1,418	1,149	749	999	837	572	1,039	668	584	405	210	463	9,093	
16%レーベンスミルク					9						75			84	
17%レーベンスミルク		126										203	235	564	
18%レーベンスミルク		240	403	849	1,137	1,129	720	437	276	210	189	472		6,062	
20%レーベンスミルク			152	288	189	159	70		20	129	112			1,119	
13% L W										12				12	
18% L W										153	72			225	
20%滋養糖					20	38	12							70	
10%滋養糖		481	451	507	495	473	494	470	485	532	477	461	480	5,806	
50%滋養糖		30	58	14										102	
10% M A -1								7	21					28	
12% M A -1								97	122	66				285	
14% M A -1		18	108											126	
17% M A -1											240	270	279	789	
15% M A -1		329	507	650	1,123	1,211	1,126	1,003	642	583	99	48	93	7,414	
18% M A -1									72	56				128	
20% M A -1			117	279	90				8	203	108			805	
16% M A -1							10							10	
13% E 赤ちゃん		287		20	288	269	39	131	324	96		95	40	1,589	
15% E 赤ちゃん						36								36	
18% E 赤ちゃん			66			108	270	81						525	
17%エレメンタルフォーミュラ		4												4	
7%ラクトレス						81								81	
14%ラクトレス				139										139	
14% M C Tフォーミュラ		953	392	524		284	238	189	117	225	137	125	18	3,202	
17% M C Tフォーミュラ							108	81						189	
18% M C Tフォーミュラ							15	65						80	
13%GL(無乳糖粉乳)		240				29		7	72	14	27			389	
7%GL(無乳糖粉乳)									28					28	
13%NA-20								162	30	19	42	70	109	432	
15%8006						104								104	
9%S-22						12								12	
15%S-22						48								48	
15%S-23(蛋白除去乳)				9	54									63	
12% S-23 + 3% S-22					63									63	
9% S-23 + 6% S-22					63									63	
8% S-23 + 8% S-22					81									81	
9% S-22 + 5% レーベンスミルク					9	195	104							308	
8% 8806(低カリウム中リンフォーミュラ)				57	180									237	
15% 8806(低カリウム中リンフォーミュラ)					80									80	
15%508(高カリウム低リンフェオフォーミュラ)													108	108	
MC-2(無乳糖粉乳)													42	42	
10% 206 + 4%レーベンスミルク					21									21	
7%206 7%レーベンスミルク			63	28										91	
14%206(ビタミンD無添加低Caフォーミュラ)			42	24							3			69	
7%エレンタール														90	90
9%エレンタール												44		44	
10%エレンタール									88					88	
13%エレンタール							18		194					212	

種類	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	%
14%エレンタール												176		176	
20%エレンタール							62	93				9		164	
27%エレンタール				35	43		40							118	
5%エレンタールP							30						103	133	
7%エレンタールP										7	34			41	
8%エレンタールP							44	147						191	
10%エレンタールP						8	83	69		35			83	278	
12%エレンタールP							9	16						25	
13%エレンタールP	90	45												135	
14%エレンタールP	205	204	186	194	293	353			9				64	1,508	
15%エレンタールP		18	83	118	146	127	139	174	247	369	124		79	1,624	
16%エレンタールP										332	403	390	397	1,522	
17%エレンタールP									20		18			38	
18%エレンタールP		81	101				14			37	24		40	297	
20%エレンタールP	307	191	60				13	453	403		272	160	131	1,990	
22%エレンタールP												80	16	96	
23%エレンタールP														35	35
25%エレンタールP									11	3			6	20	
26%エレンタールP											75	36	210	321	
マクトンオイル	480	542	938	568	264	32				160	96			3,080	
小計	5,208	4,589	5,561	5,803	5,724	4,603	4,686	3,796	3,694	3,274	2,973	3,184	53,095	19.3	
濃厚流動食															
サンエツト N3	866	849	867	840	889	840	776	801	701	629	612	697	9,367		
アイソカル	821	761	813	870	782	653	469	809	638	426	382	344	7,768		
インパクト	146	25	35	289	289	179	8	107	227	262	179	33	1,779		
テルミール2.0	55	60	46	19	129	107	16			5	38		475		
小計	1,888	1,695	1,761	2,018	2,089	1,779	1,269	1,717	1,566	1,322	1,211	1,074	19,389	7.0	
牛乳	207	212	186	240	283	326	349	283	299	262	325	306	3,278		
滅菌水	473	238	375	399	354	356	315	311	233	179	68	109	3,410		
計	25,857	24,404	26,407	25,540	24,889	24,371	23,464	20,932	20,319	19,224	19,780	20,199	275,386	100.0	
空瓶 200 c c	3,876	3522	3603	3,860	3,534	3,620	3,015	2,622	1,913	3,166	3,174	3,459	39,364	40.7	
空瓶 100 c c	4,584	4944	4572	4,920	4,656	4,872	5,808	4,880	4,920	4,540	4,536	4,173	57,405	59.3	
計	8,460	8,466	8,175	8,780	8,190	8,492	8,823	7,502	6,833	7,706	7,710	7,632	96,769	100.0	

食事数

(単位 食)

食 種		月別												計	%
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
保・検査		372	349	372	362	374	362	372	374	361	374	361	373	4,406	4
非 加 算 特 別 食	離乳食	673	509	663	828	1,059	741	691	650	653	617	682	856	8,622	
	幼児食	729	635	644	561	621	625	617	707	755	600	854	822	8,170	
	学童食	953	925	1,226	795	727	965	1,272	1,758	905	1,040	1,037	964	12,567	
	粥	26	23	77	18	8	21	30	67	4	20	109	110	513	
	流動食	17	14	40	10		11	46	39	17	35	41	34	304	
	自由食	2,856	2,944	2,943	2,838	2,538	2,732	2,767	3,001	2,507	3,241	2,937	2,850	34,154	
	口蓋裂食	27	13	45	20	17		61	122	8	37	13	82	445	
	アレルギー食	672	917	572	631	570	575	632	726	851	956	615	522	8,239	
	ペースト食	67	66	144	121	115	126	157	321	186	233	193	249	1,978	
	肥満食			12	5					19				36	
	歯科食													0	
	検査食(非)	7	1		4	14		1		27	2		2	58	
	妊産婦食	2,300	2,126	1,820	1,834	2,240	1,932	1,930	2,199	2,038	2,282	2,262	2,393	25,356	
	妊産婦粥食	81	50	102	43	72	57	51	75	57	62	44	44	738	
妊産婦高血圧食			3										3		
妊産婦アレルギー食	187	153	37		54	96	199	166	124	144	60	134	1,354		
妊産婦検査食(非)													0		
小 計		8,595	8,376	8,328	7,708	8,035	7,881	8,454	9,831	8,151	9,269	8,847	9,062	87	
加 算 特 別 食	腎臓食	81	44	91	323	133	55	132	212	184	155	165	210	1,785	
	肝臓食				16		24	13	14		10	2	10	89	
	糖尿病食	76	127	97	143	103	126	106	95	17		55	113	1,058	
	乳糜食	11	5	29			59	82	43	31		66	42	368	
	心臓病食	267	361	413	258	399	409	519	797	538	479	233	268	4,941	
	潰瘍食				4				10					14	
	検査食(加)													0	
	妊娠中毒症食	200	160	80	212	74	142	166	154	52	2	164	186	1,592	
	妊産婦糖尿病食	40	55			37	133	83	38	15	31		43	475	
	妊産婦肝臓病食													0	
高尿酸血症食													0		
小 計		675	752	710	956	746	948	1,101	1,363	837	677	685	872	10,322	
合 計		9,642	9,477	9,410	9,026	9,155	9,191	9,927	11,568	9,349	10,320	9,893	10,307	117,265	

おやつ数

(単位 食)

区分	月別												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
おやつ数	4,913	5,037	5,049	4,980	4,805	4,531	4,769	5,377	4,635	4,885	4,904	4,873	58,758

2) 患者外

食事数

(単位 食)

種類	月別												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
保育児食	185	195	204	164	150	188	213	240	194	258	214	236	2,441

(2) 栄養指導月別種類別件数 平成20年

(単位 件)

種類	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
糖尿病食		31	35	33	43	48	36	51	36	35	42	36	38	464
肥満食		8	11	11	12	14	8	15	12	12	7	10	13	133
腎性尿崩症食		5	2	2	4	1	4	4	4	5	3	4	4	42
フェニルケトン尿症食		4	8	6	4	4	3	5	8	2	3	8	8	63
リジン尿症食					1	1		1				1		4
ケトン食							1							1
胃婁食							1			1				2
胃食道逆流症											2		1	3
心疾患食							1							1
高メチオニン血症食		2				1				1				4
高アンモニア血症食		1		1										2
高ガラクトース血症食		1	1			1			1		1			5
高インスリン血症食														0
高コレステロール血症						4								4
家族性高コレステロール血症								1					1	2
耐糖能異常		5	2	3	1	1	2	1	1	1	2	1	2	22
高脂血症食		1	1		1			1		1	1			6
低尿酸血症食							1							1
高尿酸血症食		1		1	3		2	2		1	1		1	12
アレルギー食		18	23	14	18	25	24	24	20	19	23	17	14	239
腎臓病食											1	4	1	6
心臓病食				1	1					1	1			4
肝障害					1									1
脂肪肝					1	1	1	1	2	1				7
非アルコール性脂肪肝炎					2	2	1		1		3	1	2	12
肝臓食		2	2	2										6
低血糖		1												1
シェーグレンラロソン症候群														0
ブラダーウィリー症候群								1						1
貧血食														0
クローン病		1												1
腎移植後					1	2			1	1			1	6
腸管切除後吸収不良			1			1			1					3
短腸症候群						2	1	1		1	1			6
乳び胸食														0
口蓋裂食														0
蛋白漏出性胃腸症														0
発育不良・食事摂取不良		1	4	4										9
体重増加・食事摂取不良					4	5	1		1		4			15
低身長				1	1	1								3
低身長・低体重										1	1			2
低カルシウム血症						1								1
高カルシウム血症										2				2
胆道閉鎖症										1				1
特殊調乳食			2	1	1	2	3	3	1				4	17
特殊離乳食						1	1	2	1					5
離乳食											2			2
炎症性腸疾患					1									1
悪臭恐怖										1				1
くる病		1	1	2	1									5
くる病疑い										3				3
ビタミンD欠乏症		1			1		1	1			1		1	6
ターナー症候群							1							1
摂取・嚥下困難		1												1
ダンピング症候群														0
ヨード制限食														0

種類	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
肺炎									1	1				2
慢性肺炎													1	1
摂食障害								1		1		1	1	4
摂食不良														0
摂食機能障害														0
偏食														0
便秘														0
骨折・骨粗しょう症														0
経管栄養		3	2		1	1			2		1			10
栄養評価									1					1
妊産婦食														0
妊娠高血圧症候群食			3	1										4
妊娠糖尿病食				1			1			1				3
高血圧合併妊娠														0
件数 外来 (件)		74	69	64	73	87	71	85	69	65	76	68	74	875
人数 外来 (人)		130	122	109	119	166	135	164	141	124	149	122	130	1,611
件数 入院 (件)		9	9	13	18	24	13	17	15	18	9	12	15	172
人数 入院 (人)		22	18	29	36	44	27	35	27	33	13	21	22	327
件数 病棟訪問 (件)		5	20	7	12	8	10	13	10	7	9	12	4	117
人数 病棟訪問 (人)		10	44	13	26	14	21	27	21	15	15	25	9	240
合計 (件)		88	98	84	103	119	94	115	94	90	94	92	93	1,164
合計 (人)		162	184	151	181	224	183	226	189	172	177	168	161	2,178

集団指導 (アレルギー・リウマチ・産科)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
件数				10	1	8	3	5	4	10	8	10	2	61
人数				11	21	65	119	130	133	109	113	65	19	785

5. 院内研修会

栄養指導課 教育研修活動

実施日	内 容	担 当
1月16日	平成19年度第10回医療事故防止研修会	下 浦 佳 之
2月16日	平成19年度第11回医療事故防止研修会	下 浦 佳 之
3月16日	平成19年度第12回医療事故防止研修会	下 浦 佳 之
4月30日	適温配膳車による適温配膳について	尾 崎 孝 秋
5月27日	調整粉乳取り扱いにおける留意事項について	川 脇 恵
6月16日	セクシュアル・ハラスメントの防止について	尾 崎 孝 秋
7月1日	適温給食によるアンケート調査について	谷 口 章 子
8月16日	病院施設・設備状況調査報告書について（厨房内の衛生管理について）	尾 崎 孝 秋
9月14日	食品栄養管理システム更新について 食器・ほ乳瓶等の不良品に対する対応について	川 脇 恵 "
10月20日 ~21日	調理済み食品の時間・温度管理について 試食、味見について 調理従事者等の衛生管理点検表について	川 脇 恵 " "
11月16日	ニップルの洗浄に係る課題について	尾 崎 孝 秋
12月4日	イベントバイキング食について 執務姿勢の確立と綱紀粛正について	川 脇 恵 尾 崎 孝 秋

6. 実習生の受け入れ

栄養指導課（管理栄養士・栄養士）

病院名及び学校名	区 分	期 間	人 数
同志社女子大学	実習	平成20年 2月18日～2月29日	3名
神戸女子大学	実習	平成20年 6月23日～7月4日	4名
		平成20年 8月11日～8月22日	4名
		平成20年 8月25日～9月5日	4名
		平成20年 9月8日～9月19日	4名
		平成20年 9月22日～10月3日	4名
神戸学院大学	実習	平成20年 6月9日～6月20日	2名
		平成20年 7月28日～8月8日	2名
武庫川女子大学	実習	4週間コース	
		平成20年 6月2日～6月27日	3名
		平成20年 6月30日～7月25日	3名
		2週間コース	
		平成20年 5月12日～5月23日	3名
		平成20年 5月26日～6月6日	3名
平成20年 10月20日～10月31日	3名		
平成20年 11月10日～11月21日	3名		
神戸松蔭女子学院大学	実習	平成20年 7月28日～8月8日	2名
		平成20年 10月6日～10月17日	3名
計			50名

7. 研修生の受け入れ

武庫川女子大学	平成19年9月1日～平成20年8月31日 平成20年9月1日～平成21年8月31日	1名 1名
神戸女子大学	平成20年6月1日～平成20年8月31日 平成20年9月1日～平成21年12月31日	1名 1名

29. 指導相談・地域医療連携部

・ 組織

平成20年4月1日に組織改正が行われ、副院長兼指導相談・地域医療連携部長であった山崎副院長が阪神北広域こども急病センターのセンター長として転出し、後任に池尻操子が部長兼課長として転入するとともに、宅見見子小児科部長が指導相談室長に就任した。また、地域医療連携室に看護師の藤定睦子を採用した。そのほか、相談担当の課長：箕浦洋子看護部次長が県立柏原病院看護部長に昇任して転出し、連携担当の課長：小島崇文医事課長が定年で退職した。

・ 平成20年活動状況

引き続き、患児、家族が安心して治療・療養に専念できるように様々な相談に応じ、個々のニーズに沿って問題解決に向け支援を行っている。平成19年、小児医療救急センターが開設されるとともに被虐待児症候群の事例が増加している。また、看護師が配置されたことで高度医療を継続しながら在宅へ移行する重症心身障害児等の在宅療養支援がさらにきめ細かく行えるようになった。長期在院児や養育困難児への施設入所支援も、一層推進された1年間であった。また、相談活動では、積極的に指導相談室の活動報告を行うことで、院内各科からの相談依頼も増え、心理判定・心理療法件数も増加した。各科からの依頼に応じられるように発達外来を拡充させ、発達に問題をもった子どもと親への支援に取り組んだ。

<今年重点的に実施した活動>

被虐待児症候群事例に対するソーシャルワーク等による支援
 長期在院児や養育困難児に対する施設入所支援のさらなる推進
 重症心身障害児、ターミナル患児に対する在宅療養支援のさらなる推進
 地域医療連携室における、新たな紹介病院、診療所の登録
 広報活動の推進（ホームページ・2008診療のご案内・広報紙「げんきカエル」）
 発達外来の拡充による発達支援・養育支援
 院内各科間の連携支援
 入院中の情緒不応児に対する対応
 厚生労働省の指示のもと、血液製剤使用者のリスト作成および事後処理
 針付き採血器具についての問い合わせ対応
 苦情対応

<今年実施した新たな活動>

在宅支援に関わる職員の長年の懸案であった「在宅衛生物品ガイドライン」の作成のための基礎データを医師・看護師・精神保健福祉相談員が中心となり作成した。

． 来年の展望

今後、さらに安定した地域の医療機関との連携が行えるよう、地域医療連携室の活動をさらに発展させていく必要がある。また、増え続けている虐待事例への取組等、これまで以上に地域との連携を密にするため、組織的なネットワークの構築も必要になってくるものと思われる。また、随分と増えてきている在宅療養生活に向けた患児・家族への支援についても、より努力していく所存である。院内では、当部の各担当の役割をより明確にし、院内全体に支援を提供できるような体制作りがさらに必要と思われる。また、地域からのニーズに対し、当部が指導的な立場で活動を行うことも増えてくるものと考え。現在、依頼数が増え続けている中、質の高い支援を維持していくためにも、個々の部員の資質向上・教育育成の推進、マンパワーの増大を図っていかねばならないと考えている。

．指導相談部門（地域連携看護師含む）

1．業務実績

(1) 職種別業務実績

業務実績	
医 師	200
心 理 判 定 員	2947
保 健 師	857
精神保健福祉相談員	3662
医療ソーシャルワーカー	504
地 域 連 携 看 護 師	268
計（総件数）	8438

(1)の職種別業務実績は、当部の活動の総件数を示す。(2)の依頼科経由のみの業務件数は、電話相談・メール相談・発達外来を除く、当部の活動件数を示す。(他機関経由による、直接患児に関連しない相談・調整業務が含まれているため)

(2) 依頼科別業務件数（依頼科経由のみ）

依頼科別業務件数	
総 合 診 療 科	1442
新 生 児 科	983
脳 神 経 内 科	947
循 環 器 科	281
腎 臓 内 科	16
代 謝 内 科	367
血 液 腫 瘍 科	322
ア レ ル ギ ー 科	24
小 児 外 科	175
心 臓 血 管 外 科	23
脳 神 経 外 科	735
形 成 外 科	29
眼 科	19
精 神 神 経 科	1155
泌 尿 器 科	59
耳 鼻 咽 喉 科	280
整 形 外 科	105
産 科	36
発 達 行 動 外 来	105
救 急	30
そ の 他	702
計（総件数）	7835

2. 診療部門

(1) 発達外来

担当：宅見晃子指導相談室長（小児科）

受診患児の主な主訴：発達障害（言語発達遅滞、精神発達遅滞、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害等）21trisomy における発達全般のフォロー 等

2008年新規患者（依頼科別）

依頼経路	患者数
総合診療科	25
循環器内科	5
新生児科	7
血液腫瘍科	1
代謝内分泌科	1
脳神経外科	3
眼科	1
耳鼻科	8
泌尿器科	2
形成外科	1
心臓外科	1
電話窓口相談 その他	2
新規患者計	57

年齢別延べ受診者数

年齢	患者数(延)
新生児期	0
乳児前期	0
乳児後期	6
幼児前期	49
幼児後期	98
学童前期	39
学童後期	4
思春期	4
総件数	200

3. 治療関係部門

(1) 心理療法

心理療法対象者 依頼時の症状・状態：情緒障害、不登校、摂食障害、身体表現性障害、不安障害、
転換性障害、場面緘黙、強迫状態、神経症、ターミナルケア

心理療法・遊戯療法	
心理療法（精神神経科依頼）	96
心理療法（その他診療科依頼）	62
遊戯療法（精神神経科依頼）	224
遊戯療法（その他診療科依頼）	322
計（総回数）	704

(2) 心理検査

心 理 検 査		
発達検査	新版 K 式発達検査	319
	Bayley 乳幼児発達尺度	5
	津守式発達質問紙検査	223
	KIDS	3
	社会生活能力検査	10
	グッドイナフテスト	3
	フロスティック視知覚検査	5
知能検査	WISC -	251
	田中ビネー知能検査	62
	WAIS - R	10
性格検査	YG 性格検査	28
	幼児・児童性格診断検査	3
	HTP	9
	パウムテスト	79
	人物画（コピッツ法）検査	3
	SCT 文章完成法	23
	P-F スタディ	42
	ロールシャッハテスト	15
その他の検査	絵画語彙発達検査	84
	TK 式幼児用親子関係検査	7
	CARS	1
	CBCL	1
	ペンダーゲシュタルトテスト	3
	クレベリン検査	1
	K - ABC	8
計		1198

・発達追跡群

(人)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
9	12	17	11	8	9	6	4	4	15	12	13

代謝内分泌科のクレチン症、一過性甲状腺機能低下症の患児を中心に、年齢に応じた発達・知能検査を誕生日月に行い、12才になるまでフォローを行っている。

4. 相談業務

相談業務		
依頼科 経由相談	子どもの発達に関する相談・指導	877
	子どもの疾病・障害および社会生活に関する相談	15
	在宅療養に関する支援	365
	医療費、障害者手帳等の福祉サービスに関する相談	711
	被虐待児に関する支援・家族関係に関する相談	696
その他	家族、院内他部門、関連機関からの電話相談等	201
計（総件数）		2865

5. 連携業務

連携業務		
家	庭	264
外	来	266
病	棟	1364
保	育	1
幼	稚	3
学	校	79
保	健	156
市	町	105
精	神	3
福	祉	193
こ	ども	203
児	童	186
病	院	37
警	察	13
教	育	2
訪	問	166
そ	の	228
計（総件数）		3269

6. 神戸市立友生養護学校 病弱児訪問教育部 わらび学級

当院では、治療や疾病の児童を考慮し、神戸市立友生養護学校 病弱児訪問教育部 わらび学級による訪問教育を行っている。入級・主治医面談等、学校との連携を指導相談室が担っている。

わらび学級のべ入級依頼患児数	
血液腫瘍内科	34
整形外科	9
循環器科	2
脳神経内科	1
新生児科	2
小児外科	3
アレルギー科	1
計	52

(2008年新規依頼患児31名)

7. 被虐待児症例等養育支援に関する業務

症例人数	処遇				計
	児童相談所	福祉事務所	保健所	外来のみ	
硬膜下血腫	2	1	3	3	9
硬膜下血腫、頭蓋骨折			1		1
頭蓋骨折			2		2
頭部打撲				1	1
顔面打撲	1				1
計	3	1	6	4	14

今年は虐待防止症例検討会を14例について開催し、患児の処遇について検討を行った。14例の平均月齢（当院受診時）は9.3ヶ月、全例男児であった。硬膜下血腫9例、頭蓋骨骨折を伴う硬膜下血腫が1例、頭蓋骨骨折が2例、頭部打撲1例、顔面打撲1例であった。

処遇については、児童相談所への通告が3例、福祉事務所への通告が1例、保健所への育児支援依頼が6例であった。虐待と判断されない事例であっても、保護者の不注意による事故が目立つ。児の処遇をどう考えるかについては、今後更なる検討が必要と考えられる。

8. ひょうごユースケアネット

日 時	議 題	場 所	内 容	出 席 者
4月25日	平成20年度第1回推進会議	神戸市	平成19年度事業実施報告および平成20年度の事業実施計画について「青少年のインターネットやメールに関する問題対策会議」の設置について	宅見晃子
日 時	議 題	場 所	内 容	出 席 者
4月25日	平成20年度第1回対策研究会	神戸市	平成19年度事業実施報告および平成20年度の事業実施計画について「青少年のインターネットやメールに関する問題対策会議」の設置について	宮崎美知恵
6月3日	フォーラム	神戸市	子どもとインターネット社会を考える兵庫フォーラム	宮崎美知恵

9. 教育研修活動

(1) 小児精神・神経ネットワーク勉強会主催

日時：原則毎月第2（火）

参加者：指導相談・地域医療連携部長、指導相談室室長、脳神経内科医師、精神神経科医師、指導相談・地域医療連携部員

実施日	内 容	担 当 (敬称略)
2月19日	日本における2歳未満児の外傷性脳障害の臨床的特徴に関する研究	脳神経内科医師 永瀬裕朗
3月11日	解離性障害と統合失調症の鑑別について	精神神経科医師 前田宏章
6月10日	育児支援～障害児と被虐待児を中心に～	小児科医師 宅見晃子
10月21日	パウムテスト - パウム体験を中心に -	指導相談・地域医療連携部 心理判定員 宮崎美知恵
11月11日	多動性障害の薬物療法	精神神経科医師 前田宏章

(2) 講 師

1月27日、2月10日、2月11日

社会人学び直し講座 医師 宅見晃子

6月19日

デンバー 判定技術養成講習会 医師 宅見晃子

6月23日

血液主体病棟勉強会 『知的障害・統合失調症について』 精神保健福祉相談員 長岡美佐

7月31日

循環器A病棟勉強会 『虐待を受けた児への対応について』 精神保健福祉相談員 長岡美佐

11月25日

こども病院看護部、呼吸ケア部会勉強会

『在宅気管切開療法・在宅人工呼吸療法を受ける患者・家族の指導について』

精神保健福祉相談員 長岡美佐
看護師 藤定睦子

(3) 講演および発表

1月30日

神戸発達行動小児科学懇話会 『虐待2008 こども病院での取り組み』

精神保健福祉相談員 長岡美佐

9月11日

平成20年度第2回三木ハートケア研究会 『新型インフルエンザについて』

医師 宅見晃子

9月24日

神戸発達行動小児科学懇話会 『養育困難事例における退院支援について』

精神保健福祉相談員 長岡美佐

10月4日

兵庫県育児支援研究会 『養育困難事例における退院支援について』

精神保健福祉相談員 長岡美佐

(4) 執筆活動

日本小児放射線技術研究会 第33号42 - 45 2月 六甲出版

『心理臨床における観点から、発達障害を抱える子どもたちへの関わりを考える』

臨床心理士 宮崎美知恵

共著 (翻訳)

『子どもの虐待とネグレクト - 臨床科ハンドブッカー』

稲垣由子・岡田由香編 17 - 45 2008年7月 日本小児医事出版

医師 宅見晃子

地域医療連携部門

1. 初診患者件数

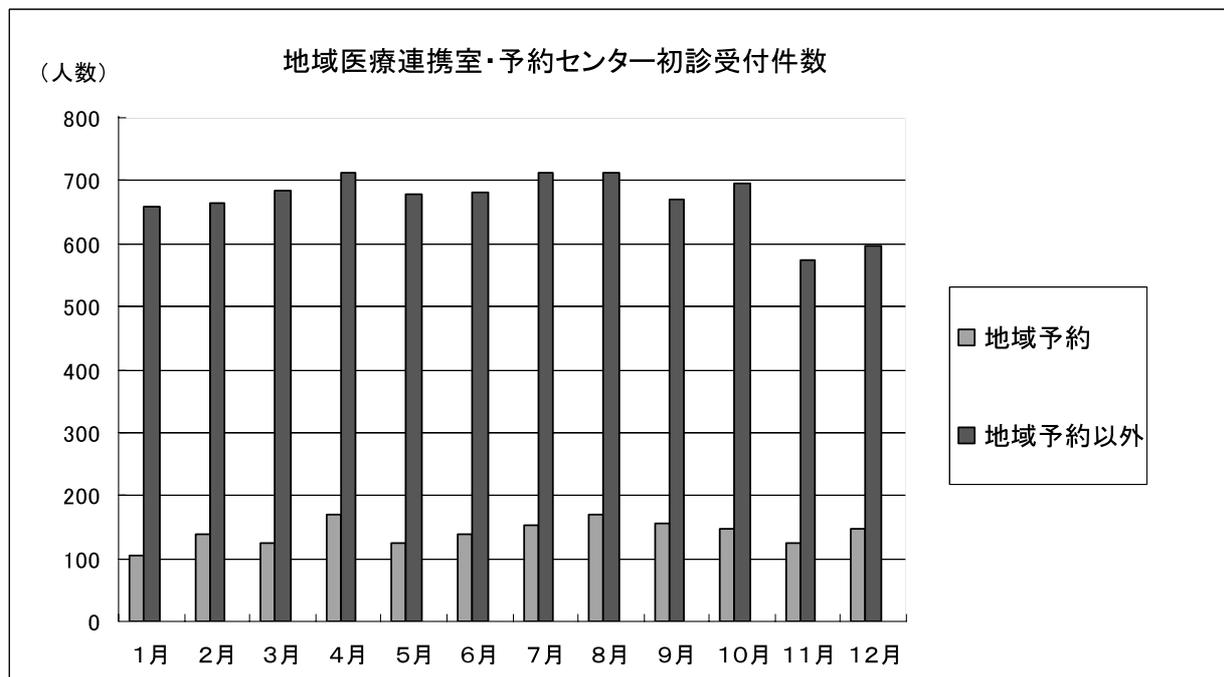
地域医療連携室・予約センター初診受付件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
地域予約	105	138	125	171	123	138	153	169	156	147	123	146	1,694
地域予約以外	659	665	685	712	678	680	712	711	671	694	573	596	8,036
計	764	803	810	883	801	818	865	880	827	841	696	742	9,730

地域予約・・・FAXによる病病・病診での予約

地域予約以外・・・電話予約・院内紹介・入院初診患者

2. 初診受付件数推移

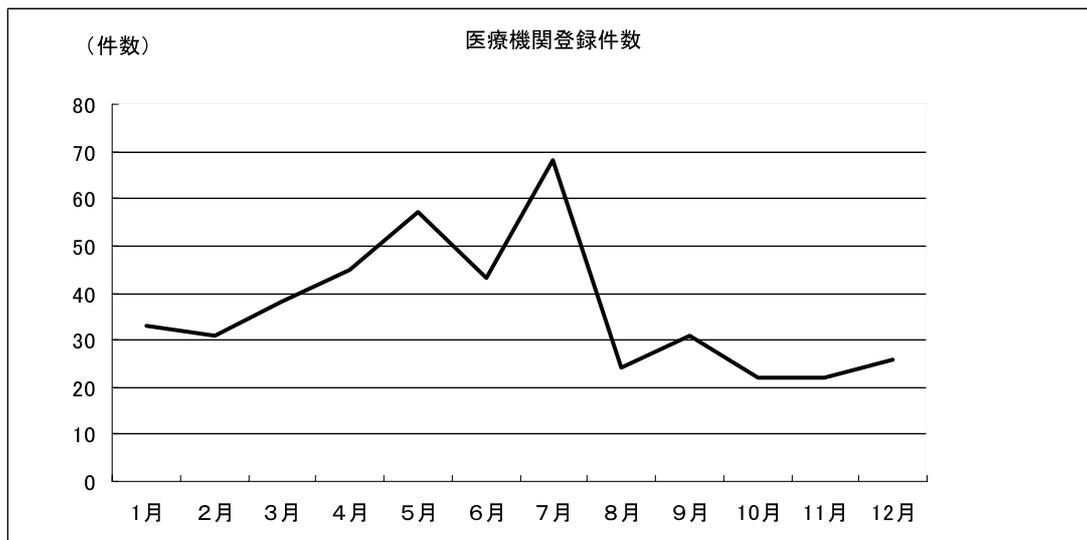


3. 平成20年新規登録件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
新規登録件数	33	31	38	45	57	43	68	24	31	22	22	26	2,503

平成19年12月末現在 2,063件

4. 新規医療機関登録件数推移



5. 診療科別新規外来患者紹介件数

診療科	2007年	2008年
総合診療科	347	251
救急集中治療科	25	198
代謝内分泌科	142	142
リウマチ・アレルギー科	98	158
脳神経内科	135	127
血液腫瘍科	54	53
循環器科	399	409
腎臓内科	114	122
精神科、神経科	106	103
小児外科	776	765
心臓血管外科	4	5
脳神経外科	207	203
形成外科	461	420
整形外科	644	599
眼科	569	508
耳鼻咽喉科	415	406
泌尿器科	736	716
小児歯科	65	75
新生児科	95	77
産科	560	454
発達行動小児科外来	30	31
合計	5982	5822

ボランティア部門の動き

兵庫県立こども病院 ボランティア部 2008年活動報告

ボランティア部の主な活動は、こども病院の患者さまが関係する患者・家族会のいろいろな活動の際の「保育ボランティア」と院内で入院中の子供たちに楽しみを提供する「お楽しみ会」の開催です。

こども病院の患者・家族会は、胆道閉鎖症の「ひよこの会」、永久ストーマをもつ患児の「たんぼぼの会」、在宅中心静脈栄養管理を受けている患児の「かくれんぼの会」の3つが対象となっています。

院内の「お楽しみ会」では昨年同様に神戸大学の学生に来ていただき、人形劇の上演をおこないました。

月日	行事名	場所	主催
3月22・23日	かくれんぼの会	しあわせの村	患者会
6月29日	花の植え替え	正面玄関	部
6月30日	フィーリングアーツ	研修室A B	病院
7月31日	院内夏祭り	研修室A B	病院（保育士）
9月29日	人形劇（神戸大）	研修室A B	部
12月10日	クリスマスコンサート	周産期センターホール	ハーバーライオンズクラブ
12月20日	花の植え替え	正面玄関	部

一年の歩み

1年のあゆみ (2008. 1. 1 ~ 12.31)

- 2007. 3. 病院運営懇話会の開催
- 2008. 3.14 病院運営懇話会の開催
- 4. 1 管理者変更 (管理者 丸尾 猛)
- 7.24 健康福祉常任委員会による平成20年度管内調査の実施
- 7.28 県監査委員による平成19年度本監査の実施
- 8.27 神戸市保健所による平成20年度医療監視の実施
- 12.20 第9回兵庫県周産期医療研修会開催

